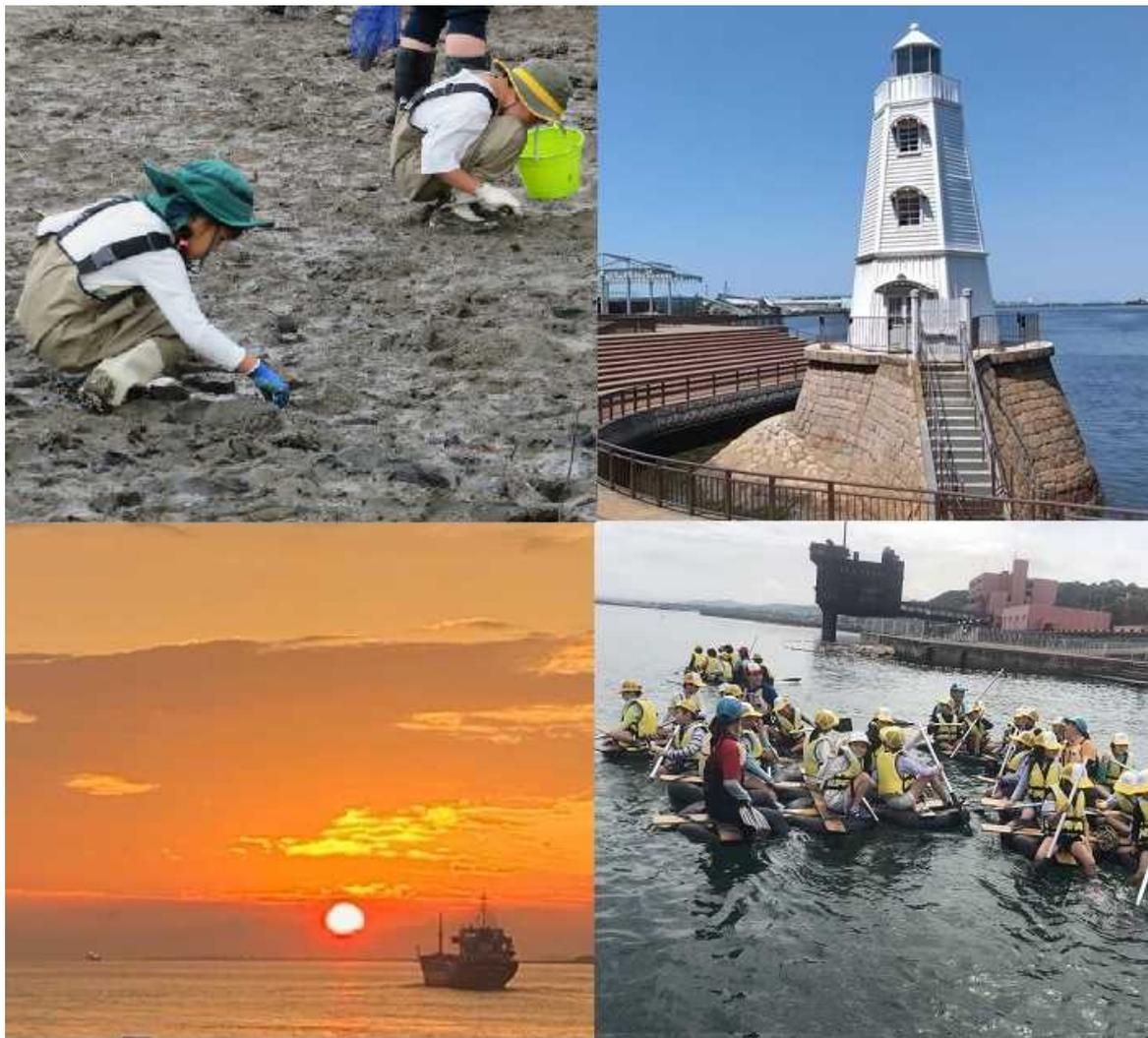


「豊かな大阪湾」 保全・再生・創出活動推進ノウハウ集



令和7年3月

大阪府

# 目 次

はじめに	4
1. 大阪湾の特徴、めざすべき将来像	5
(1)大阪湾の概況	5
(2)めざすべき大阪湾の将来像	9
2. 環境保全・再生・創出活動の概要	12
(1)エコツーリズムについて	12
①エコツーリズム推進の背景	12
②エコツーリズムの定義	12
③エコツーリズムの基本理念	13
④エコツーリズムに取り組む上での基本的な視点と配慮事項	13
⑤大阪湾におけるエコツーリズムの種類	14
(2) 環境保全活動（体験型環境学習）について	15
①大阪湾における環境保全活動の背景	15
②大阪湾における環境保全活動の種類	15
(3) 生物多様性の保全について	17
①生物多様性とは	17
②生物多様性の保全に向けた活動、取組み	18
(4) 藻場・ブルーカーボン生態系について	20
①藻場とは	20
②藻場造成をはじめとするブルーカーボンの取組み	21
3. 活動候補場所とその概要	23
(1)候補場所一覧	23
(2)活動候補場所の位置図	29
①海浜公園／②海岸・自然海浜	29
③干潟／④河川敷等	30
⑤環境学習施設・海洋体験等施設	31
⑥海釣り公園等／⑦漁港等	32
⑧景観鑑賞／⑨歴史的施設	33
(3)活動候補場所の概要	34
①海浜公園	35
②海岸・自然海浜	42
③干潟	55

④河川敷等	66
⑤環境学習施設・海洋体験等施設	71
⑥海釣り公園等	86
⑦漁港等	92
⑧景観鑑賞	105
⑨歴史的施設	110
4. 活動事例	113
(1)大阪湾における活動事例	115
事例1：株式会社漁師鮮度	115
事例2：関西大学北陽高等学校	117
事例3：大阪から明るい水産業を創る会	119
事例4：兵庫運河を美しくする会	121
事例5：BAZ11/STEAM CLUB	123
事例6：NPO 法人大阪海さくら	125
事例7：関西エアポート株式会社	125
事例8：ENEOS株式会社堺製油所	126
事例9：阪南市他（地元小学生が育てたアマモ苗を大阪湾へ移植する活動）	126
事例10：貝塚市立自然遊学館	127
事例11：チーム☆ガサ	127
事例12：なにわエコ会議	128
事例13：津之江公園を活かす会（たかつき環境市民会議）	128
事例14：公益社団法人大阪自然環境保全協会（ネイチャーおおさか）	129
事例15：大阪府立青少年海洋センター	130
事例16：きしわだ自然資料館	131
事例17：NPO 法人地球環境市民会議(CASA)/一般財団法人環境事業協会	132
事例18：一般財団法人環境事業協会	132
事例19：男里川干潟を守る会	133
事例20：自然と本の会	133
事例21：せんなん里海公園管理事務所	134
事例22：海遊館	135
事例23：NPO 法人共生の森/大阪府	135
(2) 他の海域における活動事例	136
事例24：NPO 法人あそんで学ぶ環境と科学倶楽部	136
事例25：一般社団法人 瀬戸内海エコツーリズム協議会	137

事例 26：天神崎の自然を大切にする会	138
5. エコツアーリズム（エコツアー）の実施	139
(1)エコツアーの企画・検討	139
(2)エコツアーのモデル事例について	151
6. 体験型環境学習の実施	172
(1)体験型環境学習の企画・検討	172
(2)体験型環境学習のモデル事例について	184
7. 干潟等の生物多様性の保全活動の実施	200
(1)干潟等の生物多様性の保全活動の企画・検討	200
(2)干潟等の生物多様性の保全活動のモデル事例について	213
8. 府民参加型の藻場再生体験の実施	232
(1)府民参加型の藻場再生体験の企画・検討	232
(2)府民参加型の藻場再生体験のモデル事例について	245
＜参考資料＞	
・参考資料1「補助金等情報」	269
・参考資料2「アンケート様式（例）（エコツアー用）」	274
・参考資料3「アンケート様式（例）（体験型環境学習用）」	276
・参考資料4「アンケート様式（例）（生物多様性の保全活動用）」	277
・参考資料5「アンケート様式（例）（藻場再生体験用）」	280
・参考資料6「参考文献、情報サイト等」	282

## はじめに

大阪府では、令和4年10月に策定した「豊かな大阪湾」保全・再生・創出プランにおいて、多面的価値・機能が最大限に発揮された「豊かな大阪湾」の実現に向けて、湾奥部における生物生息場の創出や、企業等と連携した技術開発、府民等の環境保全活動の推進等に取り組んでいます。

大阪湾における環境保全・再生・創出活動は、2025年の大阪・関西万博の開催や近年のSDGsの認知度向上により企業やNPO、学校等の関心が高まっているものの、活動を実施するにあたっての必要なノウハウが確立されていないことから、新たな活動が広まりにくいという課題があります。

このため、多様な主体による大阪湾の保全・再生・創出活動を活性化し、府内各所で新たな取組みが実施されるよう、大阪湾の環境保全に関する普及啓発や、活動を実施するにあたっての必要な手順・課題等を取りまとめたノウハウ集を作成しました。

今後、このノウハウ集が活用され、「豊かな大阪湾」の実現に向けた活動がより一層広がることを期待しています。

# 1. 大阪湾の特徴、めざすべき将来像

## (1) 大阪湾の概況

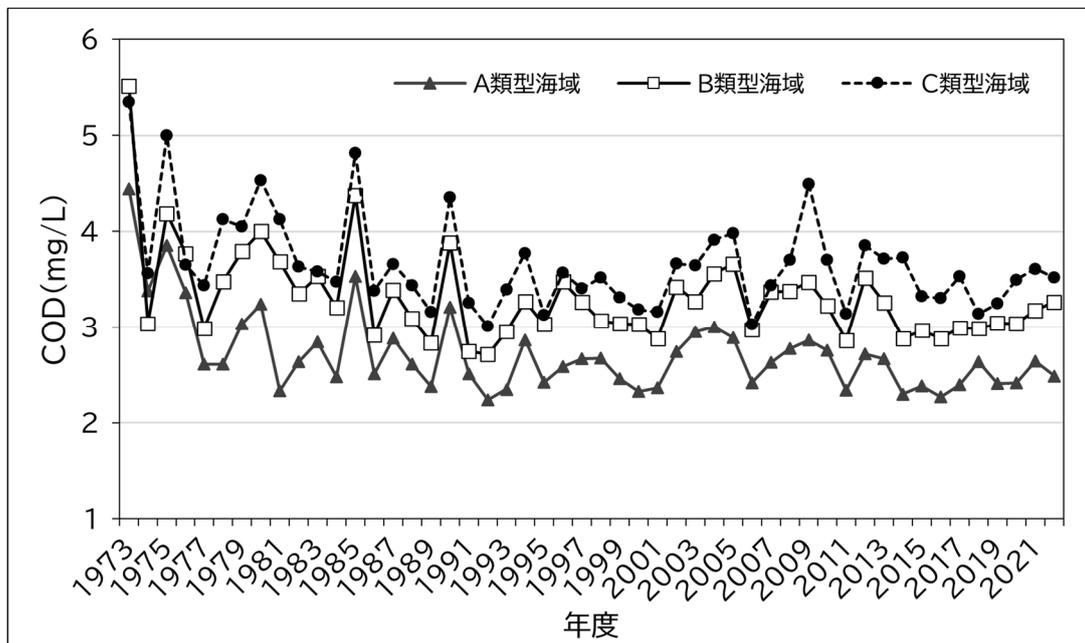
大阪湾は、瀬戸内海の東端に位置し、淡路島北端の明石海峡、同島生石鼻と和歌山市の間の紀淡海峡、及び陸岸に囲まれた海域で、面積は約 1,450 km<sup>2</sup>、平均水深 28m、最大水深 197m（紀淡海峡）の閉鎖性の高い水域です。

大阪湾は外洋との水の交換の悪い閉鎖性水域であることに加え、昭和 30 年代には陸域からの産業排水等による汚濁負荷の流入や沿岸部の埋立てによる自然浄化機能の減少などにより水質汚濁が進行し、赤潮が頻繁に発生する状況となっていました。



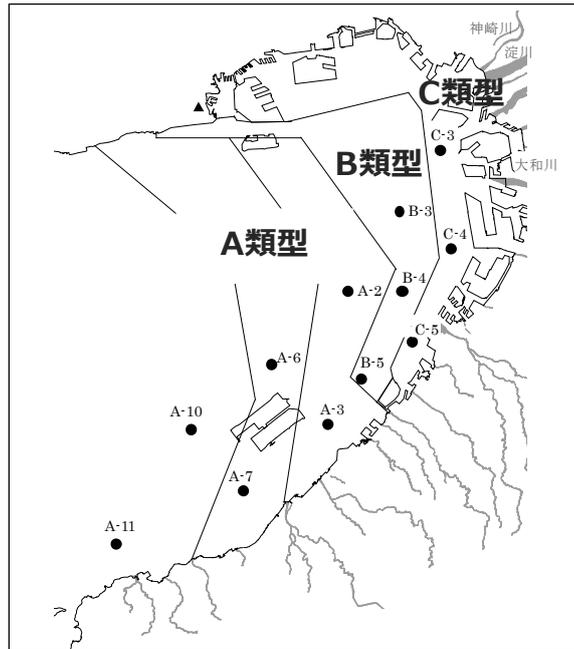
大阪湾で発生した赤潮

その後、工場・事業場に対する排水規制や下水道の普及等により、徐々に水質汚濁は改善し、有機物による汚濁の代表的な指標である化学的酸素要求量（COD）は 1990 年代前半にかけて徐々に改善し、近年では横ばい傾向となっています。



大阪湾の化学的酸素要求量（COD）の推移

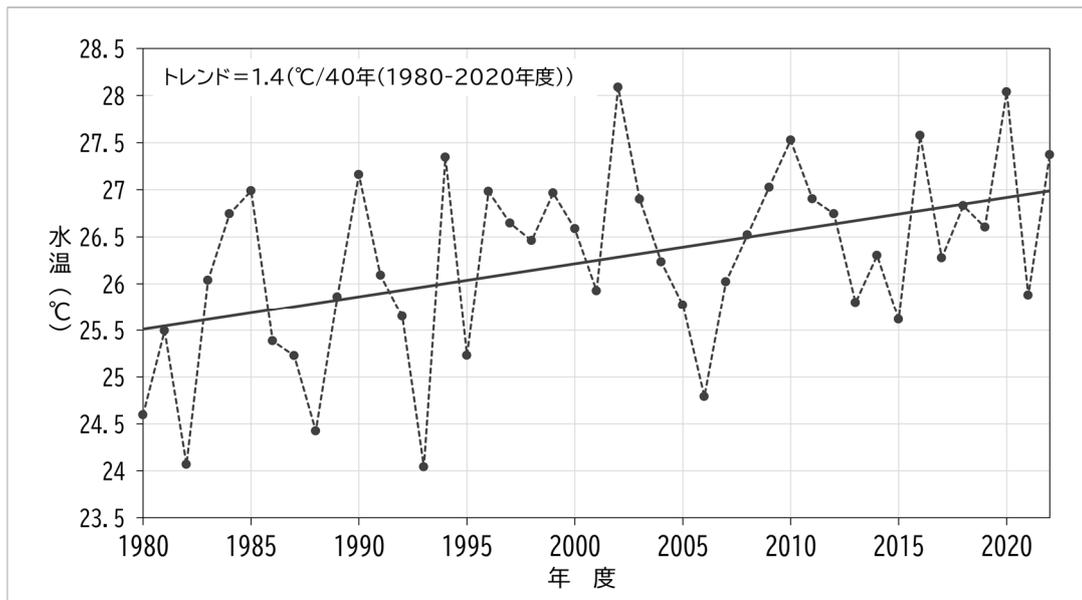
※利用目的や水生生物の生息状況の適応性に応じて、AからCまでの3つの類型に分かれており、A類型が湾口側、C類型が湾奥側です



大阪湾の化学的酸素要求量（COD）の類型図

※利用目的や水生生物の生息状況の適応性に応じて、AからCまでの3つの類型に分かれており、A 類型が湾口側、C 類型が湾奥側です）

しかしながら、依然として、湾奥部には、窒素やりんなどが過剰に滞留しており、大量に発生した植物プランクトンが海底に堆積することで貧酸素水塊（酸素が少ない水の塊）が発生し、魚介類などの生物の生息に悪影響を及ぼしています。また、大阪湾全域で、水温が上昇する傾向にあり、生態系に影響を与えています。



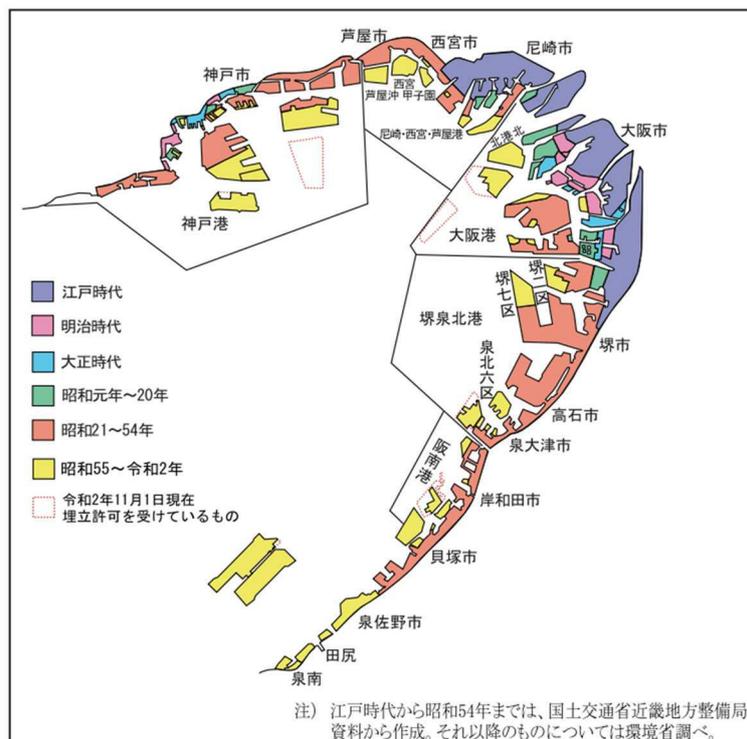
大阪湾（※）における夏季（7～9月）の水温変化

（※）大阪府測定点の表層の平均値

また、大阪湾の海岸線は、近代に入って埋立てが進み、また、閉鎖性の海域であることから、浅場が消失し、生態系にとって重要な藻場、干潟、自然海岸が減少しました。同じ閉鎖性海域である伊勢湾、東京湾に比べて、大阪湾は特に浅場面積、干潟面積、自然海浜延長の割合が少なく、大阪府域の海岸線延長約 227km(大阪湾沿岸海岸保全基本計画(令和3年度策定))のうち、自然海岸は岬町域の 1.9km、自然干潟は男里川河口(5.2ha)の1か所のみとなっています。

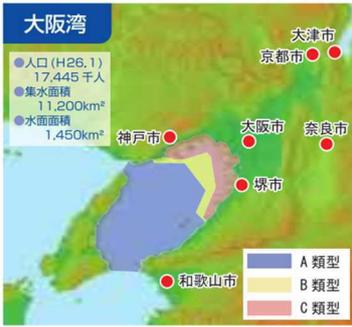


大阪湾の護岸の様子

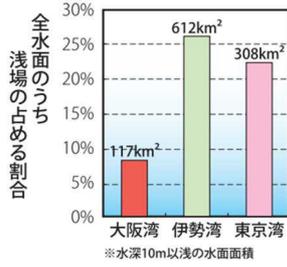


大阪湾奥部の埋め立て状況

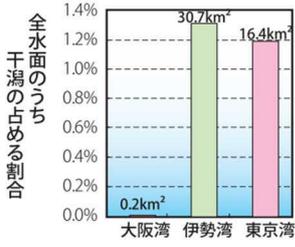
(出典：大阪湾再生行動計画パンフレット(2023年度))



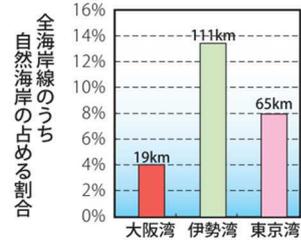
浅場面積\*



干潟面積



自然海岸延長



閉鎖性海域における浅場・干潟・自然海岸の比較  
 (出典：大阪湾再生行動計画パンフレット (2023 年度))

## (2) めざすべき大阪湾の将来像

大阪府が策定した『豊かな大阪湾』再生・保全・創出プラン』では、大阪湾を湾奥部、湾中央部、湾口部の3つのゾーンに区分し、それぞれの特性や大阪湾が大都市域に立地するなど瀬戸内海において特殊な海域であることを踏まえ、大阪湾の環境を「保全」という従来の観点のみならず、かつての良好な環境を取り戻す「再生」、新たに豊かな環境を積極的に創り上げる「創出」の観点から見た今後めざすべき大阪湾の将来像を次のとおりとしています。

### <めざすべき大阪湾の将来像>

#### 【将来像】多面的価値・機能が最大限に発揮された「豊かな大阪湾」が実現している

##### (豊かな大阪湾が有する多面的価値・機能)

##### • 多様な生物を育む場が確保されている

生物の生息に適した自然環境等の保全・再生・創出や、環境に配慮した護岸や沿岸の施設による良好な海域環境の創出が進むとともに、水産資源の持続的な利用が確保され、多様な生物を育む場が確保されている。このことにより、生息する生物による栄養塩類の吸収、CO<sub>2</sub>の吸収（ブルーカーボン）、生物多様性の向上、大阪湾の魅力向上など様々なコベネフィット効果が発揮されている。



##### • 健全な物質循環が行われ、良好な水環境が保たれている

水質環境基準（底層DO含む）が達成・維持されるとともに、底質が改善され、生物生産性が確保されるよう、湾奥部における停滞性水域の流況が改善され、栄養塩類や有機物などの物質が健全に循環し、良好な水環境が保たれている。

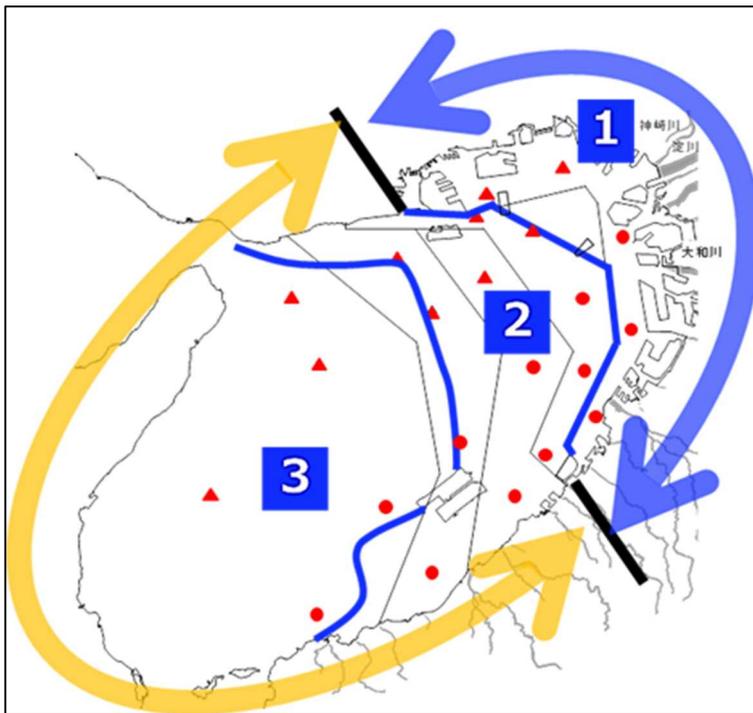


##### • 都市活動や暮らしに潤いと安心を与え、大阪の都市としての魅力を高めている

大阪湾へのプラスチックごみを含め人の活動に伴うごみの流入がなく、貴重な自然景観・文化的景観の保全、海と都市や産業施設が融合した都市景観・産業景観という新たな魅力の創出や環境保全と調和した沿岸防災機能の強化が進むとともに、海を使い、海と親しむ場や機会が拡充され、それらが活発に活用されることにより、都市活動や暮らしに潤いと安心を与え、都市としての魅力を高めている。



<参考：大阪湾のゾーニング>



ゾーン	海域の主な特徴	沿岸の陸域の主な特徴
1 湾奥部	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 水質の窒素・りん等の濃度が高く、濃度勾配が大きい。</li> <li>• 夏季に底層DOが低い。</li> <li>• 魚類等の生息にとっては厳しい環境にある中、主成育場として利用されている。</li> </ul>	産業の拠点としての利用が図られている。
2 湾中央部	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 水質の濃度が緩やかに変化している。</li> <li>• 漁場としてよく利用されている。</li> </ul>	海水浴場や自然とのふれあいの場等としての利用が図られている。
3 湾口部	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 湾口部を有し、海水交換が活発であり、水質の濃度が均一化している。</li> <li>• 漁場としてよく利用されている。</li> </ul>	

### <参考：大阪湾におけるブルーカーボン生態系の保全・再生・創出>

海洋生態系において隔離・貯留される炭素（＝ブルーカーボン）の主な吸収源として、藻場（海草・海藻）や干潟等の塩性湿地などがあげられ、これらは「ブルーカーボン生態系」と呼ばれています。ブルーカーボンの増加に向けた海洋生態系の保全・修復は、気候変動対策の1つとして注目を集めており、各地でさまざまな取組みが進んでいます。

大阪府では、2025年の大阪・関西万博等を契機とし、大阪湾をブルーカーボン生態系の回廊（コリドー）でつなぐ「大阪湾 MOBA リンク構想」の実現をめざし、民間企業等と連携して、大阪湾におけるブルーカーボン生態系の保全・再生・創出に取り組んでいます。



## 2. 環境保全・再生・創出活動の概要

### (1) エコツーリズムについて

#### ①エコツーリズム推進の背景

「エコツーリズム」とは、地域ぐるみで自然環境や歴史文化など、地域固有の魅力を観光客に伝えることにより、その価値や大切さが理解され、保全につながっていくことをめざしていく仕組みとされています。

もともと途上国の自然保護のための資金調達手法として取り入れられたエコツーリズムの考え方は、持続可能な観光のひとつの領域として先進国でも展開されており、国際的にも定着した用語(ecotourism)となっています。

#### ②エコツーリズムの定義

エコツーリズムの定義・概念は、提唱する立場に応じて様々な表現があり、共通した見解はありませんが、主なものは以下のとおりです。

ここでは、**自然、歴史、文化を体験、学習する観光の総称を「エコツーリズム」とし、エコツーリズムの考え方を実践するためのツアーを「エコツアー」とすることとします。**

#### ◎「エコツーリズム推進法」(第2条第2項)

『エコツーリズム』とは、観光旅行者が、自然観光資源について知識を有する者から案内又は助言を受け、当該自然観光資源の保護に配慮しつつ当該自然観光資源と触れ合い、これに関する知識及び理解を深めるための活動をいう。

#### ◎「エコツーリズム推進マニュアル(改訂版)」

**エコツーリズム = 自然(歴史文化)体験・学習型観光の総称**

…自然環境や歴史文化を対象とし、それらを体験し、学ぶとともに、対象となる地域の自然環境や歴史文化の保全に責任を持つ観光のあり方

**エコツアー = エコツーリズムの考え方を実践するためのツアー**

…自然豊かな地域に限らず、里地里山や都市地域内の自然など、どのような地域でも成立する。地域ごとの個性的な歴史や文化もツアーの魅力の大きな要素となる。

### ③エコツーリズムの基本理念

エコツーリズムの基本理念について、「エコツーリズム推進法（第3条）」では、以下の4つが掲げられています。

<p><b>○自然環境の保全</b></p> <p>自然観光資源が損なわれないよう、生物の多様性の確保にも配慮しつつ実施されなければならない。</p>
<p><b>○観光振興</b></p> <p>観光の振興に寄与することを旨として実施されなければならない。</p>
<p><b>○地域振興</b></p> <p>地域の多様な主体が連携し、地域社会及び地域経済の健全な発展に寄与することを旨として実施されなければならない。</p>
<p><b>○環境教育の場としての活用</b></p> <p>環境教育の場として活用が図られるよう配慮されなければならない。</p>

### ④エコツーリズムに取り組む上での基本的な視点と配慮事項

エコツーリズムに取り組む上で必要な【基本的な視点】と【配慮事項】について、「エコツーリズム推進基本方針」（第1章2（3））では以下のように示されています。

#### 【基本的な視点】

**○「大切にしながら」という視点**

自然環境や生活文化などの自然観光資源を保全するとともに、持続的に利用する。

**○「楽しみながら」という視点**

“おもてなしの心”を持って観光旅行者に楽しんでいただく。

**○「地域が主体」という視点**

地域を中心として観光旅行者を迎える関連する人たちすべてが協力し合いながら、自ら考え、行動する。

#### 【配慮事項】

- ・事前にルールなどを決めてエコツアーを実施し、自然観光資源の状態を継続的にモニタリングするとともに、その結果を科学的に評価し、これをルールや活動に反映する。
- ・継続的かつ計画性を持った取組みの視点（目標を持ち、徐々に発展させていくという考え方）を持つ。
- ・農林水産業を始めとする関連産業との調和や地産地消の取組みなどとの有機的な連携する。
- ・他の法令や計画などとの整合・連携による、良好な相互作用。

## ⑤大阪湾におけるエコツーリズムの活動の種類

大阪湾では、豊かな地域資源を活用して、様々なエコツーリズムの活動が実施されています。それらは以下の7つに分類することができます。

<p>○生物観察 磯浜生物・海洋生物・鳥類等の観察 等</p>	
<p>○漁業体験 底引き網業等の漁業体験、海釣りや食の体験 等</p>	
<p>○自然観察 自然海浜・干潟の観察 等</p>	
<p>○景観鑑賞 工場夜景・夕日の鑑賞 等</p>	
<p>○文化的資源の体験 歴史的地区の散策 等</p>	
<p>○臨海部施設の体験・見学 環境学習・海洋体験等施設の見学 等</p>	
<p>○海洋（水辺）レジャー 海水浴、砂浜遊び、ボート、ヨット 等</p>	

## (2) 環境保全活動（体験型環境学習）について

### ①大阪湾における環境保全活動の背景

藻場や干潟、自然海岸などの自然的環境は、多くの生物に生息環境を提供するとともに、水質の改善効果も有するなど、「豊かな大阪湾」の実現に向けて重要な要素となっています。しかし、大阪湾では、高度経済成長期ごろから、埋立てが進み、浅場の多くが消失することで、これらの自然的環境は少なくなっています。

また、砂浜などの里海は海水浴やマリンスポーツ等を通じて府民に海に親しむ場や機会を提供するなど、大阪の都市としての魅力の向上につながります。

このため、大阪湾では、必要に応じて人の手を加え、自然環境の保全・再生を行う「里海づくり」の取組みが重要とされています。最近では、地域の多様な主体が参加・連携して行う藻場・干潟等の保全・再生等にとどまらず、地域の課題の解決を図るため、活用（ヒト・モノ・資金などを呼び込む）の好循環を生み出す「令和の里海づくり」の取組みも始まっています。

こうした活動を広げていくためにも、大阪湾の魅力を知り、実際に大阪湾に触れることができる環境保全活動は重要な取組みです。

### ②大阪湾における環境保全活動の種類

大阪湾では様々な環境保全活動が実施されており、それらは以下の4つに分類することができます。

#### ○生物調査

- 大阪湾が多様な生物を育む場として機能し、生物多様性が確保されていることが豊かな大阪湾を実現する上で重要です。
- 大阪湾及びその周辺地域における生物の生息状況を把握するために、多様な主体による生物調査が行われています。
- 生物調査の対象としては、沿岸域に生息する魚類や磯浜生物の他、水辺に飛来する鳥類、大阪湾周辺地域等に生育する植生などがあります。
- また、生物の生息場所である自然海浜や干潟などの自然観察と合わせて実施することができます。



### ○藻場の保全・再生・創出

- ・藻場は、その構成種により、アマモ場、スガモ場、海藻藻場（アラメ場、カジメ場、コンブ場、ワカメ場、ガラモ場等）等に分類されます。
- ・大阪湾南部沿岸域では、阪南市沿岸部、岬町沿岸部を中心にガラモ場、ワカメ場、アマモ場、カジメ場、テングサ場が確認されています。
- ・藻場は水生生物の産卵、稚魚の保育など様々な生物の生育場の役割を担っており、「海の森」や「海のゆりかご」とも呼ばれています。
- ・藻場の再生や創出をする活動としては、藻が生息しやすい環境を確保するため、これまでの垂直護岸を緩傾斜護岸にする取組みのほか、岩礁等の設置などがあります。また、アマモなどの種子から苗を育て、岩礁やシートなどの海底に設置した生息場所に移植するとともに、その後の生育状況をモニタリングすることで効果を検証することができます。



### ○水辺の保全・再生・創出

- ・大阪湾沿岸部の大部分は埋立等による人工的な環境となっており、砂浜や干潟などの水辺や緑地などの自然環境は少なくなっています。
- ・このため、主に土地の管理者等が中心となり、人工的な水辺づくり（人工砂浜・人工干潟等）や未利用地への植栽が行われています。
- ・これらの再生された自然環境には多くの種類の生物の生息が期待され、その観察会が行われるとともに、継続して良好な環境が維持されるようボランティアによる維持・管理活動も行われています。
- ・水辺づくりは、学校の校庭や企業等の未利用地などの内陸部でも行われ、多様な生物の生息地（ビオトープ）として環境保全活動のフィールドに活用されています。



### ○清掃美化活動

- ・大阪湾沿岸部の干潟や自然海岸には人が立ち入ることが可能で、水生生物や飛来する鳥類の観察を行うことができます。
- ・一方で、大阪湾ではプラスチックごみが漂流ごみ全体の約8割を占めており、海洋プラスチックごみによる生態系へ影響が懸念され、沿岸地域にも、プラスチック類などの海ごみが漂着、堆積している現状です。
- ・このため、ボランティア団体等が中心となり、清掃活動が行われています。



### (3) 生物多様性の保全について

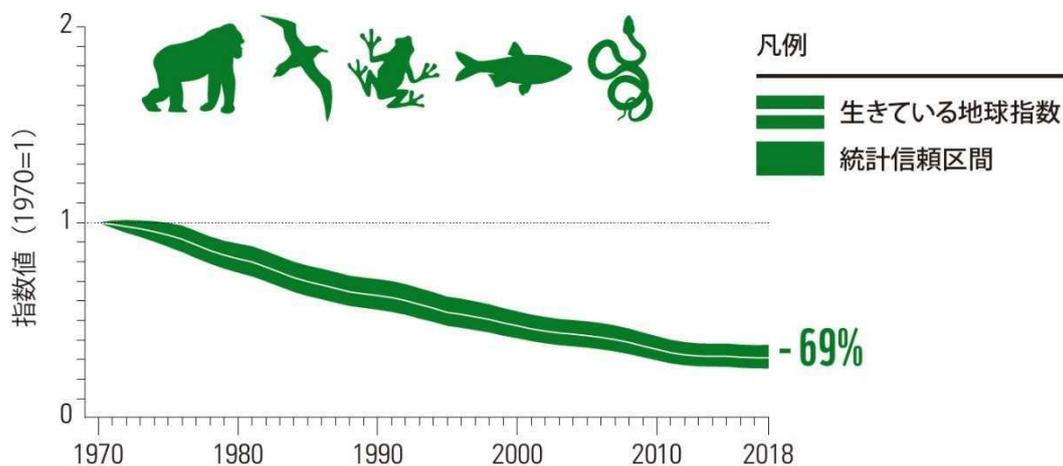
#### ①生物多様性とは

地球には数百万種から 3000 万種類もの生き物がいるといわれており、その生き物たちが、多様な形で直接的・間接的に関わり合っていることを「生物多様性」と呼びます。

日本を含む多くの国と地域が締結する「生物多様性条約」では、生態系の多様性・種の多様性・遺伝子の多様性という 3 つのレベルで多様性があるとしています。

<b>○生態系の多様性</b> 森林、里地里山、河川、湿原、干潟、サンゴ礁などいろいろなタイプの自然がある。
<b>○種の多様性</b> 動植物から細菌などの微生物にいたるまで、いろいろな生きものが存在する。
<b>○遺伝子の多様性</b> 同じ種でも異なる遺伝子を持つことにより、形や模様、生態などに多様な個性がある。

世界最大規模の自然環境保護団体である WWF（世界自然保護基金）は、2022 年 10 月に、地球環境の現状を報告するレポートで、自然と生物多様性の健全性を測る数値 (LPI) が 1970~2018 年の過去約 50 年間で 69%減少していることを報告しています。



#### 生きている地球指数（1970~2018年）

引用元：WWF ジャパンHP内

「生きている地球レポート 2022 - ネイチャー・ポジティブな社会を構築するために -」

このような生物多様性が直面している危機は、以下の 4 つに分類されます。生物多様性の損失をまねく要因には、さまざまな人間の行動が、さまざまな形で影響を及ぼしているといえます。

○第1の危機：人の生活や開発などによる危機

森林伐採、河川改修、沿岸部の埋め立てなどの開発行為による生き物の生息・生育地の減少、乱獲や、鑑賞・販売目的での生き物の乱獲などによって、生き物の数の減少が起きている。

○第2の危機：自然に対する働きかけの縮小による危機

かつての日本では、農耕や生活のために地域の自然を有効活用していたが、生活様式や産業構造の変化によって、それらの自然が手入れをされずに荒れて、生き物や生態系に影響を与えている。

○第3の危機：外来種などの持ち込みによる危機

人の手によって持ち込まれた外来種が、一部の種類は野外へと逃げ出し、在来種を食べ尽くしたり、生息場所を奪ったりするなど、影響を与えている。

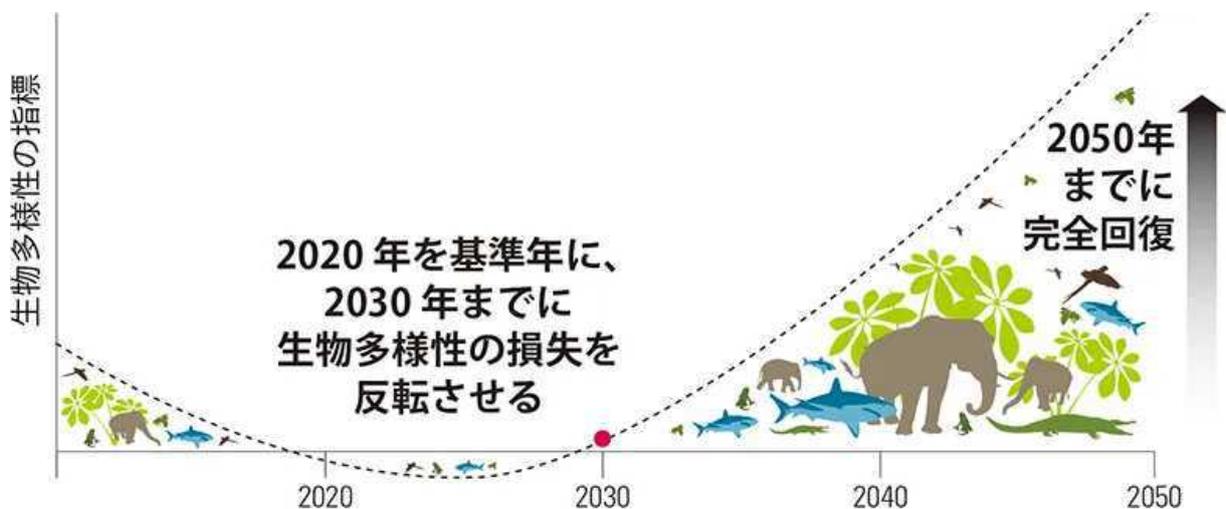
○第4の危機：気候変動による危機

人間活動に起因すると考えられる地球温暖化による気候変動により、生き物の分布域や、生育時期などに変化が起きている。

②生物多様性の保全に向けた活動、取組み

生物多様性の保全に向けて、2022年12月の生物多様性条約第15回締約国会議（COP15）において、2030年までに自然を回復軌道に乗せるために生物多様性の損失を止め反転させる「ネイチャーポジティブ」の考え方が示され、それに向けて世界が大きく動きだすようになりました。

ネイチャーポジティブとは日本語訳で「自然再興」といい、「生物多様性の損失を食い止め、反転させて回復軌道に乗せることを意味する世界的な社会目標」を指します。



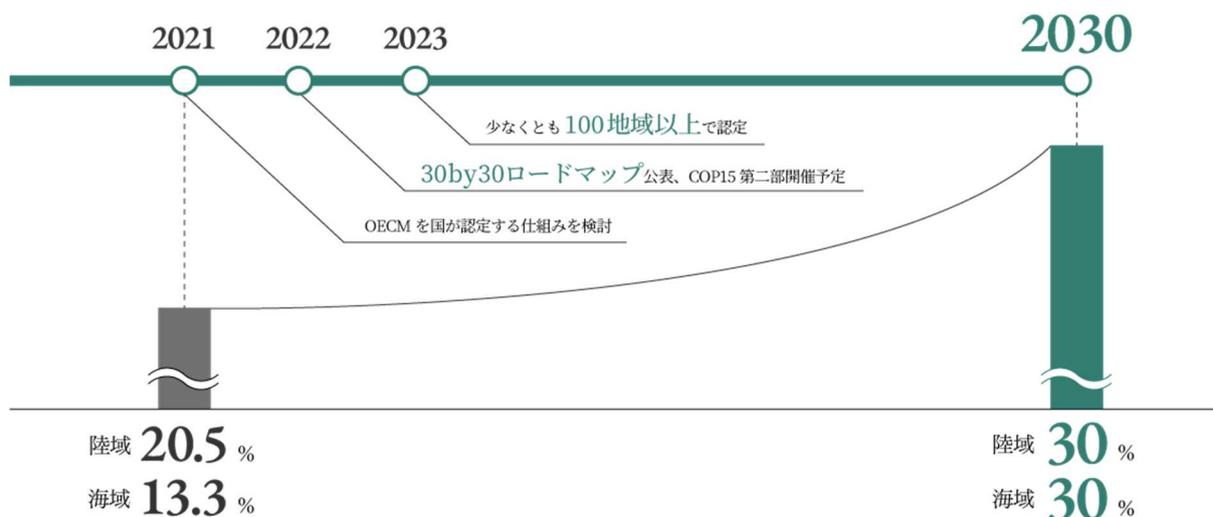
2030年までのネイチャーポジティブに向けた自然のための測定可能な世界目標

出典：[naturepositive.org](https://naturepositive.org)（日本語訳はWWF ジャパン）

引用元：WWF ジャパンHP内

「はじめての『生物多様性』～今おさえておきたいポイントをわかりやすく簡単に解説」

日本国内では、2023年3月に閣議決定した生物多様性国家戦略2023-2030において、「2030年までにネイチャーポジティブを達成する」という目標が掲げられ、実現に向けた目標の一つとして陸と海のそれぞれで30%以上の面積で健全な生態系を保全する30by30目標を位置付けています。



### 30by30 ロードマップ

引用元：環境省HP内 「30by30」

30by30目標の達成のためには、国の取組みに加え、民間の取組み等によって生物多様性の保全が図られている区域を広げていくことも重要とされています。

環境省では、2023年度から「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を「自然共生サイト」に認定する取組みを進めており、2023年度、2024年度において、全国で328か所を認定しています。

また、環境省では、「自然共生サイト」における海域として期待される里海において、様々な地域課題の同時解決を図り、かつ持続可能なものとなるように、里海の多面的機能を活かして地域資源の保全と利活用（ヒト・モノ・資金など）の好循環を生み出すことをめざす「令和の里海づくり」モデル事業を2023年度より実施し、地域の優れた取組みについて支援しています。

#### (参考)

- 環境省「自然共生サイト」認定サイト一覧

<https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/kyousei/nintei/index.html>

- 「令和の里海づくり」モデル事業

<https://www.env.go.jp/water/heisa/satoumi/story/index.html>

## (4) 藻場・ブルーカーボン生態系について

### ①藻場とは

藻場とは海藻や海草(※)が茂る場所のことで、その構成種から見て、アマモ場、ガラモ場(ホンダワラの仲間)、アラメ場、カジメ場、コンブ場、ワカメ場などにタイプが分かります。瀬戸内海では、内湾や入り江の波の静かな平坦な砂泥底に形成されるアマモ場、岩礁域に形成されるガラモ場やカジメ場が多く見られます。

藻場は、魚の赤ちゃんを保育する「海のゆりかご」としての役割を果たしています。藻場を作る茂みは、波や潮流による水の流動をやわらげるとともに、幼稚魚に外敵から身を守る隠れ場所を与えます。また、海藻上や根の間等には幼稚魚の餌となる小型生物が豊富に生息しています。アイナメやイカのように藻場を産卵場所とする生物もいます。

(※) 海藻(うみも)とは、海で生活する藻類のことで、胞子によって繁殖し、葉色によって緑藻・褐藻・紅藻の3種類に分けられる。海草(うみくさ)とは、海中で花を咲かせ種子によって繁殖し、海中で一生活を過ごすアマモなどの海産種子植物。

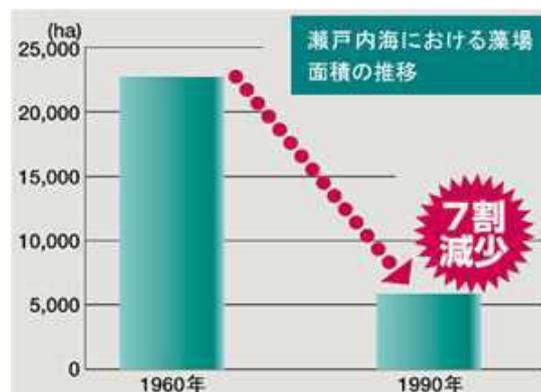


藻場における幼魚の群れ

引用元：環境省 せとうちネットHP内 「藻場とは」

高度成長期の沿岸域の開発などによって、埋立による浅場の喪失、透明度の低下、化学物質の流入、磯焼けが原因で沿岸域の藻場は大幅に減少しました。特に、瀬戸内海では30年間で7割ものアマモ場が減少しました。

特に、海藻を食べる魚やウニが増えすぎることによって生態系のバランスが崩れ、藻場の消失をまねく「磯焼け」は、近年各地で大きな問題となっています。



瀬戸内海における藻場面積の推移

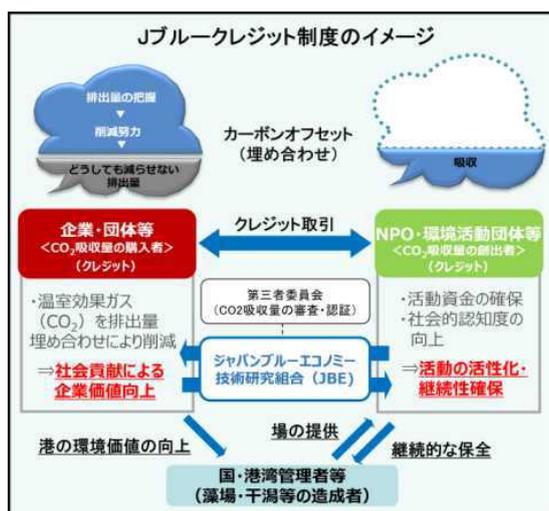
引用元：水産庁HP内 「藻場の動きと現状」



また、国土交通大臣の認可を受けた「ジャパンプルーエコノミー技術研究組合(JBE)」では、ブルーカーボン生態系を活用した CO<sub>2</sub>吸収源の拡大を図るため、2020 年度から藻場の保全活動等の実施者により創出された CO<sub>2</sub>吸収量を認証し、クレジット取引を可能とする「Jブルークレジット<sup>®</sup>制度」を実施しています。

2024 年度は、46 のプロジェクトが「Jブルークレジット<sup>®</sup>」を認証され、クレジットが発行されました。

大阪湾とその周辺では、2025 年 3 月時点で以下のプロジェクトが認証されています。



「Jブルークレジット制度のイメージ」

引用元：国土交通省HP内 「ブルーカーボン」

大阪湾とその周辺におけるJブルークレジット<sup>®</sup>認証プロジェクト（2025年3月時点）

プロジェクト名	プロジェクト実施者
～魚庭の海・阪南の海の再生～「海のゆりかご再生活動」	阪南市／特定非営利活動法人大阪湾沿岸域環境創造研究センター／尾崎漁業協同組合／西鳥取漁業協同組合／下荘漁業協同組合
渡り鳥と人をつなぐ大阪南港野鳥園 ～人工干潟整備による環境保全～	大阪市
関西国際空港 豊かな藻場環境の創造	関西エアポート株式会社
兵庫運河の藻場・干潟と生きもの生息場づくり	兵庫漁業協同組合／兵庫運河を美しくする会／神戸市立浜山小学校／兵庫・水辺ネットワーク／兵庫運河・真珠貝プロジェクト
「神戸の須磨海岸を里海に」 Suma 豊かな海プロジェクト	一般社団法人須磨里海の会／すまうら水産有限責任事業組合／兵庫県／神戸市
神戸空港島緩傾斜護岸におけるブルーカーボン創出活動	神戸市
明石市江井島周辺を中心とした藻場造成 「アマモは海のゆりかごだ！」プロジェクト	江井ヶ島漁業協同組合／東洋建設株式会社 大阪本店／定非営利活動法人アマモ種子バンク
姫路市網干地区におけるカルシア改質土を活用した藻場造成	五洋建設株式会社／姫路市漁業協同組合網干支所／日本製鉄株式会社

### 3. 活動候補場所とその概要

大阪湾及びその周辺地域で保全・再生・創出活動を実施する場所や施設の候補を「海浜公園」や「海岸・自然海浜」等の区分ごとに以下に整理しました。これらの場所や施設で実際に活動する場合には、事前に施設管理者等にその条件や留意事項等を確認する必要があります。また、河川や海岸などの水辺で活動する場合は、「小学生以下など年少者は保護者と一緒に参加し安全を確保する。」などの安全管理にも注意が必要です。安全管理の詳細は P34 を参照してください。

#### (1) 候補場所一覧

区分	No.	名称	主な活動・環境資源等	所在市・町	記載頁
海浜公園	1	舞洲緑地／舞洲緑道	海辺の散策、人工磯での生物観察	大阪市	35
	2	大阪北港マリーナ	海洋レジャー、海辺の散策	大阪市	35
	3	浜寺公園	自然観察、海辺の散策、松林	堺市～高石市	37
	4	二色の浜公園 (BLUE PARK)	水辺の生物観察、海洋レジャー 潮干狩り、夕日鑑賞	貝塚市	38
	5	りんくう公園	水辺の散策 (人工砂浜等)、夕日鑑賞	泉佐野市	39
	6	泉南りんくう公園 (SENNAN LONG PARK)	人工砂浜での水辺空間とのふれあい 宿泊・レジャー施設の利用 夕日鑑賞	泉南市	40
	7	せんなん里海公園	水辺の生物観察、夕日鑑賞	阪南市・岬町	41
海岸・ 自然海浜	8	堺2区海岸 (生物共生型護岸)	水辺の生物観察 清掃美化活動	堺市	42
	9	堺浜自然再生ふれあいビーチ		堺市	43
	10	諏訪ノ森海岸		堺市	46
	11	高師浜		高石市	46

区分	No.	名称	主な活動・環境資源等	所在市・町	記載頁
海岸・ 自然海浜	12	尾崎漁港西浜	水辺の生物観察 清掃美化活動 夕日鑑賞	阪南市	47
	13	尾崎海岸		阪南市	48
	14	波有手(ぼうで)海岸(ハマボウフウの浜)		阪南市	48
	15	西鳥取海岸		阪南市	50
	16	箱作(自然)海岸		阪南市	50
	17	長松自然海浜保全地区		岬町	52
	18	小島自然海浜保全地区		岬町	53
干潟	19	神崎川河口(矢倉海岸干潟)	干潟に生息する水生生物・鳥類の観察	大阪市	55
	20	淀川汽水域干潟(柴島、十三、大淀、花川、海老江、十三大橋下、中津のヨシ原)	干潟に生息する水生生物・鳥類の観察 清掃美化活動	大阪市	56
	21	野鳥園臨港緑地(干潟)	干潟に生息する水生生物・鳥類の観察	大阪市	57
	22	大和川河口干潟	干潟に生息する水生生物・鳥類の観察 清掃美化活動	大阪市・堺市	58
	23	大津川河口干潟		泉大津市・忠岡町	59
	24	津田川河口干潟		貝塚市	59
	25	近木川河口干潟		貝塚市	60
	26	檜井川河口干潟		泉南市	61
	27	男里川河口干潟		泉南市・阪南市	62
	28	尾崎前浜干潟		阪南市	63
	29	下荘前浜干潟		阪南市	64
	30	深日干潟		岬町	64
	31	東川河口干潟		岬町	65

区分	No.	名称	主な活動・環境資源等	所在市・町	記載頁
河川敷等	32	淀川城北ワンド	淡水生物・鳥類の観察 外来種駆除の環境保全活動	大阪市	66
	33	淀川河川公園 (西中島地区・十三野草地区等大阪府内 38 地区)	淡水生物・鳥類の観察 水辺空間を活用したレクリエーション	大阪市、守口市、寝屋川市、枚方市、摂津市、高槻市、島本町	67
	34	大川(大阪ふれあいの水辺)		大阪市	68
	35	大和川下流部河川敷・浅瀬	淡水生物・鳥類の観察、清掃美化活動	大阪市・堺市	69
環境学習・ 海洋体験等 施設	36	高槻市立自然博物館 (あくあびあ芥川)	各種体験型環境学習の実施 施設見学 ・芥川(淀川水系)に生息する魚類、両生類、爬虫類の展示 など	高槻市	71
	37	淀川資料館	施設見学 ・淀川に生息する生物、ワンドやヨシ原についての環境学習	枚方市	71
	38	大阪広域環境施設組合「舞洲工場」	施設見学 ・廃棄物処理工程、廃棄物処理の課題学習	大阪市	72
	39	大阪市立自然史博物館	各種体験型環境学習の実施 施設見学 ・大阪湾や淀川に関する歴史や生態系に関する展示 など	大阪市	73
	40	きしわだ自然資料館	各種体験型環境学習の実施 施設見学 ・チリメンモンスター紹介コーナー ・大阪湾やため池、河川に関する生態系や地質に関する展示 など	岸和田市	75

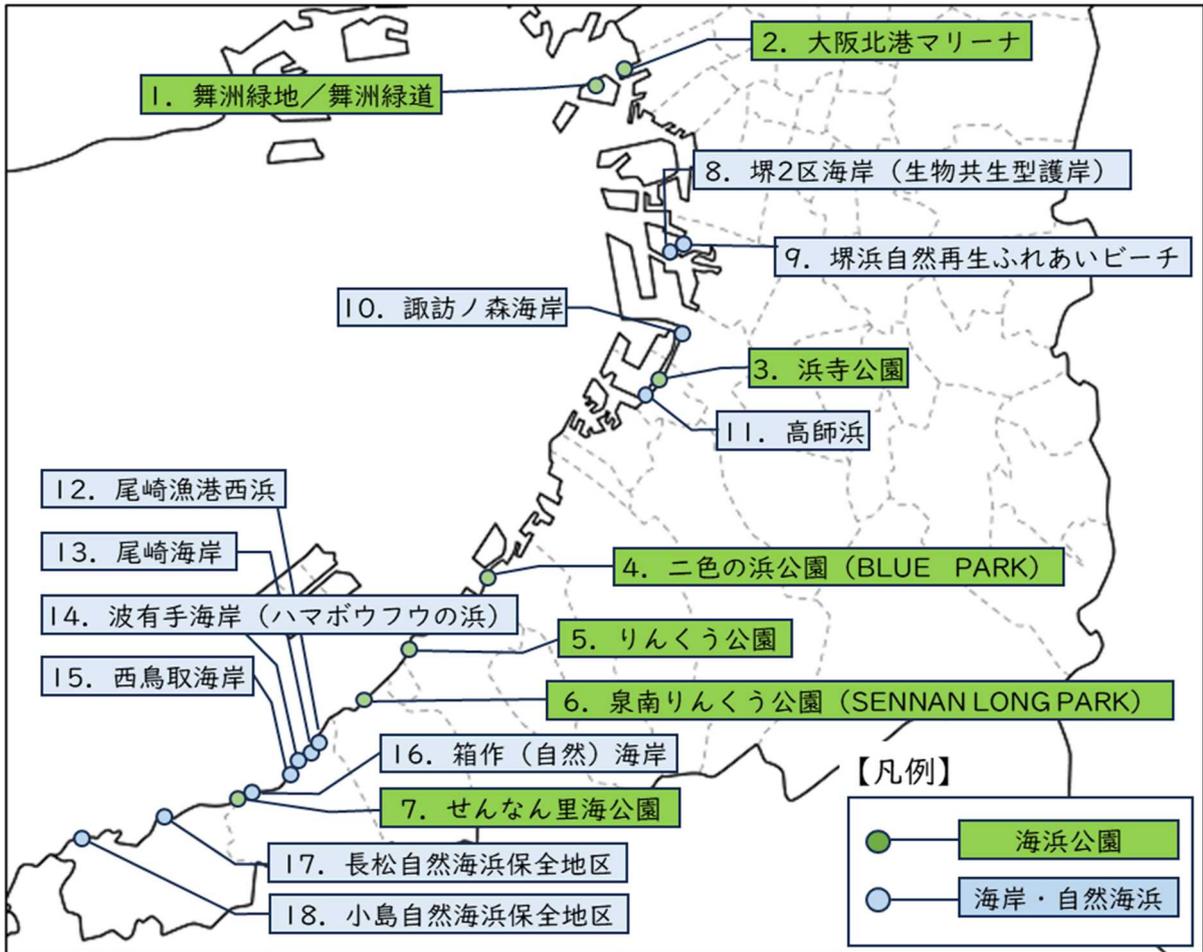
区分	No.	名称	主な活動・環境資源等	所在市・町	記載頁
環境学習・ 海洋体験等 施設	41	貝塚市立自然遊学館	各種体験型環境学習の実施 施設見学 ・近木川河口のカニの生体展示 など	貝塚市	76
	42	大阪府立青少年海洋センター	各種海洋レジャーの体験 ・ヨット、カヌー、いかだ等	岬町	76
	43	大阪府立環境農林水産総合研究所 生物多様性センター	イタセンパラの野生復帰事業 生物多様性保全に関する普及啓発イベントの開催 施設見学 ・淀川に生息する淡水魚等の展示	寝屋川市	77
	44	大阪府立環境農林水産総合研究所 水産技術センター	子供向け夏休み環境学習の実施 施設見学 ・大阪湾に生息する魚類等の展示	岬町	78
	45	野島園臨港緑地	野鳥観察	大阪市	79
	46	海遊館	体験型環境学習の実施 海洋生物の展示	大阪市	80
	47	関西国際空港 関空展望ホールスカイビュー	施設見学 ・海上空港と環境対策について学ぶ	泉佐野市	80
	48	大阪湾フェニックス計画 大阪沖埋立処分場	施設見学 ・大阪湾における廃棄物海面埋立事業	大阪市	81
	49	堺第7-3区「共生の森」	環境保全活動 ・産業廃棄物埋立処分場跡地での森づくり活動による自然再生	堺市	82
	50	多奈川ビオトープ	環境保全活動 ・土砂採取跡地におけるビオトープの維持管理	岬町	83

区分	No.	名称	主な活動・環境資源等	所在市・町	記載頁
海釣り公園 等	51	南港魚つり園護岸	海釣り体験	大阪市	86
	52	海上釣り堀 田尻		田尻町	87
	53	大阪海上釣り堀 サザン		泉南市	88
	54	海上釣り堀 岬		岬町	89
	55	大阪・岬町谷川 海上釣り堀オーパ		岬町	90
	56	岬町海釣り公園・道の駅とっとパーク小島		岬町	91
漁港等	57	堺（出島）漁港	通常の漁業活動のほか、それぞれの漁港において ・日曜朝市 ・せり市見学 ・漁業体験（地曳網、ワカメ養殖など） ・海釣り 等を実施	堺市	92
	58	石津漁港		堺市	93
	59	高石漁港		高石市	93
	60	岸和田漁港		岸和田市	94
	61	佐野漁港		泉佐野市	95
	62	田尻漁港		田尻町	96
	63	岡田浦漁港		泉南市	97
	64	樽井漁港		泉南市	98
	65	西鳥取漁港		阪南市	98
	66	下荘漁港		阪南市	99
	67	淡輪漁港		岬町	100
	68	深日漁港		岬町	101
	69	小島漁港		岬町	102
	70	大阪市漁業協同組合		大阪市	103

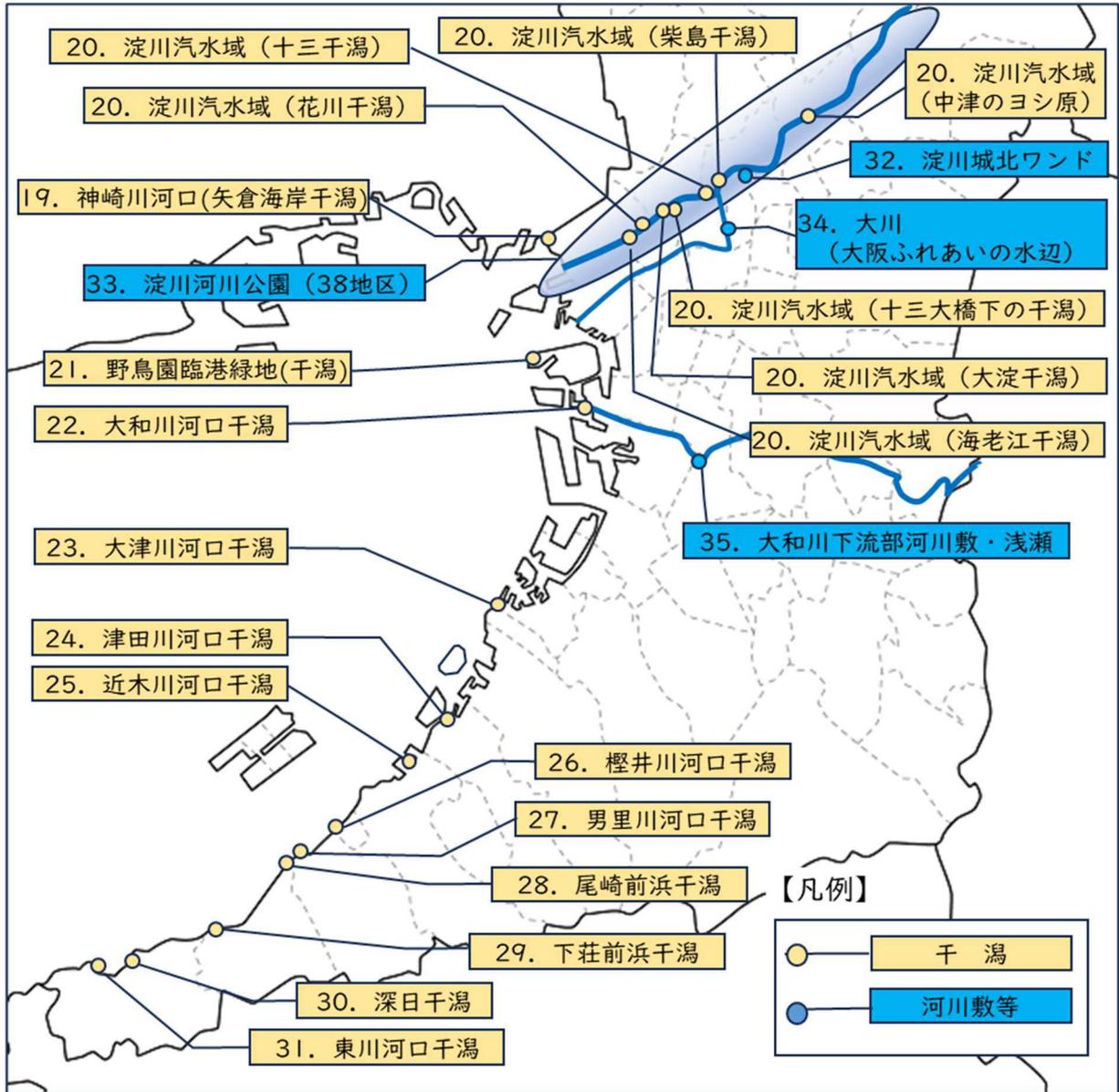
区分	No.	名称	主な活動・環境資源等	所在市・町	記載頁
漁港等	71	忠岡漁業協同組合		忠岡町	103
	72	尾崎漁業協同組合		阪南市	104
	73	谷川漁業協同組合		岬町	104
景観鑑賞	74	大阪港 中央突堤ダイヤモンドポイント	大阪湾に沈む夕日の鑑賞スポット	大阪市	105
	75	さきしまコスモタワー展望台	地上 252m からの大阪湾全体の眺望	大阪市	107
	76	堺泉北臨海工業地帯の夜景	臨海部埋立地の工場地帯の夜景観賞	堺市～高石市	108
歴史的施設	77	大阪府営住吉公園	白砂青松の原景の地 鎌倉時代末期に建てられた日本最古の灯台 「高灯籠」(S49 復元) 松尾芭蕉、源氏物語ゆかりの碑 など	大阪市	110
	78	堺旧港(旧堺灯台・親水護岸)	現地に現存する日本最古の木造洋式灯台の一つ「旧堺燈台」、戦国期に活躍した呂宋助左衛門像などがある親水プロムナード	堺市	111

(2) 活動候補場所の位置図

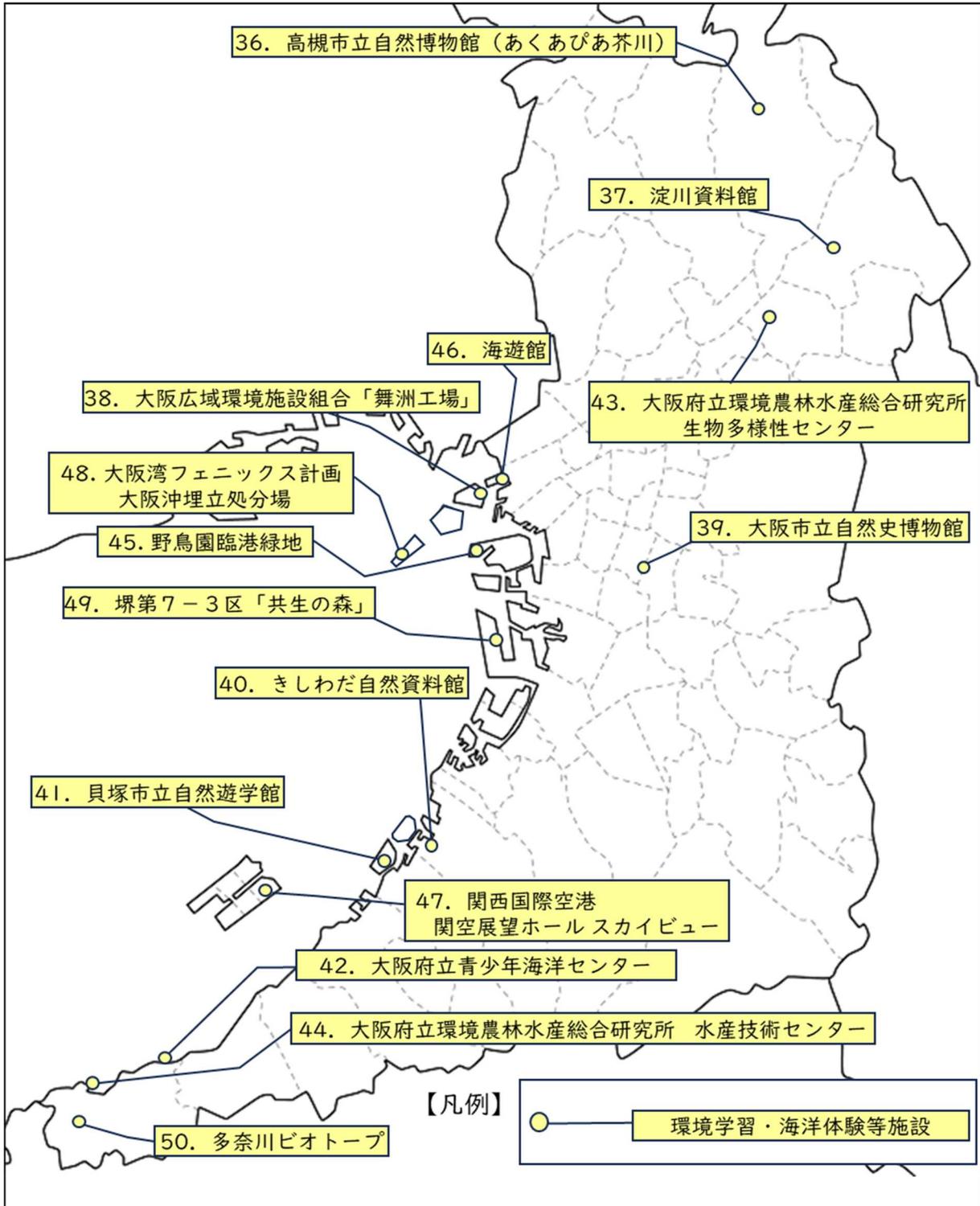
①海浜公園／②海岸・自然海浜



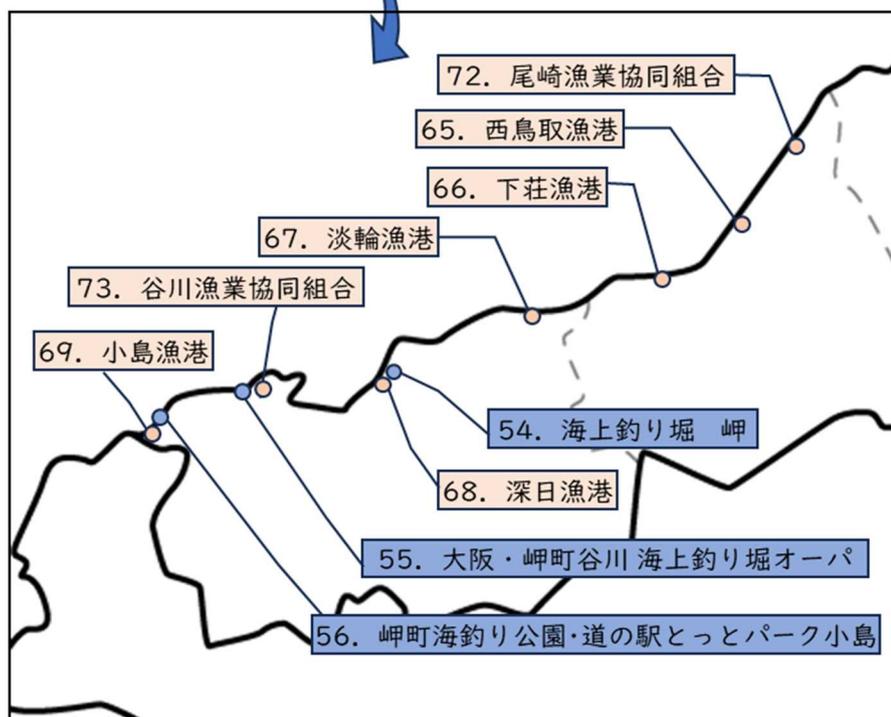
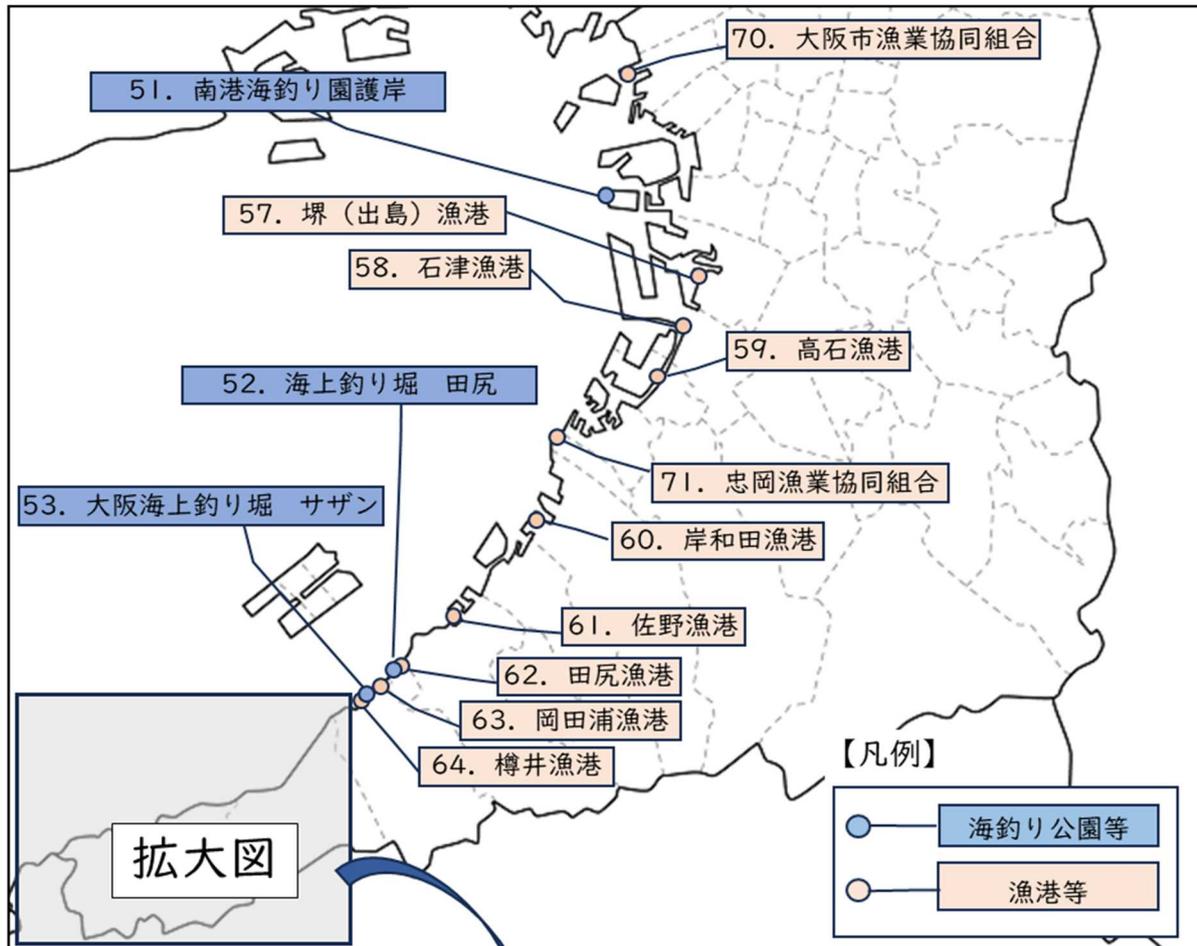
③干潟／④河川敷等



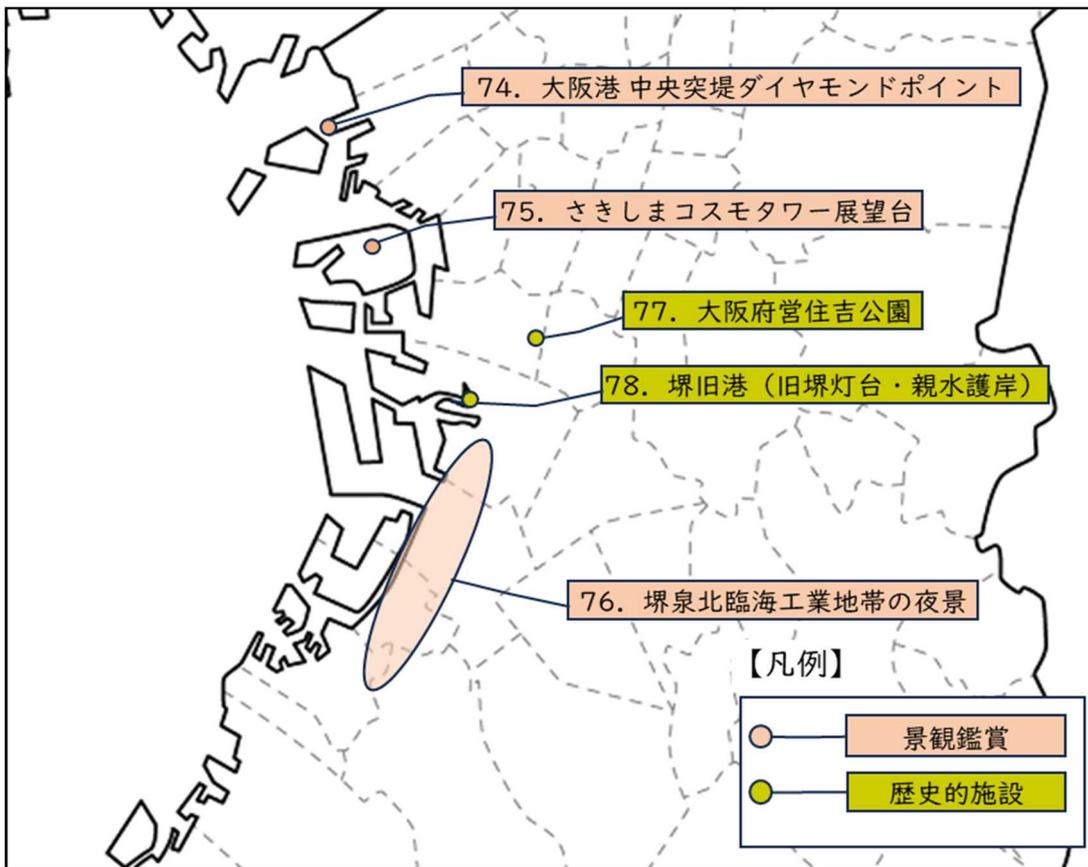
⑤環境学習・海洋体験等施設



⑥海釣り公園等/⑦漁港等



⑧景観鑑賞/⑨歴史的施設



### (3) 活動候補場所の概要

「(1) 候補場所一覧」で示した海浜公園や海岸・自然海浜等の各施設、場所の概要をまとめましたので、活動場所選定の参考にしてください。なお、実際の活動に際しては、以下の安全管理の対応例を参考に、十分に安全を確保して実施してください。

#### <安全管理の対応例>

- 海辺や干潟等で活動する場合は、陥没箇所や軟弱箇所、滑りやすい箇所、転落の危険のある箇所等の有無について事前に調査し、参加者が立ち入ることの無いよう措置を行う。
- 強風により波が高くなると予測される際には、海辺には近づかない。
- 河川で活動する場合は、悪天候時など出水による危険が予測される時には河川に入らない。
- 船や栈橋、堤防等、水中への転落の可能性がある場合は、必ずライフジャケットを着用する。
- 水辺での活動の場合は、小学生以下など年少者は保護者と一緒に参加し安全を確保する。
- 活動予定場所で遭遇する可能性のある危険生物について、注意喚起を行い、万一被害にあった場合の応急処置について確認する。  
(マムシ/スズメバチ/セアカゴケグモ/カミツキガメ/マダニ 等)
- 事故等の発生時の対応フローをすぐに確認できる場所に掲示する。
- 万一の事故発生に備え、参加者についてボランティア・市民活動行事保険等に加入する。

## ①海浜公園

### 1.舞洲緑地／舞洲緑道

所在地	大阪市此花区北港緑地 2 丁目
活動内容（例）	自然観察、海辺の散策
環境資源等の状況	人工磯（延長約 1 km）／人工緑地 近隣にネモフィラが広範囲に咲く緑地や宿泊施設などのレジャー施設 の他、スポーツ施設などが多数立地
アクセス	電車 JRゆめ咲線「桜島駅」から北港観光バス「舞洲アクティブバス」、 又は大阪メトロ「コスモスクエア駅」から北港観光バス「コスモドリームライン」で「舞洲緑地前」下車すぐ（舞洲緑道は北約 1km） 自動車（最寄り主要幹線道路） 阪神高速湾岸線「湾岸舞洲」出口
利用上の留意事項等	立ち入り自由



（最寄り駅との位置関係：地理院地図を元に作成）

### 2.大阪北港マリーナ

所在地	大阪市此花区常吉 2-13-18
活動内容（例）	海洋レジャー、海辺の散策、夕日鑑賞
環境資源等の状況	アップサイクルをテーマとした遊具など、海辺の環境から未来への想像力を育むことを意図してデザインされた公園 ヨットハーバーなど海洋レジャー施設 隣接地に海浜緑地（常吉西臨港緑地）
アクセス	電車 JR「大阪駅」「西九条駅」から市バス「59 系統 北港ヨットハーバー行き」で「北港ヨットハーバー」下車すぐ 自動車（最寄り主要幹線道路） 阪神高速湾岸線「湾岸舞洲」出口
利用上の留意事項等	遊具エリアは入場無料（開場 11:00(最終入場 17:00)）
問い合わせ先	大阪北港マリーナ TEL：06-4400-5194
Web サイト URL	<a href="https://www.hokkomarina.com/">https://www.hokkomarina.com/</a> <a href="https://hull.jp/park/">https://hull.jp/park/</a>



(最寄駅との位置関係：地理院地図を元に作成)



アップサイクルをテーマに、使われなくなった古いパレットやタイヤ、木の端材など普段使われなくなった物を利用して作られた 遊具

(出典：大阪北港マリーナ HULL HP)

### 3.浜寺公園

所在地	堺市西区浜寺公園町
活動内容（例）	自然観察、水辺の散策
環境資源等の状況	敷地面積約75ha 堺泉北港浜寺水路（大阪湾生き物一斉調査地点）に隣接 松林（日本の名松100選）
アクセス	電車 南海本線「浜寺公園駅」、阪堺電軌阪堺線「浜寺駅前駅」すぐ JR羽衣線「東羽衣駅」から北西へ450m 自動車（最寄り主要幹線道路） 阪神高速湾岸線「浜寺」、「高石」出口 第二阪和国道「浜寺南町4丁」交差点
利用上の留意事項等	管理事務所開所時間 9時～17時45分 駐車場有（有料）
問い合わせ先	浜寺公園管理事務所 TEL：072-261-0936
Web サイト URL	<a href="https://hamadera.osaka-park.or.jp/">https://hamadera.osaka-park.or.jp/</a>



公園内松林（出典：浜寺公園 HP）



浜寺水路沿い園路（出典：浜寺公園 HP）



隣接する浜寺水路（出典：大阪湾  
生き物一斉調査 情報公開サイト）

#### 4.二色の浜公園（BLUE PARK）

所在地	貝塚市澤 859-1
活動内容（例）	生物観察、海浜レジャー
環境資源等の状況	砂浜、景観
アクセス	電車 南海本線「二色浜駅」から西へ約 1,000 メートル 自動車（最寄り主要幹線道路） 府道 29 号 臨海線「臨海 二色の浜」交差点 阪神高速湾岸線「貝塚」出口
利用上の留意事項等	入場料：砂浜、海浜緑地エリアは無料 駐車場有（有料）
問い合わせ先	二色の浜公園管理事務所 TEL：072-422-0442 株式会社二色の浜観光協会 TEL：072-432-3022
Web サイト URL	<a href="https://nishikinohama-park.com/">https://nishikinohama-park.com/</a> <a href="https://nishikinohama.osaka.jp/">https://nishikinohama.osaka.jp/</a>



潮干狩り（出典：(株)二色の浜観光協会 HP）



海水浴場と海上ウォーターパーク



水上バイク



スケートパーク



Day キャンプ場

（写真提供：二色の浜公園管理事務所）



(二色浜駅との位置関係：地理院地図を元に作成)

## 5.りんくう公園

所在地	泉佐野市りんくう往来北 1-271
活動内容(例)	浜遊び、海浜散策、エコツアー
環境資源等の状況	人工干潟／白い玉石を敷詰めた海岸(マープルビーチ)／海沿い遊歩道 景観：夕陽百選、関西国際空港
アクセス	電車 南海空港線「りんくうタウン駅」から北西へ 250m JR 関西空港線「りんくうタウン駅」から北西へ 250m 自動車(最寄り主要幹線道路) 阪神高速湾岸線「泉佐野南」出口 第二阪和国道「関西空港口」交差点 近畿道・阪和道→関西空港自動車道「泉佐野」出口
利用上の留意事項等	自由に立入り可能 駐車場有(有料)
問い合わせ先	りんくう公園 公園管理事務所 TEL：072-469-7717
Web サイト URL	<a href="https://rinku.osaka-park.or.jp/">https://rinku.osaka-park.or.jp/</a>



公園内人工干潟



白い玉石を敷詰めた海岸（マーブルビーチ）

## 6. 泉南りんくう公園（SENNAN LONG PARK）

所在地	大阪府泉南市りんくう南浜 2-201
活動内容（例）	浜遊び、海浜散策、エコツアー
環境資源等の状況	人工砂浜／白い玉石を敷詰めた海岸（マーブルビーチ）／海沿い遊歩道 グランピング施設／アスレチック施設など各種レジャー施設
アクセス	電車 南海本線「樽井駅」から北 700m 自動車（最寄り主要幹線道路） 阪神高速湾岸線「泉佐野南」出口 阪和自動車道「泉南」出口 第二阪和国道「幡代北」交差点
利用上の留意事項等	公園全体は年中無休（24 時間営業） 駐車場有（有料） 団体での利用は事前に公園事務所まで連絡が必要
問い合わせ先	公園事務所 TEL：072-479-5317
Web サイト URL	<a href="https://sennanlongpark.com/">https://sennanlongpark.com/</a>



グランピング施設（左）とマーブルビーチ（右） アスレチック施設（手前）と人工砂浜（奥）  
（出典：泉南りんくう公園 HP）



(樽井駅からの徒歩ルート：地理院地図を元に作成)

## 7.せんなん里海公園

所在地	泉南郡岬町淡輪地先
活動内容(例)	体験型学習、生物観察、海浜レジャー
環境資源等の状況	学習ルーム(生物や学習資料の展示) 隣接地の人工磯浜・砂浜海水浴場(2か所) 海岸植物
アクセス	電車 南海本線「箱作駅」から西1,300m 「淡輪駅」から北東約750m 自動車(最寄り主要幹線道路) 第二阪和国道「箱作」、「箱の浦」、「淡輪」ランプ
利用上の留意事項等	入場料：無料 駐車場：有(有料) 利用可能時間等は、公式Webサイトで確認
問い合わせ先	せんなん里海公園 管理事務所 TEL：072-494-2626
WebサイトURL	<a href="https://www.osaka-park.or.jp/rinkai/sennan/main.html">https://www.osaka-park.or.jp/rinkai/sennan/main.html</a>



公園に隣接する人工磯浜



敷地内の学習施設「しおさい楽習館」



(淡輪駅からの徒歩ルート：地理院地図を元に作成)

## ②海岸・自然海浜

### 8.堺 2 区海岸（生物共生型護岸）

所在地	堺市堺区築港八幡町、匠町
活動内容（例）	生物観察会（大阪湾生き物一斉調査地点） 清掃美化活動
環境資源等の状況	H21 に設置された人工の生物共生型護岸 （「緩傾斜護岸型」・「漁礁ブロック型」・「干潟型」） 貝類・フジツボ類の磯浜生物、鳥類、魚類
アクセス	電車 南海本線「堺駅」から北西 4.3km 又は、同駅から南海バス「北循環線」「J グリーン堺線」に乗車し、「J グリーン堺南口」「堺浜」で下車 自動車（最寄り主要幹線道路） 阪神高速湾岸線「三宝」出口



生物調査の様子



採取した生き物

(出典：大阪湾生き物一斉調査 情報公開サイト)

## 9.堺浜自然再生ふれあいビーチ

所在地	堺市堺区築港八幡町地先
活動内容（例）	生物観察会（大阪湾生き物一斉調査地点） 清掃美化活動（アドプト・シーサイド・プログラム）
環境資源等の状況	人工砂浜：延長約 160m、幅約 30～40mで、面積約 5,000 m <sup>2</sup>
アクセス	電車 南海本線「堺駅」から北西 4.3km 又は、同駅から南海バス「北循環線」「J グリーン堺線」に乗車し、「Jグリーン堺南口」「堺浜」で下車 自動車（最寄り主要幹線道路） 阪神高速湾岸線「三宝」出口
利用上の留意事項等	臨海部の生物多様性の保全、再生に向けた「実験」の場のため以下の利用の際のルールあり <ul style="list-style-type: none"> <li>・魚介類や植物などの採取や持ち込み禁止</li> <li>・遊泳や釣り禁止</li> <li>・火気の使用（バーベキュー、花火等）禁止</li> <li>・ゴミ、空き缶等の持ち帰り</li> <li>・禁煙</li> <li>・周囲に危害を及ぼしたり、迷惑となる行為禁止（落書き、騒音等）</li> <li>・砂浜を荒らすような行為禁止（車両の乗り入れ等）</li> </ul>
問い合わせ先	堺市 建築都市局 都心未来創造部 ベイエリア推進担当 TEL：072-228-8033
Web サイト URL	<a href="https://www.city.sakai.lg.jp/shisei/toshi/rinkai/hureaibi-ti.html">https://www.city.sakai.lg.jp/shisei/toshi/rinkai/hureaibi-ti.html</a>



（出典：堺市 HP）



（出典：堺市 HP）（アドプト・シーサイド・堺浜自然再生ふれあいビーチ（堺浜マイクロプラスチックカフェ）写真提供）



(堺駅からのアクセス：地理院地図を元に作成)

### コラム：アドプト・シーサイド・プログラム

大阪府アドプト・シーサイド・プログラムは、住民の皆さんが海岸や港湾をわが子のように大切に思い、美化活動を継続して実施していくというもので、大阪府と協定を結んだ地元自治会や市民グループなどの団体が自主的かつ継続的に海岸や港湾の一定区間の美化活動を行い、地域に愛されるきれいな海岸・港湾環境の保全に取り組むものです。

令和6年6月現在で、前記の「堺浜自然再生ふれあいビーチ」などの海岸で28の団体が本プログラムに参加しています。

【大阪府アドプト・シーサイド・プログラムHP】

<https://www.pref.osaka.lg.jp/kowan/fuminkyodo-kikikanri/adoptseaside.html>

## コラム：大阪湾生き物一斉調査

「大阪湾生き物一斉調査」は、大学・市民団体・国および地方自治体等で構成する「大阪湾環境再生連絡会」が大阪湾の沿岸で活動する団体の協力を得て、大阪湾内の各地の生き物を一斉に調査する取り組みです。

平成20年5～7月に15地域において467名が参加して第1回調査が実施され、以降、毎年春季に調査が実施されています。

これまでの調査結果は、大阪湾各地の水環境を把握する基礎資料にするため、大阪湾生き物一斉調査情報公開サイトで公開されています。



大阪湾生き物一斉調査の調査地点（出典：大阪湾生き物一斉調査 情報公開サイト）

【大阪湾生き物一斉調査情報公開サイト HP】

<http://kouwan.pa.kkr.mlit.go.jp/kankyo-db/life/>

## 10. 諏訪ノ森海岸

所在地	堺市堺区
活動内容（例）	生物観察会（大阪湾生き物一斉調査地点） 清掃美化活動（アドプト・シーサイド・プログラム）
環境資源等の状況	貝類・フジツボ類の磯浜生物
アクセス	電車 南海本線「諏訪ノ森駅」から北西約 1.3km 自動車（最寄り主要幹線道路） 阪神高速湾岸線「石津」「浜寺」出口



海岸の様子 観察した生物（タテジマフジツボ）  
（出典：大阪湾生き物一斉調査 情報公開サイト）



（諏訪ノ森駅からの徒歩ルート：地理院地図を元に作成）

## 11. 高師浜

所在地	高石市
活動内容（例）	生物観察会（大阪湾生き物一斉調査地点） 清掃美化活動
環境資源等の状況	貝類・フジツボ類の磯浜生物
アクセス	電車 南海高師浜線「高師浜駅」から北 550m 自動車（最寄り主要幹線道路） 阪神高速湾岸線「浜寺」「高石」出口



観察の様子



観察した生き物

(出典：大阪湾生き物一斉調査 情報公開サイト)



(高師浜駅との位置関係：地理院地図を元に作成)

## 12.尾崎漁港西浜

所在地	阪南市尾崎町
活動内容(例)	生物観察会(大阪湾生き物一斉調査地点) 清掃美化活動(アドプト・シーサイド・プログラム)
環境資源等の状況	貝類などの磯浜生物
アクセス	電車 南海本線「尾崎駅」から北西350m 自動車(最寄り主要幹線道路) 阪和自動車道「阪南」出口 第二阪和国道「石田」ランプ



尾崎漁港西浜

### 13.尾崎海岸

所在地	阪南市新町
活動内容（例）	生物観察会（大阪湾生き物一斉調査地点） 清掃美化活動（アドプト・シーサイド・プログラム）
環境資源等の状況	貝類などの磯浜生物
アクセス	電車 南海本線「尾崎駅」から南西 750m 自動車（最寄り主要幹線道路） 阪和自動車道「阪南」出口 第二阪和国道「石田」ランプ



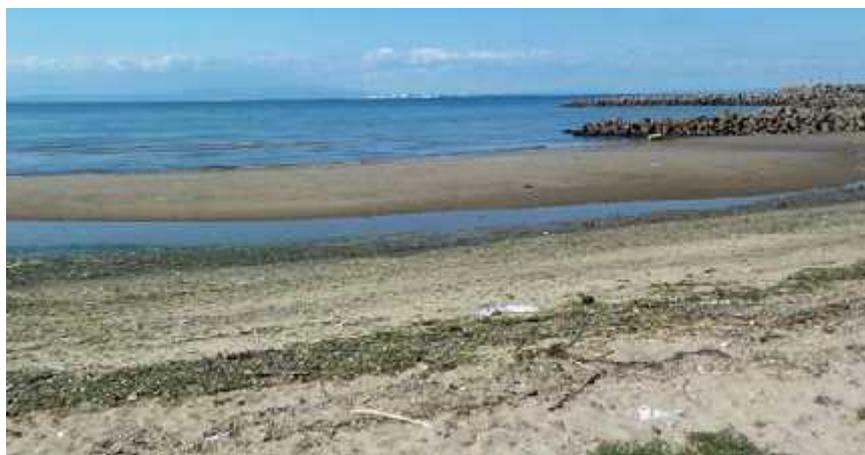
尾崎海岸



海岸への入口

### 14.波有手（ぼうで）海岸（ハマボウフウの浜）

所在地	阪南市鳥取
活動内容（例）	生物観察会（大阪湾生き物一斉調査地点） 清掃美化活動（アドプト・シーサイド・プログラム）
環境資源等の状況	貝類などの磯浜生物、ウミホタル 海岸植物（ハマボウフウ、ハマヒルガオ、グンバイヒルガオ）
アクセス	電車 南海本線「鳥取ノ荘駅」から北西 370m 自動車（最寄り主要幹線道路） 阪和自動車道「阪南」出口 第二阪和国道「貝掛」ランプ



波有手（ぼうで）海岸（ハマボウフウの浜）（写真提供：自然と本の会）



ハマボウフウの花（左）とハマボウフウ群生地の看板（右）（写真提供：自然と本の会）



ウミホタル

（写真提供：自然と本の会）



海岸への入口

### コラム：波有手（ぼうで）海岸（ハマボウフウの浜）のグンバイヒルガオ

2016年10月の自然と本の会（P133参照）の海岸清掃時に、亜熱帯植物グンバイヒルガオの葉だけの個体が確認されました。翌2017年8月に開花を確認し、大阪市立自然史博物館の学芸員、横川昌史氏が調査した結果、大阪府で初めての越年、定着であることが判明しました。



グンバイヒルガオの開花

## 15.西鳥取海岸

所在地	阪南市貝掛
活動内容（例）	生物観察会（大阪湾生き物一斉調査地点） 清掃美化活動（アドプト・シーサイド・プログラム）
環境資源等の状況	貝類などの磯浜生物
アクセス	電車 南海本線「鳥取ノ荘駅」から西 550m 自動車（最寄り主要幹線道路） 阪和自動車道「阪南」出口 第二阪和国道「貝掛」ランプ



西鳥取海岸（満潮時）

## 16.箱作（自然）海岸

所在地	阪南市箱作
活動内容（例）	生物観察会（大阪湾生き物一斉調査地点） 清掃美化活動（アドプト・シーサイド・プログラム）
環境資源等の状況	陸側まで続く自然海岸 貝類などの磯浜生物 紀貫之「土佐日記」に当時の箱作の海についての記述
アクセス	電車 南海本線「箱作駅」から西 850m 自動車（最寄り主要幹線道路） 阪和自動車道「阪南」出口 第二阪和国道「箱作」ランプ



箱作（自然）海岸の様子



箱作海岸での清掃活動（写真提供：自然と本の会）



（阪南市の海岸と最寄駅の位置関係：地理院地図を元に作成）

## 17.長松自然海浜保全地区

所在地	岬町淡輪、深日
活動内容（例）	生物観察会（大阪湾生き物一斉調査地点） 清掃美化活動
環境資源等の状況	自然景観 自然海浜保全地区：約 8.7ha 自然海岸（岩礁）：延長約 850m 貝類などの磯浜生物
アクセス	電車 南海本線「みさき公園駅」から北 900m 自動車（最寄り主要幹線道路） 第二阪和国道「淡輪」ランプ
利用上の留意事項等	満潮時は海岸が水面下となるため、活動に際しては干潮時に計画する必要がある。
Web サイト URL	<a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/kankyohozen/osaka-wan/shizenkaihin.html">https://www.pref.osaka.lg.jp/kankyohozen/osaka-wan/shizenkaihin.html</a>



（みさき公園駅からの徒歩ルート：地理院地図を元に作成）



長松自然海浜保全地区  
(出典：大阪府 HP)



長松自然海浜保全地区での清掃活動  
(出典：岬町 HP)

### 18.小島自然海浜保全地区

所在地	岬町多奈川小島
活動内容(例)	生物観察会(大阪湾生き物一斉調査地点) 清掃美化活動(アドプト・シーサイド・プログラム)
環境資源等の状況	自然景観 自然海浜保全地区：約 13ha 自然海岸(岩礁、崖)：延長 1,320m 生物：貝類などの磯浜生物 近くに天然記念物「岬住吉神社のうばめがし社叢」
アクセス	電車 南海多奈川線「多奈川駅」から西 4km 又は、南海本線「みさき公園駅」から岬町コミュニティバス基本路線で「小島自然海浜」下車 自動車(最寄り主要幹線道路) 第二阪和国道「淡輪」「深日」ランプ
利用上の留意事項等	「現在、小島自然海浜保全地区において、崖崩れが発生し、通行不可となっている箇所があります。危険なため、近づかないでください。(大阪府 HP より)」
Web サイト URL	<a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/kankyohozen/osaka-wan/shizenkaihin.html">https://www.pref.osaka.lg.jp/kankyohozen/osaka-wan/shizenkaihin.html</a>



(多奈川駅からのアクセス：地理院地図を元に作成)



小島自然海浜保全地区



現地看板（左：落石注意 右：生物）

### ③干潟

干潟は、河口や海岸線に沿ったところで水深が浅いため、潮の満ち引きで水面下になったり、一時的に陸地化したりする場所で、多くの生物の生息場所となっています。大阪府内では、淀川の汽水域のほか、大阪湾沿岸には「自然環境保全基礎調査」で確認されたものや「大阪湾生き物一斉調査」の調査地点など、主なもので19か所の干潟が確認されています。干潟では、主に水生生物や鳥類などの生物観察会を行うことができます。

#### 【干潟での活動に際しては、下記の内容等に留意する必要があります。】

- ・足元や服装が汚れることが想定されるため、着替えの準備や更衣場所を確保する。
- ・活動日時は、干潟での活動が容易になるよう干潮時に設定する。
- ・悪天候による増水や泥の深いところに注意し、特に出水時など危険が予測される時には川や干潟に入らない。
- ・年少者は保護者が同伴し安全を確保する。
- ・当日、悪天候になった場合の代替案（屋内施設の確保／中止）を検討する。

#### 19.神崎川河口（矢倉海岸干潟）

所在地	大阪市西淀川区西島
活動内容（例）	生物観察会（大阪湾生き物一斉調査地点）
環境資源等の状況	干潟に生息する貝類、カニ類、フジツボ類、植物 飛来する鳥類
アクセス	電車 阪神なんば線「福駅」から西南西へ3.3km 自動車（最寄り主要幹線道路） 阪神高速湾岸線「中島」「尼崎東海岸」出口 阪神高速神戸線「大和田」出口



（最寄駅との位置関係：地理院地図を元に作成）



生物観察会の様子（出典：大阪湾生き物一斉調査 情報公開サイト）

## 20.淀川汽水域干潟（柴島、十三、大淀、花川、海老江、十三大橋下、中津のヨシ原）

所在地	大阪市東淀川区、淀川区、北区、西淀川区、福島区の淀川河川敷
活動内容（例）	生物観察会
環境資源等の状況	カニ・エビ類：アシハラガニ、クロベンケイガニ、ヤマトオサガニ、 テナガエビ、ユビナガスジエビ等 貝類：ヤマトシジミ、カワザンショウガイ、イシマキガイ等 鳥類：シギ・チドリ類等 魚類：ボラ、ハゼ類、スズキ等 植物：ヨシ、ウラギク、シオクグ、スジアオノリ
アクセス	柴島：阪急電車「南方駅」から南東へ約 1km～1.5km 大阪メトロ「西中島南方駅」から南東へ約 1km～1.5km 十三：阪急電車「十三駅」から南東へ約 500m～1km 大淀：阪急電車「十三駅」から西北西へ約 1km～1.5km 花川：JR「塚本駅」から南東へ約 400m～800m 海老江：阪神電車「淀川駅」から北東へ約 200m 十三大橋下：阪急電車「中津駅」から北西へ約 600m 中津のヨシ原：阪急電車「中津駅」から北へ約 500m～1km
問い合わせ先	国土交通省 近畿地方整備局 淀川河川事務所 TEL：072-843-2861
Web サイト URL	<a href="https://www.kkr.mlit.go.jp/yodogawa/activity/environment/index.html">https://www.kkr.mlit.go.jp/yodogawa/activity/environment/index.html</a>



十三干潟での生物観察（出典：大阪市淀川区 HP）



(出典：国土交通省 近畿地方整備局 淀川河川事務所 HP (淀川の干潟にいてみよう!))

## 21.野鳥園臨港緑地 (干潟)

所在地	大阪市住之江区南港北 3-5-30
活動内容 (例)	野鳥などの生物観察会 / 自然に親しみ学ぶ場
環境資源等の状況	施設面積 19.3ha (湿地部 12.8ha 緑地部 6.5ha) 観察可能な野鳥：年間を通じて約 150 種
アクセス	電車 大阪メトロ南港ポートタウン線「トレードセンター前駅」3番出口から西へ 1,100m 自動車 (最寄り主要幹線道路) 阪神高速湾岸線「南港北」「南港南」出口
利用上の留意事項等	開園時間：午前9時から午後5時 休園日：毎週水曜日 (祝日の場合は利用可能。ただし元日を除く)、 元日1月1日 入場料：無料 駐車場：バス2台 普通車20台駐車可 (無料)
問い合わせ先	大阪港湾局 計画整備部 施設管理課 緑地管理グループ TEL：06-6572-4050
Web サイト URL	<a href="http://www.osaka-nankou-bird-sanctuary.com/">http://www.osaka-nankou-bird-sanctuary.com/</a>



(出典：大阪南港野鳥園 HP)



（トレードセンター前駅からの徒歩ルート：地理院地図を元に作成）

## 22.大和川河口干潟

所在地	大阪市住之江区、堺市堺区
アクセス	電車 大阪メトロ南港ポートタウン線「平林駅」から南へ 500m 南海本線「七道駅」から北へ 700m 自動車（最寄り主要幹線道路） 阪神高速堺線「住之江」、湾岸線「三宝」出口



（最寄り駅との位置関係：地理院地図を元に作成）

## 23.大津川河口干潟

所在地	泉大津市河原町・汐見町、忠岡町忠岡北
活動内容（例）	生物観察会（大阪湾生き物一斉調査地点）
アクセス	電車 南海本線「泉大津駅」から南西へ 1,600m 「忠岡駅」から北西へ 1,200m 自動車（最寄り主要幹線道路） 阪神高速湾岸線「泉大津」、「岸和田北」出口



（最寄駅との位置関係：地理院地図を元に作成）

## 24.津田川河口干潟

所在地	貝塚市港、津田北町
活動内容（例）	生物観察会（大阪湾生き物一斉調査地点）
アクセス	電車 南海本線「貝塚駅」から北 1.5km、「蛸地蔵駅」から西 1.3km 自動車（最寄り主要幹線道路） 阪神高速湾岸線「岸和田南」、「貝塚」出口



(最寄駅との位置関係：地理院地図を元に作成)

## 25.近木川河口干潟

所在地	貝塚市澤、貝塚市脇浜
活動内容(例)	生物観察会(大阪湾生き物一斉調査地点)
アクセス	電車 南海本線「二色浜駅」から北西 1.5km 自動車(最寄り主要幹線道路) 阪神高速湾岸線「貝塚」出口



調査場所(左)と調査(右)の様子(出典：大阪湾生き物一斉調査 情報公開サイト)



(二色浜駅との位置関係：地理院地図を元に作成)

## 26. 樫井川河口干潟

所在地	泉南市岡田
活動内容(例)	生物観察会(大阪湾生き物一斉調査地点)
アクセス	電車 南海本線「吉見ノ里駅」から北西 1.4km 「岡田浦駅」から北 1km 自動車(最寄り主要幹線道路) 第二阪和国道「大苗代西」交差点



(最寄り駅との位置関係：地理院地図を元に作成)



調査場所（左）と調査の様子（右）（出典：大阪湾生き物一斉調査 情報公開サイト）

## 27.男里川河口干潟

所在地	阪南市尾崎町、泉南市男里
活動内容（例）	生物観察会（大阪湾生き物一斉調査地点）
環境資源等の状況	河口自然干潟（5.2ha） カニ類（ハクセンシオマネキなど）や水鳥、海浜性植物など
アクセス	電車 南海本線「樽井駅」から北西 1.2km 又は、南海本線「樽井駅」からコミュニティバス南方面回り「温水プール前」下車すぐ 自動車（最寄り主要幹線道路） 阪和自動車道「泉南」出口
利用上の留意事項等	周辺に駐車場無し
問い合わせ先	泉南市成長戦略室プロモーション戦略課 TEL：072-447-8811
Web サイト URL	<a href="https://welcome-sennan.com/tourist-spots/onosato-higata">https://welcome-sennan.com/tourist-spots/onosato-higata</a>



（樽井駅からの徒歩ルート：地理院地図を元に作成）



男里川河口干潟



干潟での生き物探し

## 28.尾崎前浜干潟

所在地	阪南市尾崎町
アクセス	電車 南海本線「尾崎駅」から北東 1.8km 自動車（最寄り主要幹線道路） 阪和自動車道「阪南」出口



（尾崎駅との位置関係：地理院地図を元に作成）

### 29.下荘前浜干潟

所在地	阪南市箱作
アクセス	電車 南海本線「箱作駅」から北西 370m 自動車（最寄り主要幹線道路） 第二阪和国道「箱作」ランプ



(箱作駅との位置関係：地理院地図を元に作成)

### 30.深日干潟

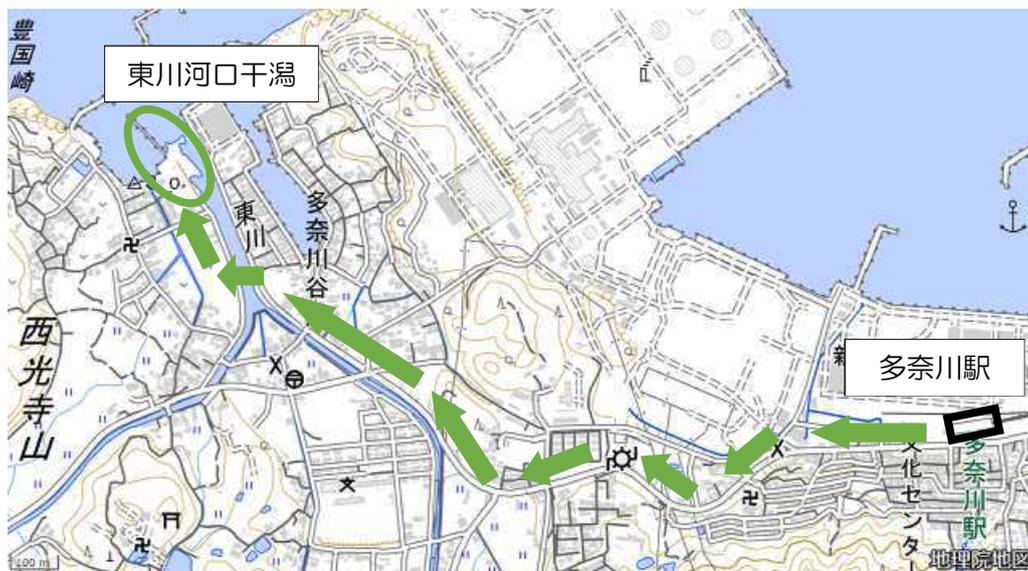
所在地	泉南郡岬町深日
活動内容（例）	生物観察会（大阪湾生き物一斉調査地点）
アクセス	電車 南海本線「みさき公園駅」から徒歩 20 分 ※活動する際には深日漁業協同組合（072-492-2052）へ事前に連絡する必要がある ※駐車場がないため、自家用車でのアクセスは不可



(みさき公園駅との位置関係：地理院地図を元に作成)

### 31.東川河口干潟

所在地	岬町多奈川谷川
活動内容（例）	生物観察会（大阪湾生き物一斉調査地点）
アクセス	電車 南海多奈川線「多奈川駅」から西北西 2km 又は、南海本線「みさき公園駅」から岬町コミュニティバス基本 路線で「谷川」下車、北 500m 自動車（最寄り主要幹線道路） 第二阪和国道「淡輪」「深日」ランプ



（多奈川駅との位置関係：地理院地図を元に作成）

#### ④河川敷等

##### 32.淀川城北ワンド

所在地	大阪市旭区赤川・生江
活動内容（例）	生物観察会、清掃活動、生態系保全活動（外来種の駆除等）
環境資源等の状況	魚類（イタセンパラ、オイカワ、ヨドゼゼラ他）、水生昆虫、貝類、鳥類、水生植物
アクセス	電車 JR おおさか東線「城北公園通駅」から北東 1km 大阪メトロ谷町線「千林大宮駅」から北西 1.7km 自動車（最寄り主要幹線道路） 阪神高速守口線「城北」出口 駐車場無
利用上の留意事項等	活動内容によっては河川管理者との事前調整が必要 悪天候による増水に注意が要 イタセンパラは天然記念物のため、捕獲等は禁止されている。
問い合わせ先	国土交通省 近畿地方整備局 淀川河川事務所 TEL：072-843-2861
Web サイト URL	<a href="https://www.kkr.mlit.go.jp/yodogawa/activity/environment/index.html">https://www.kkr.mlit.go.jp/yodogawa/activity/environment/index.html</a>



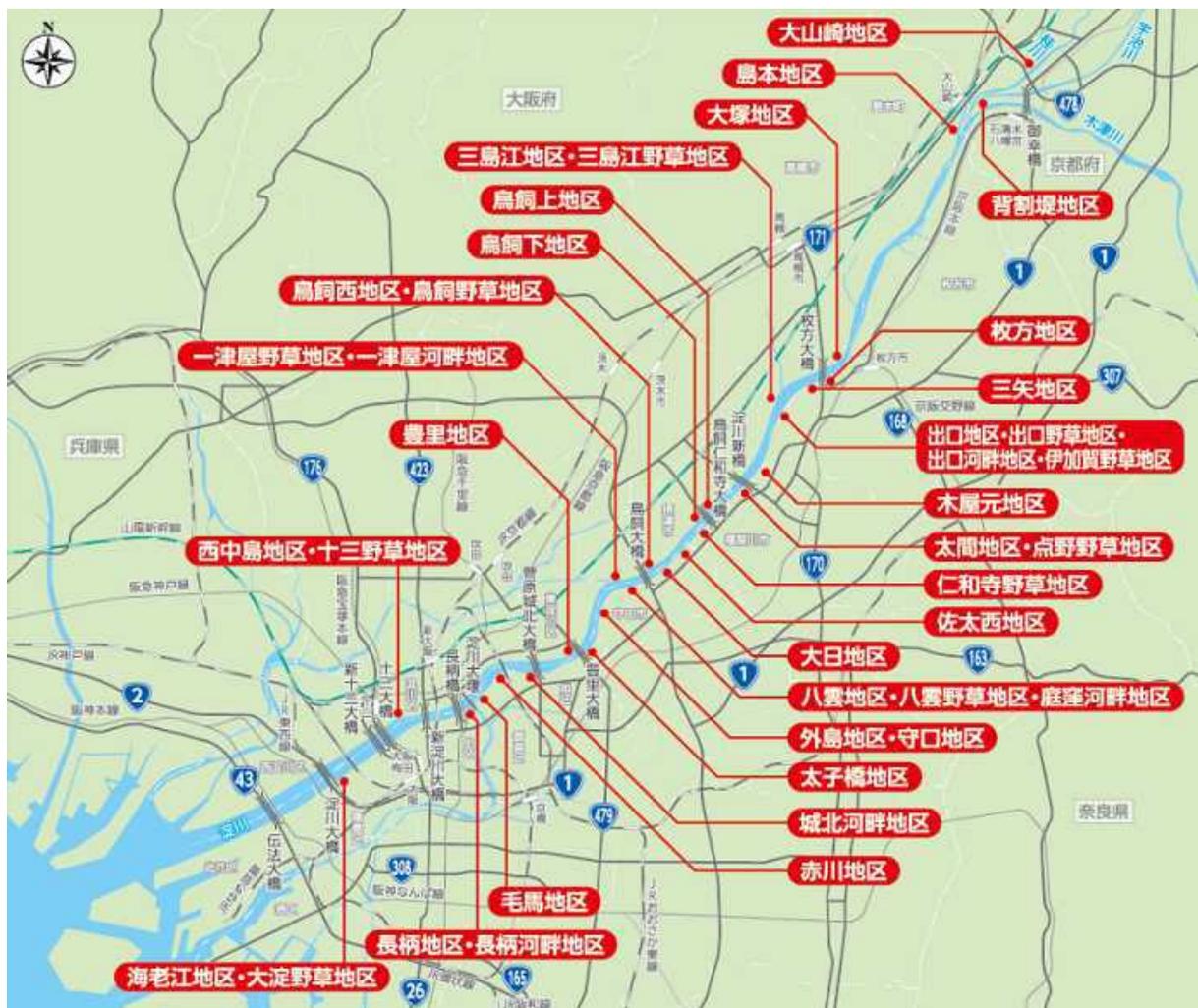
（最寄駅からのアクセス：地理院地図を元に作成）



（出典：国土交通省 近畿地方整備局 淀川河川事務所 HP（淀川のワンドについてみよう!））

### 33.淀川河川公園（西中島地区・十三野草地区等大阪府内 38 地区）

所在地	大阪市から島本町の淀川の河川沿い
活動内容（例）	水辺の自然・生物観察、レクリエーション、清掃美化活動、フリー体験プログラム
環境資源等の状況	魚類、水生生物、水辺の植物、鳥類 広場・緑地・水辺
アクセス	電車 JR 京都線・阪急京都線・京阪本線等の各駅 自動車 地区により駐車場有
利用上の留意事項等	詳細は、下記公式 Web サイト参照
問い合わせ先	淀川河川公園 守口サービスセンター TEL：06-6994-0006
Web サイト URL	<a href="https://www.yodogawa-park.jp/">https://www.yodogawa-park.jp/</a>



（出典：淀川河川公園 HP）



水辺の自然観察



野鳥観察



清掃美化活動



フリー体験プログラム

(写真提供：淀川河川公園)

### 34.大川（大阪ふれあいの水辺）

所在地	大阪市都島区中野町4丁目地先
活動内容（例）	水辺アクティビティ （カヌー、SUP、水遊び、ビーチスポーツ、ヨガ等） 環境学習会（水辺の動植物の観察等）
環境資源等の状況	「砂浜ゾーン」：幅約140m、奥行き約30mの人工砂浜 「自然再生ゾーン」：栗石の配置、ヨシの植栽により生物の生息環境を確保
アクセス	電車 JR環状線「桜ノ宮駅」から南へ250m 自動車（最寄り主要幹線道路） 阪神高速守口線「長柄」出口
利用上の留意事項等（砂浜ゾーン）	利用時間：午前8時から午後6時まで （6月から9月は午前8時から午後8時まで） 誰もが自由に使うことができる水辺空間 イベント等による利用の場合の詳細は、下記Webサイト参照
問い合わせ先	大阪府西大阪治水事務所 水都再生課 TEL：06-6541-7772
WebサイトURL	<a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/nishiosaka/shore/shore-oriver.html">https://www.pref.osaka.lg.jp/nishiosaka/shore/shore-oriver.html</a>



(桜ノ宮駅との位置関係：地理院地図を元に作成)



砂浜ゾーン（愛称：桜ノ宮ビーチ）



自然再生ゾーン

(出典：大阪府 HP (大阪ふれあいの水辺))

### 35.大和川下流部河川敷・浅瀬

所在地	大阪市住吉区山之内・杉本
活動内容（例）	鳥類・水生生物等の観察会、清掃美化活動
アクセス	電車 JR 阪和線「杉本町駅」から南へ 800m 自動車（最寄り主要幹線道路） 阪神高速堺線「住之江」出口 阪神高速大和川線「常盤」出口
利用上の留意事項等	活動内容によっては河川管理者との事前調整が必要 悪天候による増水に注意が必要
問い合わせ先	国土交通省 近畿地方整備局 大和川河川事務所 TEL：072-971-1381
Web サイト URL	<a href="https://www.kkr.mlit.go.jp/yamato/index.php">https://www.kkr.mlit.go.jp/yamato/index.php</a>



(杉本町駅からの徒歩ルート：地理院地図を元に作成)



大和川下流部河川敷・浅瀬

## ⑤環境学習・海洋体験等施設

### 36.高槻市立自然博物館（あくあびあ芥川）

所在地	高槻市南平台5丁目59番1号
活動内容（例）	淀川につながる芥川に生息する魚類、両生類、爬虫類等の展示 高槻市の自然・動植物をテーマにした展示 フィールドワーク、体験イベント、学校等との連携 等
アクセス	電車 JR「高槻駅」から市営バス JR 高槻駅北のりば5番「68系統 平安女学院大学東・70系統関西大学(平安女学院大学経由)」行 き(乗車時間 約15分)「南平台小学校前」下車すぐ 自動車（最寄り主要幹線道路） 新名神高速道路「高槻」出口 駐車場有（芥川緑地駐車場：有料）
利用上の留意事項等	下記HP参照
問い合わせ先	高槻市公園課 高槻市立自然博物館（あくあびあ芥川）TEL：072-692-5041
Web サイト URL	<a href="https://www.city.takatsuki.osaka.jp/soshiki/54/4905.html">https://www.city.takatsuki.osaka.jp/soshiki/54/4905.html</a> <a href="http://www.aquapia.net/">http://www.aquapia.net/</a>



生物観察イベントの様子（出典：あくあびあ芥川HP）

### 37.淀川資料館

所在地	枚方市新町2-2-13
活動内容（例）	淀川に住んでいる生物、ワンドやヨシ原についての環境学習
アクセス	電車 京阪本線「枚方市駅」から西へ約600m 自動車（最寄り主要幹線道路） 国道170号線（大阪外環状線）「枚方大橋南詰」IC 駐車場有（普通車3台）
利用上の留意事項等	平日は無人運営ですが、10名以上の事前予約で所要時間30分程度の 見学メニュー有 休館日：第3土曜、第3日曜、祝日、年末年始 詳細は、下記HP参照
問い合わせ先	淀川資料館 TEL：072-846-7131
Web サイト URL	<a href="https://www.kkr.mlit.go.jp/yodogawa/shisetu/yodo-museum/">https://www.kkr.mlit.go.jp/yodogawa/shisetu/yodo-museum/</a>



淀川に住んでいる生物（出典：淀川資料館 HP）

### 38.大阪広域環境施設組合「舞洲工場」

所在地	大阪市此花区北港白津1-2-48
活動内容（例）	ごみ処理工程の見学・環境学習 ウィーンの芸術家「フリーデンスライヒ・フンデルトヴァッサー氏」デザインの外観の見学
アクセス	電車 JRゆめ咲線「桜島駅」から舞洲アクティブバス「環境施設組合前」下車すぐ 自動車（最寄り主要幹線道路） 阪神高速湾岸線「湾岸舞洲」出口
利用上の留意事項等	見学は事前予約制 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校（100人以内）、団体（10人以上）、個人（9人以下）</li> <li>・月曜日～土曜日（祝日、年末年始を除く）</li> <li>・1日3回の時間枠（10時～、13時～、15時～）</li> <li>・各時間枠の最大人数は60名</li> <li>・見学の所要時間は約90分</li> </ul> 事前予約なく自由に見学できるオープンデーあり
問い合わせ先	大阪広域環境施設組合 舞洲工場 TEL：06-6463-4153
Web サイト URL	<a href="https://www.osaka-env-paa.jp/kojo/maishima/">https://www.osaka-env-paa.jp/kojo/maishima/</a>



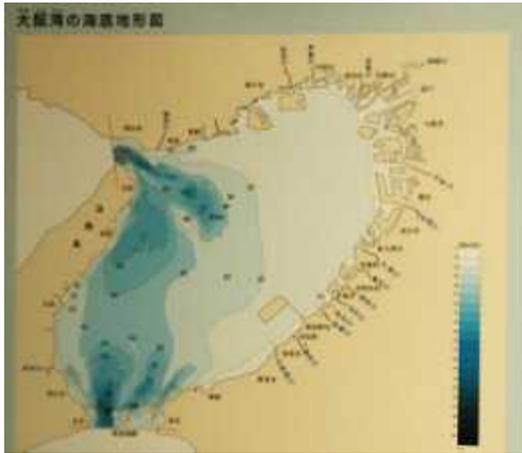
舞洲工場（出典：大阪広域環境施設組合 HP）

### 39.大阪市立自然史博物館

所在地	大阪市東住吉区长居公園 1-23
活動内容(例)	<p>自然観察会等の体験型環境学習会の開催 展示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な自然(第1展示室)</li> <li>・地球と生命の歴史(第2展示室)</li> <li>・生命の進化(第3展示室)</li> <li>・自然のめぐみ(第4展示室)</li> <li>・生物のくらし(第5展示室)</li> </ul>
アクセス	<p>電車 大阪メトロ御堂筋線「長居駅」から東へ約800m JR 阪和線「長居駅」から東へ約1km</p> <p>自動車(最寄り主要幹線道路) 阪神高速松原線「駒川中野」出口 大阪府道28号大阪高石線(あびこ筋)「長居」交差点</p> <p>駐車場:長居公園南駐車場(最寄)、地下駐車場(いずれも有料)</p>
利用上の留意事項等	<p>開館時間:3-10月 9:30~17:00(入場は16:30まで) 11-2月 9:30~16:30(入場は16:00まで)</p> <p>休館日:月曜日(休日の場合はその翌平日) 年末年始(12月28日~1月4日)</p> <p>入場料:大人300円、高校生・大学生200円、中学生以下無料</p>
問い合わせ先	TEL:06-6697-6221
WebサイトURL	<a href="https://www.omnh.jp/">https://www.omnh.jp/</a>



長居公園内の位置(資料提供:大阪市立自然史博物館)



大阪湾（上）や淀川（下）に関する常設展示（出典：大阪市立自然史博物館 HP）

#### 40.きしわだ自然資料館

所在地	岸和田市堺町 6 番 5 号
活動内容（例）	自然観察会等の体験型環境学習会の開催 展示 <ul style="list-style-type: none"> <li>・川から海に生息する魚などを飼育している水槽コーナー</li> <li>・大阪南部・泉州地域の自然に関する実物標本や模型、ジオラマ</li> <li>・「チリメンモンスター」紹介コーナー</li> <li>・実習体験スペース</li> </ul>
アクセス	電車 南海本線「岸和田駅」から北西へ 880m 自動車（最寄り主要幹線道路） 阪神高速湾岸線「岸和田南」出口 駐車場：無料（7 台分）
利用上の留意事項等	開館時間：10 時～17 時（入場は 16 時まで） 休館日：毎週月曜日（祝日・休日は開館）、祝日・休日の翌日ほか 入場料：大人 200 円、中学生以下無料（特別展開催中は倍額）
問い合わせ先	TEL：072-423-8100
Web サイト URL	<a href="https://www.city.kishiwada.osaka.jp/site/shizenshi/">https://www.city.kishiwada.osaka.jp/site/shizenshi/</a>



館内の展示

#### 41.貝塚市立自然遊学館

所在地	大阪府貝塚市二色3丁目26-1
活動内容（例）	展示：貝塚市の海や川、里山などにすむ生きものの標本等 自然観察会：近木川河口や二色の浜の生きものの観察等
アクセス	電車 南海本線「貝塚駅」から西へ2km 自動車（最寄り主要幹線道路） 阪神高速湾岸線「貝塚」出口 駐車場：無料（隣接する市民の森公園に25台分）
利用上の留意事項等	開館時間：9時～17時（4月～10月の土・日曜日は、19時半閉館） 休館日：火曜日（祝日の場合は翌日） 年末年始 12月29日～1月3日 入館料：無料 見学時間：15分程度から
問い合わせ先	TEL：072-431-8457
WebサイトURL	<a href="https://www.city.kaizuka.lg.jp/shizen/index.html">https://www.city.kaizuka.lg.jp/shizen/index.html</a>



展示ホール（左：スナメリのはく製 右：近木川河口のカニの生体展示）

（出典：貝塚市立自然遊学館HP）

#### 42.大阪府立青少年海洋センター

所在地	大阪府泉南郡岬町淡輪6190
活動内容（例）	海洋体験プログラム ○マリンプログラム カッター／ヨット／カヌー／クルージング／いかだ ○フィールドプログラム 海辺散策／海の生き物を観察／砂浜や海岸の漂着物を集め 等 ○インドアプログラム 貝がら細工（海岸で拾った貝を台紙に貼り、絵を描く） 等
アクセス	電車 南海本線「淡輪駅」から北東約750m 自動車（最寄り主要幹線道路） 第二阪和国道「淡輪」ランプ
利用上の留意事項等	営業日・料金・プログラムの詳細等は、公式Webサイトで確認
問い合わせ先	大阪府立青少年海洋センター TEL：072-494-1811
WebサイトURL	<a href="http://www.osaka-kaiyo.com/index.html">http://www.osaka-kaiyo.com/index.html</a>

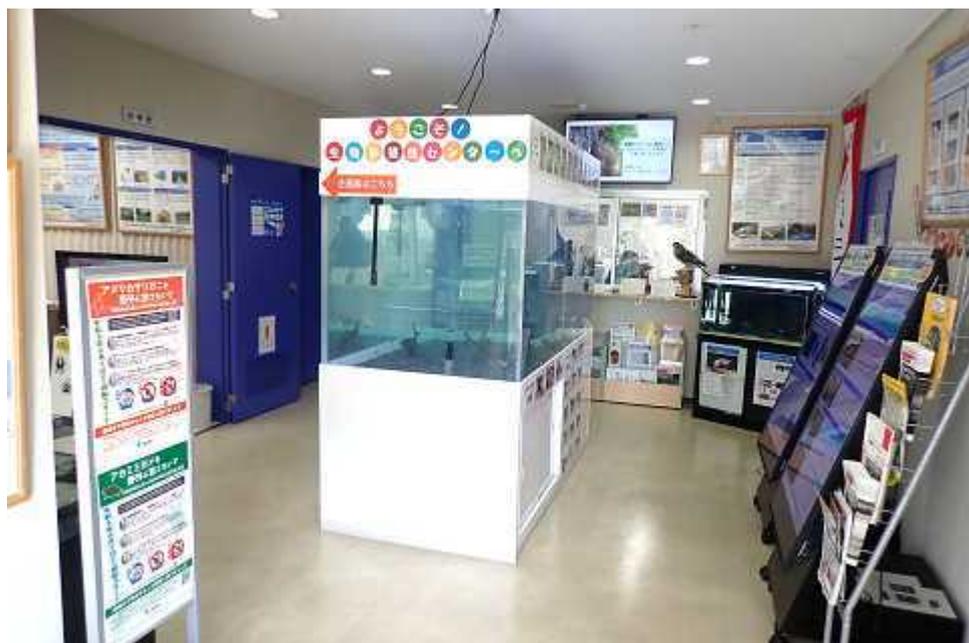
（活動内容の詳細は、P106を参照）



大阪府立青少年海洋センター

#### 43.大阪府立環境農林水産総合研究所 生物多様性センター

所在地	寝屋川市木屋元町 10-4
活動内容（例）	天然記念物のイタセンバラなど大阪の淡水魚水槽や哺乳類の剥製の展示 生物多様性や大阪の自然を紹介するパネルの常設展示や企画展示 ピオトープ池での生物観察、生物多様性に関する研修プログラム（見学・講義等）の提供
アクセス	電車 京阪本線「香里園駅」から西へ 1.7km 自動車（最寄り主要幹線道路） 京阪国道「木屋西」交差点
問い合わせ先	生物多様性センター TEL：072-833-2770
Web サイト URL	<a href="https://www.knsk-osaka.jp/biodiv/index.html">https://www.knsk-osaka.jp/biodiv/index.html</a>



イタセンバラ等の常設展示（写真提供：大阪府立環境農林水産総合研究所）



企画展示（写真提供：大阪府立環境農林水産総合研究所）



生き物ふれあいイベント（写真提供：大阪府立環境農林水産総合研究所）

#### 4.4.大阪府立環境農林水産総合研究所 水産技術センター

所在地	泉南郡岬町多奈川谷川 2926-1
活動内容（例）	大阪湾の魚類の展示 栽培漁業センターの見学 夏休みイベント（稚魚放流、調査船乗船等）
アクセス	電車 南海多奈川線「多奈川駅」から北西 2km 又は、南海本線「みさき公園駅」から岬町コミュニティバス基本路線で「谷川」下車、北 500m 自動車（最寄り主要幹線道路） 第二阪和国道「淡輪」「深日」ランプ
問い合わせ先	大阪府立環境農林水産総合研究所 水産技術センター TEL：072-495-5252
Web サイト URL	<a href="https://www.knsk-osaka.jp/shisetsu/suisan/index.html">https://www.knsk-osaka.jp/shisetsu/suisan/index.html</a>



展示室（写真提供：大阪府立環境農林水産総合研究所）



夏休み子供教室（大阪湾の透明度の測定）（稚魚の放流体験）  
（写真提供：大阪府立環境農林水産総合研究所）

#### 45. 野鳥園臨港緑地（一部干潟の再掲）

所在地	大阪市住之江区南港北 3-5-30
活動内容（例）	野鳥などの生物観察会／自然に親しみ学ぶ場
環境資源等の状況	施設面積 19.3ha（湿地部 12.8ha 緑地部 6.5ha） 観察可能な野鳥：年間を通じて約 150 種
アクセス	電車 大阪メトロ南港ポートタウン線「トレードセンター前駅」3番出口から西へ 1,100m 自動車（最寄り主要幹線道路） 阪神高速湾岸線「南港北」「南港南」出口
利用上の留意事項等	開園時間：午前9時から午後5時 休園日：毎週水曜日（祝日の場合は利用可能。ただし元日を除く）、 元日 入場料：無料 駐車場：バス2台 普通車20台駐車可(無料)
問い合わせ先	大阪港湾局 計画整備部 施設管理課 緑地管理グループ TEL：06-6572-4050
Web サイト URL	<a href="http://www.osaka-nankou-bird-sanctuary.com/">http://www.osaka-nankou-bird-sanctuary.com/</a>

#### 46.海遊館

所在地	大阪市港区海岸通 1-1-10
活動内容（例）	海洋生物観察、各種体験学習、 大阪湾を含む海洋生物の展示（約 620 種 3 万点）
アクセス	電車 大阪メトロ中央線「大阪港駅」から北北西へ 600m 自動車（最寄り主要幹線道路） 阪神高速湾岸線・大阪港線「天保山」出口
利用上の留意事項等	営業時間・休館日・入場料等は、公式 Web サイトで確認
問い合わせ先	海遊館インフォメーション TEL：06-6576-5501
Web サイト URL	<a href="https://www.kaiyukan.com/">https://www.kaiyukan.com/</a>

#### 47.関西国際空港 関空展望ホール スカイビュー

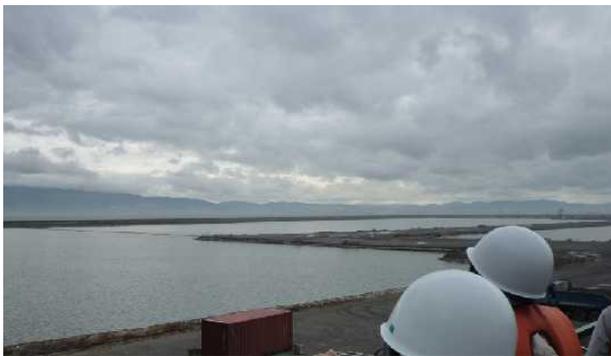
所在地	泉佐野市泉州空港北 1 番地
活動内容（例）	海上空港と環境対策等について学習 わくわく関空見学プラン 環境学習展示の見学
環境資源等の状況	環境に配慮した海上空港 緩傾斜石積護岸による藻場環境の創造・魚類等の生息環境の確保
アクセス	電車 JR 関西空港線・南海空港線「関西空港駅」から展望ホール行き バスで移動 自動車（最寄り主要幹線道路） 関西空港自動車道・阪神高速湾岸線から関西空港連絡橋終点
利用上の留意事項等	わくわく関空見学プラン【団体限定】 ・60 分コース、30 分コース ・6 か月前の同日（土日祝日の場合は前倒しの平日）より予約受付 展望ホールの営業時間 10:00-17:00 展望デッキ・スカイショップタウン・駐車場 11:00-16:00 スカイミュージアム
問い合わせ先	関空展望ホールスカイビュー TEL：072-455-2082
Web サイト URL	<a href="https://www.kansai-airport.or.jp/shop-and-dine/skyview">https://www.kansai-airport.or.jp/shop-and-dine/skyview</a>



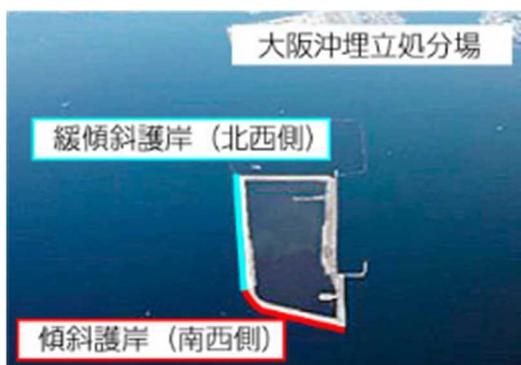
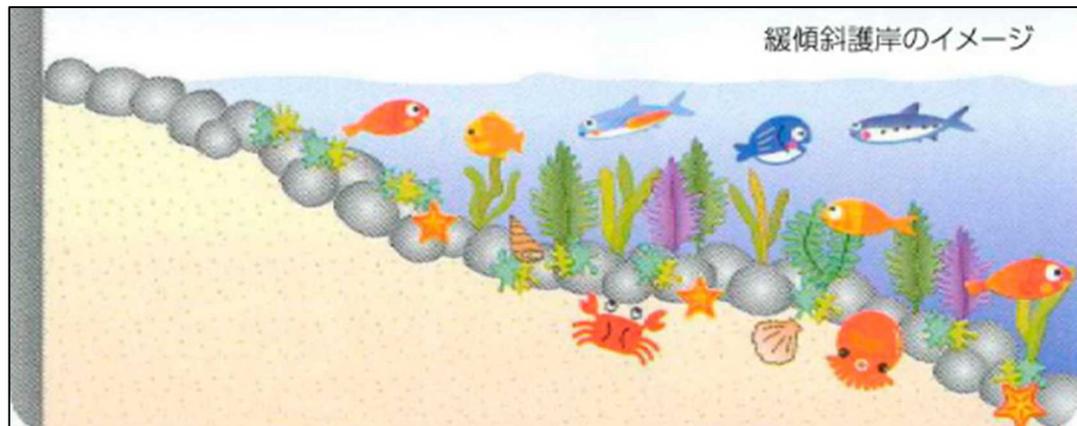
緩傾斜石積護岸の模型（写真提供：関西エアポート株式会社）

#### 48.大阪湾フェニックス計画 大阪沖埋立処分場

所在地	大阪市此花区北港緑地地先
活動内容（例）	廃棄物処理に関する環境学習
環境資源等の状況	廃棄物・残土の海面埋立処分現場 緩傾斜護岸（約 1,300m）による魚類等の生息環境の確保
アクセス	大阪建設事務所（大阪市住之江区南港南 2-1-54）から専用船で移動
利用上の留意事項等	毎月第2火曜日実施（7月・8月を除く。） 14日前までの事前申し込みが必要（定員制）
問い合わせ先	大阪湾広域臨海環境整備センター 大阪建設事務所 TEL：06-6613-6406
Web サイト URL	<a href="http://www.osakawan-center.or.jp/index.php/guide">http://www.osakawan-center.or.jp/index.php/guide</a>



大阪沖埋立処分場の見学の様子



緩傾斜護岸のイメージ（上）、大阪沖埋立処分場の傾斜護岸（左下）、  
緩傾斜護岸に形成中の藻場（右下）（出典：大阪湾広域臨海環境整備センターHP）

#### 49.堺第7-3区「共生の森」

所在地	堺市西区築港新町4丁
活動内容(例)	体験型環境学習、自然観察
環境資源等の状況	産業廃棄物埋立処分場跡地において、府民、NPO、企業など多様な主体との協同により、森林等の自然環境を創出している。
アクセス	電車 南海本線「石津川駅」から北北西へ5km 自動車(最寄り主要幹線道路) 阪神高速湾岸線「石津」、「出島」出口
利用上の留意事項等	公園のように開放されておらず、大阪府等が開催する森づくり活動の参加に限る。
問い合わせ先	大阪府 みどり企画課 TEL:06-6210-9557
WebサイトURL	<a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/midori/midori/kyousei.html">https://www.pref.osaka.lg.jp/midori/midori/kyousei.html</a>



植樹の様子



森林整備の様子  
(出典:大阪府HP)



自然観察ハイキングの様子



共生の森での植樹祭の様子(出典:大阪府HP)



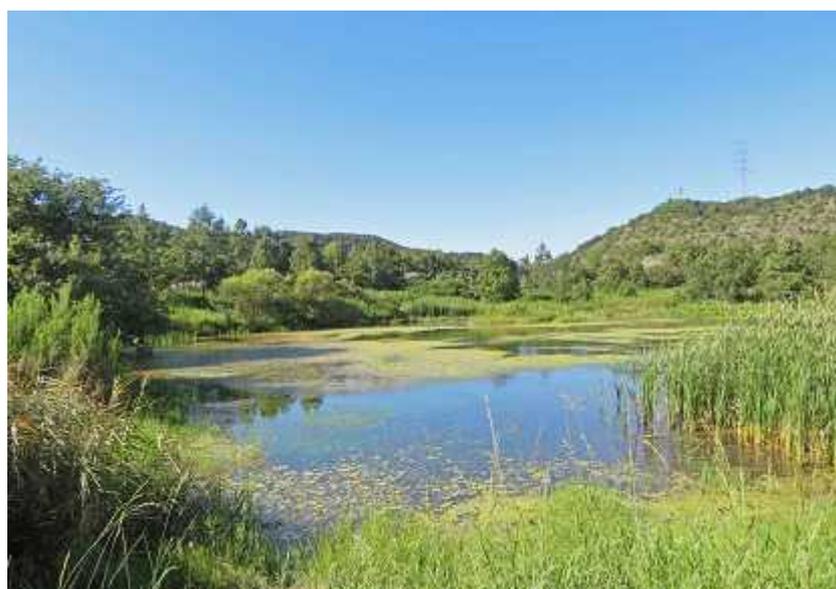
(石津川駅からのアクセス：地理院地図を元に作成)

## 50.多奈川ビオトープ

所在地	泉南郡岬町多奈川東畑（岬町多奈川地区多目的公園内）
活動内容	体験型環境学習 ・関西国際空港 2 期工事土砂採取跡地において自然環境・生物多様性の創出を目指し整備されたビオトープ空間における生物観察・自然保護活動の体験
環境資源等の状況	ビオトープ池及びその周辺に生息する水生動植物 環境省「自然共生サイト」認定地
アクセス	電車 南海多奈川線「多奈川駅」から西南へ 4km 自動車（最寄り主要幹線道路）第二阪和国道「淡輪」「深日」ランプ
利用上の留意事項等	ビオトープは外来種の放流等の予防のため、通常は立入禁止 月 1 回程度の自然観察会が開催されている。 自然観察会実施日は下記岬町のホームページに掲載
問い合わせ先	岬町 まちづくり戦略室 企画政策推進担当 企画地方創生担当 TEL：072-492-2775
Web サイト URL	<a href="http://www.town.misaki.osaka.jp/soshiki/matidukuri/kikaku/tanagawa/index.html">http://www.town.misaki.osaka.jp/soshiki/matidukuri/kikaku/tanagawa/index.html</a>



(多奈川駅からのアクセス：地理院地図を元に作成)



ビオトープ池全景 (写真提供：岬町)



ビオトープ池での生物観察会（写真提供：岬町）



生物観察（左）・ビオトープの維持管理活動（右）（出典：岬町 HP）

## コラム：自然共生サイト

環境省では、2030年までに生物多様性の損失を止め、回復させる「ネイチャーポジティブ」の実現に向けた取組みの一つとして、企業の森や里地里山、都市の緑地など「事業者、民間団体・個人、地方公共団体による様々な取組によって、生物多様性の保全が図られている区域」を「自然共生サイト」として認定しています。

2025年3月末時点で、上記の多奈川ビオトープを始め、全国で328か所の区域が認定されています。

### 【自然共生サイト HP】

<https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/kyousei/>

## ⑥海釣り公園等

### 51.南港魚釣り園護岸

所在地	大阪市住之江区南港南 6 丁目 9 番 3 号
活動内容 (例)	魚釣り体験
環境資源等の状況	イワシ、ガシラ、メバル、スズキ等の大阪湾に生息する魚類
アクセス	電車 大阪メトロ南港ポートタウン線「フェリーターミナル駅」から西へ 4.1km 又は「フェリーターミナル」バス停より 15 系統のバス利用→「南港南 6 丁目」で下車すぐ 自動車 (最寄り主要幹線道路) 阪神高速湾岸線「南港中」「南港南」出口 駐車場有 (有料)
利用上の留意事項等	受付時間：4~11 月 5:00~19:00 / 12~3 月 7:00~17:00 休園日：年末年始・水曜日 (祝日は開園) 入場料：無料 その他：釣り場には安全柵があり、子供の利用も可 (保護者同伴) 釣り道具一式の貸出あり
問い合わせ先	TEL：06-6612-2020
Web サイト URL	<a href="https://nankou-uotsuri-en.jp/">https://nankou-uotsuri-en.jp/</a>



(南港東駅との位置関係：地理院地図を元に作成)



南港魚釣り園護岸 (出典：南港魚釣り園護岸 HP)

## 52.海上釣り堀 田尻

所在地	田尻町りんくうポート北
活動内容（例）	海釣り体験
環境資源等の状況	マダイ、シマアジ、イサギ、メジロ等の海魚（季節に応じて変更）
アクセス	電車 南海本線「吉見ノ里駅」から北へ 800m 自動車（最寄り主要幹線道路） 阪神高速湾岸線「泉佐野南」出口 関西空港自動車道「泉佐野」出口 第二阪和国道「南中岡本」交差点、「樫井」交差点 駐車場有
利用上の留意事項等	営業日・料金等は、公式 Web サイトで確認
問い合わせ先	海上釣り堀 田尻 TEL：072-465-0099
Web サイト URL	<a href="http://www.osaka-tajiri.com/">http://www.osaka-tajiri.com/</a>



（吉見ノ里駅との位置関係：地理院地図を元に作成）



海上釣り堀 田尻（出典：海上釣り堀 田尻 HP）

### 53.大阪海上釣り堀 サザン

所在地	泉南市りんくう南浜 2-202
活動内容（例）	海釣り体験
環境資源等の状況	マダイ、ハマチ、シマアジ等の海魚
アクセス	電車 南海本線「樽井駅」から北北西へ 1.4km 自動車（最寄り主要幹線道路） 阪神高速湾岸線「泉佐野南」出口 阪和自動車道「泉南」出口 第二阪和国道「幡代北」交差点 駐車場有
利用上の留意事項等	営業日・料金等は、公式 Web サイトで確認
問い合わせ先	大阪海上釣り堀 サザン TEL：072-482-0316
Web サイト URL	<a href="https://www.sazanfisher.com/">https://www.sazanfisher.com/</a>



（樽井駅との位置関係：地理院地図を元に作成）



大阪海上釣り堀 サザン（出典：大阪海上釣り堀サザンHP）

## 54.海上釣り堀 岬

所在地	岬町深日2917
活動内容（例）	海釣り体験
環境資源等の状況	マダイ、シマアジ、イサギ、メジロ等の海魚
アクセス	電車 南海本線「みさき公園駅」から西へ1.6km 南海多奈川線「深日港駅」から北東へ1.2km 自動車（最寄り主要幹線道路） 第二阪和国道「淡輪」「深日」ランプ 駐車場有
利用上の留意事項等	営業日・料金等は、公式Webサイトで確認
問い合わせ先	海上釣り堀 岬 TEL：072-486-1211
Web サイト URL	<a href="http://www.osaka-misaki.com/">http://www.osaka-misaki.com/</a>



（最寄り駅との位置関係：地理院地図を元に作成）



海上釣り堀 岬

## 55.大阪・岬町谷川 海上釣堀オーパ

所在地	岬町多奈川谷川 3821
活動内容（例）	海釣り体験
環境資源等の状況	マダイ、シマアジ、メジロ、メイチダイ等の海魚
アクセス	電車 南海多奈川線「多奈川駅」から北西 2.2km 又は、南海本線「みさき公園駅」から岬町コミュニティバス基本路線で「谷川」下車、北北西へ 600m 自動車（最寄り主要幹線道路） 第二阪和国道「淡輪」「深日」ランプ 駐車場有
利用上の留意事項等	営業日・料金等は、公式 Web サイトで確認
問い合わせ先	大阪・岬町谷川 海上釣り堀オーパ TEL：072-499-1111
Web サイト URL	<a href="http://tsuribori-opa.com/index.html">http://tsuribori-opa.com/index.html</a>



（多奈川駅との位置関係：地理院地図を元に作成）



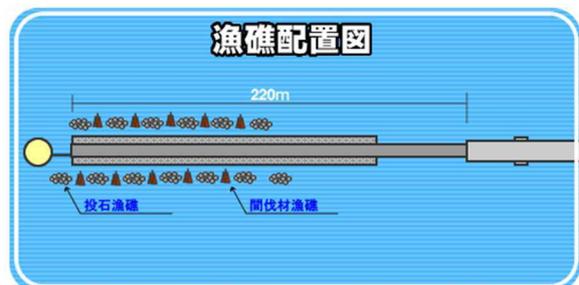
大阪・岬町谷川 海上釣堀オーパ（出典：海上釣り堀オーパHP）

## 56. 岬町海釣り公園・道の駅とっとパーク小島

所在地	岬町多奈川小島 455-1
活動内容（例）	海釣り体験、大阪湾に生息する魚類に関する学習
環境資源等の状況	マダイ、チヌ、スズキ、ヒラメ、アジ等の大阪湾に生息する魚類
アクセス	電車 南海多奈川線「多奈川駅」から西 4km 又は、南海本線「みさき公園駅」から岬町コミュニティバス基本路線で「とっとパーク小島」下車 自動車（最寄り主要幹線道路） 第二阪和国道「淡輪」「深日」ランプ 駐車場有
利用上の留意事項等	営業日・料金等は、公式 Web サイトで確認
問い合わせ先	とっとパーク小島(事務所) TEL：072-447-5126
Web サイト URL	<a href="https://www.michi-no-eki.jp/stations/views/19446">https://www.michi-no-eki.jp/stations/views/19446</a> <a href="https://minnaga.com/totopark/">https://minnaga.com/totopark/</a>



（多奈川駅との位置関係：地理院地図を元に作成）



関西国際空港埋め立て土砂の積み出し栈橋を有効利用した海釣り公園

（出典：とっとパーク小島 HP）

## ⑦漁港等

大阪府内には、漁港法に基づき指定された漁港が13港あります。また、他に漁港指定は受けていませんが、漁業を行っている漁業協同組合もあります。

各漁港では、本来の漁業が行われているほか、下記の様なエコツアーや体験型環境学習の対象となる活動を行うことができます。

- ・ 漁業体験
- ・ せり市見学
- ・ 海釣り
- ・ マリンスポーツ体験
- ・ 大阪湾、夕日等の景観鑑賞
- ・ 海産物の販売、飲食

なお、漁港内での海釣りについては駐車場の利用を含め禁止されている場合もあるため、管理している漁業協同組合等に確認する必要があります。

### 57.堺（出島）漁港

所在地	堺市堺区大浜西町、出島西町
アクセス	電車 南海本線「湊駅」から北西へ500m 自動車（最寄り主要幹線道路） 阪神高速湾岸線「大浜」出口
問い合わせ先	堺市漁業協同組合連合会 TEL：072-221-7272 堺市漁業協同組合 TEL：072-232-1945 堺市沿岸漁業協同組合 TEL：072-232-5434 堺市出島漁業協同組合 TEL：072-241-5058



(湊駅との位置関係：地理院地図を元に作成)

## 58.石津漁港

所在地	堺市西区浜寺石津町西4丁
アクセス	電車 南海本線「諏訪ノ森駅」から北西へ1.1km 自動車（最寄り主要幹線道路） 阪神高速湾岸線「出島」「石津」出口
問い合わせ先	堺市浜寺漁業協同組合 TEL：072-241-6507



（諏訪ノ森駅との位置関係：地理院地図を元に作成）

## 59.高石漁港

所在地	高石市高師浜2丁目
アクセス	電車 南海高師浜線「高師浜駅」から北へ400m 自動車（最寄り主要幹線道路） 阪神高速湾岸線「浜寺」「高石」出口
問い合わせ先	高石市漁業協同組合 TEL：072-261-1791
Web サイト URL	<a href="http://www.takajif.com/">http://www.takajif.com/</a>



（高師浜駅との位置関係：地理院地図を元に作成）

## 60.岸和田漁港

所在地	岸和田市臨海町
活動内容(例)	日曜朝市等
アクセス	電車 南海本線「和泉大宮駅」から北西へ 1.3km 自動車(最寄り主要幹線道路) 阪神高速湾岸線「岸和田北」、「岸和田南」出口
問い合わせ先	春木漁業協同組合 TEL:072-422-1148 大阪府鯉巾着網漁業協同組合 TEL:072-423-2518 岸和田市漁業協同組合 TEL:072-422-0638
Web サイト URL	<a href="http://www.harukigyogyou.com/">http://www.harukigyogyou.com/</a> <a href="http://www.iwashikincyaku.com/">http://www.iwashikincyaku.com/</a>



(最寄り駅との位置関係：地理院地図を元に作成)



日曜朝市「地蔵浜みなとマルシェ」(出典：大阪府鯉巾着網漁業協同組合 HP)

## 61.佐野漁港

所在地	泉佐野市新町2丁目、新浜町
活動内容(例)	青空市場、せり市(見学可能)、地曳網体験
アクセス	電車 南海本線「泉佐野駅」から北へ 1.3km 自動車(最寄り主要幹線道路) 阪神高速湾岸線「泉佐野北」出口 関西空港自動車道「泉佐野」出口 第二阪和国道「上瓦屋」「中庄」交差点
問い合わせ先	泉佐野漁業協同組合 TEL:072-462-3025 北中通漁業協同組合 TEL:072-464-3637
Web サイト URL	<a href="http://izumisano-gyokyou.com/">http://izumisano-gyokyou.com/</a>



(最寄り駅との位置関係：地理院地図を元に作成)



せり見学の案内(一部抜粋)(出典：泉佐野漁業協同組合 HP)

## 62.田尻漁港

所在地	泉南郡田尻町りんくうポート北
活動内容（例）	海釣り、日曜朝市、マリーナ、牡蠣小屋（12～3月）等
アクセス	電車 南海本線「吉見ノ里駅」から北へ 800m 自動車（最寄り主要幹線道路） 阪神高速湾岸線「泉佐野南」出口 関西空港自動車道「泉佐野」出口 第二阪和国道「南中岡本」「樫井」交差点
問い合わせ先	田尻漁業協同組合 TEL：072-465-0099
Web サイト URL	<a href="http://www.tajiriport.com/">http://www.tajiriport.com/</a>



（吉見ノ里駅との位置関係：地理院地図を元に作成）



牡蠣小屋（写真提供：田尻漁業協同組合）

## 63.岡田浦漁港

所在地	泉南市りんくう南浜 5-4
活動内容（例）	地曳網体験、せり市（見学可能）
アクセス	電車 南海本線「岡田浦駅」から北西へ 950m 自動車（最寄り主要幹線道路） 第二阪和国道「大苗代西」交差点
問い合わせ先	岡田浦漁業協同組合 TEL：072-484-2121
Web サイト URL	<a href="http://okadaura.org/">http://okadaura.org/</a>



（岡田浦駅との位置関係：地理院地図を元に作成）



岡田浦漁港での地曳網体験の様子（出典：岡田浦漁業協同組合 HP）



（写真提供：岡田浦漁業協同組合）

## 64.樽井漁港

所在地	泉南市りんくう南浜
活動内容（例）	海上釣り堀、SUP等マリンスポーツ体験等
アクセス	電車 南海本線「樽井駅」から北へ1.3km 自動車（最寄り主要幹線道路） 阪和自動車道「泉南」「阪南」出口 第二阪和国道「泉南市役所南」交差点
問い合わせ先	樽井漁業協同組合 TEL：072-483-5519



（樽井駅との位置関係：地理院地図を元に作成）

## 65.西鳥取漁港

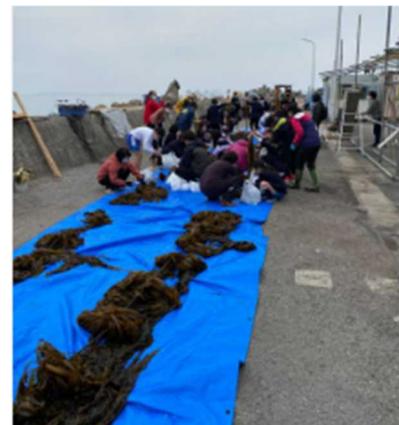
所在地	阪南市鳥取
活動内容（例）	すだて遊び体験（5～9月頃）、ワカメ養殖体験、カキ養殖体験
アクセス	電車 南海本線「鳥取ノ荘駅」から北へ490m 自動車（最寄り主要幹線道路） 阪和自動車道「泉南」出入口（大阪方面） 「阪南」出入口（和歌山方面） 第二阪和国道「貝掛」、「石田」ランプ
問い合わせ先	西鳥取漁業協同組合 TEL：072-472-0009 一般社団法人 阪南市観光協会 TEL：072-447-5547 株式会社漁師鮮度 TEL：072-425-3655
Web サイト URL	<a href="http://www.hannan-tb.jp/experience/index.php">http://www.hannan-tb.jp/experience/index.php</a> <a href="https://www.ryoushi-sendo.co.jp/">https://www.ryoushi-sendo.co.jp/</a>



(鳥取ノ荘駅との位置関係：地理院地図を元に作成)



すだて遊び



ワカメ養殖体験

(出典：(一社)阪南市観光協会 HP)

## 66.下荘漁港

所在地	阪南市箱作
活動内容(例)	地曳網体験、近隣のせんなん里海公園で潮干狩り 等
アクセス	電車 南海本線「箱作駅」から北西へ370m 自動車(最寄り主要幹線道路) 阪神高速湾岸線「泉佐野南」出口 第二阪和国道「箱作」ランプ
問い合わせ先	下荘漁業協同組合 TEL：072-476-0473
Web サイト URL	<a href="https://shimoshou-gyokyou.com">https://shimoshou-gyokyou.com</a>



(箱作駅との位置関係：地理院地図を元に作成)



下荘漁港（出典：下荘漁業協同組合 HP）

## 67. 淡輪漁港

所在地	泉南郡岬町淡輪
活動内容（例）	地曳網体験、近隣のせんなん里海公園で潮干狩り 等
アクセス	電車 南海本線「淡輪駅」から北西へ 1km 自動車（最寄り主要幹線道路） 第二阪和国道「淡輪」「箱の浦」ランプ
問い合わせ先	淡輪漁業協同組合 TEL：072-494-3069
Web サイト URL	<a href="http://www.tannowa.or.jp/kumiai.html">http://www.tannowa.or.jp/kumiai.html</a>



地曳網体験（出典：淡輪漁業協同組合 HP）



(多奈川駅との位置関係：地理院地図を元に作成)



淡輪漁港

## 68.深日漁港

所在地	泉南郡岬町深日
活動内容(例)	魚市場、海上釣り堀、「ふれあいフェスタ」の開催
アクセス	電車 南海本線「みさき公園駅」から西へ1.3km 南海多奈川線「深日港」から北東へ920m 自動車(最寄り主要幹線道路) 第二阪和国道「淡輪」「深日」ランプ
問い合わせ先	深日漁業協同組合 TEL:072-492-2052
Web サイト URL	<a href="http://www.fuke-gyokou.com/">http://www.fuke-gyokou.com/</a>



(最寄駅との位置関係：地理院地図を元に作成)



ふれあいフェスタ (出典：深日漁業協同組合 HP)

## 69.小島漁港

所在地	泉南郡岬町多奈川小島
活動内容 (例)	海釣り (とっとパーク小島他) 近隣に自然海浜や天然記念物 (岬住吉神社うばめがし社叢) あり
アクセス	電車 南海多奈川線「多奈川駅」から西へ4.6km 又は、南海本線「みさき公園駅」から岬町コミュニティバス基本路線で終点「小島住吉」下車すぐ 自動車 (最寄り主要幹線道路) 第二阪和国道「淡輪」「深日」ランプ
問い合わせ先	小島漁業協同組合 TEL：072-495-5019
Web サイト URL	<a href="http://kojimagyokyo.com/">http://kojimagyokyo.com/</a>



(多奈川駅との位置関係：地理院地図を元に作成)

## 70.大阪市漁業協同組合

所在地	大阪市此花区常吉2丁目10-12
アクセス	電車 JR大阪環状線「西九条駅」から西へ6km 阪神なんば線「西九条駅」から西へ6km 自動車（最寄り主要幹線道路） 阪神高速湾岸線「湾岸舞洲」出口
問い合わせ先	大阪市漁業協同組合 TEL：06-6462-5912
Web サイト URL	<a href="https://www.osakashigyokyo.or.jp/">https://www.osakashigyokyo.or.jp/</a>



（最寄駅との位置関係：地理院地図を元に作成）

## 71.忠岡漁業協同組合

所在地	忠岡町新浜1丁目8-11
アクセス	電車 南海本線「忠岡駅」から北西へ2km 自動車（最寄り主要幹線道路） 阪神高速湾岸線「泉大津」「岸和田北」出口
問い合わせ先	忠岡漁業協同組合 TEL：0725-32-0459
Web サイト URL	<a href="https://ja-jp.facebook.com/tadaokagyokyou/">https://ja-jp.facebook.com/tadaokagyokyou/</a>



（忠岡駅との位置関係：地理院地図を元に作成）

## 72.尾崎漁業協同組合

所在地	阪南市尾崎町3丁目27-14
アクセス	電車 南海本線「尾崎駅」から北東へ700m 自動車（最寄り主要幹線道路） 阪和自動車道「阪南」出口
問い合わせ先	尾崎漁業協同組合 TEL：072-472-0137



(尾崎駅との位置関係：地理院地図を元に作成)

## 73.谷川漁業協同組合

所在地	岬町多奈川谷川2925-6
アクセス	電車 南海多奈川線「多奈川駅」から北西2km 又は、南海本線「みさき公園駅」から岬町コミュニティバス基本 路線で「谷川」下車、北へ500m 自動車（最寄り主要幹線道路） 第二阪和国道「淡輪」「深日」ランプ
問い合わせ先	谷川漁業協同組合 TEL：072-495-5032



(多奈川駅との位置関係：地理院地図を元に作成)

## ⑧ 景観鑑賞

### 74.大阪港 中央突堤ダイヤモンドポイント

所在地	大阪市港区海岸通 1 丁目
活動内容（例）	沿岸部の景観を活用したエコツアー
環境資源等の状況	景観（夕日）
アクセス	電車 大阪メトロ中央線「大阪港駅」から西南西へ 850m 自動車（最寄り主要幹線道路） 阪神高速湾岸線・大阪港線「天保山」出口
利用上の留意事項等	特定の管理者は無いため、下記 Web サイト参照
問い合わせ先	同上
Web サイト URL	<a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/kenshi_kikaku/viewspotosakaproject/viewspot-o-mina1.html">https://www.pref.osaka.lg.jp/kenshi_kikaku/viewspotosakaproject/viewspot-o-mina1.html</a>



（大阪港駅との位置関係：地理院地図を元に作成）



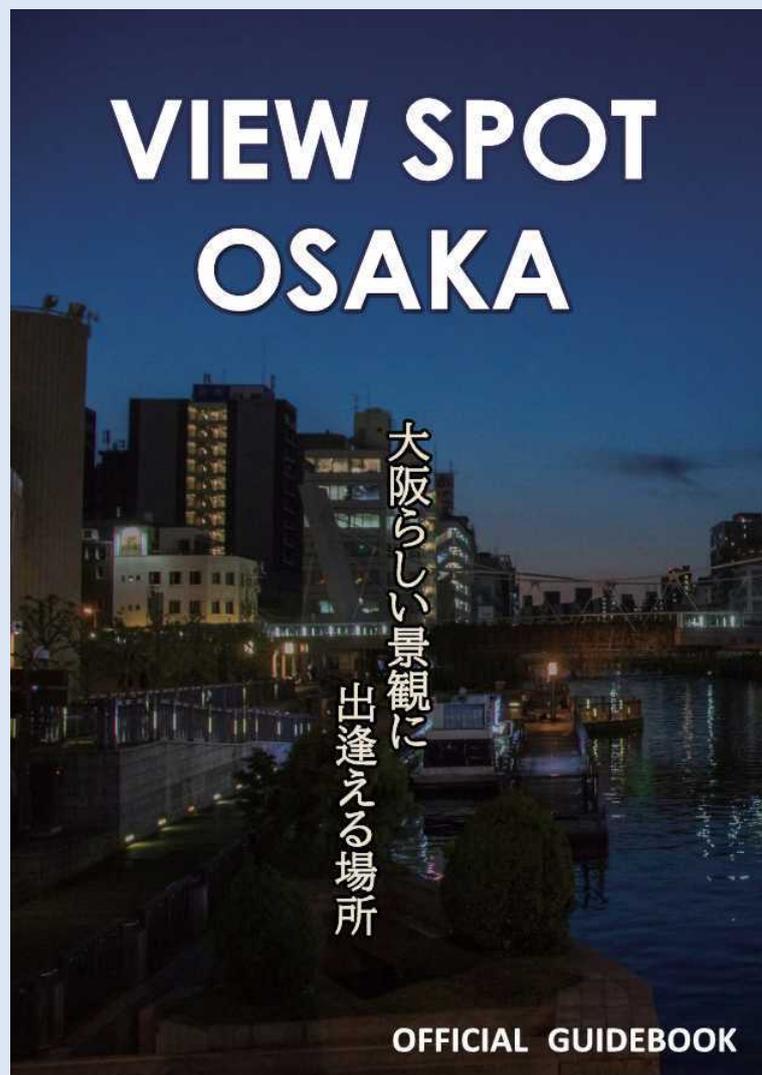
大阪港 中央突堤ダイヤモンドポイント

（出典：大阪府 HP（ビュースポットおおさか発掘・発信プロジェクト））

## コラム：ビュースポットおおさか発掘・発信プロジェクト

大阪府では、「世界に誇れる大阪の魅力ある景観、きらりと光る個性豊かで多彩な大阪の景観を美しく眺めることのできる場所（ビュースポット）を一般からの募集により発掘し、「ビュースポットおおさか」として選定したものを発信」しています。

これまでに、上記の「大阪港 中央突堤ダイヤモンドポイント」など大阪湾に関するビュースポットを含む 100 スポットが選定され、ホームページを通じて紹介冊子（ビュースポットおおさか）を公開しています。



【ビュースポットおおさか発掘・発信プロジェクト HP】

[https://www.pref.osaka.lg.jp/kenshi\\_kikaku/viewspotosakaproject/index.html](https://www.pref.osaka.lg.jp/kenshi_kikaku/viewspotosakaproject/index.html)

## 75. さきしまコスモタワー展望台

所在地	大阪市住之江区南港北 1-14-16
活動内容（例）	眺望、大阪の地理や歴史などの総合学習
環境資源等の状況	地上 252m、360 度のパノラマ展望スペース
アクセス	電車 大阪メトロ南港ポートタウン線「トレードセンター前駅」から連絡通路 自動車（最寄り主要幹線道路） 阪神高速湾岸線「南港北」「南港南」出口
利用上の留意事項等	有料 詳細は、下記公式 Web サイト参照
問い合わせ先	さきしまコスモタワー展望台 TEL 06-6615-6055
Web サイト URL	<a href="http://sakishima-observatory.com/">http://sakishima-observatory.com/</a>



さきしまコスモタワーの外観



展望台からの景色（昼）



展望台からの景色（夜）

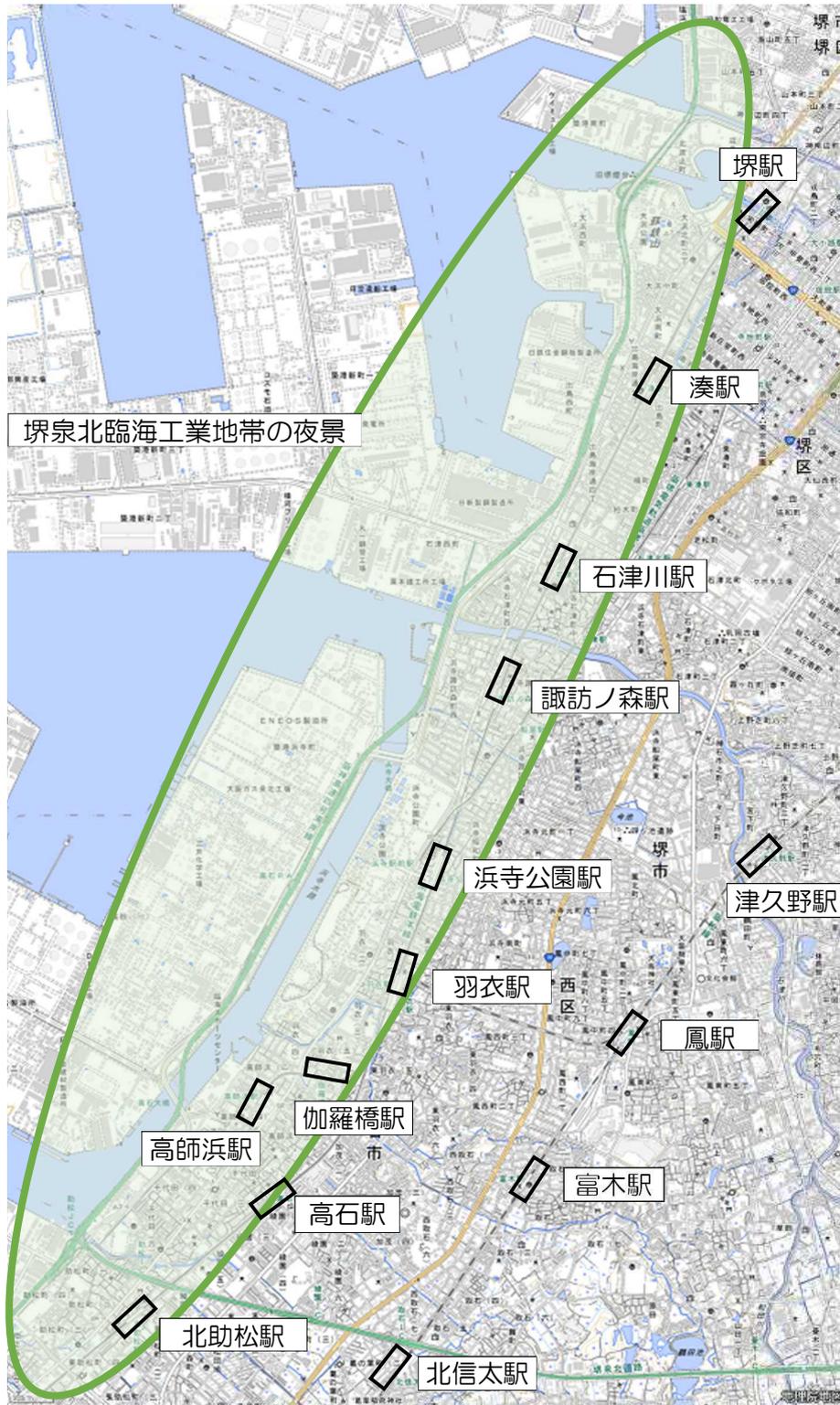
（写真提供：さきしまコスモタワー展望台）

## 76.堺泉北臨海工業地帯の夜景（堺市～高石市）

所在地	堺市から高石市にかけての臨海部
活動内容（例）	沿岸部の景観を活用したエコツアー
環境資源等の状況	臨海部埋立地の工場地帯の景観（夜景）
アクセス	電車 南海電車「堺駅」～「高石駅」から西方向 自動車（最寄り主要幹線道路） 阪神高速湾岸線「三宝」「大浜」「出島」「石津」「浜寺」「高石」 出口
利用上の留意事項等	特定の管理者は無いため、下記 Web サイト参照
Web サイト URL	① <a href="https://www.sakai-tcb.or.jp/feature/detail/7">https://www.sakai-tcb.or.jp/feature/detail/7</a> ② <a href="https://www.city.takaishi.lg.jp/kakuka/seisakusuishin/sogoseisaku_ka/osakasenshu_sightseeing_guide/yakeiinfo.html">https://www.city.takaishi.lg.jp/kakuka/seisakusuishin/sogoseisaku_ka/osakasenshu_sightseeing_guide/yakeiinfo.html</a>



（出典：（公社）堺観光コンベンション協会 HP）



(周辺駅との位置関係：地理院地図を元に作成)

## ◎歴史的施設等

### 77.大阪府営住吉公園

所在地	大阪市住之江区浜口東 1-1-13
活動内容（例）	大阪湾岸の歴史景観を活用したエコツアー
環境資源等の状況	白砂青松の原風景といわれる松 日本最初の燈台「高燈台」（再建） 松尾芭蕉、源氏物語ゆかりの碑
アクセス	電車 南海本線「住吉大社駅」すぐ 阪堺軌道阪堺線/上町線「住吉鳥居前駅」すぐ 自動車（最寄り主要幹線道路） 阪神高速堺線「住之江」出口 国道 26 号線「浜口」交差点 駐車場無
利用上の留意事項等	自由に立入り可能 高齢・障がい者福祉施設等が公園利用で送迎車両の駐車を必要とする場合は、公園管理事務所に相談
問い合わせ先	住吉公園管理事務所 TEL：06-6671-2292
Web サイト URL	<a href="https://www.toshi-kouen.jp/staticpages/index.php/sumiyoshi_top">https://www.toshi-kouen.jp/staticpages/index.php/sumiyoshi_top</a>



潮掛け道（出典：住吉公園 HP）



高灯籠（再建）（出典：住吉公園 HP）



芭蕉句碑（出典：住吉公園 HP）



源氏物語碑（出典：住吉公園 HP）

## 78.堺旧港

所在地	堺市堺区北波止町、大浜北町5丁など
活動内容(例)	大阪湾岸の歴史景観、親水空間を活用したエコツアー
環境資源等の状況	旧堺燈台、龍女神像・呂宋助左衛門像などがある親水プロムナード
アクセス	電車 南海本線「堺駅」から北西へ250m 自動車(最寄り主要幹線道路) 阪神高速湾岸線「大浜」出口
利用上の留意事項等	自由に立入り可能
問い合わせ先	堺市 建築都市局 都心未来創造部 バイエリア推進担当 TEL:072-228-8033
Web サイト URL	<a href="https://www.city.sakai.lg.jp/shisei/toshi/rinkai/kyukotiku.html">https://www.city.sakai.lg.jp/shisei/toshi/rinkai/kyukotiku.html</a> <a href="https://www.sakai-tcb.or.jp/spot/detail/328">https://www.sakai-tcb.or.jp/spot/detail/328</a>



(堺駅との位置関係：地理院地図を元に作成)



旧堺燈台

## コラム：大阪湾魅力ウォークマップ ～大阪湾の魅力スポットをぶらり発見！～

大阪湾の沿岸には、水や生き物と触れ合ったり、景色を眺めたり、海の幸グルメやマリンスポーツを楽しむことができる魅力的なスポットが数多くあります。

大阪府では、一人でも多くの方に大阪湾を訪れていただき、愛着や魅力を感じていただくため、魅力スポットを巡るウォークマップを作成しています。

前頁の「旧堺燈台」は、全 10 コースの中の堺旧港コース（コース全行程約 6km）で紹介されています。



堺旧港コースのウォークマップ

【大阪湾魅力ウォークマップ HP】

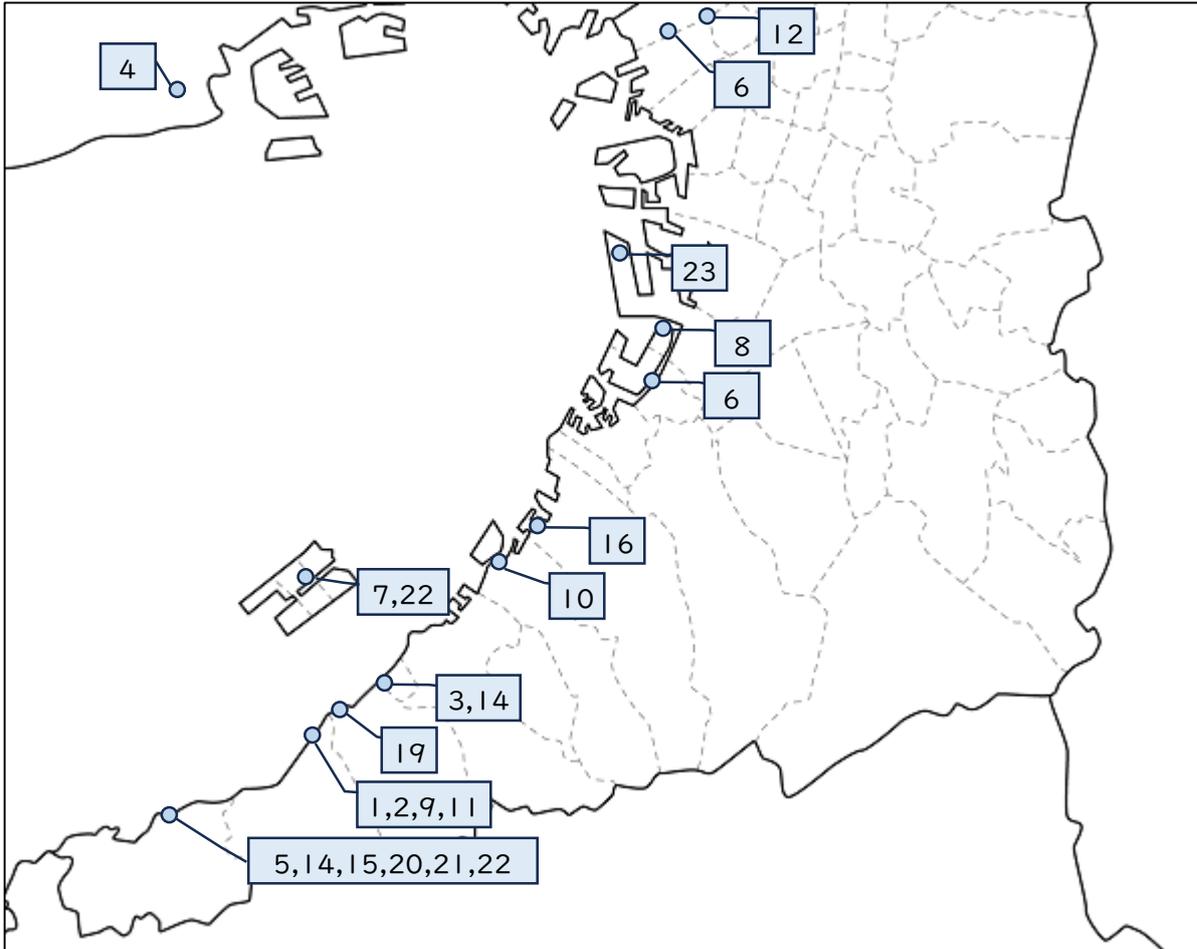
[https://www.pref.osaka.lg.jp/kankyohozen/osaka-wan/osakabay\\_walk\\_map.html](https://www.pref.osaka.lg.jp/kankyohozen/osaka-wan/osakabay_walk_map.html)

## 4. 活動事例

大阪湾の保全・再生・創出活動の企画・設計を行うにあたって参考となるよう、大阪湾や他の海域で実施されている活動事例をとりまとめました。その中で、事例1～5の5事例についてはヒアリングを行い、取組みが広がっていった経緯や活動の発展・継続のポイント等について記載しました。今後の活動にご活用ください。

番号	区分	実施団体	概要
<b>大阪湾における活動事例</b>			
事例 1	藻場創出/生物観察	株式会社漁師鮮度	アマモ場創出/生物調査/山・里・海の循環を学ぶ体験イベント/海洋教育
事例 2	藻場創出	関西大学北陽高等学校	アマモ場創出/海洋教育/教材作り
事例 3	藻場創出	大阪から明るい水産業を創る会	ワカメ収穫体験/食育推進
事例 4	清掃美化活動/藻場創出/生物観察	兵庫運河を美しくする会	アマモ場創出/清掃活動/生物調査/アサリ等の保全
事例 5	生物観察	BAZ11/STEAM CLUB	海洋教育/生物観察
事例 6	藻場創出/清掃美化活動	NPO 法人大阪海さくら	アマモ場創出/淀川河口等での清掃活動
事例 7	藻場創出	関西エアポート株式会社	藻場の保全・再生
事例 8	藻場創出	E N E O S 株式会社堺製油所	藻場創出活動
事例 9	藻場創出	阪南市他	小学生が育てたアマモ苗の移植活動
事例 10	生物観察	貝塚市立自然遊学館	二色の浜、近木川河口での生物調査
事例 11	生物観察	チーム☆ガサ	生物調査/海洋教育
事例 12	生物観察/漁業体験/清掃美化活動	なにわエコ会議	漁業体験/生物観察/清掃美化活動
事例 13	生物観察/自然再生	津之江公園を活かす会（一般社団法人たかつき環境市民会議、たかつき市民環境大学 OB 会）	自然再生/生物観察/環境学習
事例 14	生物観察/漁業体験/海洋レジャー	公益社団法人大阪自然環境保全協会（ネイチャーおおさか）	地曳網体験/砂浜・干潟での生物観察/シュノーケリング体験
事例 15	海洋レジャー/生物観察	大阪府立青少年海洋センター	ヨット、カヌー、砂浜での各種活動などの海洋レジャー体験
事例 16	生物観察/漁業体験	きしわだ自然資料館	大阪湾・琵琶湖・淀川をテーマとした環境学習
事例 17	清掃美化活動/生物観察	NPO 法人地球環境市民会議（CASA）/一般財団法人環境事業協会	離島でのプラごみ調査/海の生物観察
事例 18	清掃美化活動/生物観察	一般財団法人環境事業協会	無人島での清掃美化活動/生物観察
事例 19	清掃美化活動/生物観察	男里川干潟を守る会	男里川河口干潟での清掃美化活動/生物観察
事例 20	清掃美化活動/生物観察	自然と本の会	阪南市域の海岸での清掃美化活動/生物観察
事例 21	生物観察	せんなん里海公園管理事務所	ウミホタル・陸ガニの観察会/チリメンモンスター
事例 22	生物観察	海遊館	スナメリ調査/飼育員と一緒にを行う海岸での生物観察
事例 23	自然再生	NPO 法人共生の森/大阪府	産業廃棄物埋立処分場跡地での自然再生（森づくり活動等）
<b>他の海域における活動事例</b>			
事例 24	自然観察/水辺レジャー	NPO 法人あそんで学ぶ環境と科学倶楽部	東京の水路を巡るエコツアー
事例 25	文化的資源の体験/生物観察/清掃美化活動	一般社団法人瀬戸内海エコツーリズム協議会	宮島エコツアー
事例 26	清掃美化活動/生物観察/自然再生	天神崎の自然を大切にする会	天神崎の自然保護と環境教育

(参考) 大阪湾における活動事例の主な活動場所 (番号は事例番号を示す)



## (1) 大阪湾における活動事例

### 事例1 株式会社漁師鮮度 (<https://ryoushi-sendo.co.jp/>)

#### <実施概要>

藻場創出

生物観察

実施場所	<p>阪南市の沿岸（西鳥取漁港西海岸、下荘漁港西海岸、尾崎港西海岸）が中心。 山から海が川で繋がっていることを意識して、山や川、田んぼなどでも活動を展開。</p>
目的	<p>企業としての事業の柱は、カキの養殖、カキ小屋の運営・販売であるが、海を舞台にした観光事業、海洋教育や藻場造成など環境保全事業も展開している。</p>
内容	<p>○阪南市内の全小学校で実施する海洋教育の企画、運営に携わる。 ○阪南市との協働事業として、企業とのアマモ場再生や生き物調査のサポート、アマモ場の面積調査や生き物調査を実施している。 ○独自の環境保全事業として体験イベントを企画し、実施している。</p>
実施時期	<p>○アマモ場の面積調査、企業と協働で行う生き物調査は毎年春に実施。 ○体験イベントは、イベントの内容によって実施時期が異なる。 (例)「海と陸とのつながりを味わおう!」: 通年 「みんなでワカメを育てよう!」: 12月(種付け)、3月(収穫)</p>
対象	<p>阪南市内の小学校(小学生、教員)や、海洋保全活動に関心のある企業など。 独自に実施するイベントは、誰でも参加できるようにしている。</p>
成果・実績	<p>○阪南市内の全小学校でアマモ場の再生に関する海洋教育が展開されるほか、企業等による活動を支援。 その結果、市内沿岸のアマモ場面積は2018年と比較して約1.6倍に増加した。 ○2022年に「阪南市の海域環境保全、地域活性化に関する協定」を阪南市と締結し、海域環境保全の活動等、地域に根差した事業提携を実施している。</p>



小学生を対象とした海洋教育の様子※1

#### <取組みが広がっていった経緯>

#### 阪南市でのアマモ場再生から始まり、全国アマモサミットの誘致、市と連携した事業展開へ。

- 阪南市を拠点とする株式会社漁師鮮度の環境保全事業は、NPO 法人大阪湾沿岸域環境創造研究センター（以下、「NPO」と表記）と共同で行っている。元々NPOが主体となっていた活動を、海洋の環境修復のコンサルタントに従事する岩井さんが2021年の会社設立後に共同で行うようになった。
- NPOでは、大阪湾再生の取組みの一環で2003年頃から大阪湾各地でアマモ場再生を試みるようになり、活動を知った阪南市内の箱作小学校（現在は閉校）の教員の誘いで、岩井さんたちが小学生とアマモ場再生に取り組むようになった。
- その後、岩井さんが阪南市の海に地域資源としての可能性を強く感じて、市に全国アマモサミットの誘致を提案し、「全国アマモサミット2018in 阪南」の開催が実現。このイベントを機に阪南市は海を生かした地域支援に注力し始めた。1校の小学校から始まったアマモ場再生の活動は、市と連携して3校に広がり、現在は市内全8校の小学校で海洋教育を行っている。

※1 阪南市役所 HP 内 <https://www.city.hannan.lg.jp/kakuka/mirai/promotion/SDGs/7843.html>

## <活動の発展・継続のポイント>

大阪湾の魅力を広く知ってもらうために、市民向けの海の体験イベントを実施。

- 大阪湾の恵みを楽しむイベントとして、2012年から体験イベントを実施している。「海と陸とのつながりを味わおう！」では、1年を通して米作りから大阪湾での海苔養殖、海苔漉きまでを体験し、自分たちで作った米と海苔でおにぎりを握って食べることで、山、里、海の循環を学ぶイベントとして人気を博している。



イベント「海と陸とのつながりを味わおう！」の様子※2

- 2014年からは「みんなでワカメを育てよう！」というイベントを開始。ワカメの収穫体験を行った後に重量を測定し、海の栄養でワカメが育ちCO<sub>2</sub>を吸収していること、さらには海の環境が保たれていることを知ってもらうイベントとなっている。

阪南市と連携して、市内の全小学校で海洋教育を展開。教員を対象とした研修も実施。

- 阪南市内全8校の小学校での海洋教育では、地域の特性を生かし、海岸付近の学校はアマモ場再生等の活動を行い、海から遠い学校は山の整備や田植え体験、川での生き物観察などを各教員が企画し、実施している。海での活動ができなくても、山や里の豊かさが川を通じて海に繋がっていることを示し、海との関連性を訴求しながら展開するよう教員に指導している。
- 海洋教育の継承に向け、市内教員向けの研修も毎年実施している。2024年は「海の安全」をテーマに、ペットボトルなど身近にある浮くものを活用した救護方法をレクチャーした。

海の活動に取り組む行政や企業を支援しながら、アマモ場再生や生き物調査を実施。

- 2008年頃に地域の漁師の助言を得てアマモの分布調査を行った結果、想像以上にアマモ場があることや、過去にアマモが自生していたが今は生えていない場所があることが分かった。活動するにあたり活動場所の選定は重要であり、過去や現在の分布状況の把握や専門家からの助言、行政との調整が必要となる。現在は阪南市から調査費用の支援を受けながら、毎年ドローンや目視によるアマモ場の面積調査を実施し、小学校を中心に生き物調査を行っている。
- 「海洋保全活動をしてみたい」と相談に来る企業や団体に対し、アマモ場再生や生き物調査等の活動を提案し、サポートしている。また、全国アマモサミットの開催をきっかけに、阪南市と一般財団法人セブン-イレブン記念財団が10年間の協定を締結し、実施する「阪南セブンの海の森」取り組みもサポートしている。阪南市では2022年にJブルークレジットの認証、2023年には自然共生サイト(OECM)の認証を受けたが、購入だけではなく「ぜひ阪南市に来て、一緒に活動してほしい」と思っている。

## <キーパーソンのメッセージ>

活動を持続可能にするために、皆で連携し、成果を分かち合うことが重要。

アマモ場の造成は、種をまく地道な活動と、アマモ本来の繁殖力の両方が合わさってこそうまくいく活動である。子どもたちが植えるアマモの数は決して多くはないが、保全活動によってアマモに備わった力を手助けすることができる。また、海洋保全活動は持続可能であるべきだと思う。持続可能な取り組みに向けて、汗を流して取り組むことや、成果を独り占めせずに「みんなのもの」として共有することが重要だ。自分たちだけでできることは限られているので、いろいろな人と連携するとよいだろう。



株式会社漁師鮮度 代表取締役 岩井克巳さん。NPO 法人大阪湾沿岸域環境創造研究センター専務理事なども務める。

※2 NPO 法人大阪湾沿岸域環境創造研究センターHP内 <https://osakawan.or.jp/2024/07/23/2024ikimono/>

## 事例2 関西大学北陽高校 (<https://www.kansai-u.ac.jp/hokuyo/>)

### <実施概要>

藻場創出

実施場所	関西大学北陽高校内（大阪市東淀川区）、地区府内の各小学校、阪南市内、八重山諸島（修学旅行先）	
目的	高校生による海の保全や教育に関する活動とその普及	
内容	高校1年生と2年生の保健の授業で探究型の海洋教育を行い、授業を受けたクラス全員が「海洋プログラムチーム」の一員として年間単位で海洋のテーマに取り組む。 2024年度は普及のための教材づくり、小学校への出前授業、修学旅行での海洋プログラム（サンゴ移植、マングローブ植樹等）、高校生サミットでの発表等を行った。	
実施時期	授業は1学期の後半から2学期の中旬くらいまで。他に修学旅行や高校生サミット等の恒例行事や郊外活動がある。	
対象	主に関西大学北陽高校特進アドバンスコースに所属する高校1年生・2年生。出前授業は府内の小学生が対象。	
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○探究型の授業で2年かけて海洋のテーマに取り組み、海の問題に興味を持つ新たな学生やOBを年々輩出している。</li> <li>○仲間を増やすことや活動を広めることをミッションに、学んだことを校内・校外で発表する等、活動の輪を広げている。</li> </ul>	 <p>高校生による小学校への出前授業</p>

### <取組みが広がっていった経緯>

沖縄の修学旅行がきっかけで海洋教育をスタートし、身近な大阪湾でアマモ場再生の活動へ。

- 沖縄の修学旅行で、ごみを拾い集めるプログラムを行ったところ、海洋ごみがたくさんあることを知り、学生たちとともに達成感を感じたことが海洋プログラムを始めたきっかけである。
- 海の環境問題に興味を持ったことで、大阪での活動を模索して各方面にメール等で連絡したところ、NPO 法人大阪湾沿岸域環境創造研究センターの岩井克巳さんから「一緒にアマモ創出の取組みをやってみましょう」と返信をもらい、2017年から生徒会の生徒たちが中心になって阪南市でのアマモ場再生活動に加わり、大阪湾での活動をスタートさせた。
- 当初、海洋教育は理科の授業で行っていた。しかし、理科の先生が退職。その一方で阪南市での活動は地域との関係性が構築されつつあったので、大阪湾での活動を担当していた体育の先生が引き継ぎ、2018年以降は海洋教育を保健の授業として行っている。

「海洋教育パイオニアスクールプログラム」の助成金で、数年ごとに新たな課題に取り組む。

- 「海洋教育パイオニアスクールプログラム」※1の助成事業に申請し、2017年度はサンゴの活動、2018年度から2022年度までは大阪湾でのアマモの活動が採択された。2024年度からは新たな助成事業として「海洋教育を楽しく学べる教材作り」に取り組んでいる。
- 活動成果は毎年「海辺の自然再生・高校生サミット」等で発表し、高校生が毎年新たなテーマで海の問題と向き合い、探究を続けている。

※1 海洋教育パイオニアスクールプログラム <https://www.spf.org/pioneerschool/>

## <活動の発展・継続のポイント>

保健の授業で海洋教育を行い、班ごとに1つのテーマを決めて海の課題を探究。

●年間 35 時間の保健の授業のうち、10 時間を海洋教育に充てている（2年間で 20 時間）。保健の授業は「環境」もカバーしており、近年は環境問題の高まりで教科書に海洋プラスチックのことも載るようになった。

●海洋教育は探究学習の一環でもあるので、最初の 2～3 時間は座学で、残りは演習時間として、班ごとに1つのテーマを決めて探究していく。

●2 年生になるとまた新しいチームを作る。1 年生でマングローブを探究した班の子と、大阪湾について探究した班の子が混ざること、いろいろな知識が合わさり、より理解が深まっていく。さらに 2 年生は沖縄の修学旅行で海に潜ってサンゴの移植をしたり、マングローブの植樹をしたりするので、それに合わせた学習も行う。



アマモの種子選別の様子

海洋プログラムチームの一員として、高校生が活動成果を発表し、小学校への出前授業も行う。

●2 年生の授業が終わると、毎年活動成果の発表を行う。

その1つが「海辺の自然再生・高校生サミット」での発表で、全国各地で海洋教育に取り組む高校生たちと交流を深めつつ、自分たちの活動の協力者を得たり、新たな課題を見つけたりする場になっている。



アマモサミットで活動成果を発表

●高校生が小学生に海洋を教える出前授業も行っている。

海のない地域の人に興味を持ってもらうのも1つのテーマなので、大阪市外の小学校に出張することもある。「高校生が教えてくれるのがよい」と海洋教育に興味のある小学校の先生から呼ばれることが多く、教える側の高校生も小学生も共に楽しんで相乗効果を生んでいる。

より広域への普及をめざして、日本語と英語で「海洋教育を楽しく学べる教材作り」に着手。

●2024 年度からは新たな課題解決のテーマとして、高校生が授業で「海洋教育を楽しく学べる教材作り」に取り組んでいる。

●国際シンポジウムでの発表をきっかけに「活動を世界に広めたい」と思うようになったこと、さらには新たに海洋教育を始めるのに一から教材を作るのはハードルが高いという課題認識から、日本語と英語での教材づくりのアイデアに行き着いた。3年計画で完成をめざしている。

## <キーパーソンのメッセージ>

**仲間を増やしながら活動を継承し、広く発信していくことが重要。**

「仲間を増やすこと」と「活動を広めること」が私たちのミッションだと考えている。阪南市でアマモ場再生に取り組む中でも、地元の人からそれが一番大事なことだと教わった。

高校生が海洋プログラムチームの活動を発信するのに加えて、海洋教育が子どもにとっても大人にとっても大切なことだと伝える機会をこれからも積極的に作っていきたい。

（関西大学北陽高等学校 花井英子先生。保健体育や創作ダンスを教えている。）

### 事例3 大阪から明るい水産業を創る会 (<https://www.facebook.com/naniwa.wakame/>)

#### <実施概要>

藻場創出

実施場所	ワカメ関連のイベントは岡田浦漁港（泉南市）、勉強会は大阪市内でそれぞれ実施。	
目的	大阪の水産業を学び、食育活動を通じて、より多くの人に大阪の水産業を知ってもらい、食べてもらうことで、流通を活性化させることを目的に2013年に設立した。岡田浦漁港でのワカメ関連のイベントは、会が発足する2年前から開催している。	
内容	岡田浦漁港におけるワカメ関連のイベントを企画し、年2回実施。主たるイベントは収穫会で、漁港から船を出して収穫の様子を見学し、収穫したワカメを配布する。 11月：ワカメの種付け体験／2～3月：収穫会 勉強会は有識者を講師に迎えて、ワカメ関連イベントのない時期に隔月で実施。	
実施時期	ワカメ関連イベントは11～3月頃、勉強会は4～10月頃。	
対象	会員のほか、岡田浦漁港の来訪者、過去にイベントや勉強会に参加したことがあるリピーターなど。 会員数は10数名、年会費は10,000円。	
成果・実績	<p>○ワカメ関連イベントには毎回数十名が参加。食育推進全国大会での出展も含め、大阪湾の養殖ワカメを広くアピールしている。</p> <p>○活動継続することで、岡田浦漁業協同組合に加えて、様々な企業や団体との連携やネットワークが広がり、新しい活動の展開へと進んでいる。</p>	 <p>ワカメの種付け体験の様子</p>

#### <取組みが広がっていった経緯>

岡田浦漁港でのワカメ関連のイベントを、地元の漁業協同組合の協力を得て開催することに。

- 会が発足する前、徳島県のワカメ収穫体験に参加した際に、大阪湾のワカメ養殖を知り、「大阪湾のワカメをアピールする体験イベントをやってみよう」と思い立ち、岡田浦漁業協同組合を訪問した。了承いただいたのち、体験イベントを毎年実施するようになった。
- ワカメの養殖場は泉南りんくう公園の目の前で、漁港から船で10分程度とアクセスが良い。波が穏やかな海域で育つ大阪湾の養殖ワカメは、身が厚く柔らかいという特長がある。

勉強会は、主要メンバーを中心としたネットワークで多彩な講師を招集し、継続している。

- 5、7、9月の第1日曜日の19時から大阪駅前第2ビルの貸会議室（大阪市生涯学習センター等）で勉強会を開催している。お弁当を食べながら専門家の話を聞き、意見交換を行う。参加費は会員が無料、非会員が1,500円で、講師には講師料2万円を支払う。
- 設立当初からの会員である主要メンバーが水産関連会社に従事していることから、独自のネットワークを通じて講師を招集。最近では、陸上養殖の企業、電子入札システムの開発企業、藻場創出の専門家、ワカメ専門家などを講師に迎えた。また、会員も講師を務めることがある。講師とは勉強会以降も定期的に情報交換するなどして交流を深めている。

## <活動の発展・継続のポイント>

ワカメの収穫会は地元漁師の協力を得て、安心安全かつ楽しいイベントとして好評を博す。

●ワカメの収穫会では、岡田浦漁業協同組合が船2艘を出し、収穫する船には会員数名が同乗して収穫の様子を撮影、他の参加者（小学生以上、全員ライフジャケット着用）は残りの1艘に乗ってその様子を見学する。下船後は、漁師の方々からタコ飯と獲れたてのワカメの味噌汁を振る舞っていただいたのち、収穫した生ワカメを参加者に配布する。毎回参加者にはとても好評なイベントとなっている。



養殖ワカメの収穫の様子

●岡田浦漁業協同組合とは、船を出す、料理を振舞うだけでなく、安全にイベントを実施できるようにするため、事前に入念な打ち合わせを行っている。

「食育推進全国大会」の出展ブースでは、大阪湾のワカメの魅力を子どもに伝えるように工夫。

●2024年6月に大阪府で開催された「第19回食育推進全国大会」にブース出展し、パネル展示やワカメクイズ、大阪湾の説明、実物大（全長2m）のワカメペナント展示と撮影会、ワカメ収穫の動画放映などを行い、大阪湾のワカメを一般の人に向けて広くアピールした。また、クイズに正解した人には景品として海洋プラスチックを利用したボールペンをプレゼントし、用意した2,000本を全て配り終えた。



「第19回食育推進全国大会」出展の様子

●会員全員で手分けして作成した展示物については、特に子ども向けに大阪湾のワカメの魅力をどう伝えていくかを工夫した。文字を減らす、イラストを多用するなどの工夫に加え、海藻と草木の違いから、ワカメの色のヒミツ、ワカメの栄養素などできるだけポイントを絞りこむよう工夫して作成した。

活動経費については、会費以外の資金も活用している。

●会費以外に食育の取組みとして大阪府の漁業振興基金を毎年活用し、活動資金に充てている。

主にイベント時のレンタカー代や漁師への支払い、勉強会の講師謝金などに支出している。

●「食育推進全国大会」へのブース出展は、展示物の作成や出展費用の一部について総合海事業者の深田サルベージ建設株式会社に協力いただいて実施している。

## <キーパーソンのメッセージ>

水産食の魅力やブルーカーボンの重要性を体験イベント等で訴求したい。

「食育」というテーマは、主要メンバーは本業で日々扱っているのので、今後も重視し、何か体験してもらえるイベント等を企画し実施していきたい。体験してもらうことで、私たちにも「気づき」が必ず生まれる。

また、子どもに食の魅力やブルーカーボンの重要性について伝えるのはとても難しいが、子どもが分かれば大人にも分かってもらえる。全長2mのワカメペナントの展示撮影会は、大人にも楽しんでもらえた。



大阪から明るい水産業を創る会 事務局 濱口昭広さん。普段は水産物関連の食品商社に勤めている。

## 事例4 兵庫運河を美しくする会 (<https://www.hyougounga.jp/>)

### <実施概要>

清掃美化活動

藻場創出

生物観察

実施場所	兵庫運河（兵庫県神戸市兵庫区） 主に、行政により造成された2ヶ所の人工干潟で活動。
目的	兵庫運河の水質改善を目的として、2013年に「兵庫運河の自然を再生するプロジェクト」（後述参照）を発足。その後、運河の美化に向けて生物多様性の保全や藻場創出等にも取り組みの幅を広げている。
内容	兵庫運河周辺の清掃を行う「会員合同清掃活動」を年2回実施している。 2024年5月開催分は9時～11時半まで、126名が6班に分かれて参加した。 集めたごみは神戸市環境局が回収し、処分した。 「会員合同清掃活動」の他、専門家協力のもと、アマモの種まきや分布調査、アサリ・海藻の分布調査、生き物観察会などを実施している。
実施時期	「会員合同清掃活動」は春（5月）と秋（11月）。 各種調査は連携する専門家や地元の小学生により1年を通して実施。
対象	兵庫運河が好きで、きれいにしたいと思う地域の企業や地域住民などが参加。 会員数57（2024.12現在）。年会費は企業・団体：12,000円、個人：3,000円
成果・実績	<p>○継続的な清掃活動により、水辺やプロムナードのごみが減り、住民から「癒される水辺になった」と言われるようになった。</p> <p>○水質がきれいになったことで、アマモ場創出（生育面積の増加など）、アサリや牡蠣など貝類をはじめとする生き物の増加などの効果がみられる。</p>



アマモが繁茂する様子

### <取り組みが広がっていった経緯>

54年前に設立。2013年には「兵庫運河の自然を再生するプロジェクト」が発足。

- 木材業者が貯木場として活用していた兵庫運河は、高度経済成長期には水質汚濁が進み、ヘドロが蓄積し、メタンガスが発生するなど生き物の生息が難しい環境だった。そこで神戸市の声かけから木材業者が中心となり、「兵庫運河を美しくする会」を1971年に設立した。
- 2013年に兵庫運河を美しくする会、兵庫漁業協同組合、兵庫運河・真珠貝プロジェクト、兵庫・水辺ネットワーク（専門家、市民活動家の団体）の4団体により、兵庫運河で環境保全活動に取り組む「兵庫運河の自然を再生するプロジェクト」を発足した。2015年からは地元の神戸市立浜山小学校も参画している。

行政による人工干潟の造成を機に、干潟の保全や藻場創出の取り組みが本格的に進む。

- 2015年に神戸市が「浜っ子きらきらビーチ」を竣工、2020年には国土交通省が人工干潟「あつまれ生き物の浜」を造成した。干潟の名称はそれぞれ浜山小学校の児童が命名した。
- 並行して、兵庫運河の自然を再生するプロジェクトが、生物多様性の保全に向け、専門家協力のもと調査や測定、アマモの種まきなどを地域で協力しながら取り組むようになった。

## <活動の発展・継続のポイント>

「会員合同清掃活動」を年2回実施。合わせて、専門家協力のもとアマモの種まきや調査を実施。

- 春と秋に「会員合同清掃活動」を実施し、企業や住民などの会員を中心に100~120名が参加している。兵庫漁業協同組合が船を出し、水中のごみも回収。
- 「会員合同清掃活動」と同時開催で、専門家協力のもとアマモの種まきや調査を実施している。
- 清掃活動はこれまでに計43回実施している(2024.11現在)。活動を継続する中で、活動内容をホームページで発信し、小学校の校外学習や兵庫区によるイベントなど目に見える活動で、次第に参加者や会員が増えていった。



大清掃会の様子

2022年3月にJブルークレジット認証取得。会員の購入希望者全員に発行。

- 取組成果を通じて、兵庫運河の自然を再生するプロジェクトの参画団体の連名で、運河に貯留されたCO<sub>2</sub>の量を算出して申請し、2022年3月に「Jブルークレジット」を西日本で初めて認証され、企業にJブルークレジットを発行した。
- Jブルークレジット認証では大口を5万円、小口を1万円と設定。大口は7社が、小口は10社が購入した。会員には購入希望者全員に発行した。主な用途は、清掃道具や清掃時のピブス、弁当代、ホームページの維持管理費など活動の継続に使用している。

海洋研究の専門家、地元の小学校、漁協、行政との連携により活動を展開。

- 徳島大学や西宮市貝類館などの専門家ネットワークがあり、各自が兵庫運河でアマモの成長観察、貝類調査、バフンウニ観察、水流調査などの研究活動を展開している。一方、Jブルークレジット申請に必要なデータを含め、水質調査や生物調査、アマモの生育状況観察などについては専門家から随時協力を得ている。



専門家協力のもと小学生が生物調査を実施

- 浜山小学校では、3年生が生物多様性に関する学習として、春にアサリの稚貝をネットに入れて放流し、秋にはどれくらいアサリの数が増えたかを調べる観察会を実施している。
- 兵庫漁業協同組合は、アマモの種まきや子どもたちの教育などにおいて船を出している。
- 行政とも連携し、兵庫運河の環境改善に向けて、関係者と一体となって取組みを進めている。

## <キーパーソンのメッセージ>

仕事も教育も子育てもしやすい地域にすることが一番。

私たちがやりたいことを続けていたら、地域が良くなり、住みやすくなってきた。これからも自然体で活動を続けていきたい。

生物多様性も重要だが、もっと重要なのは人間が住みやすくなること。仕事も教育も子育てもしやすい地域になっていくことが一番だと思っている。運河は基本的には商業の場であり、この地域は工業地帯でもある。地域の人が憩える場、みんなの拠り所であってほしいと私は思う。



兵庫運河を美しくする会  
会長 服部鋭治さん。  
兵庫運河に面した木材業者の3代目。

## 事例5 STEAM CLUB (<https://steamclub-horie.com/>)

### <実施概要>

生物観察

実施場所	淡輪の古民家（大阪府泉南郡岬町）、淡輪海水浴場
目的	STEAM 教育※を子どもたちに体感させる自然体験イベント ※STEAM 教育：科学(Science)・技術(Technology)工学(Engineering)・芸術(Arts)・数学(Mathematics)の5つの分野を統合的に学ぶ教育。
内容	淡輪にある古民家（BAZ11）を滞在拠点として、海の体験イベント「淡輪海の基地で自然体験！」を実施。 夏休みに子どもたちが親元を離れて合宿をしながら、子どもの自立性、協調性、積極性を育みつつ、ゆっくり過ごせるよう、2泊3日で実施。イベントの中で、海水浴や海の生き物観察、料理なども実施している。 同様の趣旨で、親子参加の日帰り自然体験イベントも実施。
実施時期	2泊3日イベントは7月から8月（2024年は4回実施）。 日帰り自然体験イベントは6月（2024年は1回実施）。
対象	未就学児から小学6年生まで（日帰り自然体験イベントは親子）
成果・実績	○2024年に計4回開催した2泊3日イベントは各回15名ずつ、日帰り自然体験イベントは親子10組募集し、いずれの回もほぼ満席となった。 ○開催後アンケートでは、ほぼ全員が「来年も参加したい」と回答。参加した保護者からは「対応がしっかりしていて安心した」と高い評価を受けた。



### <取組みが広がっていった経緯>

STEAM CLUBとBAZ11を運営する2人の母親が共同で海の体験イベントを企画。

- アフタースクール「STEAM CLUB」の代表を務める堀池さんが、子育て仲間の池谷さんから「購入した淡輪の古民家（BAZ11）で子どもたちの自然体験イベントを企画したい」と声がかかったのが取組みのきっかけ。相談の上、STEAM CLUBとBAZ11を運営する2者で共同開催することにした。
- スタッフが現地へ下見に行った際に、海辺にヤドカリやクラゲ、魚など生き物がたくさん生息しているのを確認し、子どもたちにとって良い体験になると思いついたことから、プログラムの1つとして海の生き物観察を実施することになった。

地元を何度も訪問し、地域情報の収集に加え、地域住民との対話を積み重ねて関係性を構築。

- 古民家オーナーの池谷さんが町会へ何度も挨拶に行き、「ここに子どもたちを連れてきて、イベント等を開催したい」とお話しして、少しずつ賛同者を増やして信頼関係を築いていった。
- スタッフによる下見の際にも漁業組合や町会へ挨拶に行き、開催日やその内容に加え、子どもが活動することを説明し、地元の理解を得るよう心掛けている。また、古民家から海までの行き方やお店など、必要な地域情報も訪問の際に収集している。

## <活動の発展・継続のポイント>

助成金を活用することで、手頃な参加費に設定。高い集客効果を得ている。

- 2泊3日イベントの参加費は1人当たり15,000円で、日帰りイベントの参加費は親子で5,000円。いずれも、参加者にリーズナブルだと捉えられた。
- 参加費を抑えてイベントを開催するため、「子どもゆめ基金」(270ページ参照)に申請して採択された。この助成金を活用することで、2泊3日イベントは予定額の半額程度に設定できている。

地元スタッフや漁業組合などの協力を得ながら、安全性に配慮しつつ、受け入れ体制を強化。

- 2泊3日イベントには地元スタッフを含めた計4名が同行した。地元スタッフは地域に精通し、病院や休日外来などの有用な地元情報も知っているため、随行することが有効に働いている。
- 海の見守りを行っている地元の漁業組合やライフセーバーに、開催前や当日に挨拶を行い、何かあった時にすぐ相談できる体制を作っておくことで、安全にイベントが遂行できるように配慮している。
- 地元の漁業組合から現場の状況を事前に聞き取り、参加者に注意喚起や長袖やウォーターシューズの着用を促すなど、海での怪我を防ぐために対策を行っている。
- 海の生き物観察について、イベント当日は基本的に専門家が随行せず、生き物を見つけると、名前や特徴、生息地などの情報をインターネット(Googleレンズ等)で調べて、スタッフと子どもと一緒に探求している。



海の生き物観察の様子

チラシやSNSで告知し、子どもや親のコミュニティを通じて情報を拡散。

- 各所でチラシ配布して告知する際に、コミュニティを持っている人に情報が届くと情報が拡散される。2024年の開催時には、小学生のアメフト部、女性起業家の集まりなどで拡散され、自ら応募したり友達を誘ってくれたりすることで、集客につながった。
- SNS(Instagram等)も情報拡散の効果が高く、STEAM CLUBのイベントをチェックする多くのフォロワーに興味を持ってもらい、フォロワーが友達を誘って参加するケースもみられた。

## <キーパーソンのメッセージ>

**地域の小学生に広く周知し、活動の門戸を広げていきたい。**

STEAM教育も、海での自然体験も、「自分が欲しているけれど、いまはまだ無いもの」を自ら作り、運営してきた。

自然体験では子どもたちの成長が感じられるので、さらに門戸を広げていきたい。満席になれば良しとするのではなく、もっとたくさんの人にイベントの存在を知ってもらえるように、今後は地域の小学生にも広く周知していきたいと思っている。



STEAM CLUB 共同代表 堀池香織さん。

<事例6>

藻場創出 清掃美化活動

実施団体	NPO 法人大阪海さくら <a href="https://www.osakaumisakura.com/">https://www.osakaumisakura.com/</a>	
概要	①大阪湾でアマモを育て海の生物を知ろう、②淀川ごみ拾い	
実施場所	①ちきりアイランド（岸和田市沖）、高師浜（高石市） ②淀川河口（主に阪神電鉄伝法駅付近）、大阪湾	
目的	①海洋生物やアマモ場を守り、海の魅力を伝える。 ②楽しくごみ拾いを行い、大阪の海をきれいにする。	
内容	<p>①アマモを育てる活動（アマモの里親制度として、冬にアマモの種まき、3月にアマモ移植を実施する。アマモポットは380個配布(2024年実績)、地引網で海洋調査等を実施。</p> <p>②大阪湾・淀川等でごみ拾い活動の実施、プラごみの青空教室を開催。</p> <p>①、②の他、海の環境問題や活動を知ってもらうためのチャリティーコンサートを定期的で開催し、売上を海の活動に活用。音楽・芸術・パフォーマンスを通して活動の輪を広げている。</p>	 <p>出典：大阪海さくらHP</p>
実施時期	①通年（アマモの移植は3月）、②毎月第三日曜日 10時伝法公園集合	
対象・人数	一般 44名（アマモ移植、2024年実績）	
その他	「地球環境基金」（269ページ参照）を活用。	

<事例7>

藻場創出

実施団体	関西エアポート株式会社 <a href="https://www.kansai-airports.co.jp/efforts/environment/friendly/">https://www.kansai-airports.co.jp/efforts/environment/friendly/</a>	
概要	関西国際空港島護岸の藻場環境の創造	
実施場所	関西国際空港島護岸	
目的	大阪湾の豊かな海洋環境の創造	
内容	<p>大阪湾を埋め立てて造られた人工島である関西国際空港では、計画時から海洋環境との調和が重視され、藻場環境の造成が進められてきた。2022年には藻場に生育する海藻によるCO2吸収量を定量化し、Jブルークレジットの認証を受けた。地元自治体とも連携し、大阪湾の豊かな生態系づくりに取り組んでいる。</p>	 <p>空港島周辺の藻場 出典：関西エアポート株式会社HP</p>
実施時期	通年	
その他	「令和5年度前期自然共生サイト」に認定。	

<事例8>

藻場創出

実施団体	ENEOS株式会社堺製油所	
概要	「令和の里海づくり」藻場創出活動	 
実施場所	堺市西区築港浜寺町	
目的	海中の生物の生息環境の創出	
内容	大阪湾の臨海工業地帯に立地する企業の未使用護岸に、藻類等が着生しやすいブロックを設置し、定期的にモニタリングを実施。 取組内容は地域住民等に向けて情報発信を行っている。	
実施時期	通年	
その他	環境省「令和の里海づくり」モデル事業	

<事例9>

藻場創出

実施団体	阪南市 他 <a href="https://www.city.hannan.lg.jp/kakuka/syogai/gakko/1615283243604.html">https://www.city.hannan.lg.jp/kakuka/syogai/gakko/1615283243604.html</a> <a href="https://www.city.hannan.lg.jp/kakuka/mirai/promotion/SDGs/7843.html">https://www.city.hannan.lg.jp/kakuka/mirai/promotion/SDGs/7843.html</a>	
概要	はんなん海のゆりかご再生活動	 <p>阪南市沿岸域のアマモ場</p>   <p>活動の様子 写真提供：阪南市</p>
実施場所	阪南市沿岸域のアマモ場	
目的	子どもが藻場の再生に取り組むことで生物の大切さを学ぶ	
内容	小学校での海洋教育を中心とした、市民・NPO・企業・行政等の協働によるアマモ場の保全・再生・活用	
実施時期	通年	
その他	「令和5年度前期自然共生サイト」に認定。 「第1回全国海の再生・ブルーインフラ賞 みなと総研賞」を受賞。	

<事例 10>

生物観察

実施団体	貝塚市立自然遊学館 <a href="https://www.city.kaizuka.lg.jp/shizen/chosakenkyu/nishiki_kogigawa.html">https://www.city.kaizuka.lg.jp/shizen/chosakenkyu/nishiki_kogigawa.html</a>	
概要	二色の浜および近木川河口の海岸生物調査	
実施場所	二色の浜、近木川河口（貝塚市）	
目的	魚類、貝類、甲殻類などの生物調査	
内容	<p>潮間帯のベントス（底生生物）を定期的にモニタリングし、近木川河口の干潟では 1996 年からハクセンシオマネキの個体群の経年調査、二色の浜では 2014 年からアマモ場にすむ生き物の調査を実施。</p> <p>毎年 5 月には一般参加者とともに大阪湾の沿岸各地で生き物を一斉に調査するイベント「渚の生きもの」を実施。</p>	 <p>「渚の生きもの」実施の様子 出典：貝塚市立自然遊学館HP</p>
実施時期	通年（「渚の生きもの」は5月）	
対象・人数	一般 40 名（2022 年イベント実績）	

<事例 11>

生物観察

実施団体	チーム☆ガサ <a href="https://team-gasa.com/">https://team-gasa.com/</a>	
概要	大阪湾でガサ（海で網を持ってガサガサする）を通じて自然の重要性・魅力を普及啓発	
実施場所	阪南市西鳥取漁港横の波有手海岸	
目的	阪南市を中心に大阪湾の魅力を伝える	
内容	<p>アマモの保全や藻場に集う生き物調査、地域の小学生の授業サポートなど次世代に繋げる活動を実施。</p> <p>メンバーである大阪湾で活動する海の専門家が、関連団体のサポートや講師として各地へ出張するほか、毎年夏に主催イベント「夏休みの自由研究」（内容は干潟で生き物採集）を行っている。</p>	 <p>出典：チーム☆ガサ facebook</p>
実施時期	通年（「夏休みの自由研究」は7月）	
対象・人数	イベントは小中学生 20 名程度	
その他	大阪湾広域臨海環境整備センター「環境保全市民活動等助成金」（269 ページ参照）を活用。	

<事例 12>

生物観察 漁業体験 清掃美化活動

実施団体	なにわエコ会議 <a href="https://www.naniwaekokaigi.org/">https://www.naniwaekokaigi.org/</a>		
概要	淀川水系で魚、昆虫、鳥などの生物を観察して、自然と親しむ		
実施場所	淀川上流（島本町水無瀬川）、 淀川河口（大阪市海老江付近）	 <p>淀川上流河川の水生物観察</p> <p>鳥類観察 出典：なにわエコ会議 HP</p>	
目的	人と環境が調和する「環境先進都市おおさか」の実現、持続可能な開発目標（SDGs）達成に寄与		
内容	「淀川自然探検隊」では毎年、淀川河口での石干見（いしひび）漁の漁業体験、船でははぜ釣り体験、河川敷の生物観察を行っている。 その他、河川などのプラスチックごみ削減に向けたイベントを毎年複数回、実施している。		
実施時期	8月末～10月初旬		
対象・人数	大阪市内の子ども 漁業体験 80名、はぜ釣り 14名、 生物観察 100名（2024年実績）		

<事例 13>

生物観察 自然再生

実施団体	津之江公園を活かす会 （一般社団法人たかつき環境市民会議、たかつき市民環境大学 OB 会） <a href="https://takatsuki-kankyo.sakura.ne.jp/">https://takatsuki-kankyo.sakura.ne.jp/</a>	
概要	津之江公園自然再生エリアの維持管理、自然学習活動	
実施場所	津之江公園（高槻市）	
目的	津之江公園の自然再生	
内容	「一般社団法人たかつき環境市民会議」と「たかつき市民環境大学 OB 会」が「津之江公園を活かす会」を設立して、高槻市と「津之江公園自然再生エリアに係る管理協定」を締結し、保全活動の他、小学生の環境学習支援、植物観察会、昆虫観察会、野鳥観察会を開催している。	 <p>植物観察会 提供：たかつき環境市民大学 OB 会</p>
実施時期	通年	
その他	セブン・イレブン記念財団「環境市民活動助成」（270 ページ参照）を活用。	

<事例 14>

生物観察 漁業体験 海洋レジャー

実施団体	公益社団法人 大阪自然環境保全協会（ネイチャーおおさか） <a href="https://www.nature.or.jp/index.html">https://www.nature.or.jp/index.html</a>	
テーマ①	海のふしぎ観察会（大阪湾の地曳網体験と生き物観察会）	
実施場所	岡田浦漁港（泉南市）、せんなん里海公園（泉南郡岬町）	
目的	大阪湾に生息する生物について学ぶ	
内容	午前中は、泉南市の「岡田浦漁港」で地曳網を体験し、大阪湾で獲れる魚類について学ぶとともに、午後からは砂浜や干潟に生息する生物観察会を行い、大阪湾に生息する生物について学ぶ。	 <p>出典：大阪自然環境保全協会 HP</p>
実施時期	8月（9:00～14:30）	
対象・定員	子どもとその保護者 40名（一般大人も参加可）	
その他	「子どもゆめ基金」（270ページ参照）を活用。	
テーマ②	海のふしぎ観察会（「大阪湾シュノーケリング体験」in せんなん里海公園）	
実施場所	せんなん里海公園（泉南郡岬町）	
目的	大阪湾でのレジャーを体験する共に海中に生息する生物について学ぶ	
内容	初心者も含め、ダイビングインストラクターの指導の下、大阪湾海の家藻、魚の群れ、磯の生物などを観察し、大阪湾の豊かな生態系について学ぶことができる。	 <p>出典：大阪自然環境保全協会 HP</p>
実施時期	小学校3年生以上とその保護者 20名	
対象・定員	8月（10:00～15:00）	
その他	「子どもゆめ基金」（270ページ参照）を活用。	

<事例 15>

海洋レジャー 生物観察

実施団体	大阪府立青少年海洋センター (指定管理者：ナンブフードサービス株式会社/NPO 法人 NAC (ナック)) <a href="http://www.osaka-kaiyo.com/index.html">http://www.osaka-kaiyo.com/index.html</a>	
テーマ①	マリンプログラム	
実施場所	大阪府立青少年海洋センター (泉南郡岬町)	 カッター
目的	身近な大阪湾で海洋レジャーを体験し、大阪湾の豊かさを学ぶ	 ヨット
内容	大阪府立青少年海洋センター前的大阪湾でカッター、ヨット、カヌー、クルージング、いかだ等の大阪湾の海洋レジャーを体験できる。同センターは宿泊施設も備えており、学校等の団体の宿泊による課外活動やキャンプイベントとしても利用できる。事前打ち合わせにより希望に合わせて複数のプログラムを実施することができる。	 カヌー
実施時期	カッター、クルージングは 3~12 月/ヨット、カヌーは 3~11 月/いかだは 6~10 月	 クルージング
対象・定員	カッター、ヨット、カヌー、いかだは主に小学校高学年以上。クルージングは制限なし。	 いかだ
テーマ②	フィールドプログラム	
実施場所	大阪府立青少年海洋センター (泉南郡岬町)	 ビーチコーミング
目的	大阪湾の磯浜でのレジャーを体験するとともに、大阪湾に生息する生物について学ぶ	 魚釣り
内容	大阪府立青少年海洋センター隣接のせんなん里海公園の磯場や砂浜等で「磯遊び/サンドアート/ビーチコーミング(※)/砂浜オリンピック/魚釣り/生き物観察会」等の大阪湾の磯浜でのレジャーを体験できる。宿泊、又は日帰りでの利用が可能で、同センターは必要な備品の貸出を行う。一部のプログラムを除き、職員による指導は行わない。 ※ビーチコーミング：貝殻や流木、漂流ごみなど海岸や砂浜に打ち上げられた漂着物を集めて観察すること	 生物観察
実施時期	通年	
対象・定員	小学校高学年から(ビーチコーミング、砂浜オリンピック)、家族など(魚釣り、生き物観察会) 制限なし(磯遊び、サンドアート)	

写真提供：大阪府立青少年海洋センター

写真提供：大阪府立青少年海洋センター

<事例 16>

生物観察 漁業体験

実施団体	きしわだ自然資料館 <a href="https://www.city.kishiwada.osaka.jp/site/shizenshi/">https://www.city.kishiwada.osaka.jp/site/shizenshi/</a>
概要	ちぬの海とおの湖、間をつなぐ川しらべ
実施場所	岸和田漁港／瀬田漁港／あくあびあ芥川
目的	大阪湾と琵琶湖及びその間をつなぐ淀川を学ぶ
内容	<p>大阪湾(岸和田漁港)、琵琶湖(瀬田漁港)、淀川(あくあびあ芥川)で実施される3日間の連続講座。</p> <p>大阪湾では岸和田漁港の見学により、大阪湾で獲れた魚について専門家の説明により学んだあと、「きしわだ自然資料館」に移動し大阪湾の生物を含む展示内容の見学や「チリメンモンスター実習」を実施する。</p> <p>琵琶湖では、琵琶湖で活動する環境学習等支援グループ「びわたん」によるセタシジミの貝漁体験と環境学習、「あくあびあ芥川」では淀川に生息する生物などについて学習する。</p>
	  <p>出典：きしわだ自然資料館 HP</p>
実施時期	8月／9月／12月
対象・定員	小学生以上（小学生は保護者同伴）※幼児同伴不可 20名
その他	「河川基金」（272ページ参照）を活用。

<事例 17>

清掃美化活動 生物観察

実施団体	NPO法人地球環境市民会議（CASA）／一般財団法人環境事業協会 <a href="https://www.casa1988.or.jp/WP/activity_report/3349/">https://www.casa1988.or.jp/WP/activity_report/3349/</a>	
概要	成ケ島（洲本市）プラごみ調査と海の生き物観察ツアー	
実施場所	兵庫県洲本市成ケ島	
目的	清掃活動や生物観察を通じてマイクロプラスチック問題について考える	
内容	<p>海洋ごみがたくさん集まる兵庫県洲本市成ケ島に行くエコツアーで、プラスチックごみの回収調査や干潟での生物観察を行い、マイクロプラスチック問題等について考える機会を提供している。また、昼食には地元漁協が準備した「たこ飯」等が用意され大阪湾の恵みについても体験できる。</p>	 <p>活動の様子</p>  <p>地元の魚介類を使った昼食 出典：NPO 法人地球環境市民会議（CASA）HP</p>
実施時期	11月（8:00～18:30）	
対象・定員	小学生以上（ただし、中学生以下は単独参加不可） 40名	
その他	「子どもゆめ基金」（270 ページ参照）と「大阪府環境保全活動補助金」（269 ページ参照）を活用。	

<事例 18>

清掃美化活動 生物観察

実施団体	一般財団法人環境事業協会 <a href="https://www.kankyujigyou.or.jp/environmental/">https://www.kankyujigyou.or.jp/environmental/</a>	
概要	MIZUBE キャラバン 2023 みんなの海ごみクリーン大作戦 in 友ヶ島	
実施場所	友ヶ島（和歌山県和歌山市）	
目的	海ごみについて学ぶ	
内容	<p>和歌山県和歌山市の無人島「友ヶ島」に行くエコツアーで、漂着した海ごみの回収や海ごみの種類を調査し、海の生物への影響、海ごみを減らすためにはどうすればいいのか、などを体験しながら学ぶプログラム</p>	  <p>出典：環境事業協会 HP</p>
実施時期	9月	
対象・定員	小学4年生～6年生とその保護者 10組30名	

<事例 19>

清掃美化活動 生物観察

実施団体	男里川干潟（おのさとがわ ひがた）を守る会（1995 年設立）	
概要	干潟での生物観察、清掃美化活動	
実施場所	大阪府泉南市及び阪南市の男里川河口 （海岸から里山、上流・源流まで）	
目的	干潟に生息する生物について学ぶ	
内容	大阪府に残る貴重な自然干潟の男里川河口干潟で【月定例・臨時の清掃美化活動】と【生物観察モニタリング・観察会】を 30 年間継続している。設立以来、地域の個人や他団体との協働による活動を実施しており、男里川河口干潟以外の泉州地域の自然環境保全の活動にも取り組んでいる（アマモ藻場再生、アカウミガメ上陸・産卵・孵化の見守り、貝類・ホタル類・ウミホタル観察 など）。	
実施時期	通年	

出典：大阪湾生き物一斉調査 情報公開サイト

<事例 20>

清掃美化活動 生物観察

実施団体	自然と本の会 <a href="https://shizentohon.jimdofree.com/">https://shizentohon.jimdofree.com/</a>	
概要	定期的な海岸での清掃美化活動、生物観察	
実施場所	貝掛海岸（ハマボウフウの浜）・箱作自然海岸	
目的	海岸に生息する生物についての学びとその保全活動	
内容	アドプト・シーサイド・プログラムとして活動している海岸や大阪でわずかに残されている自然海岸で主に会員による清掃美化活動を継続して行っている。特に、貝掛海岸（ハマボウフウの浜）では、毎年 5 月の大潮の干潮時間帯に沖合に現れる干潟での子供向けの浜遊びイベントを実施している。この干潟では、普段見ることのできない海底に生息する生物を観察することができる。ハマボウフウの浜はハマヒルガオや絶滅危惧種のハマボウフウの群生地、その保全活動にも取り組んでいるほか、亜熱帯植物グンバイヒルガオの定着も確認した。	 <p>地砂浜に咲くハマヒルガオ</p>  <p>沖合に現れた干潟</p> <p>写真提供・出典：自然と本の会 HP</p>

<事例 21>

生物観察

実施団体	せんなん里海公園管理事務所（一般財団法人大阪府公園協会） <a href="https://www.osaka-park.or.jp/rinkai/sennan/main.html">https://www.osaka-park.or.jp/rinkai/sennan/main.html</a>	
テーマ①	ウミホタルウォッチング	
実施場所	せんなん里海公園ときめきビーチ	
目的	大阪湾に生息する生物について学ぶ	
内容	<p>まず、砂浜に隣接する東屋でウミホタルの生態等に関するレクチャーを行った後、ウミホタル捕獲用の仕掛けを海に投入する。</p> <p>仕掛けでウミホタルが捕獲できるまでの間、再度、東屋で海や自然に関するクイズなどを実施したのち、仕掛けを引き上げウミホタルの観察を行う。</p> <p>最後、ウミホタルを砂浜から海水中に戻すと波打ち際でウミホタルが“天の川”のように光る光景を見ることができる。</p>	  <p>出典：里海ニュース No. R4-15</p>
実施時期	10月（18:30～20:00）	
対象・定員	一般（小学生以下は保護者同伴） 30名	
テーマ②	陸ガニ観察会	
実施場所	せんなん里海公園「潮騒ビバレー多目的室/あふれ滝」	
目的	大阪湾に生息する生物について学ぶ	
内容	<p>まず、公園内の研修室で紙芝居を使うなどして陸ガニの生態についてレクチャーするとともに、事前に捕獲した陸ガニに直接接触するなどして観察する。</p> <p>近くの小川に移動し、陸ガニの放仔を観察する。陸ガニの放仔は7月から9月の満月の夜の前後に観察できる。</p>	  <p>あふれ滝</p> <p>出典：里海ニュース No.R5-9</p>
実施時期	8月（18:30～20:00）	
対象・定員	一般（小学生以下は保護者同伴） 20名	
テーマ③	海の小さな怪物チリメンモンスターを探そう！	
実施場所	せんなん里海公園「潮騒ビバレー」	
目的	大阪湾に生息する生物について学ぶ	
内容	<p>大阪湾やチリメンの特徴などを学びながら、チリメンモンスター（※）を探して、キーホルダーやチリメン・コレクションを工作する。</p> <p>※チリメンモンスター： 魚屋や漁港で入手できるちりめんじゃこに混じるさまざまな生き物（チリメンモンスター）を探し出すことで、海の生き物の多様性などについて学ぶ体験型学習プログラム</p>	 <p>チリメンモンスター探し</p>  <p>キーホルダー作成</p> <p>出典：里海ニュース No.R5-9</p>
実施時期	7月（10:00～12:00）	
対象・定員	一般（小学生以下は保護者同伴）	

<事例 22>

生物観察

実施団体	海遊館 <a href="http://www.osaka-kaiyo.com/index.html">http://www.osaka-kaiyo.com/index.html</a>	
テーマ①	大阪湾スナメリ調査	  スナメリ調査の様子 写真提供：海遊館
実施場所	関西国際空港の周辺海域	
目的	大阪湾に生息する生物について学ぶ	
内容	スナメリと大阪湾についてのレクチャーののち、大阪港から調査船に乗り、関西国際空港の周辺海域を中心に目視調査を行う。調査終了後、船内でふりかえりのレクチャーが行われる。	
実施時期	5～6月（9:00～14:10）（2023年実績）	
対象・定員	高校生以上 15～30名	
テーマ②	飼育員と一緒に磯観察！「大阪湾の海辺の自然観察会 in せんなん里海公園」	
実施場所	せんなん里海公園「さとうみ磯浜」とその周辺エリア（現地集合、現地解散）	
目的	大阪湾に生息する生物について学ぶ	
内容	海遊館の飼育員と「せんなん里海公園」（大阪府泉南郡岬町）の人工磯や浜へ出かけ、生物観察を行うとともに、海浜植物の観察などを通して、大阪湾の自然に親しむプログラム	 出展：海遊館 HP
実施時期	5月（10:20～15:30）（2023年実績）	
対象・定員	小学生以上（小学生は保護者の参加が必須） 20名	

<事例 23>

自然再生

実施団体	NPO 法人共生の森／大阪府 <a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/midori/midori/kyousei.html">https://www.pref.osaka.lg.jp/midori/midori/kyousei.html</a>	
概要	堺第7-3区「共生の森づくり」	 
実施場所	堺市西区築港新町（堺第7-3区）	
目的	産業廃棄物埋立処分場跡地の自然再生	
内容	草刈りイベントの開催等による森づくり活動及び自然観察	
実施時期	通年	
その他	「令和6年度前期自然共生サイト」に認定。	

## (2) 他の海域における活動事例

### <事例 24>

自然観察

水辺レジャー

実施団体	NPO 法人あそんで学ぶ環境と科学倶楽部 <a href="http://www.enjoy-eco.or.jp/">http://www.enjoy-eco.or.jp/</a> <a href="https://www.youtube.com/watch?v=RYslqtXWHOY">https://www.youtube.com/watch?v=RYslqtXWHOY</a>
概要	都心の水辺でエコツアー（神田川・日本橋川コース）
実施場所	東京都内神田川、日本橋川
目的	東京の街を水辺から眺めることで、環境保全の取り組みを考える
内容	江戸時代の水路を中心とした街づくりや水質環境の向上から変化しつつある神田川や日本橋川を巡りながら、様々な資源を使って川についての理解を深めるスタディーツアー。 日本橋観光桟橋から出発し、日本橋川→神田川を巡り、一部隅田川を通過して、日本橋へ戻る所要時間約2時間のコース。 途中、水路に生息する野鳥や水生生物を観察し、また、護岸やパイプから出てくる排水から水質環境について、認定ガイドの説明も聞きながら考える。
実施時期	通年
対象・定員	一般（定員：10名/30名（ボートによる））
その他	環境省等が主催するエコツーリズム大賞では、「都市型エコツーリズムの萌芽的存在として評価」され第5回特別賞、「多面的に環境負荷への配慮がなされた活動として評価」され第8回優秀賞をそれぞれ受賞。



出典：特定非営利活動法人あそんで学ぶ環境と科学倶楽部 HP

<事例 25>

文化的資源の体験

生物観察

清掃美化活動

実施団体	一般社団法人瀬戸内海エコツーリズム協議会 <a href="https://setoecokyo.jimdofree.com/">https://setoecokyo.jimdofree.com/</a>
概要	宮島エコツアー
実施場所	瀬戸内海 宮島及び周辺海域
目的	宮島の環境資源を文化・歴史・生物多様性保全等の観点から活用する
内容	全島が国の特別史跡・特別名勝に指定され、世界遺産の厳島神社やラムサール条約湿地も有する広島県西部の宮島の7つの浦（入り江にできた砂浜や磯浜など）を船で巡りながら、途中「潮間帯生物の観察」、「汽水域の動植物観察」、「漂着ごみ観察・海浜清掃」、「小川のトレッキング」などのアクティビティを行うエコツアー。各アクティビティでは専門ガイドによる解説を行う。
実施時期	8～9月（9:00～17:00）
対象・定員	一般 10名
その他	「生物多様性保全推進交付金（エコツーリズム地域活性化支援事業）」（273 ページ参照）を活用。 環境省等が主催するエコツーリズム大賞では、本エコツアーを含む実施団体の取組みが「多様な主体を結び付けて（エコツーリズム推進法に基づく）全体構想策定に取り組む点が評価」され第10回特別賞を受賞。
	 <p style="text-align: center;">エコツアーチラシ</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>汽水域の植物観察</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>潮間帯生物観察</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">出典：一般社団法人 瀬戸内海エコツーリズム協議会 HP</p>

<事例 26>

清掃美化活動

生物観察

自然再生

実施団体	天神崎の自然を大切にする会 <a href="https://www.tenjinzaki.or.jp/">https://www.tenjinzaki.or.jp/</a>
概要	ナショナル・トラスト運動による陸地・海底清掃、植樹、生物観察教室等
実施場所	天神崎（和歌山県田辺市）
目的	天神崎の自然保護と環境教育の推進
内容	当該団体は、和歌山県の田辺湾北側の岬に位置する天神崎の多様な生物の生息する環境を開発から守るため、ナショナル・トラスト運動により土地を買い戻したうえで、年4回の定期清掃活動、毎年6月初旬に開催する自然観察教室のほか、海底清掃やピオトープ整備、植林活動などの多様な活動を行っている。
対象・定員	一般
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>天神崎</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>海底清掃</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>定期清掃活動</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>自然観察教室</p> </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">出典：一般社団法人天神崎の自然を大切にする会 HP</p>

## 5. エコツーリズム（エコツアー）の実施

### （1）エコツアーの企画・検討

「3. 活動候補場所とその概要」では大阪湾にある様々な魅力あふれる環境資源を、「4. 活動事例」ではそれらを活用した事例や団体を紹介してきました。

ここでは、具体的にはエコツアーの企画・検討を進める上でのノウハウをご紹介します。エコツアーを進めるときには、どんなテーマで、どこを案内し、誰に協力を得るか、下見や準備物の調達も必要ですが、大阪湾の魅力を知ってもらい、地域の人とのつながりができるなど楽しいツアーを企画していきましょう。

#### 【エコツアー 実施手順】

取組み順	内 容	ノウハウ等	
事前準備 (エコツアーの設計)	ステップ1	基本テーマ等の設定	P140
	▼		
	ステップ2	活動候補場所の現地訪問、活動場所の設定	P140
	▼		
	ステップ3	コンテンツ（実施計画）の策定	P141
	▼		
	ステップ4	助言可能な専門家・専門機関との連携の検討	P143
▼			
ステップ5	必要な許認可等の手続き、施設管理者等との調整	P144	
▼			
ステップ6	民間及び公的補助金等の活用の検討	P145	
▼			
ステップ7	広報の実施	P146	
▼			
開催準備・当日	ステップ8	開催準備・当日対応	
		集合・事前説明・誘導	P147
		人員配置	P147
		安全管理	P147
		悪天候時等の対応	P148
▼			
効果検証	ステップ9	効果測定など	
		アンケート調査 波及効果創出に向けた成果の発信、活動展開等	P149

## ①事前準備（エコツアーの設計）

まずは、エコツアーの設計（デザイン）をしていきましょう。

### 【ステップ1（基本テーマ等の設定）】

- エコツアーの参加者が参加したくなるのはもちろん、大阪湾に興味と愛着を抱き、保全活動にも参加したくなることをめざしたテーマを設定しましょう。
- 「誰にどのような大阪湾を知ってもらおうか」の視点で、参加者の対象やテーマを検討すると決めやすくなります。

#### ○参加者の設定事例

- ・一般（大阪府内、大阪府外 等）
- ・小学生（低学年、高学年 等）  
※小学生の場合は、保護者等の同伴を条件とする場合有
- ・中学生・高校・大学生等の若者世代 など

#### ○エコツアーの実施手法の分類

実施手法	考え方
生物観察	一見生き物がいなさそうな大阪湾でも、磯浜生物・海洋生物観察などにより実際に生き物に触れ、多様性や驚きを提供する。
漁業体験	「魚庭（なにわ）の海」と言われる大阪湾で漁業・海釣り・食の体験を提供する。
自然観察	港のイメージの強い大阪湾において、貴重な自然海浜・干潟に出向く機会を提供する。
景観鑑賞	大阪湾は水平線を一望でき、美しい夕陽が眺められることから夕日の鑑賞や、臨海部の工場夜景等の魅力を伝える。
文化的資源の体験	貿易都市とされた堺をはじめとして、大阪湾沿岸に残された歴史的地区の散策の機会を提供する。
臨海部施設の体験・見学	都市域を後背地とする大阪ならではの体験として廃棄物処分場、空港などの臨海部施設の体験・見学を提供する。
海洋（水辺）レジャー	大阪湾でも体験できる貴重なボート・ヨット・海水浴等の機会を提供する。

### 【ステップ2（活動候補場所の現地訪問、活動場所の設定）】

- 想定している参加者ターゲットや活動テーマ、実施手法が実施できる活動場所の設定に向けて、候補地の現地訪問、設定を行いきましょう。

- 現地訪問では、主に「アクセス性」、「安全面」、「活動のしやすさ」という観点で、活動場所として相応しいかどうか、状況を確認します。
- スタッフ間でのイメージ共有に向けてできるだけ複数名で現地訪問・確認しましょう。また、後で確認しやすいよう、必要な情報は写真撮影も行いましょう。

○活動場所の現地訪問の際に確認しておくこと（例示）

観点	確認事項
アクセス	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公共交通機関、駐車場の有無</li> <li>○活動場所に行くまでのバリアフリーの状況</li> <li>○持ち物の搬入しやすさ</li> <li>○その他周辺環境（工事等の実施、治安面など）</li> </ul>
安全面	<ul style="list-style-type: none"> <li>○陥没箇所や軟弱箇所、滑りやすい箇所、転落の危険のある箇所等の有無</li> <li>○悪天候時において危険にさらされる可能性（高波、強風、高温・直射日光、河川での出水など）</li> <li>○参加者が怪我や体調不良になった場合の動線</li> </ul>
活動のしやすさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○適した海洋資源があるか</li> <li>○活動場所として十分なスペースが確保できるか</li> <li>○トイレや洗い場などが近くにあるか</li> <li>○座って説明が聞ける場所が近くにあるか（会議室、ベンチ、日陰など）</li> </ul>

○環境資源の参考情報

環境資源の参考として以下のサイトを活用することもできます。

- 大阪湾の写真撮影スポット情報/大阪湾環境保全協議会  
<https://www.osaka-wan.jp/202/photospot>
- 大阪湾魅力ウォーク/大阪府  
[https://www.pref.osaka.lg.jp/kankyohozen/osaka-wan/osakabay\\_walk\\_map.html](https://www.pref.osaka.lg.jp/kankyohozen/osaka-wan/osakabay_walk_map.html)
- ビュースポットおおさか発掘・発信プロジェクト/大阪府  
[https://www.pref.osaka.lg.jp/kenshi\\_kikaku/viewspotosakaproject/index.html](https://www.pref.osaka.lg.jp/kenshi_kikaku/viewspotosakaproject/index.html)

### 【ステップ3（コンテンツ（実施計画）の策定）】

- 大阪湾の環境資源にはそれぞれの特徴や特性がありますので、それらの関係性を整理して、エコツアーのコンテンツづくりをしていきましょう。
- コンテンツを考える際は、基本テーマ等に沿って、開催時期、タイムスケジュール（1日の流れ）・コースを設定するとともに、参加者に応じた安全管理なども検討していきます。
- 参加者が大阪湾の保全に向けて引き続き関心を持ってもらうために、「楽しさ」、「わかりやすさ」を体現できるコンテンツづくりを心掛けましょう（例：食事、プレゼントなど）。

#### <開催時期>

- 生物観察や海洋レジャーなどで海に入る場合は、温かい気候の時期が適しているほか、特定の生物の観察や漁業体験をする場合は、生物の生息時期によって、実施できる期間が限られるものがあります。
- 海岸や干潟などの水辺での活動を行う場合には、実施場所の満潮・干潮等の潮汐のタイミングを確認して日時を設定します。
- 生徒が対象の場合は夏休み期間に開催するなど、参加者が参加しやすい時期をイメージして決定します。

#### 【潮位の確認方法】

- 次の気象庁サイトで地点毎の潮位変化の予測値を確認。  
[https://www.data.jma.go.jp/gmd/kaiyou/db/tide/suisan/s\\_kinki.php](https://www.data.jma.go.jp/gmd/kaiyou/db/tide/suisan/s_kinki.php)
- 大阪湾（大阪府域）では、「大阪」「堺」「泉大津」「岸和田」「関空島」「淡輪」の潮位の予測値が公表されているので、活動場所に近い地点の潮位を確認。
- 活動場所によって、活動に適した潮位は異なるので事前に下見をするか、既存の活動団体の実施時期を参考にすることが望ましい。

#### <タイムスケジュール>

- 円滑な実施のためタイムスケジュールを作成します。
- 無理の無い集合・移動・解散時間を設定できるように留意します。
- タイムスケジュールに盛り込む項目
  - i) 集合場所、時刻
  - ii) 移動手段、時間
  - iii) 訪問先等の箇所数・活動時間
  - iv) 解散場所、時刻

#### <安全管理>

- 海上での活動は危険を伴います。事故を防ぐため、実施内容に応じてどのようなリスクがあるかリストアップし、必要な安全対策について検討のうえ、事前に事故発生時の関係機関（病院等）の連絡先などを調べ、緊急時の対応フローを作成します。

（参考：海の事故防止対策/海上保安庁）

<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/marinesafety/jikotaisaku/leisure/others.html>

（参考：アクティビティ別の安全情報/海上保安庁）

<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/watersafety/>

（参考：ライフジャケットの着用義務拡大/海上保安庁）

[https://www.mlit.go.jp/maritime/maritime\\_fr6\\_000018.html](https://www.mlit.go.jp/maritime/maritime_fr6_000018.html)

（参考：ウォーターセーフティガイドリーフレット/海上保安庁）

<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/marinesafety/pdf/wsgleafletB.pdf>

- 継続して実施する事業の場合、「安全管理マニュアル」等を作成することで安全に実施することができます。

（参考：安全管理マニュアル/公益社団法人大阪自然環境保全協会）

<https://www.nature.or.jp/information/anzen/>

- ・水辺での活動の場合、小学生以下など年少者は保護者同伴として安全を確保します。
- ・ツアーで食事を提供する場合は、事前にアレルギーの有無を確認します。
- ・万一の事故発生に備え、参加者についてボランティア・市民活動行事保険等に加入します。

<悪天候時の対応>

- ・活動内容に応じて悪天候時の中止の判断基準・連絡方法について検討します。
- ・雨天等により当初予定したプログラムの実施が困難な場合、屋内施設や代替プログラムの実施の可能性について検討します。

【ステップ4（助言可能な専門家・専門機関との連携の検討）】

- ステップ3（コンテンツ（実施計画）の策定）では、必要に応じて「3. 活動候補場所とその概要」の海浜公園、環境学習施設、漁港、「4. 活動事例」の活動団体等のほか、一般市民向けに開催されている環境講座・セミナー等の講師、地域の観光協会などを通じたボランティアガイドなどの専門家や専門機関の助言を受けて検討を進めます。
- 当日の運営についても、同様のプログラムの運営経験のある専門家等にガイド、インストラクター等の協力を依頼して行うことを検討します。

<専門家・専門機関のある分野（例）>

- ・漁業体験 : 漁業協同組合など
  - ・漁業体験を企画する場合、漁業協同組合に運営面での協力を依頼する必要があります。
- ・自然観察 : 環境学習施設、地域の活動団体など
  - ・環境学習施設等には、自然観察の各分野の専門家が在籍している場合や専門家のネットワークに関わっている場合が多いので、専門家の派遣又は紹介を相談してみましょう。
- ・海洋レジャー（ボート、いかだ、ヨット、カヌー等）の指導
  - ：海洋体験等施設・団体など
    - ・専用の海洋体験施設を常設している機関のほか、公共の水域で海洋レジャーの指導を行う団体があります。
- ・観光ボランティアガイド
  - ：地元の自治体、観光協会、観光ボランティア協会など
    - ・各市町に地域ごとの観光資源に詳しいボランティアの観光ガイドが組織されていますので、エコツアーの企画の際に相談してみましょう。

〇〇市観光ボランティアガイド

(参考)大阪湾の環境資源等を活用したエコツアーのコースは、下記情報も参考にしてください。

- 一般社団法人 KIX 泉州ツーリズムビューロー「大阪泉州観光ガイド」HP  
<https://welcome-to-senshu.jp/course>

#### 【ステップ5 (必要な許認可等の手続き、施設管理者等との調整)】

- 取組みの実施に係り、実施場所の管理者等との調整が必要となる場合があるので、事前に管理者等に連絡し、必要な手続き等について確認するようにしましょう。
- 魚類や水生生物などの水産動植物の採捕等を行う場合には、許可が必要な場合があるので、事前に確認が必要です。特に漁業権が設定されている水面で活動を行う場合は、活動の内容によっては漁業権の侵害に当たる場合があります。

#### <許認可・事前調整先>

活動場所	調整先
港湾・海岸区域	大阪港湾局が所管しています。港湾・海岸によって担当が異なりますので、事前に活動場所の所管を確認して調整してください。 (参考) • 大阪港湾局 <a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/bu_kowan/">https://www.pref.osaka.lg.jp/bu_kowan/</a> <a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/osaka_kowan/">https://www.pref.osaka.lg.jp/osaka_kowan/</a>
河川管理区域	河川によって国土交通省、大阪府、市町村など、河川管理者が異なります。事前に活動場所の所管を確認して調整してください。 (例) 淀川、大和川…国土交通省近畿地方整備局 寝屋川、恩智川…大阪府 (参考) • 国土交通省近畿地方整備局 (参考：近畿の河川/国土交通省近畿地方整備局) <a href="https://www.kkr.mlit.go.jp/river/kasen/index.html">https://www.kkr.mlit.go.jp/river/kasen/index.html</a> • 大阪府 (参考：事務所の所管地域と管理河川一覧/大阪府) <a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/kasenkankyo/kanri/kannai.html">https://www.pref.osaka.lg.jp/kasenkankyo/kanri/kannai.html</a>

活動場所	調整先
公園等の施設	<p>海岸や河川敷等が公園等として整備されている場合があります。その場合は、公園等の施設管理者を確認して調整してください。</p> <p>(例) 大阪府営公園一覧  <a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/koen/introduction/index.html">https://www.pref.osaka.lg.jp/koen/introduction/index.html</a></p>
水産動植物の採捕 (特別採捕許可)	<p>水産資源の保護培養及び漁業調整のため、採捕する水産動植物の種類や大きさ、採捕の期間、区域、採捕に使用する漁具・漁法等について制限または禁止しています。</p> <p>試験研究や教育実習の目的で水産動植物を採捕する場合は、許可を受けてこれらの制限又は禁止項目の適用除外を受ける必要があるため、事前に申請してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大阪府  (参考：試験研究等のために水産動植物の採捕を行う方へ(水産動植物の採捕の許可)/大阪府)  <a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/suisan/tok/index.html">https://www.pref.osaka.lg.jp/suisan/tok/index.html</a></li> </ul>
漁港、漁業権設定水面	<p>漁港等で活動を行う場合は、関係する漁業協同組合と事前に調整をしてください。</p> <p>大阪府内の漁港は、次の大阪府サイトで確認できます。  <a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/suisan/o-gyogyo/from-sky.html">https://www.pref.osaka.lg.jp/suisan/o-gyogyo/from-sky.html</a></p> <p>大阪府域で設定されている漁業権設定水面の場所は、次の大阪府サイトで確認できます。  <a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/suisan/gyogyoken/index.html">https://www.pref.osaka.lg.jp/suisan/gyogyoken/index.html</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大阪府内の漁業協同組合  (参考) 大阪府漁業協同組合連合会  <a href="http://www.osakagyoren.or.jp/about/organization.html">http://www.osakagyoren.or.jp/about/organization.html</a></li> </ul>

### 【ステップ6 (民間及び公的補助金等の活用の検討)】

- 事業実施に必要な経費に関しては、必要に応じて、民間及び公的な補助金等の活用を検討します。以下の補助金等を参考に助成要件等に合うものの活用について検討しましょう。

○民間及び公的補助金等（例）（詳細は参考資料1（P269～273））

主な目的	補助金等の名称	所管団体等
環境活動 支援	大阪府環境保全活動補助金	大阪府 環境農林水産部
	地球環境基金	独立行政法人環境再生保全機構
	環境保全市民活動等助成金	大阪湾広域臨海環境整備センター
	環境市民活動助成	セブン-イレブン記念財団
	環境助成金	一般財団法人サンライズ財団
子供育成 支援	こどもゆめ基金	独立行政法人国立青少年教育振興機構
	子供たちの環境学習活動に対する助成事業	公益財団法人高原環境財団
	助成事業	公益財団法人ノエビアグリーン財団
水辺環境 づくり	海や船に関する事業（海と身近にふれあう）への助成	公益財団法人日本財団
	河川基金	公益財団法人河川財団
	未来のみなとづくり助成	一般財団法人みなと総合研究財団
自然との ふれあい	公益信託富士フィルム・グリーンファンド	一般財団法人自然環境研究センター
	生物多様性保全推進交付金（Eコ-リミ地域活性化支援事業）	環境省 自然環境局 国立公園課

【ステップ7（広報の実施）】

- 取組内容が決まったら、参加者を募集するために広報を実施します。
- 広報媒体は、ステップ1（基本テーマ等の設定）で設定した参加者に効果的に情報が届くように工夫しましょう。

< 広報媒体（例） >

- 実施団体のホームページ、メールマガジン
- 実施団体の SNS（インスタグラム、X、フェイスブック等）
- 地元自治体の広報誌
- 地元観光協会等の観光振興団体に広報を依頼
- 図書館や公民館等の公共施設、関係機関へのチラシの配布
- イベント情報サイトへの掲載  
（参考）いこーよ <https://iko-yo.net/>
- 環境関係団体によるホームページ掲載やメールマガジン配信  
（参考）きんき環境館 <https://www.kankyokan.jp/>  
EIC ネット <https://www.eic.or.jp/event/?gmenu=1>  
環境らしんばん <https://www.geoc.jp/rashinban/>  
環境展望台 <https://tenbou.nies.go.jp/news/event/>
- 過去の参加者へのダイレクトメール

※地元自治体広報誌や公共施設のチラシなどで情報を知り、詳細情報をホームページ等で確認するなど、複数の広報媒体で情報を掲載することが効果的と考えられます。

## ②開催準備・当日対応

### 【ステップ8（開催準備・当日対応）】

#### [集合・事前説明・誘導]

- 当日の集合や誘導をスムーズに行うため、参加者一覧表（携帯電話番号など緊急連絡先を含む）を事前に準備しましょう。
- 当日のタイムスケジュールやツアーの見どころ、安全マニュアル、緊急連絡先等をまとめた当日のしおりを参加者に事前に送付することで、円滑に進行することができます。

#### <当日のしおり項目例>

- ・ツアーの趣旨、目的
- ・ツアーの見どころ
- ・集合、解散場所
- ・タイムスケジュール
- ・座席表、グループ分け
- ・当日の持ち物、服装
- ・雨天時の実施判断
- ・安全マニュアルや注意事項

#### [人員配置]

- 参加者数、実施内容に応じて必要な人員を検討し、予定外の事態にも対応できるような余裕をみて人員を配置しましょう。

#### [安全管理]

- ステップ3（コンテンツ（実施計画）の策定）で検討した安全管理対策や緊急時の対応フローをもとに、安全管理を行いましょう。

#### <安全管理の対応例>

- ・海辺や干潟等で活動する場合は、陥没箇所や軟弱箇所、滑りやすい箇所、転落の危険のある箇所等の有無について事前に調査し、参加者が立ち入ることの無いよう措置する。
- ・強風により波が高くなると予測される際には、海辺には近づかない。
- ・河川で活動する場合は、悪天候時など出水による危険が予測される時には川に入らない。
- ・船や栈橋、堤防等、水中への転落の可能性がある場合は、必ずライフジャケットを着用する。

- 水辺での活動の場合は、小学生以下など年少者は保護者と一緒に参加し安全を確保する。
- 活動予定場所で遭遇する可能性のある危険生物について、注意喚起を行い、万一被害にあった場合の応急処置について確認する。  
(マムシ/スズメバチ/セアカゴケグモ/カミツキガメ/マダニ 等)
- 事故等の発生時の対応フローをすぐに確認できる場所に掲示する。
- 万一の事故発生に備え、参加者についてボランティア・市民活動行事保険等に加入する。

### [悪天候時等の対応]

- ステップ3（コンテンツ（実施計画）の策定）で検討した悪天候時等の対応について、事前に判断基準や判断時期を決め、当日悪天候等が予想される場合は事前に連絡を行いましょう。

＜悪天候等に備え、中止等の判断基準・判断時期、連絡方法の確認＞

項目	対応例
判断基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 気象警報（大雨、暴風、波浪等）発令時</li> <li>• 主要な公共交通機関が運休する場合</li> <li>• 使用予定の施設が休園等の場合</li> <li>• 雨天時/強風時 など</li> </ul>
判断時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 前日 17 時</li> <li>• 当日 7 時 など</li> </ul>
連絡方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 参加者の個別連絡（電話、メール等）</li> <li>• 実施団体ホームページに掲載 など</li> </ul>

### [時間管理の徹底]

- スムーズな運営に向けて、十分に準備時間を確保して準備を行いましょう。
- スタッフの中でタイムキーパー役を設定し、時間の延長などがないよう時間管理を行いましょう。

## ③効果測定

### 【ステップ9（効果測定など）】

- 取組みの実施後には、参加者に対して振り返りの機会を提供するとともに、効

果測定を行い今後の取組みの改善に活用するためアンケート調査を実施しましょう。また、取組前後にアンケートを実施することで、ツアーを通じた参加者の意識変化を調べることもできます。

- スタッフ間での振り返り会を開催し、今後の対応策を検討しましょう。
- 波及効果創出に向けて、活動成果の情報発信や、活動団体との連携による活動展開なども検討しましょう。

<アンケートに盛り込む項目例> (アンケート様式(例):参考資料2(P274~275))

項目	具体的内容	事前	事後
申込理由		●	
情報の入手先	・実際に活用した広報媒体を例示し、選択	●	
大阪湾に対するイメージ	・複数の語句表現から選択+自由記述 <例> i) 多くの生物が生息している。 ii) 多くの自然がある。 iii) 水質がきれい。 iv) プラスチックなどのごみが多い。 v) 遊べるところが多い。 vi) 景色が良い。 vii) 食べ物(海の幸)がおいしい。 viii) 歩きやすい散策コースがある。 等		●
体験した内容が理解できたかどうか	・5~10段階で数字を選択 ・5種類程度の語句表現から選択 <例> よく理解できた/まあまあ理解できた/ どちらとも言えない/あまり理解できなかった/ 全く理解できなかった		●
設定した基本テーマに対する今後の行動変化	・4種類程度の語句表現から選択 <例> 是非とも取り組んでいきたい/取り組んでいきたい/ /どちらとも言えない/取り組むつもりはない		●
参加して良かったか(満足度)	・5~10段階で数字を選択 ・5種類程度の語句表現から選択 <例> とても良かった/良かった/どちらとも言えない/ 良くなかった/全く良くなかった		●
今後も参加したいか	・4種類程度の語句表現から選択 <例> 是非とも参加したい/内容によっては参加したい/ どちらとも言えない/参加しない		●
今後、取り組みたい行動の内容	・例示からの選択+自由記述 <例示例> i) 海ごみの原因となるプラスチック(PET ボトル、レジ袋等)の使用を減らそうと思う。 ii) 大阪湾に棲む生物の事を調べようと思う。 iii) 海辺の清掃に参加しようと思う。 等		●
今後どんな内容のものを実施してほしいか	・自由記述		●

## (2) エコツアーのモデル事例について

(1)の【エコツアー 実施手順】に基づき、『「豊かな魚庭(なにわ)の海を守る！」エコバスツアー2023』を開催した際の具体的な手順をご紹介します。

### <「豊かな魚庭(なにわ)の海を守る！」エコバスツアー2023の概要>

- 実施団体：一般財団法人環境事業協会
- 実施日：3日間(2023年10月23日、11月2日、11月14日/12月12日)
- 参加者数：1日目 19名、2日目 18名、3日目 16名
- 実施区分：漁業体験、臨海部施設の体験・見学、海洋(水辺)レジャー
- 内容：大阪湾に隣接する廃棄物処理に係る施設の見学及び SUP ボートによる河川のごみ拾いを通じて、海ごみ問題やごみの発生抑制について体験することで、大阪湾の現状や役割について考えるとともに、豊かな大阪湾(魚庭(なにわ)の海)で取れる魚介類を食べることで、大阪湾を守る気持ちを醸成する。

### <1日目>

- ・大阪広域環境施設組合舞洲工場の見学
- ・大阪産(もん)ロゴマーク登録飲食店での昼食
- ・SUP ボートによる道頓堀川・東横堀川のごみ拾い体験



(大阪広域環境施設組合舞洲工場の見学)



(大阪産(もん)ロゴマーク登録店での昼食)



(SUP ボートによるごみ拾い体験)



(回収したプラスチックごみ)

<2日目>

- 田尻漁港での漁業体験・関空見学クルージング
- 漁業体験でとれた魚などのバーベキューランチ
- 魚あらのリサイクル工場（小島サステナブルフィッシュリーズ（株））の見学



(漁業体験)



(とれた魚)



(とれた魚などのバーベキューランチ)



(小島サステナブルフィッシュリーズ(株)の見学)

### <3日目>

- ENEOS(株)堺製油所の藻場創出事業の見学
- 大阪産(もん)ロゴマーク登録飲食店での昼食
- 大阪湾広域臨海環境整備センター大阪沖埋立処分場の見学



(ENEOS(株)堺製油所の藻場創出事業の見学)



(大阪産(もん)ロゴマーク登録店での昼食)



(大阪沖埋立処分場(事前説明))



(大阪沖埋立処分場への船での移動)



(大阪沖埋立処分場の見学)

## ①事前準備（エコツアーの企画）

### 【ステップ1（基本テーマ等の設定）】

- 対象者：18歳以上で大阪府内在住・在職・在学
- テーマ：私たちの生活から毎日出ている「ごみ」のゆくえを探りながら、大阪湾を守るために私たち一人ひとりができることを考える

- 大阪湾には、実は、廃棄物処理に係る施設が多く立地しているほか、海ごみの問題への関心が高まっていることから、「ごみの発生抑制」を基本テーマとして設定した。
- これらの施設の見学等により廃棄物処理における大阪湾の役割について考えるとともに、豊かな大阪湾（魚庭の海）で取れる魚介類を食べることで、大阪湾を守る気持ちを醸成する。

### 【ステップ2（活動候補場所の現地訪問、活動場所の設定）】

- 廃棄物処理施設：
  - ・大阪広域環境施設組合舞洲工場
  - ・小島サステナブルフィッシャリーズ(株)（魚あらりサイクル工場）
  - ・大阪湾広域臨海環境整備センター大阪沖埋立処分場
- 海ごみ関連体験：
  - ・道頓堀川、東横堀川（SUP ボートによるごみ拾い体験）
- 大阪湾を身近に感じる体験機会の提供：
  - ・大阪産（もん）ロゴマーク登録飲食店2店
  - ・田尻漁港（バーベキュー・漁業体験・関空見学クルージング）
  - ・ENEOS(株)堺製油所（藻場創出事業）

- 個人では体験できない「廃棄物処理施設」やSUPの見学機会を提供した。
- 楽しんで大阪湾に触れることができるようアクティビティや食事等による体験機会を提供した。

### 【ステップ3（コンテンツ（実施計画）の策定）】

- 開催時期：2023年10月23日、11月2日、11月14日/12月12日
  - ・生き物生息状況や潮位などを考慮する必要がないため、各施設関係者との調整で日程を決定した。

●プログラムの内容

各日とも廃棄物処理施設の見学と合わせて、SUP ボートによる浮遊ごみ回収、漁業体験、藻場創出事業の見学を行い、大阪湾の豊かさ等についての理解を深める内容とした。

●具体的なスケジュール

<1日目>

時間	内容
9:00	集合（近鉄大阪難波駅地上）
9:10～10:00	バス移動
10:00～11:30	大阪広域環境施設組合舞洲工場の見学
11:30～12:00	バス移動
12:00～13:00	大阪産（もん）ロゴマーク登録飲食店で昼食
13:00～13:30	バス移動
13:30～15:00	SUP ボートで道頓堀川、東横堀川のごみ拾い体験
15:00～15:30	バス移動
15:30	解散（近鉄大阪難波駅地上）

<2日目>

時間	内容
8:00	集合（近鉄大阪難波駅地上）
8:10～9:30	バス移動
9:30～11:30	田尻漁港漁業体験、関西国際空港見学クルージング
11:30～13:00	田尻漁港で昼食
13:00～13:30	バス移動
13:30～15:00	小島サステナブルフィッシャリーズ(株)の見学
15:00～16:00	バス移動
16:00	解散（近鉄大阪難波駅地上）

### <3日目>

時間	内容
8:20	集合（近鉄大阪難波駅地上）
8:30～9:30	バス移動
9:30～10:30	E N E O S (株) 堺製油所の藻場創出事業の見学
10:30～11:00	バス移動
11:00～12:00	大阪産（もん）ロゴマーク登録飲食店で昼食
12:00～12:30	バス移動
12:30～15:30	大阪沖埋立処分場の見学
15:30～16:00	バス移動
16:00	解散（近鉄大阪難波駅地上）

#### ●安全管理

- ・各行程について事前に下見を行い、移動にかかる時間や見学経路などの確認を行った。
- ・船（SUP 含む）に乗るプログラムについては必ずライフジャケットを着用することとし、運営事業者から注意事項を説明するよう調整した。  
（参考：ライフジャケットの着用義務拡大/海上保安庁）

[https://www.mlit.go.jp/maritime/maritime\\_fr6\\_000018.html](https://www.mlit.go.jp/maritime/maritime_fr6_000018.html)

- ・参加者全員を対象に傷害保険に加入した。
- ・「概要」、「タイムスケジュール（担当者の動きまで詳細に）」、「関係機関連絡先」、「持ち物」、「近隣病院や緊急時の対応フロー」などを掲載したスタッフマニュアルを作成し、当日の円滑な誘導のため入念に打合せを行った。
- ・見学先の企業・団体等とは、「スケジュール」、「バス駐車場所」、「グループ分け」、「進行内容」、「提出書類（名簿など）」、「費用の支払い」、「必要な持ち物」、「当日配布資料の対応」、「中止の判断（特に船の場合）」など、詳細を事前に調整した。

#### ●悪天候時の対応：

- ・雨天決行（荒天中止）
- ・悪天候により船が欠航する場合は、「大阪湾魅力ウォーク」を用いた街歩きや「きしわだ自然資料館」見学を中心としたプログラムを予定。

（参考）大阪湾魅力ウォーク/大阪府

[https://www.pref.osaka.lg.jp/kankyohozen/osaka-wan/osakabay\\_walk\\_map.html](https://www.pref.osaka.lg.jp/kankyohozen/osaka-wan/osakabay_walk_map.html)

#### 【ステップ4（助言可能な専門家・専門機関との連携の検討）】

各工程で廃棄物処理に係る施設管理者や日本シティサップ協会、漁業協同組合等と調整し、当日専門的な知識等を説明した。

- 廃棄物処理に係る施設の管理者（大阪広域環境施設組合舞洲工場、小島サステナブルフィッシャリーズ(株)、大阪沖埋立処分場）
  - ・廃棄されたごみの処理の流れ、リサイクルの工程を解説した。
- 日本シティサップ協会
  - ・SUP ボート乗船、浮遊ごみの回収における注意事項やマイクロプラスチックごみについて解説した。
- 田尻漁業協同組合・田尻海洋交流センター
  - ・漁業体験における注意事項や網やかごを用いた漁業の説明、捕獲した海産物の解説を行った。
- ENEOS株式会社堺製油所
  - ・人工護岸における藻場創出事業の説明を行った。

#### 【ステップ5（必要な許認可等の手続き、施設管理者等との調整）】

- 一般公開している（無償）施設
  - 一般向けの見学対応を提供しているため、事前に連絡・調整して実施した。
  - ・大阪広域環境施設組合舞洲工場
  - ・大阪湾広域臨海環境整備センター大阪沖処分場
- 一般向けの体験機会（有償）を提供している団体
  - 一般向けの実験会を提供しているため、事前に連絡・調整して実施した。
  - ・日本シティサップ協会  
(参考：CitySUP/一般社団法人 日本シティサップ協会)  
<https://www.citysup.jp/>
  - ・田尻漁業協同組合、田尻海洋交流センター  
(参考：田尻漁業協同組合/田尻海洋交流センター)  
<http://tajiriport.com/>
- 一般公開していない施設
  - 関係者以外立ち入り禁止で一般向けの見学対応も行っていないため、個別に相談して実施した。
  - ・小島サステナブルフィッシャリーズ(株)
  - ・ENEOS株式会社堺製油所

## 【ステップ6（民間及び公的補助金等の活用の検討）】

- 活用なし。

※本事業はモデル事業として、大阪府の「豊かな大阪湾」保全・再生・創出活動推進事業（大阪湾の環境資源を活用したエコツーリズムの推進分野）で実施。

## 【ステップ7（広報の実施）】

参加対象者（18歳以上で大阪府内在住・在職・在学者）に対して周知するため、ホームページやSNS、図書館への配布等以下の手法により広報を行った。

- 事業実施主体ホームページ・SNSへの掲載
  - ・環境事業協会ホームページ
  - ・環境事業協会環境推進課公式X（旧Twitter）
  - ・大阪府もずやんTwitter
- チラシを市内図書館、公共施設、関係企業等計52か所に配布
  - ・大阪市立図書館24か所
  - ・大阪府内公共施設12か所
  - ・関係企業・団体16か所
- その他環境関係団体によるホームページ掲載やメールマガジン配信

（参考）応募者がツアーを知るきっかけとなった広報媒体

広報媒体	人数
チラシ配架	52人
友人・知人の紹介	21人
大阪府SNS	18人
事業実施主体ホームページ・SNS	3人
環境関係団体によるホームページ掲載やメールマガジン配信	3人
その他	16人

(参考) 募集チラシ

五感で体験！ 3日間とも大阪産など新鮮魚介ランチ付

参加費 無料

なにわ「豊かな魚庭の海を守る！」エコバスツアー-2023

【1日目】10月23日(月) 各日コースが変わるので3日間通しての参加がおすすめ  
【2日目】11月2日(木)  
【3日目】11月14日(火)・12月12日(火)  
(3日目は同じ行程を2回開催)

SLIPポート 漁業体験 漁場の見学

「豊かな魚庭の海」大阪湾の魅力を感じるエコバスツアーに参加してみませんか？

大阪湾沿岸には、自然と触れ合い、景色を眺め、グルメを楽しむスポットが多くあります。大阪湾でとれる美味しいお魚をいただきながら、漁業体験をしたり、海にまつわる工場や企業を見学しませんか？私たちの生活から毎日出ている「ごみ」のゆくえを探りながら、大阪湾を守るために私たち一人ひとりができることを考えるツアーです！

対象 18歳以上で大阪府内在住・在職・在学の方  
集合解散 近鉄大阪難波駅 南都銀行大阪支店前  
定員 1・2日目：各日20名(抽選)  
3日目：各日10名  
参加費 無料  
参加条件 アンケート回答必須  
応募締切 10月12日(木)

※集合時間など詳しいスケジュールは票面参照

主催：大阪府  
企画・運営：(一財)環境事業協会  
協力：大阪湾広域臨海環境整備センター  
E1社(有限会社) 小島学ステイブルフィッシャリーズ㈱  
市民漁業協同組合・市民海洋交流センター (一社)日本シタップ協会

SDG's GOALS

スケジュール&プログラム

日	時間 & プログラム
(1日目) 10/23 (月)	9:00 集合 9:10 出発 10:00 漁業工場 見学 ごみの搬入口、ピット、廃品の書き込みなどを見学 12:00 大阪産(もん)のCOMマーク取扱飲食店 昼食 大阪湾で水揚げされた新鮮な魚介ランチ 13:30 SLIPポート乗船 水辺キレイツアー 高松地区・東淀川川でのごみ拾い体験(雨期制影響により不可)
(2日目) 11/2 (木)	8:00 集合 8:10 出発 9:30 田尻漁港 漁業体験+関西国際空港クルージング 漁船に乗船し、お刺身・カゴ飯を行った後、クルージング 11:30 田尻漁港 昼食 漁業体験で採れた「大阪湾の魚」等によるバーベキューランチ 13:30 小島学ステイブルフィッシャリーズ㈱ 見学 市内で唯一、魚の骨や骨等の不具合部位や未利用魚を処理し、養殖等のえさの原料にリサイクルしている工場を見学 16:00 到着・解散
(3日目) 11/14 (火)・12/12 (火)	8:20 集合 8:30 出発 9:30 ENOS製薬製造所 見学 「命の恩恵づくり」として薬の製造工程の施設を見学 11:00 大阪産(もん)のCOMマーク取扱飲食店 昼食 大阪湾で水揚げされた新鮮な魚介ランチ 12:30 大阪中環立地分庁 見学 現場に於て開催し、高松からの環境及び処分場見学 16:00 到着・解散

**注意事項**

- 雨天決行。ただし、SLIPポート・漁業体験・大阪湾環立地分庁見学において、船が欠航の場合は、「大阪湾魅力スポットのまち歩き」に変更。雨天中止
- 応募締切後、厳正な抽選を行い、当落選をメールで通知(当落選発表：10月13日(金))
- 当日は、交通渋滞等の影響により到着時刻等の遅れが生じる場合がありますのでご了承ください。
- 昼食は、全員同じメニューになります。
- 3日目は、同じ行程を2回開催します。当選の結果、いずれかにご参加いただけます。

**留意事項**

- ホームページに記載の【個人情報に関する取扱いについて】を一読し同意します。
- 安全を確保するため、当協会スタッフや現地スタッフの指示に従い行動します。
- 当日は、スタッフが記録・報告書作成・広報活動に使用する写真撮影を承諾します。

【お問い合わせ先】 (一財)環境事業協会 ☎06-6121-6407 (9:00~17:30 土・日・祝は休業)

## ②開催準備・当日対応

### 【ステップ8（開催準備・当日対応）】

#### ●集合・事前説明・誘導

##### <事前説明>

- ・参加のしおりを作成し、事前に郵送で参加者に送付した。（参加のしおり：P162～164）

##### （記載内容）

- ツアーの趣旨、目的
  - ツアーの見どころ
  - 集合、解散場所
  - タイムスケジュール
  - 座席表、グループ分け
  - 当日の持ち物、服装
  - 雨天時の実施判断
  - 安全マニュアルや注意事項
  - 集合時に出欠確認用の参加者一覧表の準備
- ・バスの座席表や見学のグループ分けについて、当日参加者に配布した。
  - ・バス移動中にツアーの趣旨、見学する施設の説明、大阪湾に関するクイズを実施した。

##### <集合・誘導>

- ・出欠確認用の参加者一覧表を準備した。
- ・各行程について事前に下見を行って、移動にかかる時間や見学経路などの確認し、誘導を行った。

#### ●人員配置

- ・参加者約 20 名に対し、事務局スタッフ 3 名を配置した。

※各見学先では見学先の企業・団体等から、説明者や参加者の誘導に必要な人員（2～5名程度）を配置した。

#### ●安全管理の対応

- ・船（SUP 含む）に乗るプログラムについては必ずライフジャケットを着用することとし、運営事業者から船上での注意事項等を説明した。
- ・工場の見学ではヘルメットを着用し、衣服の汚れやにおいが付く可能性がある施設では白衣等を着用した。







●プログラム前後のアンケート結果 ※自由記述については回答を割愛。

- ・大阪湾に対してどのようなイメージを持っていますか？【水がきれい】

事前アンケート結果		事後アンケート結果	
そう思う	9%	そう思った	14%
どちらかというと思う	9%	どちらかというと思った	72%
あまり思わない	69%	あまり思わなかった	14%
全く思わない	13%	全く思わなかった	0%

- ・大阪湾に対してどのようなイメージを持っていますか？【景観が良い】

事前アンケート結果		事後アンケート結果	
そう思う	13%	そう思った	24%
どちらかというと思う	43%	どちらかというと思った	67%
あまり思わない	35%	あまり思わなかった	9%
全く思わない	9%	全く思わなかった	0%

- ・大阪湾に対してどのようなイメージを持っていますか？【海を眺めながら憩える場所がある】

事前アンケート結果		事後アンケート結果	
そう思う	17%	そう思った	48%
どちらかというと思う	22%	どちらかというと思った	33%
あまり思わない	52%	あまり思わなかった	19%
全く思わない	9%	全く思わなかった	0%

- ・大阪湾に対してどのようなイメージを持っていますか？【水や自然と触れ合える場所がある】

事前アンケート結果		事後アンケート結果	
そう思う	5%	そう思った	38%
どちらかというと思う	17%	どちらかというと思った	38%
あまり思わない	65%	あまり思わなかった	24%
全く思わない	13%	全く思わなかった	0%

- 大阪湾に対してどのようなイメージを持っていますか？【生き物が多く生息する】

事前アンケート結果		事後アンケート結果	
そう思う	13%	そう思った	62%
どちらかというと思う	26%	どちらかというと思った	24%
あまり思わない	56%	あまり思わなかった	14%
全く思わない	5%	全く思わなかった	0%

- 大阪湾に対してどのようなイメージを持っていますか？【魚釣りが楽しめる】

事前アンケート結果		事後アンケート結果	
そう思う	17%	そう思った	48%
どちらかというと思う	35%	どちらかというと思った	43%
あまり思わない	43%	あまり思わなかった	9%
全く思わない	5%	全く思わなかった	0%

- 大阪湾に対してどのようなイメージを持っていますか？【おいしい魚が獲れる】

事前アンケート結果		事後アンケート結果	
そう思う	9%	そう思った	57%
どちらかというと思う	34%	どちらかというと思った	29%
あまり思わない	52%	あまり思わなかった	14%
全く思わない	5%	全く思わなかった	0%

- 大阪湾に対してどのようなイメージを持っていますか？【ごみが少ない】

事前アンケート結果		事後アンケート結果	
そう思う	0%	そう思った	14%
どちらかというと思う	9%	どちらかというと思った	43%
あまり思わない	69%	あまり思わなかった	43%
全く思わない	22%	全く思わなかった	0%

- 大阪湾に対してどのようなイメージを持っていますか？【にぎわいがある】

事前アンケート結果		事後アンケート結果	
そう思う	17%	そう思った	24%
どちらかというと思う	17%	どちらかというと思った	38%
あまり思わない	61%	あまり思わなかった	38%
全く思わない	5%	全く思わなかった	0%

・「エコツーリズム」という言葉を知っていましたか？（事後アンケートなし）

事前アンケート結果	
言葉の意味を知っていた	35%
意味は知らないが、言葉は聞いたことがある	48%
聞いたこともない	17%

・エコツアーに参加したことがありますか？（事後アンケートなし）

事前アンケート結果	
参加したことがある	43%
参加したことがない	57%

・【事前】今回、応募した理由（期待しているもの）は？（複数選択可）

【事後】今回、ツアーに行って満足したもの（期待どおりであったもの）は？  
（複数選択可）

事前アンケート結果		事後アンケート結果	
内容・テーマの斬新さ	78%	内容・テーマの斬新さ	81%
価格（参加費無料）	48%	価格（参加費無料）	57%
環境学習	70%	環境学習	62%
見学スポット・体験プログラム	83%	見学スポット・体験プログラム	86%
食事内容	39%	食事内容	76%
移動（貸切バス）	35%	移動（貸切バス）	43%
実施時期	22%	実施時期	29%
ガイド	13%	ガイド	62%
その他	13%	その他	0%

・今回のツアータイトルはどのように思いますか？

事前アンケート結果		事後アンケート結果	
大変よいと思う	13%	大変よかったと思う	48%
よいと思う	65%	よかったと思う	33%
どちらともいえない	17%	どちらともいえない	14%
よくないと思う	5%	よくなかったと思う	5%
全くよくないと思う	0%	全くよくなかったと思う	0%

- ・今回のインターネットでの募集や申込みはどのように思いますか？（事後アンケートなし）

事前アンケート結果	
大変よいと思う	48%
よいと思う	30%
どちらともいえない	17%
よくないと思う	5%
全くよくないと思う	0%

- ・今回のチラシの内容（ツアーの目的、内容のわかりやすさ、必要な情報の掲載、デザイン性など）はどのように思いますか？（事後アンケートなし）

事前アンケート結果	
大変よいと思う	22%
よいと思う	65%
どちらともいえない	9%
よくないと思う	4%
全くよくないと思う	0%

- ・今回の参加人数はどのように思いましたか？（事前アンケートなし）

事後アンケート結果	
多かったと思う	0%
ちょうどよい	86%
少なかったと思う	9%
どちらともいえない	5%

- ・今回の開催時期はどのように思いますか？

事前アンケート結果		事後アンケート結果	
大変よいと思う	22%	大変よかったと思う	19%
よいと思う	61%	よかったと思う	57%
どちらともいえない	17%	どちらともいえない	24%
よくないと思う	0%	よくなかったと思う	0%
全くよくないと思う	0%	全くよくなかったと思う	0%

- ・ 今回の活動場所の内容はどのように思いますか？

事前アンケート結果		事後アンケート結果	
大変よいと思う	52%	大変よかったと思う	62%
よいと思う	44%	よかったと思う	38%
どちらともいえない	4%	どちらともいえない	0%
よくないと思う	0%	よくなかったと思う	0%
全くよくないと思う	0%	全くよくなかったと思う	0%

- ・ 今回のツアーの行程と交通機関の組立て（スケジュール）はどのように思いますか？

事前アンケート結果		事後アンケート結果	
大変よいと思う	31%	大変よかったと思う	57%
よいと思う	52%	よかったと思う	33%
どちらともいえない	17%	どちらともいえない	10%
よくないと思う	0%	よくなかったと思う	0%
全くよくないと思う	0%	全くよくなかったと思う	0%

- ・ 今回の食事内容（大阪産（もん）ロゴマーク登録飲食店での新鮮魚介ランチなど）はどのように思いますか？

事前アンケート結果		事後アンケート結果	
大変よいと思う	35%	大変よかったと思う	52%
よいと思う	52%	よかったと思う	43%
どちらともいえない	13%	どちらともいえない	5%
よくないと思う	0%	よくなかったと思う	0%
全くよくないと思う	0%	全くよくなかったと思う	0%

- ・ 今回のツアーで、現地スタッフや環境事業協会スタッフによる安全対策はどのように思いましたか。（事前アンケートなし）

事後アンケート	
大変よかったと思う	81%
よかったと思う	14%
どちらともいえない	0%
よくなかったと思う	5%
全くよくなかったと思う	0%

- これまでのエコツアーと今回のエコツアーを比較して新しさや違いを感じますか？

事前アンケート結果		事後アンケート結果	
かなり感じる	9%	かなり感じた	19%
感じる	22%	感じた	48%
どちらともいえない	69%	どちらともいえない	33%
感じない	0%	感じなかった	0%
全く感じない	0%	全く感じなかった	0%

- 今回のようなエコツアーにまた行ってみたいと思いましたか？（事前アンケートなし）

事後アンケート結果	
かなり思った	67%
思った	33%
どちらともいえない	0%
思わなかった	0%
全く思わなかった	0%

- 今回のツアーを友人・知人・家族に「すすめたい」と思いますか？

事前アンケート結果		事後アンケート結果	
ぜひとも「すすめたい」と思う	35%	ぜひとも「すすめたい」と思った	57%
「すすめたい」と思う	48%	「すすめたい」と思った	33%
どちらともいえない	17%	どちらともいえない	5%
「すすめたい」と思わない	0%	「すすめたい」と思わなかった	5%
全く「すすめたい」と思わない	0%	全く「すすめたい」と思わなかった	0%

- 今後、参加してみたいエコツアーは？（複数選択可）

事前アンケート結果		事後アンケート結果	
歴史文化の解説を受けるもの	52%	歴史文化の解説を受けるもの	48%
原生的な自然を観察するもの	57%	原生的な自然を観察するもの	57%
地域の生活や文化を体験するもの	61%	地域の生活や文化を体験するもの	76%
農林業などを体験するもの	52%	農林業などを体験するもの	52%
環境保全のために貢献するもの	39%	環境保全のために貢献するもの	52%
環境に関して学習するもの	43%	環境に関して学習するもの	38%
環境学習施設や環境保全に努める企業の見学	65%	環境学習施設や環境保全に努める企業の見学	57%
その他	9%	その他	5%

- ・エコツアーの情報入手手段としてふさわしいと思うものは？（複数選択可）（事前アンケートなし）

事後アンケート結果	
インターネット	86%
テレビ	14%
新聞広告	19%
チラシ（パンフレット）	62%
フリーペーパー	14%
ダイレクトメール	62%
クチコミ	33%
友人・知人からの紹介	43%
その他	10%

- ・今回のプログラムで改善点などがありましたら教えてください。（自由記述）（事前アンケートなし）

## コラム：エコツーリズム大賞

エコツーリズム大賞は、エコツーリズムに取り組む事業者、団体、自治体などを対象に、優れた取組を表彰し、広く紹介するもので、全国のエコツーリズムに関連する活動の質的・量的向上および情報交換等による関係者の連帯感の醸成を図ることを目的とし、2005年から毎年実施され、これまでに166件が受賞しています。

賞は、環境省及び日本エコツーリズム協会が主催し、毎年「大賞」1件、「優秀賞」数件、「特別賞」数件、「パートナーシップ賞」数件が選定されています。



【エコツーリズム大賞 HP】 <https://ecotourism.gr.jp/award/>

## 6. 体験型環境学習の実施

### (1) 体験型環境学習の企画・検討

ここでは、具体的に体験型環境学習の企画・検討を進める上でのノウハウをご紹介します。体験型環境学習を進めるときには、どんなテーマで、何を保全し、誰に協力を得るか、下見や準備物の調達も必要ですが、大阪湾の環境や生物を知ってもらい、興味・関心を持ってもらえるような楽しい学習を企画していきましょう。

#### 【体験型環境学習 実施手順】

	取組み順	内 容	ノウハウ等
事前準備 (体験型環境学習の設計)	ステップ1	基本テーマ等の設定	P173
	▼		
	ステップ2	活動候補場所の現地訪問、活動場所の設定	P173
	▼		
	ステップ3	コンテンツ（実施計画）の策定	P174
	▼		
	ステップ4	助言可能な専門家・専門機関との連携の検討	P176
▼			
ステップ5	必要な許認可等の手続き、施設管理者等との調整	P177	
▼			
ステップ6	民間及び公的補助金等の活用の検討	P179	
▼			
ステップ7	広報の実施	P179	
▼			
開催準備・当日	ステップ8	開催準備・当日対応	
		集合・事前説明・誘導	P180
		人員配置	P180
		安全管理	P181
		悪天候時等の対応	P181
		時間管理の徹底	P182
▼			
効果検証	ステップ9	効果測定など	
		アンケート調査 波及効果創出に向けた成果の発信、活動展開等	P182

## ①事前準備（体験型環境学習の設計）

まずは、体験型環境学習の設計（デザイン）をしていきましょう。

### 【ステップ1（基本テーマ等の設定）】

- 体験型環境学習の参加者が参加したくなるのはもちろん、大阪湾に興味と愛着を抱き、学習後も保全活動に参加したくなることをめざしたテーマを設定しましょう。
- 「誰にどのような大阪湾を知ってもらおうか」の視点で、参加者の対象やテーマを検討すると決めやすくなります。

#### ○参加者の設定事例

- ・一般（大阪府内、大阪府外 等）
- ・小学生（低学年、高学年 等）  
※小学生の場合は、保護者等の同伴を条件とする場合有
- ・中学生・高校 ・大学生等の若者世代 など

#### ○体験型環境学習の実施手法の分類

実施手法	考え方
生物調査	一見生き物がいなさそうな大阪湾でも、磯浜生物・海洋生物観察などにより実際に生き物に触れ、多様性や驚き、生物の生態の学びの機会を提供する。
藻場の保全・再生・創出	アマモ場やワカメ等の再生活動の見学・参加により、藻場の役割や里海づくりの重要性を学ぶ機会を提供する。
水辺の保全・再生・創出	人工再生砂浜・干潟の見学・参加、沿岸部での植林により、砂浜や干潟などの水辺や緑地の役割や里海づくりの重要性を学ぶ機会を提供する。
清掃美化活動	自然海浜や砂浜、干潟、河川での散乱ごみの回収などにより、海洋プラスチックごみによる生態系への影響や日々の生活でできる取組みを考える機会を提供する。

### 【ステップ2（活動候補場所の現地訪問、活動場所の設定）】

- 想定している参加者ターゲットや活動テーマ、実施手法が実施できる活動場所の設定に向けて、候補地の現地訪問、設定を行いきましょう。
- 現地訪問では、主に「アクセス性」、「安全面」、「活動のしやすさ」という観点で、活動場所として相応しいかどうか、状況を確認します。

- スタッフ間でのイメージ共有に向けてできるだけ複数名で現地訪問・確認しましょう。また、後で確認しやすいよう、必要な情報は写真撮影も行いましょう。

○活動場所の現地訪問の際に確認しておくこと（例示）

観点	確認事項
アクセス	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公共交通機関、駐車場の有無</li> <li>○活動場所に行くまでのバリアフリーの状況</li> <li>○持ち物の搬入しやすさ</li> <li>○その他周辺環境（工事等の実施、治安面など）</li> </ul>
安全面	<ul style="list-style-type: none"> <li>○陥没箇所や軟弱箇所、滑りやすい箇所、転落の危険のある箇所等の有無</li> <li>○悪天候時において危険にさらされる可能性（高波、強風、高温・直射日光、河川での出水など）</li> <li>○参加者が怪我や体調不良になった場合の動線</li> </ul>
活動のしやすさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○適した海洋資源があるか</li> <li>○活動場所として十分なスペースが確保できるか</li> <li>○トイレや洗い場などが近くにあるか</li> <li>○座って説明が聞ける場所が近くにあるか（会議室、ベンチ、日陰など）</li> </ul>

### 【ステップ3（コンテンツ（実施計画）の策定）】

- 大阪湾の環境資源の特徴や課題を学んでもらえるよう、体験型環境学習のコンテンツづくりをしていきましょう。
- コンテンツを考える際は、基本テーマ等に沿って、開催時期、タイムスケジュール（1日の流れ）・学習手法を設定するとともに、参加者に応じた安全管理なども検討していきます。
- 参加者が大阪湾の保全に向けて引き続き関心を持ってもらうために、「楽しさ」、「わかりやすさ」を体現できるコンテンツづくりを心掛けましょう（例：食事、プレゼントなど）。

#### <開催時期>

- 生物調査等で海に入る場合は、温かい気候の時期が適しているほか、特定の生物の調査や移植等の保全をする場合は、生物の生息時期によって、実施できる期間が限られるものがあります。
- 海岸や干潟などの水辺での活動を行う場合には、実施場所の満潮・干潮等の潮汐のタイミングを確認して日時を設定します。
- 生徒が対象の場合は夏休み期間に開催するなど、参加者が参加しやすい時期をイメージして決定します。

#### 【潮位の確認方法】

- 次の気象庁サイトで地点毎の潮位変化の予測値を確認。  
[https://www.data.jma.go.jp/gmd/kaiyou/db/tide/suisan/s\\_kinki.php](https://www.data.jma.go.jp/gmd/kaiyou/db/tide/suisan/s_kinki.php)
- 大阪湾（大阪府域）では、「大阪」「堺」「泉大津」「岸和田」「関空島」「淡輪」の潮位の予測値が公表されているので、活動場所に近い地点の潮位を確認。
- 活動場所によって、活動に適した潮位は異なるので事前に下見をするか、既存の活動団体の実施時期を参考にすることが望ましい。

#### <タイムスケジュール>

- 円滑な実施のためタイムスケジュールを作成します。
- 無理の無い集合・移動・解散時間を設定できるように留意します。
- タイムスケジュールに盛り込む項目
  - i) 集合場所、時刻
  - ii) 移動手段、時間
  - iii) 事前レクチャーの場所、時間
  - iv) 体験型環境学習プログラムの時間
  - v) 解散場所、時刻

#### <安全管理>

- 海上での活動は危険を伴います。事故を防ぐため、実施内容に応じてどのようなリスクがあるかリストアップし、必要な安全対策について検討のうえ、事前に事故発生時の関係機関（病院等）の連絡先などを調べ、緊急時の対応フローを作成します。（参考：海の事故防止対策/海上保安庁）

<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/marinesafety/jikotaisaku/leisure/others.html>

- （参考：ライフジャケットの着用義務拡大/海上保安庁）

[https://www.mlit.go.jp/maritime/maritime\\_fr6\\_000018.html](https://www.mlit.go.jp/maritime/maritime_fr6_000018.html)

- （参考：ウォーターセーフティガイドリーフレット/海上保安庁）

<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/marinesafety/pdf/wsgleafletB.pdf>

- 継続して実施する事業の場合、「安全管理マニュアル」等を作成することで安全に実施することができます。（参考：安全管理マニュアル/公益社団法人大阪自然環境保全協会）

<https://www.nature.or.jp/information/anzen/>

- 水辺での活動の場合、小学生以下など年少者は保護者同伴として安全を確保します。
- 万一の事故発生に備え、参加者についてボランティア・市民活動行事保険等に加入します。

#### <悪天候時の対応>

- 活動内容に応じて悪天候時の中止の判断基準・連絡方法について検討します。
- 雨天等により当初予定したプログラムの実施が困難な場合、屋内施設や代替プログラムの実施の可能性について検討します。

#### 【ステップ4（助言可能な専門家・専門機関との連携の検討）】

- ステップ3（コンテンツ（実施計画）の策定）では、必要に応じて「3. 活動候補場所とその概要」の海浜公園、環境学習施設、漁港、「4. 活動事例」の活動団体等のほか、一般市民向けに開催されている環境講座・セミナー等の講師などの専門家や専門機関の助言を受けて検討を進めます。
- 当日の運営についても、同様のプログラムの運営経験のある専門家等にガイド、インストラクター等の協力を依頼して行うことを検討します。

#### ＜専門家・専門機関のある分野（例）＞

- ・藻場再生 : 環境保全活動に取り組む団体、企業など
  - ・藻場再生に係る技術面の課題（藻類着生ブロック等の藻場の生育基盤の整備方法、種付など藻類の育成方法、モニタリング方法など）や必要な法令手続き等について相談してみましょう。
- ・ビオトープの構築、維持管理 : 環境保全活動に取り組む団体、企業など
  - ・ビオトープ構築に係る技術面の課題（設置適地、必要な規模、期待される生物の種類など）や維持管理の体制等について相談してみましょう。
- ・自然再生 : 環境保全活動に取り組む団体、企業など
  - ・植林を行う場合、候補地の選定方法や樹種選定、維持管理の方法などについて相談してみましょう。
- ・水生生物観察会/自然観察会の運営 : 環境学習施設、地域の活動団体など
  - ・環境学習施設等には、水生生物や自然環境に関する各分野の専門家が在籍している場合や専門家のネットワークに関わっている場合が多いので、専門家の派遣又は紹介を相談してみましょう。
- ・貝類や魚類由来の漂着物、海ごみ等を活用した工作 : 環境学習施設など
  - ・環境学習施設等では、漂着物や海ごみ等を活用した工作を行うプログラムを提供しているところがあります。企画しているプログラムをこれらの施設で実施することや専門家の派遣について相談してみましょう。
- ・チリメンモンスタープログラム : 環境学習施設など
  - ・チリメンモンスターはきしわだ自然友の会の登録商標ですが、非営利の活動の場合は無償で使用できます。プログラムの企画に際しては、同会に相談してみましょう。

## 【ステップ5（必要な許認可等の手続き、施設管理者等との調整）】

- 取組みの実施に係り、実施場所の管理者等との調整が必要となる場合があるので、事前に管理者等に連絡し、必要な手続き等について確認するようにしましょう。
- 魚類や水生生物などの水産動植物の採捕等を行う場合には、許可が必要な場合があるので、事前に確認が必要です。特に漁業権が設定されている水面で活動を行う場合は、活動の内容によっては漁業権の侵害に当たる場合があります。
- 海岸や干潟での清掃美化活動を行う場合は、回収した漂着ごみ等を法令に基づいて適切に処理します。自治体によっては、回収した漂着ごみを引き取って処理してもらえる場合もあるので、事前に活動場所の市町村の環境（廃棄物）部局に相談してください。

### ＜許認可・事前調整先＞

活動場所	調整先
港湾・海岸区域	大阪港湾局が所管しています。港湾・海岸によって担当が異なりますので、事前に活動場所の所管を確認して調整してください。 (参考) ・大阪港湾局 <a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/bu_kowan/">https://www.pref.osaka.lg.jp/bu_kowan/</a> <a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/osaka_kowan/">https://www.pref.osaka.lg.jp/osaka_kowan/</a>
河川管理区域	河川によって国土交通省、大阪府、市町村など、河川管理者が異なります。事前に活動場所の所管を確認して調整してください。 (例) 淀川、大和川…国土交通省近畿地方整備局 寝屋川、恩智川…大阪府 (参考) ・国土交通省近畿地方整備局 (参考：近畿の河川/国土交通省近畿地方整備局) <a href="https://www.kkr.mlit.go.jp/river/kasen/index.html">https://www.kkr.mlit.go.jp/river/kasen/index.html</a> ・大阪府 (参考：事務所の所管地域と管理河川一覧/大阪府) <a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/kasenkankyo/kanri/kannai.html">https://www.pref.osaka.lg.jp/kasenkankyo/kanri/kannai.html</a>

活動場所	調整先
公園等の施設	<p>海岸や河川敷等が公園等として整備されている場合があります。その場合は、公園等の施設管理者を確認して調整してください。</p> <p>(例) 大阪府営公園一覧  <a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/koen/introduction/index.html">https://www.pref.osaka.lg.jp/koen/introduction/index.html</a></p>
廃棄物の処理	<p>自治体によっては、回収した漂着ごみを引き取って処理してもらえる場合があります。事前に活動場所の市町村の環境（廃棄物）部局に相談してください。</p>
水産動植物の採捕 (特別採捕許可)	<p>水産資源の保護培養及び漁業調整のため、採捕する水産動植物の種類や大きさ、採捕の期間、区域、採捕に使用する漁具・漁法等について制限または禁止しています。</p> <p>試験研究や教育実習の目的で水産動植物を採捕する場合は、許可を受けてこれらの制限又は禁止項目の適用除外を受ける必要があるため、事前に申請してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大阪府  (参考：試験研究等のために水産動植物の採捕を行う方へ（水産動植物の採捕の許可）/大阪府)  <a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/suisan/tok/index.html">https://www.pref.osaka.lg.jp/suisan/tok/index.html</a></li> </ul>
漁港、漁業権設定水面	<p>漁港等で活動を行う場合は、関係する漁業協同組合と事前に調整をしてください。</p> <p>大阪府内の漁港は、次の大阪府サイトで確認できます。  <a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/suisan/o-gyogyou/from-sky.html">https://www.pref.osaka.lg.jp/suisan/o-gyogyou/from-sky.html</a></p> <p>大阪府域で設定されている漁業権設定水面の場所は、次の大阪府サイトで確認できます。  <a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/suisan/gyogyoken/index.html">https://www.pref.osaka.lg.jp/suisan/gyogyoken/index.html</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大阪府内の漁業協同組合  (参考) 大阪府漁業協同組合連合会  <a href="http://www.osakagyoren.or.jp/about/organization.html">http://www.osakagyoren.or.jp/about/organization.html</a></li> </ul>

## 【ステップ6（民間及び公的補助金等の活用の検討）】

- 事業実施に必要な経費に関しては、必要に応じて、民間及び公的な補助金等の活用を検討します。以下の補助金等を参考に助成要件等に合うものの活用について検討しましょう。

○民間及び公的補助金等（例）（詳細は参考資料1（P269～273））

主な目的	補助金等の名称	所管団体等
環境活動支援	大阪府環境保全活動補助金	大阪府 環境農林水産部
	地球環境基金	独立行政法人環境再生保全機構
	環境保全市民活動等助成金	大阪湾広域臨海環境整備センター
	環境市民活動助成	セブン-イレブン記念財団
	環境助成金	一般財団法人サンライズ財団
子供育成支援	こどもゆめ基金	独立行政法人国立青少年教育振興機構
	子供たちの環境学習活動に対する助成事業	公益財団法人高原環境財団
	助成事業	公益財団法人ノエビアグリーン財団
水辺環境づくり	海や船に関する事業（海と身近にふれあう）への助成	公益財団法人日本財団
	河川基金	公益財団法人河川財団
	未来のみなとづくり助成	一般財団法人みなと総合研究財団
自然とのふれあい	公益信託富士フィルム・グリーンファンド	一般財団法人自然環境研究センター
	生物多様性保全推進交付金（ICTソリューション地域活性化支援事業）	環境省 自然環境局 国立公園課

## 【ステップ7（広報の実施）】

- 取組内容が決まったら、参加者を募集するために広報を実施します。
- 広報媒体は、ステップ1（基本テーマ等の設定）で設定した参加者に効果的に情報が届くように工夫しましょう。

### ＜広報媒体（例）＞

- 実施団体のホームページ、メールマガジン
- 実施団体の SNS（インスタグラム、X、フェイスブック等）
- 地元自治体の広報誌
- 地元観光協会等の観光振興団体に広報を依頼
- 図書館や公民館等の公共施設、関係機関へのチラシの配布
- イベント情報サイトへの掲載

（参考）いこーよ <https://iko-yo.net/>

- ・環境関係団体によるホームページ掲載やメールマガジン配信

(参考) きんき環境館 <https://www.kankyokan.jp/>

EIC ネット <https://www.eic.or.jp/event/?gmenu=1>

環境らしんばん <https://www.geoc.jp/rashinban/>

環境展望台 <https://tenbou.nies.go.jp/news/event/>

- ・過去の参加者へのダイレクトメール

※地元自治体広報誌や公共施設のチラシなどで情報を知り、詳細情報をホームページ等で確認するなど、複数の広報媒体で情報を掲載することが効果的と考えられます。

## ②開催準備・当日対応

### 【ステップ8（開催準備・当日対応）】

#### 【集合・事前説明・誘導】

- 当日の集合や誘導をスムーズに行うため、参加者一覧表（携帯電話番号など緊急連絡先を含む）を事前に準備しましょう。
- 当日のタイムスケジュールや学習のポイント、活動場所に生息する生き物の種類や写真、安全マニュアル、緊急連絡先等をまとめた当日のしおりを参加者に事前に送付することで、円滑に進行することができます。

#### <当日のしおり項目例>

- ・体験型環境学習の趣旨、目的
- ・学習のポイント
- ・活動場所に生息する生き物の種類や写真
- ・集合、解散場所
- ・タイムスケジュール
- ・当日の持ち物、服装
- ・雨天時の実施判断
- ・安全マニュアルや注意事項
- ・トイレの場所
- ・参加者からの緊急時の連絡方法

#### 【人員配置】

- 参加者数、実施内容に応じて必要な人員を検討し、予定外の事態にも対応できるよう余裕をみて人員を配置しましょう。

## [安全管理]

- ステップ3（コンテンツ（実施計画）の策定）で検討した安全管理対策や緊急時の対応フローをもとに、安全管理を行きましょう。

### <安全管理の対応例>

- 海辺や干潟等で活動する場合は、陥没箇所や軟弱箇所、滑りやすい箇所、転落の危険のある箇所等の有無について事前に調査し、参加者が立ち入ることの無いよう措置する。
- 強風により波が高くなると予測される際には、海辺には近づかない。
- 河川で活動する場合は、悪天候時など出水による危険が予測される時には川に入らない。
- 船や栈橋、堤防等、水中への転落の可能性がある場合は、必ずライフジャケットを着用する。
- 水辺での活動の場合は、未成年者は保護者と一緒に参加し安全を確保する。
- 活動予定場所で遭遇する可能性のある危険生物について、注意喚起を行い、万一被害にあった場合の応急処置について確認する。  
(マムシ/スズメバチ/セアカゴケグモ/カミツキガメ/マダニ 等)
- 事故等の発生時の対応フローをすぐに確認できる場所に掲示する。
- 万一の事故発生に備え、参加者についてボランティア・市民活動行事保険等に加入する。

## [悪天候時等の対応]

- ステップ3（コンテンツ（実施計画）の策定）で検討した悪天候時等の対応について、事前に判断基準や判断時期を決め、当日悪天候等が予想される場合は事前に連絡を行きましょう。

### <悪天候等に備え、中止等の判断基準・判断時期、連絡方法の確認>

項目	対応例
判断基準	<ul style="list-style-type: none"><li>• 気象警報（大雨、暴風、波浪等）発令時</li><li>• 主要な公共交通機関が運休する場合</li><li>• 使用予定の施設が休園等の場合</li><li>• 雨天時/強風時 など</li></ul>
判断時期	<ul style="list-style-type: none"><li>• 前日 17 時</li><li>• 当日 7 時 など</li></ul>
連絡方法	<ul style="list-style-type: none"><li>• 参加者の個別連絡（電話、メール等）</li><li>• 実施団体ホームページに掲載 など</li></ul>

#### **[時間管理の徹底]**

- スムーズな運営に向けて、十分に準備時間を確保して準備を行いましょう。
- スタッフの中でタイムキーパー役を設定し、時間の延長などがないよう時間管理を行いましょう。

### **③効果測定**

#### **【ステップ9（効果測定など）】**

- 取組みの実施後には、参加者に対して振り返りの機会を提供するとともに、効果測定を行い今後の取組みの改善に活用するためアンケート調査を実施しましょう。また、取組み前後にアンケートを実施することで、学習を通じた参加者の意識変化を調べることもできます。
- スタッフ間での振り返り会を開催し、今後の対応策を検討しましょう。
- 波及効果創出に向けて、活動成果の情報発信や、活動団体との連携による活動展開なども検討しましょう。

<アンケートに盛り込む項目例> (アンケート様式(例): 参考資料3 (P276~277))

項目	具体的内容	事前	事後
申込理由		●	
情報の入手先	<ul style="list-style-type: none"> <li>実際に活用した広報媒体を例示し、選択</li> </ul>	●	
大阪湾に対するイメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数の語句表現から選択+自由記述</li> </ul> <例> <ul style="list-style-type: none"> <li>i) 多くの生物が生息している。</li> <li>ii) 多くの自然がある。</li> <li>iii) 水質がきれい。</li> <li>iv) プラスチックなどのごみが多い。 等</li> </ul>		●
学習した内容が理解できたかどうか	<ul style="list-style-type: none"> <li>5~10段階で数字を選択</li> <li>5種類程度の語句表現から選択</li> </ul> <例>           よく理解できた/まあまあ理解できた/ どちらとも言えない/あまり理解できなかった/ 全く理解できなかった		●
設定した基本テーマに対する今後の行動変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>4種類程度の語句表現から選択</li> </ul> <例>           是非とも取り組んでいきたい/取り組んでいきたい/ /どちらとも言えない/取り組むつもりはない		●
参加して良かったか (満足度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>5~10段階で数字を選択</li> <li>5種類程度の語句表現から選択</li> </ul> <例>           とても良かった/良かった/どちらとも言えない/ 良くなかった/全く良くなかった		●
今後も参加したいか	<ul style="list-style-type: none"> <li>4種類程度の語句表現から選択</li> </ul> <例>           是非とも参加したい/内容によっては参加したい/ どちらとも言えない/参加しない		●
今後、取り組みたい行動の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>例示からの選択+自由記述</li> </ul> <例示例> <ul style="list-style-type: none"> <li>i) 海ごみの原因となるプラスチック (PET ボトル、レジ袋等) の使用を減らそうと思う。</li> <li>ii) 大阪湾に棲む生物の事を調べようと思う。</li> <li>iii) 海辺の清掃に参加しようと思う。 等</li> </ul>		●
今後どんな内容のものを実施してほしいか	<ul style="list-style-type: none"> <li>自由記述</li> </ul>		●

## (2) 体験型環境学習のモデル事例について

(1) の【体験型環境学習 実施手順】に基づき、「Trick or GOMI Art 海ごみアートでハロウィンパーティ！」を開催した際の具体的な手順をご紹介します。

### <Trick or GOMI Art 海ごみアートでハロウィンパーティ！の概要>

- 実施団体：一般財団法人環境事業協会
- 実施日：2023年10月15日（日）、21日（土）
- 参加者数：1日目 4組 10名、2日目 4組 11名
- 実施区分：生物調査（生物観察・自然観察）、清掃・美化活動
- 内容：大阪湾に残る自然干潟でハクセンシオマネキなどのカニ類を始めとする生物観察を行うことで大阪湾の生態系の豊かさを学んだ後、海岸の清掃美化活動を行い、回収した海ごみを活用しカニ類などの大阪湾の生き物をテーマとしたコスチュームづくりを行うことで生態系に悪影響を及ぼしている海ごみ問題について考える。



(実施団体（環境事業協会）作成チラシ)

<1日目：2023年10月15日（男里川河口干潟）>

- 男里川河口干潟で生物観察（ハクセンシオマネキなどのカニ類など）
- 海岸に打ち上げられた海ごみの回収（海ごみを使ったコスチューム作成の材料）



（事前レクチャー）



（干潟での生物観察）



（干潟に生息するカニ類）



（海ごみの回収）

<2日目：2023年10月21日（泉南ロングビーチのレクチャー室）>

- 海ごみを使ったコスチュームづくり
- 写真撮影会
- ハロウィンパーティ



（コスチュームづくりに使用する海ごみ）



（コスチュームづくり）



（写真撮影会）

### <作成したコスチュームの事後活用等>

- 希望者は作成したコスチュームを持ち帰ることができるとしたほかは、実施団体が適切に処理した。
- また、当日撮影したコスチュームの写真を活用して以下の取組みを実施した

#### i) 百貨店イベントスペースでのコスチュームの展示

阪急うめだ本店の「人と自然の共生」テーマとした新フロア「GREEN AGE」のイベントスペースで2023年10月27日から2023年11月1日までの間、2日目に撮影したコスチュームの写真を展示した。



写真展示の様子

#### ii) 写真集の作成・参加者への配布

コスチュームづくりの様子やプロの写真家が撮影したコスチュームを着用した写真を写真集にまとめて参加者に配布したほか、環境学習施設や漁港等計15施設に240部を配架した。



写真集表紙（左）と写真集内容（右）

## ①事前準備（体験型環境学習の設計）

### 【ステップ1（基本テーマ等の設定）】

- 対象者：小学3～6年生とその保護者  
環境学習に取り組み始める年齢を対象とし、安全管理等のため保護者等の同伴を条件とした。
- テーマ：大阪湾に残る貴重な自然干潟に生息する生物観察会と、打ち上げられた海ごみの清掃美化活動を合わせて実施することで、干潟に生息する生物と漂着ごみについて学び、大阪湾を大切にすることを育む。

- 大阪湾に残る貴重な自然干潟での体験は生き物の生息場所を守ることに気づきとなり、今後の環境保全活動への参加意欲向上にもつながるため、基本テーマとして設定した。
- 併せて清掃美化活動を行い、貴重な自然干潟にごみが漂着している現状を体験し、回収したごみを使用したアートを作成して情報発信することを通じて、大阪湾を保全するための取組みを考える学びの機会とした。

### 【ステップ2（活動候補場所の現地訪問、活動場所の設定）】

- 干潟
  - ・男里川河口干潟
- 海浜公園
  - ・樽井公民館
  - ・泉南ロングパーク

- 大阪湾に唯一残された貴重な自然干潟で、ハクセンシオマネキなど貴重な生物が観察できるとともに、漂着ごみの清掃活動も可能なため、男里川河口干潟を設定した。
- 学習施設は、大阪湾を身近に感じながら学習することができる場所を設定した。

### 【ステップ3（コンテンツ（実施計画）の策定）】

- 開催時期：2023年10月15日、10月21日
  - ・対象者を小学生とし、親子での参加を前提としているため、開催日は土曜日、日曜日に設定した。

- 1 日目が干潟での作業のため、昼間に潮位が 100 cm以下となる日を設定した。
- 1 日目に回収したごみの洗浄、乾燥期間を考慮して2日目の日を設定した。

### ●プログラムの内容

#### • 1 日目

干潟に生息する生物と海ごみについて学ぶため、大阪に残された唯一の自然干潟である男里川河口干潟を活動場所とし、ハクセンシオマネキなどのカニ類を中心とした生物観察会と干潟に打ち上げられたプラスチック類を中心とした漂着ごみの清掃美化活動を行った。

#### • 2 日目

海ごみについて更に深く興味を持ってもらうために、1 日目に回収した海ごみを使って、コスチュームづくりを行った。作成したコスチュームは実際に着て写真撮影会を行い、写真集として参加者に配布した。

### ●具体的なスケジュール

#### < 1 日目 >

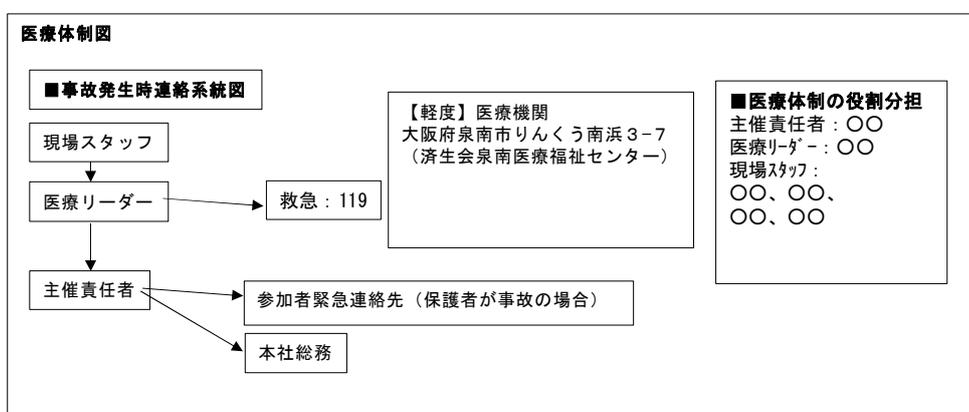
時間	場所
9:30	集合（南海樽井駅）
9:30～10:00	徒歩移動
10:00～11:00	学習プログラム①『大阪湾の生きものと海ごみ』 講師：男里川河口干潟を守る会 代表 田中 正視
11:00～11:30	学習プログラム②『コスチュームデザインの参考になる生きものの紹介』 進行：環境事業協会 山野寺 隆太
11:30～13:00	昼食・徒歩移動
13:00～14:00	体験プログラム①『干潟の生きもの観察会』 講師：男里川河口干潟を守る会 代表 田中 正視
14:00～15:00	体験プログラム②『海ごみクリーン大作戦！ In 男里川河口干潟』
15:00～15:30	着替え・徒歩移動
15:30	解散（南海樽井駅）

<2日目>

時間	内容
9:30	集合（南海樽井駅）
9:30～10:00	徒歩移動
10:00～10:30	プログラム①『ハロウィンコスチューム案発表会』 講師：アートディレクター 美術作家 東 明
10:30～11:30	コスチューム自由制作タイム①
11:30～13:00	昼食
13:00～13:15	プログラム②『ほかの人の作品を見ながら作り方を学ぼう』
13:15～15:00	コスチューム自由制作タイム②
15:00～15:30	個人写真撮影、作品発表会
15:30～16:30	泉南ロングビーチで撮影会
16:30	解散（南海樽井駅）

●安全管理

- ・事前に下見を行い、干潟や周辺のテトラポッドなど危険な必要な場所や活動場所の範囲を確認した。
- ・干潟での活動に適した服装（着替え持参）、履物等について事前に案内した。
- ・干潟での活動の際の注意事項を専門家から説明するよう調整した。
- ・海ごみを取扱う際の衛生管理について検討した。
- ・参加者全員を傷害保険に加入した。
- ・参加者全員に目が行き届くように十分なスタッフ（計6人）を配置し、全員に以下の医療体制図（対応フロー）や緊急の病院などの連絡先を共有した。



●悪天候時の対応

- ・小雨決行（警報発令時、災害発生時は中止）。
- ・雨天でも安全が確保できる場合は、屋内で生物の解説を実施するなど、プログラムの変更を予定。

【ステップ4（助言可能な専門家・専門機関との連携の検討）】

●男里川河口干潟を守る会

- ・日頃から干潟での清掃美化活動、生物観察会を開催しており、当日は、「環境省自然公園指導員」兼「NACS-J自然観察指導員」の田中正視氏がカニ類の生態等について解説した。

●アートディレクター東明（ひがし あきら）氏

- ・立体・身体・空間などをテーマとした美術作家であり、服をつくる工作”アナーク・ワークショップ”を全国で開催している。
- ・当日は、海ごみを使用したハロウィンコスチューム制作について、制作指導や助言を行った。

●プロ写真家

- ・作成したコスチュームを着た写真撮影会を行い、写真集を製作した。

【ステップ5（必要な許認可等の手続き、施設管理者等との調整）】

●男里川河口干潟

立ち入りに許認可等の必要はなかった。

●公民館、レクチャールーム

事前に予約など施設管理者と調整した。

【ステップ6（民間及び公的補助金等の活用の検討）】

●活用なし。

※本事業はモデル事業として、大阪府の「豊かな大阪湾」保全・再生・創出活動推進事業（大阪湾沿岸での環境保全活動を核とした体験型環境学習の推進分野）で実施。

【ステップ7（広報の実施）】

参加対象者（小学3～6年生とその保護者）に対して周知するため、ホームページやSNS、図書館への配布、イベント情報サイトへの掲載等以下の手法により広報を行った。

- 事業実施主体ホームページ・SNSへの掲載
  - ・環境事業協会ホームページ（アクセス数 9月：99件、10月：231件）
  - ・環境事業協会環境推進課公式X（旧Twitter）
  - ・大阪府もずやん Twitter
- チラシを市内図書館、公共施設、関係企業等に配布
  - ・大阪市立図書館 24か所 : 480部
  - ・大阪府内公共施設 20か所 : 400部
  - ・当協会関係企業、団体 12か所 : 120部
  - ・当協会開催イベント参加者 : 34部
- イベント情報サイト「いこーよ」に掲載
- エコネット近畿メーリングリスト
- その他環境関係団体によるホームページ掲載やメールマガジン配信



（左：募集チラシ、右：ホームページでの広報）

## ②開催準備・当日対応

### 【ステップ8（開催準備・当日対応）】

#### ●集合・事前説明・誘導

##### <事前説明>

- ・集合場所、時間、適した電車
- ・プログラム、タイムスケジュール
- ・当日の持ち物（着替え、昼食、水分補給するもの）や干潟での活動に適した服装、長靴等の履物等

##### <集合・誘導>

- ・出欠確認用の参加者一覧表を準備した。
- ・活動場所までの経路を確認し、誘導を行った。

#### ●人員配置

- ・参加者数約 10 名に対し、スタッフ4名を配置した。

#### ●安全管理

- ・汚れることが想定されるため、着替え用の簡易テントを設置した。
- ・干潟での活動の際の注意事項を専門家から説明した。
- ・海ごみを取扱う際の衛生管理について、当日回収する際は注射針等の危険なごみについて説明し、回収した海ごみは洗浄、乾燥してから使用した。
- ・当日は参加者全員に目が行き届くように十分なスタッフ（計4人）を配置し、全員に医療体制図（対応フロー）や緊急の病院などの連絡先を共有した。
- ・参加者全員を傷害保険に加入した。

#### ●悪天候時等の対応

- ・天候に恵まれ、全てのプログラムを予定どおり実施し、雨天時の代替プログラムは実施しなかった。

#### ●時間管理の徹底

- ・スムーズな運営に向けて、十分に準備時間を確保して準備を行った。
- ・スタッフの中でタイムキーパー役を設定し、時間管理を行った。

### ③効果測定

#### 【ステップ9（効果測定など）】

1日目のプログラムの開始前及び2日目のプログラム終了時に、紙によるアンケートを実施した。

#### ●プログラム開始前アンケート結果 ※自由記述については回答を割愛。

・ご家族で今回のような大阪湾の生きもの観察会イベントに参加されたことはありますか？

1. 月1かそれ以上の頻度で参加している	0%
2. 半年に1回程度	0%
3. 1年に1回程度	0%
4. 今回が初めて	100%

・自然環境の保全活動や、海ごみの清掃活動などに参加されたことはありますか？

1. 月1かそれ以上の頻度で参加している	0%
2. 半年に1回程度	0%
3. 1年に1回程度	0%
4. 今回が初めて	100%

・大阪湾の干潟に生息している生きものについて何種類を知っていますか？

1. 0種類	0%
2. 1～3種類	100%
3. 4～10種類	0%
4. 11種類以上	0%

・常日頃から意識してごみを減らそうとしていますか？

1. とても意識している	0%
2. 意識している	66.7%
3. あまり意識していない	33.3%
4. 意識していない	0%

•大阪湾について現在どのようなイメージを持っていますか？

1. 水や自然と触れ合える場所がたくさんある

1. そう思う	0%
2. どちらかといえばそう思う	100%
3. あまり思わない	0%
4. まったく思わない	0%

2. 生物が多く生息している

1. そう思う	0%
2. どちらかといえばそう思う	100%
3. あまり思わない	0%
4. まったく思わない	0%

3. ごみが少ない

1. そう思う	0%
2. どちらかといえばそう思う	0%
3. あまり思わない	100%
4. まったく思わない	0%

•今まで大阪湾で体験したアクティビティやプログラムはありますか？（自由記述）

•今回のイベントのプログラムで一番楽しみなものは何ですか？（自由記述）

●プログラム終了時アンケート結果 ※自由記述については回答を割愛。

・今回のような体験型環境学習イベントにまた参加したいですか？

1. はい	100%
2. いいえ	0%

・今後、自然環境の保全活動や、海ごみの清掃活動などに参加してみようと思いましたが？

1. 積極的に参加したい	33.3%
2. 参加したい	66.7%
3. どちらでもない	0%
4. 参加しない	0%

・今回学んだ生きものも含めて、大阪湾に生息している生きものについて何種類知っていますか？

1. 0種類	0%
2. 1～3種類	66.7%
3. 4～10種類	33.3%
4. 11種類以上	0%

・今回のイベントを通して、現在のライフスタイルを変えてごみを減らしてみようと思いましたが？

1. とてもそう思う	33.3%
2. そう思う	66.7%
3. わからない	0%
4. あまり思わない	0%
5. まったく思わない	0%

- イベント内容についての感想を教えてください。

1. 学習プログラム①「大阪湾の生きものと海ごみ」

1. 満足	100%
2. やや満足	0%
3. 普通	0%
4. やや不満	0%
5. 不満	0%

2. 学習プログラム②「コスチュームデザインの参考になる生きもの」

1. 満足	100%
2. やや満足	0%
3. 普通	0%
4. やや不満	0%
5. 不満	0%

3. 体験プログラム①「干潟の生きもの観察会」

1. 満足	100%
2. やや満足	0%
3. 普通	0%
4. やや不満	0%
5. 不満	0%

4. 体験プログラム②「海ごみクリーン大作戦！in 男里川河口干潟」

1. 満足	100%
2. やや満足	0%
3. 普通	0%
4. やや不満	0%
5. 不満	0%

5. 体験プログラム③「ハロウィンコスチューム制作」

1. 満足	100%
2. やや満足	0%
3. 普通	0%
4. やや不満	0%
5. 不満	0%

6. 体験プログラム④「コスチュームを着て撮影会」

1. 満足	100%
2. やや満足	0%
3. 普通	0%
4. やや不満	0%
5. 不満	0%

・大阪湾に対して現在どのようなイメージを持っていますか？

1. 水や自然と触れ合える場所がたくさんある

1. そう思う	33.3%
2. どちらかといえばそう思う	66.7%
3. あまり思わない	0%
4. まったく思わない	0%

2. 生きものが多く生息している

1. そう思う	66.7%
2. どちらかといえばそう思う	33.3%
3. あまり思わない	0%
4. まったく思わない	0%

3. ごみが少ない

1. そう思う	0%
2. どちらかといえばそう思う	0%
3. あまり思わない	33.3%
4. まったく思わない	66.7%

- 参加者のお子様へのご質問です。今回のイベントで最も楽しかったことについて教えてください。(自由記述)
- 保護者の方へのご質問です。今回のイベントでのご感想やご意見などをお書きください。(自由記述)
- 今後、大阪湾で体験してみたいプログラムがありましたら教えてください。(自由記述)

## 7. 干潟等の生物多様性の保全活動の実施

### (1) 干潟等の生物多様性の保全活動の企画・検討

ここでは、具体的に干潟等の生物多様性の保全活動の企画・検討を進める上でのノウハウをご紹介します。

干潟等の生物多様性の保全活動を進めるときには、どんなテーマで、何を保全とした活動を行い、誰に協力を得るか、下見や準備物の調達も必要ですが、大阪湾の環境や生物を知ってもらい、興味・関心を持ってもらえるよう、楽しい活動できる企画をしていきましょう。

#### 【干潟等の生物多様性の保全活動 実施手順】

取組み順	内 容	ノウハウ等	
事前準備 (干潟等の生物多様性の保全活動の設計)	ステップ1	テーマ、実施手法の企画・検討	P201
	▼		
	ステップ2	文献調査、専門家・専門機関への相談	P202
	▼		
	ステップ3	活動候補場所の現地訪問、活動場所の設定	P203
	▼		
	ステップ4	コンテンツ（実施計画）の策定	P203
	▼		
ステップ5	専門家・専門機関による連携・協力の検討	P205	
▼			
ステップ6	民間及び公的補助金等の活用の検討	P206	
▼			
ステップ7	必要な許認可等の手続き、施設管理者等との調整	P206	
▼			
ステップ8	広報の実施	P208	
▼			
開催準備・当日	ステップ9	開催準備・当日対応	
		集合・事前説明・誘導	P209
		人員配置、事前打合せ	P210
		安全管理	P210
		悪天候時等の対応	P211
時間管理の徹底	P211		
▼			
効果検証	ステップ10	効果測定など	
		アンケート調査 波及効果創出に向けた成果の発信、活動展開等	P211

## ①事前準備（干潟等の生物多様性の保全活動の設計）

まずは、干潟等の生物多様性の保全活動の設計（デザイン）をしていきましょう。

### 【ステップ1（テーマ、実施手法の企画・検討）】

- 主要ターゲットを想定した上で、取組みのテーマを企画します。  
干潟等の生物多様性の保全活動に参加したくなるのはもちろん、大阪湾に興味と愛着を抱き、学習後も保全活動に参加したくなることをめざしたテーマを設定しましょう。
- 「誰にどのような大阪湾を知ってもらおうか」を決定した後で、どんな実施手法が想定できるか、概略を設定します。

#### ○テーマ、活動内容の設定イメージ



#### ○参加者ターゲットの設定事例

- 一般（大阪府内、大阪府外 等）
- 小学生（低学年、高学年 等）  
※小学生の場合は、保護者等の同伴を条件とする場合有
- 中学生・高校 • 大学生等の若者世代 など

#### ○干潟等の生物多様性の保全活動の実施手法の分類

実施手法	考え方
生物調査	一見生き物がいなさそうな大阪湾でも、磯浜生物・海洋生物観察などにより実際に生き物に触れ、多様性や驚き、生物の生態の学びの機会を提供する。
浮遊・堆積物の除去	流木やプラスチック、投棄ごみなどの干潟等に堆積・浮遊するごみを除去し、干潟等の多面的機能の維持を図る。
魚等の生物の生息場の保全・再生・創出	干潟等における魚や甲殻類等の生物の生息場の創出活動等を実施し、干潟や砂浜等の水辺の役割や里海づくりの重要性を学ぶ機会を提供する。
稚貝等の放流・沈着促進	網を張ってその場所を保護区として、砂泥の移動を防止し、稚貝などの沈着を促進するとともに、干潟の生息生物の保護をねらう。

## 【ステップ2（文献調査、専門家・専門機関への相談）】

- ステップ1（テーマ、実施手法の企画・検討）をもとに、大阪湾でどんな取り組みができるのか、まずは文献調査や専門家・専門機関への相談により、コンテンツのイメージを膨らませます。
- 専門家・専門機関については、「4. 活動事例」の活動団体等のほか、一般市民向けに開催されている環境講座・セミナー等の講師などに、相談するとよいでしょう。また、コンテンツへの協力も想定して働きかけます。

### ○文献調査、専門家・専門機関への相談により、把握しておきたいこと（例示）

- ・ 設定テーマに関する動向、トレンド
- ・ 想定できる取組手法とそのポイント
- ・ 設定テーマにおいて活用できる大阪湾の環境資源
- ・ 活動場所の特徴・現状（面積や分布状況、確認できる生物、活動場所の状況など）
- ・ 活動する上で有効な協力・連携先
- ・ 活動する上で事前に必要な許認可、調整すべき施設管理者等
- ・ 現地で活動する上での注意点（現地視察時、当日対応とも）
- ・ その他、設定テーマを実施する上で配慮するべき点

### ○参考になる文献例

- ・ 自然共生サイト／環境省  
令和5年度から「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を「自然共生サイト」に認定。  
<https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/kyousei/>
- ・ 生物多様性民間参画事例集／環境省  
[https://www.env.go.jp/nature/biodic/act\\_promo/jireisyu.html](https://www.env.go.jp/nature/biodic/act_promo/jireisyu.html)
- ・ 企業の生物多様性への取組事例集／一般社団法人日本経済団体連合会、経団連自然保護協議会  
[https://www.keidanren.or.jp/policy/2023/087\\_jirei.pdf](https://www.keidanren.or.jp/policy/2023/087_jirei.pdf)

### 【ステップ3（活動候補場所の現地訪問、活動場所の設定）】

- 想定している参加者ターゲットや活動テーマ、実施手法が実施できる活動場所の設定に向けて、候補地の現地訪問、設定を行きましょう。
- 現地訪問では、主に「アクセス性」、「安全面」、「活動のしやすさ」という観点で、活動場所として相応しいかどうか、状況を確認します。
- スタッフ間でのイメージ共有に向けてできるだけ複数名で現地訪問・確認しましょう。また、後で確認しやすいよう、必要な情報は写真撮影も行いましょう。

#### ○活動場所の現地訪問の際に確認しておくこと（例示）

観点	確認事項
アクセス	○公共交通機関、駐車場の有無 ○活動場所に行くまでのバリアフリーの状況 ○持ち物の搬入しやすさ ○その他周辺環境（工事等の実施、治安面など）
安全面	○陥没箇所や軟弱箇所、滑りやすい箇所、転落の危険のある箇所等の有無 ○悪天候時において危険にさらされる可能性（高波、強風、高温・直射日光、河川での出水など） ○参加者が怪我や体調不良になった場合の動線
活動のしやすさ	○適した海洋資源があるか ○活動場所として十分なスペースが確保できるか ○トイレや洗い場などが近くにあるか ○座って説明が聞ける場所が近くにあるか（会議室、ベンチ、日陰など）

### 【ステップ4（コンテンツ（実施計画）の策定）】

- ステップ2（文献調査、専門家・専門機関への相談）で相談、調査して得た情報をもとに、大阪湾の環境資源の特徴や生物多様性等を学んでもらえるよう、設定した活動場所でどんな生物多様性の保全活動が実施できるか、コンテンツづくりをしていきましょう。
- コンテンツを考える際は、基本テーマ等に沿って、開催時期、タイムスケジュール（1日の流れ）・学習手法を設定するとともに、参加者に応じた安全管理なども検討していきます。
- 参加者が大阪湾の保全に向けて引き続き関心を持ってもらうために、「楽しさ」、「わかりやすさ」を体現できるコンテンツづくりを心掛けましょう（例：食事、プレゼントなど）。

#### <開催時期>

- 生物調査等で海に入る場合は、温かい気候の時期が適しているほか、特定の生物の調査や移植等の保全をする場合は、生物の生息時期によって、実施できる期間が限られるものがあります。
- 海岸や干潟などの水辺での活動を行う場合には、実施場所の満潮・干潮等の潮汐のタイミングを確認して日時を設定します。

##### 【潮位の確認方法】

- 次の気象庁サイトで地点毎の潮位変化の予測値を確認。  
[https://www.data.jma.go.jp/gmd/kaiyou/db/tide/suisan/s\\_kinki.php](https://www.data.jma.go.jp/gmd/kaiyou/db/tide/suisan/s_kinki.php)
  - 大阪湾（大阪府域）では、「大阪」「堺」「泉大津」「岸和田」「関空島」「淡輪」の潮位の予測値が公表されているので、活動場所に近い地点の潮位を確認。
  - 活動場所によって、活動に適した潮位は異なるので事前に下見をするか、既存の活動団体の実施時期を参考にすることが望ましい。
- 生徒が対象の場合は夏休み期間に開催するなど、参加者が参加しやすい時期をイメージして決定します。

#### <タイムスケジュール>

- 円滑な実施のためタイムスケジュールを作成します。
- 無理の無い集合・移動・解散時間を設定できるように留意します。
- タイムスケジュールに盛り込む項目
  - i) 集合場所、時刻
  - ii) 移動手段、時間
  - iii) 事前レクチャーの場所、時間
  - iv) プログラムの時間
  - v) 解散場所、時刻

#### <安全管理>

- 海上での活動は危険を伴います。事故を防ぐため、実施内容に応じてどのようなリスクがあるかリストアップし、必要な安全対策について検討のうえ、事前に事故発生時の関係機関（病院等）の連絡先などを調べ、緊急時の対応フローを作成します。  
(参考：海の事故防止対策/海上保安庁)  
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/marinesafety/jikotaisaku/leisure/others.html>  
(参考：ライフジャケットの着用義務拡大/海上保安庁)  
[https://www.mlit.go.jp/maritime/maritime\\_fr6\\_000018.html](https://www.mlit.go.jp/maritime/maritime_fr6_000018.html)  
(参考：ウォーターセーフティガイドリーフレット/海上保安庁)  
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/marinesafety/pdf/wsgleafletB.pdf>
- 継続して実施する事業の場合、「安全管理マニュアル」等を作成することで安全に実施することができます。  
(参考：安全管理マニュアル/公益社団法人大阪自然環境保全協会)  
<https://www.nature.or.jp/information/anzen/>

- 水辺での活動の場合、小学生以下など年少者は保護者同伴として安全を確保します。
- 万一の事故発生に備え、参加者についてボランティア・市民活動行事保険等に入ります。

＜悪天候時の対応＞

- 活動内容に応じて悪天候時の中止の判断基準・連絡方法について検討します。
- 雨天等により当初予定したプログラムの実施が困難な場合、屋内施設や代替プログラムの実施の可能性について検討します。

**【ステップ5（専門家・専門機関による連携・協力の検討）】**

- ステップ2（文献調査、専門家・専門機関への相談）で相談した専門家・専門機関も含めて、専門家・専門機関に対し、コンテンツを提示した上で、連携・協力を打診します。
- 当日の運営についても、同様のプログラムの運営経験のある専門家等にガイド、インストラクター、ワークショップのファシリテーター等の協力を依頼して行うことを検討します。
- 連携・協力の可否に加え、コンテンツへの具体的なアドバイスもいただき、ブラッシュアップを図ります。

## 【ステップ6（民間及び公的補助金等の活用の検討）】

- 事業実施に必要な経費に関しては、必要に応じて、民間及び公的な補助金等の活用を検討します。以下の補助金等を参考に助成要件等に合うものの活用について検討しましょう。

○民間及び公的補助金等（例）（詳細は参考資料1（P269～273））

主な目的	補助金等の名称	所管団体等
環境活動支援	大阪府環境保全活動補助金	大阪府 環境農林水産部
	地球環境基金	独立行政法人環境再生保全機構
	環境保全市民活動等助成金	大阪湾広域臨海環境整備センター
	環境市民活動助成	セブン-イレブン記念財団
	環境助成金	一般財団法人サンライズ財団
子供育成支援	こどもゆめ基金	独立行政法人国立青少年教育振興機構
	子供たちの環境学習活動に対する助成事業	公益財団法人高原環境財団
	助成事業	公益財団法人ノエビアグリーン財団
水辺環境づくり	海や船に関する事業（海と身近にふれあう）への助成	公益財団法人日本財団
	河川基金	公益財団法人河川財団
	未来のみなとづくり助成	一般財団法人みなと総合研究財団
自然とのふれあい	公益信託富士フィルム・グリーンファンド	一般財団法人自然環境研究センター

## 【ステップ7（必要な許認可等の手続き、施設管理者等との調整）】

- 取組みの実施に係り、実施場所の管理者等との調整が必要となる場合があるので、事前に管理者等に連絡し、必要な手続き等について確認するようにしましょう。
- 魚類や水生生物などの水産動植物の採捕等を行う場合には、許可が必要な場合があるので、事前に確認が必要です。特に漁業権が設定されている水面で活動を行う場合は、活動の内容によっては漁業権の侵害に当たる場合があります。
- 海岸や干潟での清掃美化活動を行う場合は、回収した漂着ごみ等を法令に基づいて適切に処理します。自治体によっては、回収した漂着ごみを引き取って処理してもらえる場合もあるので、事前に活動場所の市町村の環境（廃棄物）部局に相談してください。

<許認可・事前調整先>

活動場所	調整先
港湾・海岸区域	<p>大阪港湾局が所管しています。港湾・海岸によって担当が異なりますので、事前に活動場所の所管を確認して調整してください。</p> <p>(参考)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大阪港湾局</li> </ul> <p><a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/bu_kowan/">https://www.pref.osaka.lg.jp/bu_kowan/</a>  <a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/osaka_kowan/">https://www.pref.osaka.lg.jp/osaka_kowan/</a></p>
河川管理区域	<p>河川によって国土交通省、大阪府、市町村など、河川管理者が異なります。事前に活動場所の所管を確認して調整してください。</p> <p>(例)</p> <p>淀川、大和川…国土交通省近畿地方整備局          寝屋川、恩智川…大阪府</p> <p>(参考)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国土交通省近畿地方整備局              (参考：近畿の河川/国土交通省近畿地方整備局)  <a href="https://www.kkr.mlit.go.jp/river/kasen/index.html">https://www.kkr.mlit.go.jp/river/kasen/index.html</a></li> <li>大阪府              (参考：事務所の所管地域と管理河川一覧/大阪府)  <a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/kasenkankyo/kanri/kannai.html">https://www.pref.osaka.lg.jp/kasenkankyo/kanri/kannai.html</a></li> </ul>
公園等の施設	<p>海岸や河川敷等が公園等として整備されている場合があります。その場合は、公園等の施設管理者を確認して調整してください。</p> <p>(例) 大阪府営公園一覧</p> <p><a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/koen/introduction/index.html">https://www.pref.osaka.lg.jp/koen/introduction/index.html</a></p>
廃棄物の処理	<p>自治体によっては、回収した漂着ごみを引き取って処理してもらえる場合があります。事前に活動場所の市町村の環境(廃棄物)部に相談してください。</p>
水産動植物の採捕 (特別採捕許可)	<p>水産資源の保護培養及び漁業調整のため、採捕する水産動植物の種類や大きさ、採捕の期間、区域、採捕に使用する漁具・漁法等について制限または禁止しています。</p> <p>試験研究や教育実習の目的で水産動植物を採捕する場合は、許可を受けてこれらの制限又は禁止項目の適用除外を受ける必要があるため、事前に申請してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大阪府              (参考：試験研究等のために水産動植物の採捕を行う方へ(水産動植物の採捕の許可)/大阪府)  <a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/suisan/tok/index.html">https://www.pref.osaka.lg.jp/suisan/tok/index.html</a></li> </ul>
漁港、漁業権設定 水面	<p>漁港等で活動を行う場合は、関係する漁業協同組合と事前に調整をしてください。</p> <p>大阪府内の漁港は、次の大阪府サイトで確認できます。</p> <p><a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/suisan/o-gyogyou/from-sky.html">https://www.pref.osaka.lg.jp/suisan/o-gyogyou/from-sky.html</a></p> <p>大阪府域で設定されている漁業権設定水面の場所は、次の大阪府サイトで確認できます。</p> <p><a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/suisan/gyogyoken/index.html">https://www.pref.osaka.lg.jp/suisan/gyogyoken/index.html</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大阪府内の漁業協同組合              (参考) 大阪府漁業協同組合連合会  <a href="http://www.osakagyoren.or.jp/about/organization.html">http://www.osakagyoren.or.jp/about/organization.html</a></li> </ul>

## 【ステップ8（広報の実施）】

- 取組内容が決まったら、参加者を募集するために広報を実施します。
- チラシやホームページにおいて、活動内容が分かるように必要事項を記入しましょう。
- 広報媒体は、ステップ1（テーマ、実施手法の企画・検討）で設定した参加者に効果的に情報が届くように工夫しましょう。

### ＜チラシやホームページに記載する内容（例）＞

- ・ 集合解散時間
- ・ 対象、定員
- ・ 内容、プログラム構成
- ・ 集合場所（最寄り駅、駐車場の有無なども含めて）
- ・ インストラクター
- ・ 申込方法
- ・ 申込締切

### ＜広報媒体（例）＞

- ・ 実施団体のホームページ、メールマガジン
- ・ 実施団体の SNS（インスタグラム、X、フェイスブック等）
- ・ 地元自治体の広報誌
- ・ 地元観光協会等の観光振興団体に広報を依頼
- ・ 図書館や公民館等の公共施設、関係機関へのチラシの配布
- ・ イベント情報サイトへの掲載  
（参考）いこーよ <https://iko-yo.net/>
- ・ 環境関係団体によるホームページ掲載やメールマガジン配信  
（参考）きんき環境館 <https://www.kankyokan.jp/>  
EIC ネット <https://www.eic.or.jp/event/?gmenu=1>  
環境らしんばん <https://www.geoc.jp/rashinban/>  
環境展望台 <https://tenbou.nies.go.jp/news/event/>
- ・ 過去の参加者へのダイレクトメール

※地元自治体広報誌や公共施設のチラシなどで情報を知り、詳細情報をホームページ等で確認するなど、複数の広報媒体で情報を掲載することが効果的と考えられます。

## ②開催準備・当日

### 【ステップ9（開催準備・当日対応）】

#### 【集合・事前説明・誘導】

- 当日の集合や誘導をスムーズに行うため、参加者一覧表（携帯電話番号など緊急連絡先を含む）を事前に準備しましょう。
- 当日のタイムスケジュールや活動のポイント、活動場所に生息する生き物の種類や写真、安全マニュアル、緊急連絡先等をまとめた当日のしおりを参加者に事前に送付することで、円滑に進行することができます。
- ワークショップを行う場合は、内容が参加者に伝わるよう、そのテーマと進め方、話し合う内容について分かりやすく整理したレジユメの作成を行いましょう。
- 当日のしおりに加え、スタッフ（随行する専門家含む）向けに、各工程における役割分担や注意事項等、緊急時の連絡体制などを整理したマニュアルを作成しましょう。また、ワークショップ、座学が主体の場合は、スムーズな進行に向けて司会シナリオを作成しましょう。

#### <当日のしおり項目例>

- ・活動の趣旨、目的
- ・活動のポイント
- ・活動場所に生息する生き物の種類や写真
- ・集合、解散場所
- ・タイムスケジュール
- ・当日の持ち物、服装
- ・雨天時の実施判断
- ・安全マニュアルや注意事項
- ・トイレの場所
- ・参加者からの緊急時の連絡方法

#### <ワークショップを行う場合のレジユメ>

- ・話し合うテーマ
- ・進め方
- ・話し合う内容

#### <スタッフ向けマニュアルの項目例>

- ・各工程の進行表、各工程における役割分担や注意事項等
- ・緊急時の連絡体制、連絡先の電話番号
- ・持参物、準備しておくもの
- ・（ワークショップ、座学が主体の場合）司会進行のシナリオ

### [人員配置、事前打合せ]

- 参加者数、実施内容に応じて必要な人員を検討し、予定外の事態にも対応できるよう余裕をみて人員を配置しましょう。
- スタッフ（随行する専門家含む）間の打合せを前日までに行い、意思疎通が図れるよう心掛けましょう。

### [安全管理]

- ステップ4（コンテンツ（実施計画）の策定）で検討した安全管理対策や緊急時の対応フローをもとに、安全管理を行いましょう。

#### <安全管理の対応例>

- 海辺や干潟等で活動する場合は、陥没箇所や軟弱箇所、滑りやすい箇所、転落の危険のある箇所等の有無について事前に調査し、参加者が立ち入ることの無いよう措置する。
- 強風により波が高くなると予測される際には、海辺には近づかない。
- 河川で活動する場合は、悪天候時など出水による危険が予測される時には川に入らない。
- 船や栈橋、堤防等、水中への転落の可能性がある場合は、必ずライフジャケットを着用する。
- 水辺での活動の場合は、未成年者は保護者と一緒に参加し安全を確保する。
- 活動予定場所で遭遇する可能性のある危険生物について、注意喚起を行い、万一被害にあった場合の応急処置について確認する。  
（マムシ／スズメバチ／セアカゴケグモ／カミツキガメ／マダニ 等）
- 事故等の発生時の対応フローをすぐに確認できる場所に掲示する。
- 万一の事故発生に備え、参加者についてボランティア・市民活動行事保険等に加入する。

### [悪天候時等の対応]

- ステップ4(コンテンツ(実施計画)の策定)で検討した悪天候時等の対応について、事前に判断基準や判断時期を決め、当日悪天候等が予想される場合は事前に連絡を行いましょよう。

<悪天候等に備え、中止等の判断基準・判断時期、連絡方法の確認>

項目	対応例
判断基準	<ul style="list-style-type: none"><li>• 気象警報(大雨、暴風、波浪等)発令時</li><li>• 主要な公共交通機関が運休する場合</li><li>• 使用予定の施設が休園等の場合</li><li>• 雨天時/強風時 など</li></ul>
判断時期	<ul style="list-style-type: none"><li>• 前日 17時</li><li>• 当日 7時 など</li></ul>
連絡方法	<ul style="list-style-type: none"><li>• 参加者の個別連絡(電話、メール等)</li><li>• 実施団体ホームページに掲載 など</li></ul>

### [時間管理の徹底]

- スムーズな運営に向けて、十分に準備時間を確保して準備を行いましょよう。
- スタッフの中でタイムキーパー役を設定し、時間の延長などがないよう時間管理を行いましょよう。

## ③効果検証

### 【ステップ10(効果測定など)】

- 取組みの実施後には、参加者に対して振り返りの機会を提供するとともに、効果測定を行い、今後の取組みの改善に活用するためのアンケート調査を実施しましょよう。また、取組前後にアンケートを実施することで、学習を通じた参加者の意識変化を調べることがもできます。
- スタッフ間での振り返り会を開催し、今後の対応策を検討しましょよう。
- 波及効果創出に向けて、活動成果の情報発信や、活動団体との連携による活動展開なども検討しましょよう。

<アンケートに盛り込む項目例> (アンケート様式(例): 参考資料4(P278~279))

項目	具体的内容	事前	事後
申込理由		●	
情報の入手先	・実際に活用した広報媒体を例示し、選択	●	
大阪湾に対するイメージ	・複数の語句表現から選択+自由記述 <例> i) 多くの生物が生息している。 ii) 多くの自然がある。 iii) 水質がきれい。 iv) プラスチックなどのごみが多い。 など	●	●
生物多様性の理解度	・3~5段階で数字を選択 ・5種類程度の語句表現から選択 <例> ・事前 知っていた/聞いたことはあるが意味についてはよく 知らなかった/知らなかった ・事後 よくわかった/少しわかった/あまりわからなかった /全くわからなかった	●	●
学習した内容が理解できたかどうか	・5~10段階で数字を選択 ・5種類程度の語句表現から選択 <例> よく理解できた/まあまあ理解できた/ どちらとも言えない/あまり理解できなかった/ 全く理解できなかった		●
設定した基本テーマに対する今後の行動変化	・4種類程度の語句表現から選択 <例> 是非とも取り組んでいきたい/取り組んでいきたい/ どちらとも言えない/取り組むつもりはない		●
参加して良かったか(満足度)	・5~10段階で数字を選択 ・5種類程度の語句表現から選択 <例> とても良かった/良かった/どちらとも言えない/ 良くなかった/全く良くなかった		●
今後も参加したいか	・4種類程度の語句表現から選択 <例> 是非とも参加したい/内容によっては参加したい/ どちらとも言えない/参加しない		●
今後どんな内容のものを実施してほしいか	・自由記述		●

## (2) 干潟等の生物多様性の保全活動のモデル事例について

(1)の【干潟等の生物多様性の保全活動 実施手順】に基づき、「ガタソン OSAKA2024」を開催した際の具体的な手順をご紹介します。

### <ガタソン OSAKA2024 の概要>

- 実施団体：一般財団法人 環境事業協会
- 実施期間：2024年9月27日（金）から11月26日（火）まで
- 内 容：府民が「ガタソンピックアップ生物」を観察し、生き物の写真、名前、マップ番号を専用フォームまたは「#ガタソン」と記載してXやInstagramで投稿した。  
活動期間中に、生物調査イベント「ガタソン OSAKA2024 干潟の生きものをみんなで探そう！」（後述参照）を実施した。  
※「ガタソン」とは、「干潟」と「マラソン」を掛け合わせた造語
- 参加者数：キャンペーンへは24件の投稿があった。

### <ガタソン OSAKA2024 干潟の生きものをみんなで探そう！の概要>

- 実施団体：一般財団法人 環境事業協会
- 実施日時：「ビギナー編」「チャレンジャー編」の2つを開催した。
  - ◇ビギナー編：2024年10月14日（月祝）9:30～12:30
  - ◇チャレンジャー編：2024年10月27日（日）9:00～12:30
- 実施場所：◇ビギナー編：貝塚市 近木川河口干潟、近木川ワンド  
◇チャレンジャー編：岬町 深日干潟
- 内 容：生物調査イベントを実施し、本格的な調査を体験することや専門家から生物を見分けるポイントなどを直接聞くことで、参加者の興味をさらに掘り下げ、今後の干潟保全活動や生物調査イベントへの参加等に繋げることを目的とした。
- 参加者数：◇ビギナー編：8組20名（申込者数：8組20名）  
◇チャレンジャー編：10組19名（申込者数：11組22名）  
※両日参加者は2組5名
- 確認した生き物の種類：◇ビギナー編：28種類  
◇チャレンジャー編：37種類

## ガタン OSAKA 2024

### 「ガタン OSAKA 2024」とは？

「ガタン」とは、「ひがた」+「マラソン」の造語です。大阪府内の干潟で観察できる生物について調査し、大阪湾の生物多様性について把握することを目的に、2024年9月27日から11月26日までの2か月間において、府内の干潟で「ガタンピックアップ生物」を探して写真に撮り、専用フォームやSNSで投稿するキャンペーン「ガタン OSAKA2024」を実施しました。

### ガタンピックアップ生物

大阪湾に生息する特徴的な生物5種類と外来種として1種類を調査しました。

#### カニ・アトカリのなごま



ハシロガニ  
アトカリ



アトカリ



カニ

#### まさ貝のなごま



まさ貝

#### 外来種



#### 2まい貝のなごま



2まい貝

ホンピノスガイ

### 大阪府内の干潟について

大阪府には河口を中心にたくさんの干潟があります。「豊かな大阪湾」保全・再生・創出活動推進ノウハウ集では、大阪湾の干潟の一覧を掲載しています。干潟での生物観察の際にご活用ください。



詳細はこちら

#### 大阪西北部

①

#### 大阪西南部

②

③

### 大阪湾

#### 岸和田西部

④

#### 泉南

⑤

#### 尾崎

⑥

#### 淡輪

⑦

#### 加太

⑧

### 観察した生物の投稿について

本キャンペーンでは、希少な生物が危険にさらされるのを防ぐため、観察した場所が特定されないように大阪湾沿岸部を10km四方の8つの地域に分けて、マップ番号で投稿することとしました。

SNS等に投稿する際は、生物の生息地を守るため、観察場所の詳細な記載を避けるなど配慮するようにしましょう。

# ガタソン OSAKA2024 実施結果

## ガタソン OSAKA 2024 マップ

**ガタソン OSAKA 2024 マップについて**  
 このマップは、ガタソン OSAKA 2024 の投稿結果を集計して、大阪府内の干潟に生息する「ガタソンピッコアップ生物」の分布をマップにしたものです。ガタソン OSAKA 2024 では、全体を通して29件、5エリアについて投稿いただきました。投稿内容を確認し、正しくガタソンピッコアップ生物を鑑別していただいたものについて掲載します。

### 参加者からの投稿写真



**ガタソン OSAKA 2024 にご参加いただいた皆様、たくさんお投稿ありがとうございました！**

ガタソン OSAKA 2024 の期間中、干潟の生物調査イベント「干潟でガタソン！みんなまで干潟の生きもの一斉調査！」をビギナー編、チャレンジャー編の2つのレベルに分けて開催し、専門家と一緒に大阪湾の干潟の生物について学びました。



### ウミニナ類

干潟の砂泥上によく見られます。

確認エリア: 4エリア  
 報告数: 9件  
 (確認した結果、対象生物ではなかったのは2件)

大阪府北部	①	大阪府東部	②	堺市	③
岸和田市	④	淡路町	⑤	淡路町	⑥
加太	⑦	加太	⑧		

### アシハラガニ

オスは片方だけ大きなはさみを振ってメスにアピールします。

確認エリア: 2エリア  
 報告数: 4件  
 (確認した結果、対象生物ではなかったのは1件)

大阪府北部	①	大阪府東部	②	堺市	③
岸和田市	④	淡路町	⑤	淡路町	⑥
加太	⑦	加太	⑧		

### アサリ

浅瀬の砂を掘ると出てくることがあります。

確認エリア: 3エリア  
 報告数: 5件  
 (確認した結果、対象生物ではなかったのは1件)

大阪府北部	①	大阪府東部	②	堺市	③
岸和田市	④	淡路町	⑤	淡路町	⑥
加太	⑦	加太	⑧		

### コブヨコバサミ

河口域や淡水の入り混じる浅瀬を好みます。

確認エリア: 2エリア  
 報告数: 2件  
 (確認した結果、対象生物ではなかったのは1件)

大阪府北部	①	大阪府東部	②	堺市	③
岸和田市	④	淡路町	⑤	淡路町	⑥
加太	⑦	加太	⑧		

### WANTED ホンビノスガイ

近年大阪府で増えてきた外来種です。

確認エリア: 1エリア  
 報告数: 2件

大阪府北部	①	大阪府東部	②	堺市	③
岸和田市	④	淡路町	⑤	淡路町	⑥
加太	⑦	加太	⑧		

### コブヨコバサミ

河口域や淡水の入り混じる浅瀬を好みます。

確認エリア: 2エリア  
 報告数: 2件

大阪府北部	①	大阪府東部	②	堺市	③
岸和田市	④	淡路町	⑤	淡路町	⑥
加太	⑦	加太	⑧		

写真: 和田 文一(ウミニナ類、コブヨコバサミ) 主催: 大阪府 企画・マップ制作: 一般財団法人 環境未来総合研究所

「ガタソン OSAKA2024 干潟の生きものをみんなで探そう！」ビギナー編：当日の様子



活動場所でのごみ拾い



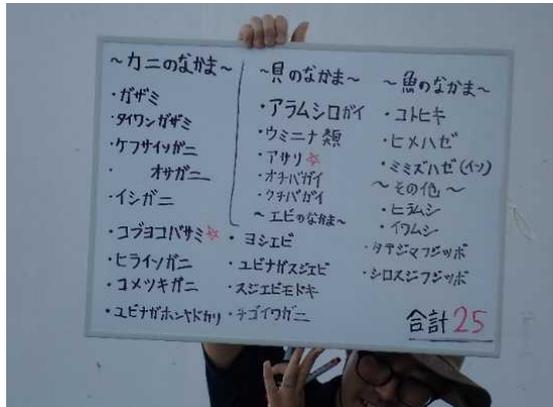
専門家が生き物を探すコツを指導



各自で生き物探し



捕まえた生き物の確認、専門家の解説



確認できた生き物の種類リスト



干潟の生き物についての専門家のお話



近木川ワンドでの生き物観察



活動場所でのゴミ拾い



専門家によるレクチャー（カニチーム）



専門家によるレクチャー（貝チーム）



各自で生き物探し



捕まえた生き物の確認、専門家の解説



確認できた生き物の種類リスト



専門家への質問コーナー

## ①事前準備（干潟等の生物多様性の保全活動の設計）

### 【ステップ1（テーマ、実施手法の企画・検討）】

対象者、テーマ、実施手法を以下の通り設定した。

●対象者：「ガタソン OSAKA2024」

生き物の知識がある程度ある大阪府民

「ガタソン OSAKA2024 干潟の生きものをみんなで探そう!」

生物調査のイベントに参加してみたいが生き物を探すコツがわからない、生き物の種類がわからないことなどを理由に生物調査イベントの参加を見送ってしまう府民。

ビギナー編：小学1年生以上、チャレンジャー編：小学3年生以上

●テーマ：シチズンサイエンス（市民科学）として府民が生物調査を行い、調査結果を集約することで、どのような生き物が大阪湾沿岸で観察できるかを把握し、ブルーカーボン生態系の回廊（コリドー）の実現に近づける。

●実施手法：「ガタソン OSAKA2024」

生物調査を行い、その結果を専用フォームや SNS で投稿

「ガタソン OSAKA2024 干潟の生きものをみんなで探そう!」

専門家による指導を受けながら、生き物探し・観察を実施

### 【ステップ2（文献調査、専門家・専門機関への相談）】

以下の有識者3名に、準備や実施する際の助言を受けた。

●北海道爬虫両棲類研究会会長兼一般社団法人 野生生物生息域外保全センター 顧問  
徳田龍弘氏

- ・ガタソン OSAKA2024 の手法について
- ・生物調査における留意点（乱獲防止など）

●NPO 法人南港ウェットランドグループ理事和田太一氏

- ・大阪湾における干潟の分布
- ・生物調査における留意点（乱獲防止など）
- ・調査対象とする生き物の設定

●大阪市立自然史博物館学芸員石田惣氏

- ・「大阪湾生き物一斉調査」との差別化
- ・投稿／データ収集の仕組みづくり、手法
- ・生物調査イベントの専門家講師の候補紹介
- ・波及効果創出に向けた連携の可能性（活動成果の情報発信など）

【ステップ3（活動候補場所の現地訪問、活動場所の設定）】

大阪湾の干潟について複数箇所下見し、実施場所を選定した。

●候補1 淀川付近 海老江干潟



●候補2 淀川付近 柴島干潟



●候補3 阪南 福島干潟



●候補4 二色の浜公園内 近木川河口干潟

選定：アクセスの良さ、講師の1人の活動場所、トイレや洗い場が近くにある



●候補5 岬町 深日干潟

選定：アクセスの良さ、活動場所の広さ(目が届く範囲)、トイレが近くにある



【ステップ4（コンテンツ（実施計画）の策定）】

ガタソン OSAKA2024

●募集期間

・一定のデータ収集ができる期間として、2 か月間を設定し、2024 年9月 27 日（金）から 11月 26日（火）までの2か月間とした。

●応募方法

- ・大阪湾沿岸部を 10km メッシュに区分けし、①大阪西北部、②大阪西南部、③堺、④岸和田西部、⑤泉南、⑥尾崎、⑦淡輪、⑧加太の8つに分類。
- ・「ガタソンピックアップ生物」として、在来種を5種類、外来種を1種類選定。

エビやカニの仲間 3種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハクセンシオマネキ</li> <li>・アシハラガニ</li> <li>・コブヨコバサミ</li> </ul>
貝の仲間 2種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アサリ</li> <li>・ウミナナ類</li> </ul>
外来種(WANTED) 1種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホンビノスガイ</li> </ul>

- ・参加者は観察した場所を地図で確認し、マップ番号①～⑧、生き物の写真、名前を投稿。
- ・参加者が投稿しやすいように、参加手順を整理したチラシを作成したほか、募集方法の解説動画を作成し、YouTube で公開した。

(URL : [https://youtu.be/bGyq-6RukgE?si=2\\_54Sm\\_kdl7xaCwq](https://youtu.be/bGyq-6RukgE?si=2_54Sm_kdl7xaCwq))

**ガタソンOSAKA2024の参加方法**

1. レポートの写真をアップロード  
2. データをアップロード  
3. マップ番号をアップロード  
4. データをアップロード

ガタソンでは、ガタソンピックアップ生物のデータを蓄積しています！その生きものを干潟に探しに行こう！

1. 生きものの写真  
2. 生きものの名前  
3. 撮影場所のマップ番号  
4. ハッシュタグ「#ガタソン」（SNSの場合）の4つを専用フォームか SNS (X (旧Twitter) または Instagram) で投稿しよう！

投稿して頂いた人の中から抽選で5名に図書などのプレゼントが当たる！

**ガタソンピックアップ生物**

カニ・ヤドカリのなかま  
ハクセンシオマネキ アシハラガニ コブヨコバサミ  
まき貝のなかま  
ウミナナ類  
2まい貝のなかま  
アサリ

**ガタソン参加の注意点**

(例) 巻貝の仲間 (例) カニの仲間

1. 生きものは、できるだけ全体が写るように写真を撮ってください。  
2. 立ち入り禁止の場所、私有地などには決して立ち入りしないでください。  
3. 海の生きものには、その地域で採ってはいけない生物が指定されていることがあります。大層では「なまこ」「あわび」「しらすなまこ」が採集禁止です。注意してガタソンや干潟の生きものを観察を楽しんでください。  
4. 干潟や磯にはアカエビなど毒を持つ生きものや、ウニやカキなどのトゲや刺が鋭利なものもあります。よく注意して干潟の生きものを観察を楽しみましょう。  
5. 詳しいルールや注意事項はHPで解説しています！必ずご覧ください！

ガタソンOSAKA 2024 及びイベントについてのお問い合わせ  
一般財団法人環境事業協会 ガタソンOSAKA2024事務局  
TEL : 06-6121-6407(9:00-17:30 土日祝は休業)  
MAIL : fukuy\_info@kankyougijyou.or.jp

ガタソンOSAKA 2024への詳しい参加方法はHPをチェック！  
ガタソンOSAKA2024事務局：(一財)環境事業協会  
①(一財)環境事業協会は、大阪府事業「令和6年度『豊かな大阪湾』実定・再生・創出活動推進事業」に於ける「干潟等における多様な生物多様性の保全活動」を行うモデル活動団体です。

広報チラシ

## 「ガタソン OSAKA2024 干潟の生きものをみんなで探そう！」

### [ビギナー編]

#### ●開催時期：2024年10月14日（月祝）9:30～12:30

- ・対象者を小学1年生以上とし、親子での参加を前提としているため、開催日は祝日に設定した。
- ・昼間に潮位が上がらない日を設定した。
- ・雨天の場合は活動が難しいため、11月10日（日）を予備日とした。

#### ●プログラムの内容

干潟に生息する生き物や、その調べ方について学ぶため、近木川河口干潟と近木川ワンドを活動場所とし、専門家から網などの道具の使い方や調査方法、生物を見分けるポイントなどを直接聞きながら本格的な調査を体験した。

#### ●具体的なスケジュール

時間	内容
09:00～	スタッフ集合、道具準備、参加者受付対応
09:30～	参加者集合、イベント趣旨解説
09:40～	簡易ごみ拾い
09:50～	フィールドワークの説明、ガタソンピックアップ生物の紹介
10:00～	フィールドワーク「干潟の生きものを探すコツ」
10:30～	フィールドワーク「自由散策」
11:00～	フィールドワーク終了、生き物の記録・同定作業
11:30～	干潟に親しむプログラム
12:15～	本日のまとめ ガタソン OSAKA 投稿の時間 アンケート配布
12:30	片付け、解散

#### ●「楽しさ」、「わかりやすさ」を体現できるコンテンツづくり

- ・「ヤビーポンプ」という、泥の中の生き物を採取、観察するための専門的な道具を用いて、参加者が楽しく調査を体験する機会を作った。



## 「ガタソン OSAKA2024 干潟の生きものをみんなで探そう！」

### [チャレンジャー編]

#### ●開催時期：2024年10月27日（日）9:00～12:30

- ・対象者を小学3年生以上とし、親子での参加を前提としているため、開催日は日曜日に設定した。
- ・昼間に潮位が上がらない日を設定した。
- ・雨天の場合は活動が難しいため、11月10日（日）を予備日とした。

#### ●プログラムの内容

干潟に生息する生き物や、その調べ方について学ぶため、深日干潟を活動場所とし、専門家から主にカニ、貝について種類を見分けるポイントなどを直接聞きながら本格的な調査を体験した。

#### ●具体的なスケジュール

時間	内容
09:00～	参加者集合、道具準備、参加者受付対応
09:30～	参加者・スタッフ現地到着、イベント趣旨解説
09:40～	簡易ごみ拾い
09:50～	フィールドワークの説明、ガタソンピックアップ生物の紹介
10:00～	フィールドワーク「カニと貝の種類を見分けられるようになろう！」
10:30～	フィールドワーク「自由散策」
11:00～	フィールドワーク終了、生き物の記録・同定作業
11:45～	日本の干潟のお話・干潟の生物ディスカッション
12:15～	本日のまとめ ガタソン OSAKA 投稿の時間 アンケート配布
12:30	片付け、解散

#### ●「楽しさ」、「わかりやすさ」を体現できるコンテンツづくり

- ・参加者を2つの班に分け、専門家がカニと貝の種類の見分け方を15分ずつ交代でレクチャーし、カニと貝のどちらも見分けられるようになるというプログラムを実施した。
- ・カニは主にアシハラガニとハクセンシオマネキを、貝はウミニナの種類を、それぞれ見分けられるよう指導をした。

### 【ステップ5（専門家・専門機関による連携・協力の検討）】

生物調査イベントの専門家講師として、以下3名を招集した。

- NPO 法人南港ウェットランドグループ理事和田太一氏
  - ・ビギナー編、チャレンジャー編で講師を務めた。
- 貝塚市立自然遊学館学芸員山田浩二氏
  - ・ビギナー編で講師を務めた。
- 和歌山大学教育学部教授古賀庸憲氏
  - ・ビギナー編で講師を務めた。

### 【ステップ6（必要な許認可等の手続き、施設管理者等との調整）】

ビギナー編、チャレンジャー編それぞれで以下のとおり調整を行った。

[ビギナー編]

- 岸和田土木事務所
  - ・清掃活動で回収したごみの処理、近木川ワンドの鍵の貸し出し、河川敷一時使用願の提出等
- 二色の浜公園管理事務所
  - ・当日の駐車場の利用許可等

[チャレンジャー編]

- 深日漁業協同組合
    - ・深日干潟の使用連絡、当日の駐車場の利用許可、チラシ配架
  - 漁港管理事務所
    - ・イベント開催事前連絡
- ※その他、特別採捕許可の要否について、大阪府環境農林水産部水産課に確認した。

### 【ステップ7（民間及び公的補助金等の活用の検討）】

- 活用なし。

※本事業は大阪府の令和6年度「豊かな大阪湾」保全・再生・創出活動推進業務の一環のモデル事業である、「干潟等における生物多様性の保全活動事業」で実施。

## 【ステップ8（広報の実施）】

参加対象者に対して周知するため、ホームページや SNS、図書館への配布、イベント情報サイトへの掲載等以下の手法により広報を行った。

### ●事業実施主体ホームページ・SNS への掲載

- ・一般財団法人環境事業協会ホームページ
- ・一般財団法人環境事業協会環境推進課公式 X
- ・ガタソン実行委員会公式インスタグラム
- ・大阪府もずやん X
- ・株式会社ダン計画研究所インスタグラム

### ●チラシを市内図書館、公共施設、関係企業等に配布

- ・大阪市立図書館 24 か所 : 480 部
- ・大阪府内公共施設 20 か所 : 400 部
- ・関係企業、団体 12 か所 : 120 部
- ・主催イベント参加者 : 約 60 部
- ・府民お問合せセンター 情報プラザ 10 か所 : 300 部
- ・その他府内で開催されるイベント等に配架

### ●こどもとお出かけ情報サイト「いこーよ」掲載

### ●エコネット近畿メーリングリスト

### ●その他環境関係団体によるホームページ掲載やメールマガジン配信

ガタソン OSAKA 2024 では、干潟の生きもの調査イベント「干潟でガタソン」みんなで干潟の生きもの一斉調査 1日をビオトープ編、チャレンジャー編の2つのレベルに分けて実施します！ビオトープ編では、生きもの名前や採り方がわからない初心者でも安心して参加できます。チャレンジャー編では、実際にプロが干潟の生きもの調査で行っている調査方法を体験できます。大阪湾の干潟の生きものについて一緒に楽しく学びましょう！

ビオトープ編 10/14(日祝)	チャレンジャー編 10/27(日)
(予定日: 11/10日(日))	(予定日: 11/10日(日))
<b>集合開始時間</b> 午前9時30分 集合 午後10時30分 解散予定	<b>集合開始時間</b> 午前9時00分 午後10時30分 解散予定
<b>対象</b> 小学校1年生以上（小学生は保護者と参加）	<b>対象</b> 小学校3年生以上（小学生は保護者と参加）
<b>集合場所</b> 貝塚市 二色の近海水田係 北浦（阪神高速直下） 開催場所 二色駅から徒歩13分 二色の公民館駐車場（第1・2号）利用可（集合開始前）	<b>集合場所</b> 堺市 南宮電鉄みさき公園駅 西出口付近 参加者の皆さんと英語検定まで歩きます。 ※阪道は混雑の恐れがあります。
<b>内容</b> 「干潟にはどんな生きものがいるの？」 専門家から干潟の生きものについて楽しく学びます。また、生きものを採りつる1年生くべし！体験を行います！	<b>内容</b> 「干潟の生きものをもっと知りたい！」 本編は生きもの分類や採り方の見分け方について専門家から伝授してもらいます！
<b>申込締切</b> 10月10日(木)まで （申込締切後、参加に際してはキャンセル料がかかります。）	<b>申込締切</b> 10月24日(木)まで （申込締切後、参加に際してはキャンセル料がかかります。）
<b>講師</b> 環境保全推進の「エコリサーチ」代表、海野 勉 氏と、そん 長瀬 昌典 氏による指導、宇野 真 氏、山田 悠 氏	<b>講師</b> 環境保全推進の「エコリサーチ」代表、海野 勉 氏と、そん 長瀬 昌典 氏による指導、宇野 真 氏、山田 悠 氏
<b>定員</b> 先着順：各30名程度 小学生の参加者数に制限を設けています。	<b>お申し込みは</b> こちら！
<b>申込方法</b> HPに貼付の用紙を事前に用意の上、提携事業協会HPからお申し込みください。→	

ガタソン OSAKA 2024事務局：（一財）環境事業協会

「ガタソン」とは、「ひがた」+「ガタソン」の造語です。実施期間中、大阪湾の干潟に生息する干潟ピクニック生物を写真に撮って、専用フォームやSNSで投稿しよう！皆さんの投稿データで「ガタソン OSAKA 2024マップ」を制作します！マップは博物館などで展示予定ですのでぜひご覧ください！

干潟の生きものをもっと知りたい！  
本編は生きもの分類や採り方の見分け方について専門家から伝授してもらいます！

新しくガタソン OSAKA 2024マップを公開しました！

干潟の生きもの調査マップ

実施期間 9/27 Fri ▶ 11/26 Tue

干潟の生きもの調査マップ

大阪府内の干潟調査ポイントを8ヶ所示す地図と、各ポイントの名称がリストアップされています。

- 1 大阪府北部
- 2 大阪府西部
- 3 堺市
- 4 堺市：堺浜自然再生ふれあいビーチ
- 5 岸和田市
- 6 貝塚市
- 7 貝塚市：二色の浜・近木川河口干潟
- 8 貝塚市：男里川河口干潟
- 9 岸和田市
- 10 岸和田市：せんなん里海公園

（左：広報チラシ、右：ガタソン OSAKA 2024 干潟の生きもの調査マップ）

## ②開催準備・当日

### 【ステップ9（開催準備・当日対応）】

#### ●集合・事前説明・誘導

##### <事前説明>

- ・集合場所、時間、適した電車
- ・プログラム、タイムスケジュール
- ・当日の持ち物（着替え、昼食、水分補給するもの）や干潟での活動に適した服装、長靴等の履物等

##### <集合・誘導>

- ・出欠確認用の参加者一覧表を準備した。
- ・活動場所までの経路を確認し、誘導を行った。

#### ●人員配置、事前打合せ

- ・各回において、参加者数約 20 名に対し、スタッフ4名を配置した。
- ・事前に専門家を含むスタッフ間の打合せを行い、当日の流れや注意事項等を共有した。

#### ●安全管理

- ・汚れることが想定されるため、着替え用の簡易テントを設置した。
- ・干潟での活動の際の注意事項を専門家から説明した。
- ・海ごみを取扱う際の衛生管理について、当日回収する際は注射針等の危険なごみについて説明した。
- ・当日は参加者全員に目が行き届くように十分なスタッフ（計4名）を配置し、全員に医療体制図（対応フロー）や緊急の病院などの連絡先を共有した。
- ・参加者全員を傷害保険に加入した。
- ・開催場所周辺に AED が無い際には、簡易 AED を持参した。

#### ●悪天候時等の対応

- ・2 回ともに天候に恵まれ、全てのプログラムを予定どおり実施した。

#### ●時間管理の徹底

- ・スムーズな運営に向けて、十分に準備時間を確保して準備を行った。
- ・スタッフの中でタイムキーパー役を設定し、時間管理を行った。

### ③効果検証

#### 【ステップ10（効果測定など）】

プログラムの開始前及びプログラム終了時にアンケートを実施した。

開催前はメールにて、終了時には紙で、それぞれ実施した。

#### ●プログラム開始前アンケート結果 ※自由記述については回答を割愛。

回答数：ビギナー編7、チャレンジャー編7、合計14

#### ・本イベントの情報を何で知りましたか？【複数回答可】

項目	ビギナー編	チャレンジャー編	合計
1. 環境事業協会ホームページ	2	2	4
2. イベントチラシを見て	2	5	7
3. 大阪府ホームページ	3	0	3
4. 知り合いから	1	0	1
5. SNS	0	0	0
6. その他	0	0	0

#### ・本イベントで関心があることについて教えてください。【複数回答可】

項目	ビギナー編	チャレンジャー編	合計
1. 生きもの調査ができる	7	6	13
2. 専門家から生きもの調査のノウハウを教えてもらえる	7	6	13
3. 干潟へ行くことができる	3	6	9
4. ヤビーポンプを使ってみるができる	3	0	3
5. 生物多様性について学ぶことができる	2	4	6
6. その他	0	0	0

#### ・今回のイベントに参加申込をした理由について、具体的にお書きください。（自由記述）

- 大阪湾のイメージについて、あてはまるもの全てに印を付けてください。【複数回答可】

項目	ビギナー編	チャレンジャー編	合計
1. 海や自然と触れ合える場所がたくさんある	1	1	2
2. 生きものがたくさん生息している	5	4	9
3. 汚れている	3	4	7
4. ごみが多い	1	4	5
5. その他	0	0	0

- 本イベントは、大阪湾の干潟における生物多様性について学ぶことを目的に実施します。生物多様性という言葉について知っていましたか？

項目	ビギナー編	チャレンジャー編	合計
1. 知っていた	3	4	7
2. 聞いたことはあるが意味についてはよく知らなかった	4	2	6
3. 知らなかった	0	1	1

- 今回のような生きもの観察イベントに参加されたことはありますか？

項目	ビギナー編	チャレンジャー編	合計
1. 年に数回	0	2	2
2. 月に1回	1	0	1
3. 今までに数回	5	3	8
4. はじめて	1	2	3

- ご自身または家族でプライベートの時間に、生きものを観察しに野外へ出かけますか？

項目	ビギナー編	チャレンジャー編	合計
1. でかける	5	7	12
2. でかけない	2	0	2

- 大阪湾の干潟に生息している生きものについて何種類を知っていますか？

項目	ビギナー編	チャレンジャー編	合計
1. 0種類	0	0	0
2. 1～3種類	2	6	8
3. 4～10種類	2	0	2
4. 11種類以上	3	1	4

- 干潟の生き物投稿キャンペーン「ガタソソ OSAKA2024」についてご存じですか。

項目	ビギナー編	チャレンジャー編	合計
1. チラシやHP で見たので知っている	2	1	3
2. 名前は知っているが、内容はよく理解していない	2	1	3
3. 知らなかった	3	5	8

●プログラム終了時アンケート結果 ※自由記述については回答を割愛。

回答数：ビギナー編8、チャレンジャー編9、合計 17

・イベントに参加されて良かったと思いますか？最も近いと思う数字に印を付けてください。

項目	ビギナー編	チャレンジャー編	合計
1 良かった	8	9	17
2	0	0	0
3	0	0	0
4	0	0	0
5 良くなかった	0	0	0

・今回のイベントでのご感想やご意見をお書きください。（自由記述）

・大阪湾のイメージについて、あてはまるもの全てに印を付けてください。【複数回答可】

項目	ビギナー編	チャレンジャー編	合計
1. 海や自然と触れ合える場所がたくさんある	6	4	10
2. 生きものがたくさん生息している	6	7	13
3. 汚れている	3	2	5
4. ごみが多い	3	2	5
5. その他	0	0	0

・大阪湾の生物多様性について理解が深まりましたか？

項目	ビギナー編	チャレンジャー編	合計
1. よくわかった	7	8	15
2. 少しわかった	1	1	2
3. あまり分からなかった	0	0	0
4. まったく分からなかった	0	0	0

- 本イベントに参加して、何種類の生きものを見つけることができましたか？

項目	ビギナー編	チャレンジャー編	合計
1. 0種類	0	0	0
2. 1～3種類	0	0	0
3. 4～10種類	2	4	6
4. 11種類以上	6	5	11

- 本イベントに参加して、干潟の環境や、生きものの生態、種類について、参加前より詳しくなりましたか？

項目	ビギナー編	チャレンジャー編	合計
1. 詳しくなった	3	7	10
2. 少し詳しくなった	5	2	7
3. あまりわからなかった	0	0	0
4. まったくわからなかった	0	0	0

- 実施場所の設定はいかがでしたか？

項目	ビギナー編	チャレンジャー編	合計
1. 遠い	2	2	4
2. 近い	1	1	2
3. ちょうどよい	5	6	11
4. その他	0	0	0

- 今後、ご自身や家族でプライベートの時間に、生きものを観察しに野外へ出かけたいと思いますか？

項目	ビギナー編	チャレンジャー編	合計
1. 出かけたい	8	9	17
2. 出かけたくない	0	0	0

- 今後、自然環境を保全するイベントなどに積極的に参加しようと思いませんか？

項目	ビギナー編	チャレンジャー編	合計
1. 思う	8	9	17
2. 思わない	0	0	0

- 今回のイベントでのご感想やご意見をお書きください。(自由記述)

- 干潟の生き物投稿キャンペーン「ガタソン OSAKA2024」の楽しさ、難易度についてあてはまるものを選んでください。

(楽しさについて)

項目	ビギナー編	チャレンジャー編	合計
1. 楽しい	7	8	15
2. 楽しくない	0	0	0
3. わからない	1	1	2

(難易度について)

項目	ビギナー編	チャレンジャー編	合計
1. 簡単だ	7	5	12
2. 難しい	0	2	2
3. わからない	1	1	2

- 「ガタソン OSAKA2024」は期間中何度も応募可能です。イベントを通じて、今後も干潟の生き物を観察し、投稿したいと思いませんか？

項目	ビギナー編	チャレンジャー編	合計
1. 投稿したい	7	8	15
2. 投稿したくない	1	0	1

- 今後、大阪湾で体験してみたいプログラムがあれば教えてください。(自由記述)

## 8. 府民参加型の藻場再生体験の実施

### (1) 府民参加型の藻場再生体験の企画・検討

ここでは、具体的に府民参加型の藻場再生体験の企画・検討を進める上でのノウハウをご紹介します。

藻場再生体験を進めるときには、どんな体験内容を作成し、誰に協力を得るか、下見や準備物の調達も必要ですが、大阪湾の環境や藻場を知ってもらい、興味・関心を持ってもらえるよう、楽しく学習できる企画をしていきましょう。

#### 【府民参加型の藻場再生体験 実施手順】

取組み順	内 容	ノウハウ等	
事前準備 (府民参加型の藻場再生体験の設計)	ステップ1	テーマ、実施手法の企画・検討	P233
	▼		
	ステップ2	文献調査、専門家・専門機関への相談	P234
	▼		
	ステップ3	活動候補場所の現地訪問、活動場所の設定	P235
	▼		
	ステップ4	コンテンツ（実施計画）の策定	P235
	▼		
ステップ5	専門家・専門機関による連携・協力の検討	P237	
▼			
ステップ6	民間及び公的補助金等の活用の検討	P238	
▼			
ステップ7	必要な許認可等の手続き、施設管理者等との調整	P238	
▼			
ステップ8	広報の実施	P240	
▼			
開催準備・当日	ステップ9	開催準備・当日対応	
		集合・事前説明・誘導	P241
		人員配置、事前打合せ	P242
		安全管理	P242
		悪天候時等の対応	P243
時間管理の徹底	P243		
▼			
効果検証	ステップ10	効果測定など	
		アンケート調査 波及効果創出に向けた成果の発信、活動展開等	P243

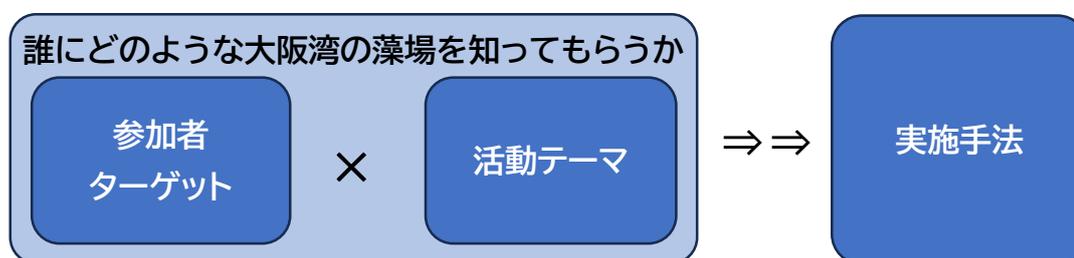
## ①事前準備（府民参加型の藻場再生体験の設計）

まずは、府民参加型の藻場再生体験の設計（デザイン）をしていきましょう。

### 【ステップ1（テーマ、実施手法の企画・検討）】

- 主要ターゲットを想定した上で、取り組みのテーマを企画します。  
藻場再生体験に参加したくなるのはもちろん、大阪湾に興味と愛着を抱き、学習後も藻場の保全活動に参加したくなることをめざしたテーマを設定しましょう。
- 「誰にどのような大阪湾の藻場を知ってもらおうか」を決定した後で、どんな実施手法が想定できるか、概略を設定します。

#### ○テーマ、活動内容の設定イメージ



#### ○参加者ターゲットの設定事例

- ・一般（大阪府内、大阪府外 等）
- ・小学生（低学年、高学年 等）  
※小学生の場合は、保護者等の同伴を条件とする場合有
- ・中学生・高校 ・大学生等の若者世代 など

#### ○藻場再生体験の実施手法の分類

実施手法	考え方
環境調査	藻場の面積調査、底質調査、生き物調査、水質調査など。ドローンや目視による面積調査、海の水底に蓄積された化学物質や有機物などの状況を調べる底質調査は専門業者による対応が必要だが、生き物調査は誰でも参加できる。
種子の発芽促進	ポットや水槽を活用したアマモ等の発芽であれば、沿岸部ではない地域や屋内での再生体験ができる。
アマモの播種	アマモ場が形成されている地域であれば、夏場に成熟したアマモ花枝を採取して、選別した種子を保存しておき、初冬にアマモの種を紙粘土やマットなどに種を植え付けて海中に播種することができる。
ワカメ等の養殖体験	ワカメやノリ等の海藻の養殖体験を通じて、海の豊かさや、藻場が吸収するCO <sub>2</sub> がブルーカーボンとして環境の改善に役立っていること等を学習する。

## 【ステップ2（文献調査、専門家・専門機関への相談）】

- ステップ1（テーマ、実施手法の企画・検討）をもとに、大阪湾でどんな取り組みができるのか、まずは文献調査や専門家・専門機関への相談により、コンテンツのイメージを膨らませます。
- 専門家・専門機関については、「4. 活動事例」の活動団体等のほか、一般市民向けに開催されている環境講座・セミナー等の講師などに、相談するとよいでしょう。また、コンテンツへの協力も想定して働きかけます。

### ○文献調査、専門家・専門機関への相談により、把握しておきたいこと（例示）

- ・ 設定テーマに関する動向、トレンド
- ・ 想定できる取組手法とそのポイント
- ・ 設定テーマにおいて活用できる大阪湾の環境資源
- ・ 活動場所の特徴・現状（面積や分布状況、確認できる生物、活動場所の底質など）
- ・ 活動場所の過去の藻場の分布状況、（消滅している場合は）消滅した原因の検討
- ・ 活動する上で調査すべき項目（水質、底質、光量子量、水理、遺伝的特徴など）
- ・ 活動する上で有効な協力・連携先
- ・ 活動する上で事前に必要な許認可、調整すべき施設管理者等
- ・ 現地で活動する上での注意点（現地視察時、当日対応とも）
- ・ その他、設定テーマを実施する上で配慮すべき点

### ○参考になる文献例

- ・ 我が国におけるブルーカーボン取組事例集/環境省  
[https://www.env.go.jp/earth/ondanka/blue-carbon-jp/pdf/materials/O1\\_jp\\_1.pdf](https://www.env.go.jp/earth/ondanka/blue-carbon-jp/pdf/materials/O1_jp_1.pdf)
- ・ ブルーカーボン・クレジット制度（Jブルークレジット®）の状況/  
ジャパンプルーエコノミー技術研究組合（JBE）  
<https://www.mlit.go.jp/kowan/content/001589204.pdf>
- ・ アマモ類の自然再生ガイドライン /水産庁・マリノフォーラム 21  
<https://www.mf21.or.jp/pdf/amamo/guideline.pdf>
- ・ アマモ場再生ハンドブック/三重県  
<https://www.prefmie.lg.jp/common/content/000661738.pdf>
- ・ 自然共生サイト/環境省  
令和5年度から「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を「自然共生サイト」に認定。藻場についても複数認定されている。  
<https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/kyousei/>

### 【ステップ3（活動候補場所の現地訪問、活動場所の設定）】

- 想定している参加者ターゲットや活動テーマ、実施手法が実施できる活動場所の設定に向けて、候補地の現地訪問、設定を行いましょよう。
- 現地訪問では、主に「アクセス性」、「安全面」、「活動のしやすさ」という観点で、活動場所として相応しいかどうか、状況を確認します。
- スタッフ間でのイメージ共有に向けてできるだけ複数名で現地訪問・確認しましょよう。また、後で確認しやすいよう、必要な情報は写真撮影も行いましょよう。

#### ○活動場所の現地訪問の際に確認しておくこと（例示）

観点	確認事項
アクセス	○公共交通機関、駐車場の有無 ○活動場所に行くまでのバリアフリーの状況 ○持ち物の搬入しやすさ ○その他周辺環境（工事等の実施、治安面など）
安全面	○陥没箇所や軟弱箇所、滑りやすい箇所、転落の危険のある箇所等の有無 ○悪天候時において危険にさらされる可能性（高波、強風、高温・直射日光、河川での出水など） ○参加者が怪我や体調不良になった場合の動線
活動のしやすさ	○適した海洋資源があるか ○活動場所として十分なスペースが確保できるか ○トイレや洗い場などが近くにあるか ○座って説明が聞ける場所が近くにあるか（会議室、ベンチ、日陰など）

### 【ステップ4（コンテンツ（実施計画）の策定）】

- ステップ2（文献調査、専門家・専門機関への相談）で相談、調査して得た情報をもとに、大阪湾の藻場の特徴や課題を学んでもらえるよう、設定した活動場所でどんな藻場再生体験が実施できるか、コンテンツづくりをしていしましょよう。
- 藻場の再生には、活動後の藻場の保全、分布調査等の持続的な取組みの実施が不可欠です。関係機関や様々な主体と連携し、長期的に継続して取組みを実施できるよう、実施計画を立てましょよう。
- コンテンツを考える際は、基本テーマ等に沿って、開催時期、タイムスケジュール（1日の流れ）・活動手法を設定するとともに、参加者に応じた安全管理なども検討していきます。
- 参加者が大阪湾の藻場の再生に向けて引き続き関心を持ってもらうために、「楽しさ」、「わかりやすさ」を体現できるコンテンツづくりを心掛けましょよう（例：食事、プレゼントなど）。

### <開催時期>

- ・藻場はその生態により活動期間が限られます。保全する対象の海藻、海草の生態や活動内容に合わせて開催時期を設定します。

(活動例)

- ・アマモの再生：5～6月花枝の採取、7～9月種子の選別、10～11月種まき/冬頃ポット等による育成、11～3月移植、春頃分布調査 等
- ・ワカメの養殖：11～12月種付け、2～3月収穫 等
- ・海岸や干潟などの水辺での活動を行う場合には、実施場所の満潮・干潮等の潮汐のタイミングを確認して日時を設定します。

#### 【潮位の確認方法】

- ・次の気象庁サイトで地点毎の潮位変化の予測値を確認。  
[https://www.data.jma.go.jp/gmd/kaiyou/db/tide/suisan/s\\_kinki.php](https://www.data.jma.go.jp/gmd/kaiyou/db/tide/suisan/s_kinki.php)
- ・大阪湾（大阪府域）では、「大阪」「堺」「泉大津」「岸和田」「関空島」「淡輪」の潮位の予測値が公表されているので、活動場所に近い地点の潮位を確認。
- ・活動場所によって、活動に適した潮位は異なるので事前に下見をするか、既存の活動団体の実施時期を参考にすることが望ましい。

- ・生徒が対象の場合は休日や休暇期間に開催するなど、参加者が参加しやすい時期をイメージして決定します。

### <タイムスケジュール>

- ・円滑な実施のためタイムスケジュールを作成します。
- ・無理の無い集合・移動・解散時間を設定できるように留意します。
- ・タイムスケジュールに盛り込む項目
  - i) 集合場所、時刻
  - ii) 移動手段、時間
  - iii) 事前レクチャーの場所、時間
  - iv) プログラムの時間
  - v) 解散場所、時刻

### <安全管理>

- ・海上での活動は危険を伴います。事故を防ぐため、実施内容に応じてどのようなリスクがあるかリストアップし、必要な安全対策について検討のうえ、事前に事故発生時の関係機関（病院等）の連絡先などを調べ、緊急時の対応フローを作成します。

(参考：海の事故防止対策/海上保安庁)

<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/marinesafety/jikotaisaku/leisure/others.html>

(参考：ライフジャケットの着用義務拡大/海上保安庁)

[https://www.mlit.go.jp/maritime/maritime\\_fr6\\_000018.html](https://www.mlit.go.jp/maritime/maritime_fr6_000018.html)

(参考：ウォーターセーフティガイドリーフレット/海上保安庁)

<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/marinesafety/pdf/wsgleafletB.pdf>

- ・継続して実施する事業の場合、「安全管理マニュアル」等を作成することで安全に実施することができます。

(参考：安全管理マニュアル/公益社団法人大阪自然環境保全協会)

<https://www.nature.or.jp/information/anzen/>

- ・水辺での活動の場合、小学生以下など年少者は保護者同伴として安全を確保します。
- ・万一の事故発生に備え、参加者についてボランティア・市民活動行事保険等に入します。

#### <悪天候時の対応>

- ・活動内容に応じて悪天候時の中止の判断基準・連絡方法について検討します。
- ・雨天等により当初予定したプログラムの実施が困難な場合、屋内施設や代替プログラムの実施の可能性について検討します。

#### 【ステップ5（専門家・専門機関による連携・協力の検討）】

- ステップ2（文献調査、専門家・専門機関への相談）で相談した専門家・専門機関も含めて、専門家・専門機関に対し、コンテンツを提示した上で、連携・協力を打診します。
- 当日の運営についても、同様のプログラムの運営経験のある専門家等にガイド、インストラクター、ワークショップのファシリテーター等の協力を依頼して行うことを検討します。
- 連携・協力の可否に加え、コンテンツへの具体的なアドバイスもいただき、ブラッシュアップを図ります。

## 【ステップ6（民間及び公的補助金等の活用の検討）】

- 事業実施に必要な経費に関しては、必要に応じて、民間及び公的な補助金等の活用を検討します。以下の補助金等を参考に助成要件等に合うものの活用について検討しましょう。

○民間及び公的補助金等（例）（詳細は参考資料1（P269～273））

主な目的	補助金等の名称	所管団体等
環境活動支援	大阪府環境保全活動補助金	大阪府 環境農林水産部
	地球環境基金	独立行政法人環境再生保全機構
	環境保全市民活動等助成金	大阪湾広域臨海環境整備センター
	環境市民活動助成	セブン-イレブン記念財団
	環境助成金	一般財団法人サンライズ財団
子供育成支援	こどもゆめ基金	独立行政法人国立青少年教育振興機構
	子供たちの環境学習活動に対する助成事業	公益財団法人高原環境財団
	助成事業	公益財団法人ノエビアグリーン財団
水辺環境づくり	海や船に関する事業（海と身近にふれあう）への助成	公益財団法人日本財団
	河川基金	公益財団法人河川財団
	未来のみなとづくり助成	一般財団法人みなと総合研究財団
自然とのふれあい	公益信託富士フィルム・グリーンファンド	一般財団法人自然環境研究センター
	生物多様性保全推進交付金（Eco-Tourism地域活性化支援事業）	環境省 自然環境局 国立公園課

## 【ステップ7（必要な許認可等の手続き、施設管理者等との調整）】

- 取組みの実施に係り、実施場所の管理者や漁業関係者等との調整が必要となります。事前に管理者や漁業関係者等に連絡し、必要な手続きや調整等について確認するようにしましょう。
- 魚類や水生生物などの水産動植物の採捕等を行う場合には、許可が必要な場合があるので、事前に確認が必要です。特に漁業権が設定されている水面で活動を行う場合は、活動の内容によっては漁業権の侵害に当たる場合があります。
- 海岸や干潟での清掃美化活動を行う場合は、回収した漂着ごみ等を法令に基づいて適切に処理します。自治体によっては、回収した漂着ごみを引き取って処理してもらえる場合もあるので、事前に活動場所の市町村の環境（廃棄物）部局に相談してください。

<許認可・事前調整先>

活動場所	調整先
港湾・海岸区域	<p>大阪港湾局が所管しています。港湾・海岸によって担当が異なりますので、事前に活動場所の所管を確認して調整してください。</p> <p>(参考)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大阪港湾局</li> </ul> <p><a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/bu_kowan/">https://www.pref.osaka.lg.jp/bu_kowan/</a>  <a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/osaka_kowan/">https://www.pref.osaka.lg.jp/osaka_kowan/</a></p>
河川管理区域	<p>河川によって国土交通省、大阪府、市町村など、河川管理者が異なります。事前に活動場所の所管を確認して調整してください。</p> <p>(例)</p> <p>淀川、大和川…国土交通省近畿地方整備局          寝屋川、恩智川…大阪府</p> <p>(参考)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国土交通省近畿地方整備局              (参考：近畿の河川/国土交通省近畿地方整備局)  <a href="https://www.kkr.mlit.go.jp/river/kasen/index.html">https://www.kkr.mlit.go.jp/river/kasen/index.html</a></li> <li>大阪府              (参考：事務所の所管地域と管理河川一覧/大阪府)  <a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/kasenkankyo/kanri/kannai.html">https://www.pref.osaka.lg.jp/kasenkankyo/kanri/kannai.html</a></li> </ul>
公園等の施設	<p>海岸や河川敷等が公園等として整備されている場合があります。その場合は、公園等の施設管理者を確認して調整してください。</p> <p>(例) 大阪府営公園一覧</p> <p><a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/koen/introduction/index.html">https://www.pref.osaka.lg.jp/koen/introduction/index.html</a></p>
廃棄物の処理	<p>自治体によっては、回収した漂着ごみを引き取って処理してもらえる場合があります。事前に活動場所の市町村の環境(廃棄物)部に相談してください。</p>
水産動植物の採捕 (特別採捕許可)	<p>水産資源の保護培養及び漁業調整のため、採捕する水産動植物の種類や大きさ、採捕の期間、区域、採捕に使用する漁具・漁法等について制限または禁止しています。</p> <p>試験研究や教育実習の目的で水産動植物を採捕する場合は、許可を受けてこれらの制限又は禁止項目の適用除外を受ける必要があるため、事前に申請してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大阪府              (参考：試験研究等のために水産動植物の採捕を行う方へ(水産動植物の採捕の許可)/大阪府)  <a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/suisan/tok/index.html">https://www.pref.osaka.lg.jp/suisan/tok/index.html</a></li> </ul>
漁港、漁業権設定 水面	<p>漁港等で活動を行う場合は、関係する漁業協同組合と事前に調整をしてください。</p> <p>大阪府内の漁港は、次の大阪府サイトで確認できます。</p> <p><a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/suisan/o-gyogyou/from-sky.html">https://www.pref.osaka.lg.jp/suisan/o-gyogyou/from-sky.html</a></p> <p>大阪府域で設定されている漁業権設定水面の場所は、次の大阪府サイトで確認できます。</p> <p><a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/suisan/gyogyoken/index.html">https://www.pref.osaka.lg.jp/suisan/gyogyoken/index.html</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大阪府内の漁業協同組合              (参考) 大阪府漁業協同組合連合会  <a href="http://www.osakagyoren.or.jp/about/organization.html">http://www.osakagyoren.or.jp/about/organization.html</a></li> </ul>

## 【ステップ8（広報の実施）】

- 取組内容が決まったら、参加者を募集するために広報を実施します。
- チラシやホームページにおいて、活動内容が分かるように必要事項を記入しましょう。
- 広報媒体は、ステップ1（テーマ、実施手法の企画・検討）で設定した参加者に効果的に情報が届くように工夫しましょう。

### ＜チラシやホームページに記載する内容（例）＞

- ・ 集合解散時間
- ・ 対象、定員
- ・ 内容、プログラム構成
- ・ 集合場所（最寄り駅、駐車場の有無なども含めて）
- ・ インストラクター
- ・ 申込方法
- ・ 申込締切

### ＜広報媒体（例）＞

- ・ 実施団体のホームページ、メールマガジン
- ・ 実施団体の SNS（インスタグラム、X、フェイスブック等）
- ・ 地元自治体の広報誌
- ・ 地元観光協会等の観光振興団体に広報を依頼
- ・ 図書館や公民館等の公共施設、関係機関へのチラシの配布
- ・ イベント情報サイトへの掲載  
（参考）いこーよ <https://iko-yo.net/>
- ・ 環境関係団体によるホームページ掲載やメールマガジン配信  
（参考）きんき環境館 <https://www.kankyokan.jp/>  
EIC ネット <https://www.eic.or.jp/event/?gmenu=1>  
環境らしんばん <https://www.geoc.jp/rashinban/>  
環境展望台 <https://tenbou.nies.go.jp/news/event/>
- ・ 過去の参加者へのダイレクトメール

※地元自治体広報誌や公共施設のチラシなどで情報を知り、詳細情報をホームページ等で確認するなど、複数の広報媒体で情報を掲載することが効果的と考えられます。

## ②開催準備・当日

### 【ステップ9（開催準備・当日対応）】

#### 【集合・事前説明・誘導】

- 当日の集合や誘導をスムーズに行うため、参加者一覧表（携帯電話番号など緊急連絡先を含む）を事前に準備しましょう。
- 当日のタイムスケジュールや活動のポイント、活動場所に生息する生き物の種類や写真、安全マニュアル、緊急連絡先等をまとめた当日のしおりを参加者に事前に送付することで、円滑に進行することができます。
- ワークショップを行う場合は、内容が参加者に伝わるよう、そのテーマと進め方、話し合う内容について分かりやすく整理したレジユメの作成を行いましょう。
- 当日のしおりに加え、スタッフ（随行する専門家含む）向けに、各工程における役割分担や注意事項等、緊急時の連絡体制などを整理したマニュアルを作成しましょう。また、ワークショップ、座学が主体の場合は、スムーズな進行に向けて司会シナリオを作成しましょう。

#### <当日のしおり項目例>

- ・活動の趣旨、目的
- ・活動のポイント
- ・活動場所に生息する生き物の種類や写真
- ・集合、解散場所
- ・タイムスケジュール
- ・当日の持ち物、服装
- ・雨天時の実施判断
- ・安全マニュアルや注意事項
- ・トイレの場所
- ・参加者からの緊急時の連絡方法

#### <ワークショップを行う場合のレジユメ>

- ・話し合うテーマ
- ・進め方
- ・話し合う内容

#### <スタッフ向けマニュアルの項目例>

- ・各工程の進行表、各工程における役割分担や注意事項等
- ・緊急時の連絡体制、連絡先の電話番号
- ・持参物、準備しておくもの
- ・（ワークショップ、座学が主体の場合）司会進行のシナリオ

### [人員配置、事前打合せ]

- 参加者数、実施内容に応じて必要な人員を検討し、予定外の事態にも対応できるよう余裕をみて人員を配置しましょう。
- スタッフ（随行する専門家含む）間の打合せを前日までに行い、意思疎通が図れるよう心掛けましょう。

### [安全管理]

- ステップ4（コンテンツ（実施計画）の策定）で検討した安全管理対策や緊急時の対応フローをもとに、安全管理を行いましょう。

#### <安全管理の対応例>

- 海辺や干潟等で活動する場合は、陥没箇所や軟弱箇所、滑りやすい箇所、転落の危険のある箇所等の有無について事前に調査し、参加者が立ち入ることの無いよう措置する。
- 強風により波が高くなると予測される際には、海辺には近づかない。
- 河川で活動する場合は、悪天候時など出水による危険が予測される時には川に入らない。
- 船や栈橋、堤防等、水中への転落の可能性がある場合は、必ずライフジャケットを着用する。
- 水辺での活動の場合は、未成年者は保護者と一緒に参加し安全を確保する。
- 活動予定場所で遭遇する可能性のある危険生物について、注意喚起を行い、万一被害にあった場合の応急処置について確認する。  
（マムシ／スズメバチ／セアカゴケグモ／カミツキガメ／マダニ 等）
- 事故等の発生時の対応フローをすぐに確認できる場所に掲示する。
- 万一の事故発生に備え、参加者についてボランティア・市民活動行事保険等に加入する。

### [悪天候時等の対応]

- ステップ4(コンテンツ(実施計画)の策定)で検討した悪天候時等の対応について、事前に判断基準や判断時期を決め、当日悪天候等が予想される場合は事前に連絡を行いましょよう。

<悪天候等に備え、中止等の判断基準・判断時期、連絡方法の確認>

項目	対応例
判断基準	<ul style="list-style-type: none"><li>• 気象警報(大雨、暴風、波浪等)発令時</li><li>• 主要な公共交通機関が運休する場合</li><li>• 使用予定の施設が休園等の場合</li><li>• 雨天時/強風時 など</li></ul>
判断時期	<ul style="list-style-type: none"><li>• 前日 17時</li><li>• 当日 7時 など</li></ul>
連絡方法	<ul style="list-style-type: none"><li>• 参加者の個別連絡(電話、メール等)</li><li>• 実施団体ホームページに掲載 など</li></ul>

### [時間管理の徹底]

- スムーズな運営に向けて、十分に準備時間を確保して準備を行いましょよう。
- スタッフの中でタイムキーパー役を設定し、時間の延長などがないよう時間管理を行いましょよう。

## ③効果検証

### 【ステップ10(効果測定など)】

- 取組みの実施後には、参加者に対して振り返りの機会を提供するとともに、効果測定を行い、今後の取組みの改善に活用するためのアンケート調査を実施しましょよう。また、取組前後にアンケートを実施することで、学習を通じた参加者の意識変化を調べることがもできます。
- スタッフ間での振り返り会を開催し、今後の対応策を検討しましょよう。
- 波及効果創出に向けて、活動成果の情報発信や、活動団体との連携による活動展開なども検討しましょよう。

<アンケートに盛り込む項目例> (アンケート様式(例): 参考資料5(P280~281))

項目	具体的内容	事前	事後
申込理由		●	
情報の入手先	・実際に活用した広報媒体を例示し、選択	●	
大阪湾に対するイメージ	・複数の語句表現から選択+自由記述 <例示例> i) 多くの生物が生息している。 ii) 多くの自然がある。 iii) 水質がきれい。 iv) プラスチックなどのごみが多い。 など	●	●
藻場、ブルーカーボンの理解度	・3~5段階で数字を選択 ・5種類程度の語句表現から選択 <例> ・事前 知っていた/聞いたことはあるが意味についてはよく 知らなかった/知らなかった ・事後 よくわかった/少しわかった/あまりわからなかった /全くわからなかった	●	●
学習した内容が理解できたかどうか	・5~10段階で数字を選択 ・5種類程度の語句表現から選択 <例> よく理解できた/まあまあ理解できた/ どちらとも言えない/あまり理解できなかった/ 全く理解できなかった		●
設定した基本テーマに対する今後の行動変化	・4種類程度の語句表現から選択 <例> 是非とも取り組んでいきたい/取り組んでいきたい/ どちらとも言えない/取り組むつもりはない		●
参加して良かったか(満足度)	・5~10段階で数字を選択 ・5種類程度の語句表現から選択 <例> とても良かった/良かった/どちらとも言えない/ 良くなかった/全く良くなかった		●
今後も参加したいか	・4種類程度の語句表現から選択 <例> 是非とも参加したい/内容によっては参加したい/ どちらとも言えない/参加しない		●
今後どんな内容のものを実施してほしいか	・自由記述		●

## (2) 府民参加型の藻場再生体験のモデル事例について

(1) の【府民参加型の藻場再生体験 実施手順】に基づき、「海のゆりかご」アマモ場再生プロジェクト」を開催した際の具体的な手順をご紹介します。

### <「海のゆりかご」アマモ場再生プロジェクトの概要>

●実施日時：全3日間

◇学生向け第1回：2024年12月4日(水)13:00~17:00

◇親子向け第1回：2024年12月22日(日)13:00~17:00

◇合同第2回：2025年2月1日(土)13:00~16:00

●実施場所：◇第1回：大阪府貝塚市 貝塚市立自然遊学館／二色の浜海岸

◇第2回：大阪ECO動物海洋専門学校

●内 容：大阪湾の環境保全に係る自発的な活動の活発化に向けたモデル事例の創出を目的に、アマモの発芽実験等を行うイベントを開催した。

●参加者数：◇学生向け第1回：学生22名(受講予定数：26名)

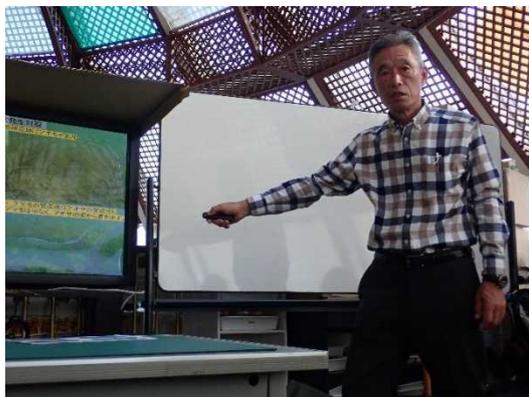
◇親子向け第1回：親子7組18名(申込者数：9組23名)

◇合同第2回：学生10名 親子8組17名 申込外参加者2組3名

学生向け第1回：2024年12月4日（水）の当日の様子



(学習プログラム① 開演までの時間を使って博物館を自由に見学)



(学習プログラム② 講演「海のゆりかご」アマモ場の現状と里海のとりくみ)



(体験プログラム① 水中ドローンで冬の大阪湾を覗いてみよう！)



(体験プログラム② アマモの種子育苗計画)

親子向け第1回：2024年12月22日（日）の当日の様子



（学習プログラム① 開演までの時間を使って博物館を自由に見学）



（体験プログラム①海岸のひょう着物からアマモの種や貝がらをさがそう！）



（体験プログラム②アマモの種や貝がらなどを観察して、貝がら標本かべ飾りをつくろう！）



（体験プログラム③アマモをおうちで育てる実験をしてみよう！）

学生向け・親子向け第2回：2025年2月1日（土）の当日の様子



(育てたアマモと観察記録を持ってきた人に「大阪湾の生きもの缶バッチ」と「大阪湾のさかなのカレンダー」をプレゼント！)



(学習プログラム① 大阪湾のクジラについてTVで有名な鍋島先生のお話を聞いてみよう！)



(体験プログラム② 実験結果の共有をして学生さんとみんなでディスカッション！)



(学習プログラム③ たくさんの水槽や生きものがいる学校内を見学してみよう！)

## ①事前準備（府民参加型の藻場再生体験の設計）

### 【ステップ1（テーマ、実施手法の企画・検討）】

対象者、テーマ、実施手法を下記の通り設定した。

- 対象者：自然環境に興味があり、保全再生につながる取組みに期待のできる人
  - 学生向け 専門学生や大学生、大学院生の学生
  - 親子向け 小学生の親子（保護者も一緒に参加）  
⇒保護者も一緒に参加することで、子どもたちの学びをサポートし、経験を共有することで学習や記憶を継続させる狙い。
- テーマ：大阪湾におけるブルーカーボン生態系の保全・再生・創出に向けて、大阪湾が抱える課題や自然環境等の価値や大切さの理解を深め、環境保全活動への参加意欲の向上をめざす。
- 実施手法：アマモの発芽実験等

### 【ステップ2（文献調査、専門家・専門機関への相談）】

以下の有識者5者に、準備や実施する際の助言を受けた。

- NPO 法人大阪海さくら那須睦美氏
  - ・アマモの育苗方法
- 貝塚市立自然遊学館学芸員山田浩二氏、客員講師児嶋格氏
  - ・水中ドローン操作、二色浜海岸における体験プログラム、会場使用
- 大阪 ECO 動物海洋専門学校副校長城者定史氏、教員高見真依氏
  - ・学生の参加などイベント協力

### 【ステップ3（活動候補場所の現地訪問、活動場所の設定）】

各開催場所について、下見を行った上で実施場所を選定した。

- 学生向け、親子向けのそれぞれ第1回の実施場所
  - ・座学と屋外学習の双方を実施できる場所として貝塚市立自然遊学館を候補にあげた。
  - ・座学に必要な部屋の広さ、前後で行う屋外実習地へのアクセスの良さにより選定した。
- 合同第2回の実施場所
  - ・イベントの連携・協力団体である大阪 ECO 動物海洋専門学校を候補にあげた。
  - ・大阪市の中心地に立地すること、海洋水槽を多数設置しており、参加者応募の興味を惹く意図もあり設定した。

## 【ステップ4（コンテンツ（実施計画）の策定）】

### 【学生向け第1回】

#### ●開催時期：2024年12月4日（水）13:00～17:00

- ・参加する学生の大半が大阪 ECO 動物海洋専門学校の学生で、学校行事として参加するため、平日に設定した。
- ・アマモ育苗の実験が自然界での種付け時期（12～2月頃）に合うよう、冬頃の開催で、なおかつ潮位と活動内容が適した日を設定した。
- ・複数の講師の都合よい日、貝塚市立自然遊学館の会場貸与可能日を設定した。

#### ●プログラムの内容

受講前学習、水中ドローンの操縦体験とアマモの種探し、アマモの発芽実験、アマモの種子の育て方を学ぶ学習会など。

#### ●具体的なスケジュール

時間	内容
12:10～	南海電鉄 貝塚駅に集合 バス停車位置に移動し出発
12:30～	学習プログラム① 開演までの時間を使って博物館を自由に見学
13:05～	学習プログラム② 講演「海のゆりかご」アマモ場の現状と里海のとりにくみ
14:05～	トイレ休憩
14:10～	体験プログラム① 水中ドローンで冬の大阪湾を覗いてみよう！
15:35～	トイレ休憩（二色の浜公園 スポーツハウス）
15:45～	体験プログラム② アマモの種子育苗計画
16:45～	アンケート記入、イベントふり返し、次回予告
17:00～	終了、南海電鉄 貝塚駅まで誘導し駅で解散

#### ●「楽しさ」、「わかりやすさ」を体現できるコンテンツづくり

- ・水中ドローンを3機準備し、参加する学生に操作してもらう機会を作った。



## 【親子向け第1回】

### ●開催時期：2024年12月22日（日）13:00～17:00

- ・対象者を小学生とし、親子での参加を前提としているため、開催日は日曜日に設定した。
- ・アマモ育苗の実験が自然界での種付け時期（12～2月頃）に合うよう、冬頃の開催、で、なおかつ潮位と活動内容が適した日を設定した。
- ・複数の講師の都合よい日、貝塚市立自然遊学館の会場貸与可能日を設定した。

### ●プログラムの内容

海岸の漂着物からアマモの種探しや貝殻探し、貝殻を使用した壁飾りの作成、アマモの発芽実験、アマモの種子の育て方を学ぶ学習会など。

### ●具体的なスケジュール

時間	内容
12:10～	南海電鉄 貝塚駅に集合 バス停車位置に移動し出発
12:30～	学習プログラム① 開演までの時間を使って博物館を自由に見学
13:05～	動画鑑賞 二色の浜の水中動画を見よう！
13:15～	二色の浜に移動
13:40～	体験プログラム① 海岸のひょう着物からアマモの種や貝がらをさがそう！
14:10～	トイレ休憩（二色の浜公園 スポーツハウス）
14:45～	体験プログラム② アマモの種や貝がらなどを観察して、貝がら標本かべ飾りをつくろう！
15:30～	トイレ休憩
15:40～	体験プログラム③ アマモをおうちで育てる実験をしてみよう！
16:30～	次回予告、ポットの持参について、アンケート記入
16:45～	終了、遊学館見学後、南海電鉄 貝塚駅まで誘導し駅で解散

### ●「楽しさ」、「わかりやすさ」を体現できるコンテンツづくり

- ・参加者が、貝殻だけではなくカニの甲羅や生き物の巣穴など、思い思いの部材で貝殻標本壁飾りを行った。



## 【学生・親子向け 合同第2回】

### ●開催時期：2025年2月1日（土）13:00～16:00（終了後学校見学）

- ・小学生が、親子で参加し、大阪 ECO 動物海洋専門学校の海洋水槽の見学プログラムを行うことを前提としているため、開催日は土曜日に設定した。
- ・アマモ育苗の実験が自然界での種付け時期及び育成機関（12～2月頃。種付けより約2か月必要）に合うよう、冬頃の開催とした。
- ・複数の講師の都合よい日、大阪 ECO 動物海洋専門学校の会場貸与可能日を設定した。

### ●プログラムの内容

大阪湾の生態、地球温暖化等について学ぶ講演の聴講、アマモ実験結果の共有をして参加者同士でディスカッション、専門家によるアマモ実験結果の講評など。

### ●具体的なスケジュール

時間	内容
13:00～	受付開始 育てたアマモと観察記録を持ってきた人に「大阪湾の生きもの缶バッジ」と「大阪湾のさかなのカレンダー」をプレゼント！
13:30～	学習プログラム① 大阪湾のクジラについて TV で有名な鍋島先生のお話を聞いてみよう！
14:15～	休憩
14:30～	学習プログラム② 実験結果の共有をして学生さんとみんなでディスカッション！
15:30～	鍋島先生の講評
16:00～	終了 学習プログラム③ たくさんの水槽や生きものがある学校内を見学してみよう！（希望者のみ）

### ●「楽しさ」、「わかりやすさ」を体現できるコンテンツづくり

- ・大阪湾の生き物が写った缶バッジ（種類を多くして先着順に選べる）や、カレンダーを配布することで遅参者を減らす工夫を行った。
- ・学生アテンダーや学校職員の引率で、大阪 ECO 動物海洋専門学校のたくさんの水槽を親子参加者が見学し、海の環境への興味を誘うものとなった。

### ●持続的な取組みとすることの工夫

- ・取組みを通じて育成したアマモの苗は、大阪 ECO 動物海洋専門学校及び希望する参加者が引き続き育成し、NPO 法人大阪海さくらが実施するアマモの移植イベントで活用することで、参加者の持続的な活動につながる取組みとなった。

## 【ステップ5（専門家・専門機関による連携・協力の検討）】

藻場等の専門家講師として、以下8名を招集した。

- 一般社団法人須磨里海の会 代表 吉田裕之氏
  - ・学生向け第1回：「海のゆりかご」アマモ場の現状と里海のとりのくみの講演
- 大阪湾海岸生物研究会 山下隆司氏
  - ・学生向け第1回：水中ドローン操作指導、第2回：イベント協力
- 大阪 ECO 動物海洋専門学校 副校長 城者定史氏
  - ・学生向け第1回：水中ドローン操作指導
- 大阪 ECO 動物海洋専門学校 教員 高見真依氏
  - ・学生向け第1回・第2回：ディスカッション進行補助
- 貝塚市立自然遊学館学芸員 山田浩二氏
  - ・学生向け第1回：水中ドローン操作指導、親子向け第1回：海岸の漂着物からアマモの種や貝殻を探す指導
- NPO 法人大阪海さくら 那須睦美氏
  - ・学生向け・親子向け第1回：アマモの育苗方法教示、第2回：実験結果の共有をするファシリテーター
- 貝塚市立自然遊学館 客員講師 児嶋格氏
  - ・親子向け第1回：海岸の漂着物からアマモの種や貝殻を探す指導と作品の制作指導
- 大阪自然史博物館友の会 会長 鍋島靖信氏
  - ・第2回：大阪湾の生態系等の講演、アマモの発芽実験の講評

#### 【ステップ6（必要な許認可等の手続き、施設管理者等との調整）】

学生向け第1回、親子向け第1回それぞれで以下のとおり調整を行った。

- 大阪港湾局施設管理運営課
  - ・学生向け・親子向け第1回：港湾・海岸等における行事实施届の提出
- 大阪海上保安監部
  - ・学生向け第1回：作業許可申請書の提出
- 大阪府営二色の浜公園事務所
  - ・学生向け・親子向け第1回：二色の浜使用における許認可の有無の確認
- 大阪 ECO 動物海洋専門学校
  - ・学生向け・親子向け第1回・第2回：受講協力・運営協力、第2回：会場貸与
- 貝塚市立自然遊学館
  - ・学生向け第1回：水中ドローン貸与、学生向け・親子向け第1回：会場貸与

#### 【ステップ7（民間及び公的補助金等の活用の検討）】

- 活用なし。

※本事業は大阪府の令和6年度「豊かな大阪湾」保全・再生・創出活動推進業務の一環のモデル事業である、「府民参加型の藻場再生体験事業」で実施。

## 【ステップ8（広報の実施）】

親子向けイベントについては、参加対象者に対して周知するため、ホームページやSNS、図書館への配布、イベント情報サイトへの掲載等以下の手法により広報を行った。

- 事業実施主体ホームページ・SNSへの掲載
  - ・一般財団法人環境事業協会ホームページ
  - ・一般財団法人環境事業協会環境推進課公式X
  - ・一般財団法人環境事業協会環境推進課公式Facebook
- 大阪市PTAだより 市内幼稚園・小学校・中学校 約400校園 約85,000枚
- チラシ配架
  - ・大阪市立図書館24か所 : 360部
  - ・大阪府内公共施設11か所 : 195部
  - ・関係企業、団体6か所 : 900部
- イベントバンク掲載
- その他環境関係団体によるホームページ掲載やメールマガジン配信など幅広く募集をした。



広報チラシ

## ②開催準備・当日

### 【ステップ9（開催準備・当日対応）】

#### ●集合・事前説明・誘導

##### <事前説明>

- ・集合場所、時間、適した電車
- ・プログラム、タイムスケジュール
- ・当日の持ち物（着替え、昼食、水分補給するもの）や海辺での活動に適した服装、長靴等の履物等

##### <集合・誘導>

- ・出欠確認用の参加者一覧表を準備した。
- ・活動場所までの経路を確認し、誘導を行った。

#### ●人員配置、事前打合せ

- ・各回において、参加者数約 20～30 名に対し、スタッフ 4 名を配置した。
- ・事前に専門家を含むスタッフ間の打合せを行い、当日の流れや注意事項等を共有した。

#### ●安全管理

- ・海辺での活動の際の注意事項を専門家から説明した。
- ・当日は参加者全員に目が行き届くように十分なスタッフ（計 4 名）を配置し、全員に医療体制図（対応フロー）や緊急の病院などの連絡先を共有した。
- ・参加者全員を傷害保険に加入した。
- ・開催場所周辺に AED が無い際には、簡易 AED を持参した。

#### ●悪天候時等の対応

- ・屋外で実施するイベントについて、2 回ともに天候に恵まれ、全てのプログラムを予定どおり実施した。

#### ●時間管理の徹底

- ・スムーズな運営に向けて、十分に準備時間を確保して準備を行った。
- ・スタッフの中でタイムキーパー役を設定し、時間管理を行った。

### ③効果検証

#### 【ステップ10（効果測定など）】

プログラムの開始前及びプログラム終了時にアンケートを実施した。

開催前及び終了時について紙でそれぞれ実施した。

#### ●学生向け第1回受講前アンケート結果 ※自由記述については回答を割愛。

- 本イベントの情報を何で知りましたか？【複数回答可】

1. 環境事業協会ホームページ	5%
2. イベントチラシをみて	10%
3. 大阪府ホームページ	0%
4. SNS	0%
5. 知り合いから	30%

- 大阪湾のイメージについて、あてはまるもの全てにし点を付けてください。【複数回答可】

1. 海や自然と触れ合える場所がたくさんある	9%
2. 生きものがたくさん生息している	18%
3. 汚れている	38%
4. ごみが多い	32%
5. その他	3%

- 本イベントで関心があることについて教えてください。【複数回答可】

1. アマモについて知れる	12%
2. アマモの実験ができる	16%
3. 大阪湾に触れ合える	16%
4. ドローンの操縦	18%
5. アマモの種探し	14%
6. 専門家の講演	12%
7. 関係者との交流	10%
8. その他	2%

- 今回のイベントに参加申込をした理由について教えてください。（自由記述）

• 藻場について知っていましたか？

1. 知っていた	48%
2. 聞いたことはあるが意味についてはよく知らなかった	24%
3. 知らなかった	28%

• ブルーカーボンについて知っていましたか？

1. 知っていた	32%
2. 聞いたことはあるが意味についてはよく知らなかった	16%
3. 知らなかった	52%

• 今回のような環境学習イベントに参加されたことはありますか？【複数回答可】

1. 年に数回	8%
2. 月に1回	4%
3. 今までに数回	42%
4. はじめて	46%

●学生向け第1回受講後アンケート結果 ※自由記述については回答を割愛。

- 今日のイベントの参加満足度を教えてください。

1	満足出来なかった	5%
2	↑ ↓	0%
3		36%
4		32%
5	満足した	27%

- 須磨里海の会吉田先生の講演内容はどうでしたか？

1	分からなかった	0%
2	↑ ↓	9%
3		23%
4		27%
5	よく分かった	41%

- 大阪湾海岸生物研究会山下先生の説明内容はどうでしたか？

1	分からなかった	0%
2	↑ ↓	5%
3		18%
4		36%
5	よく分かった	41%

- 大阪海さくら那須先生の講演内容はどうでしたか？

1	分からなかった	0%
2	↑ ↓	0%
3		18%
4		18%
5	よく分かった	64%

- ドローン操縦体験について教えてください。

1	楽しくなかった	5%
2	↑ ↓	0%
3		23%
4		18%
5	楽しかった	54%

- アマモの種探しについて教えてください。

1	楽しくなかった	5%
2	↑ ↓	18%
3		27%
4		23%
5	楽しかった	27%

- 今日のイベントを受けて、アマモ・藻場について理解が深まりましたか？感想を教えてください。（自由記述）

- 今日のイベントのどんなところが良かったですか？（自由記述）

- 今日のイベントに改善すべき点はありましたか？（自由記述）

- 実施場所の設定はいかがでしたか？あてはまるものにし点を付けてください。

1.	遠い	64%
2.	近い	14%
3.	ちょうどよい	0%
4.	その他	22%

- 友人などに今日の活動の思い出話をしてみたいですか？

1	いいえ	14%
2		45%
3	はい	41%

- 最後にアマモ育成の意気込みをひとこと！（自由記述）

●親子向け第1回受講前アンケート〈保護者向け〉結果

※自由記述については回答を割愛。

・本イベントの情報を何で知りましたか？【複数回答可】

1. 環境事業協会ホームページ	17%
2. イベントチラシをみて	17%
3. 大阪府ホームページ	17%
4. SNS	0%
5. 知り合いから	17%
6. その他	32%

・大阪湾のイメージについて、あてはまるもの全てにし点を付けてください。【複数回答可】

1. 海や自然と触れ合える場所がたくさんある	18%
2. 生きものがたくさん生息している	9%
3. 汚れている	37%
4. ごみが多い	27%
5. その他	9%

・本イベントで関心があることについて教えてください。【複数回答可】

1. アマモについて知れる	24%
2. アマモの実験ができる	35%
3. 大阪湾に触れ合える	12%
4. ドローンの操縦	0%
5. アマモの種探し	12%
6. 専門家の講演	12%
7. 関係者との交流	5%
8. その他	0%

・今回のイベントに参加申込をした理由について教えてください。(自由記述)

• 藻場について知っていましたか？

1. 知っていた	33%
2. 聞いたことはあるが意味についてはよく知らなかった	33%
3. 知らなかった	33%

• ブルーカーボンについて知っていましたか？

1. 知っていた	16%
2. 聞いたことはあるが意味についてはよく知らなかった	68%
3. 知らなかった	16%

• 今回のような環境学習イベントに参加されたことはありますか？【複数回答可】

1. 年に数回	0%
2. 月に1回	0%
3. 今までに数回	50%
4. はじめて	50%

●親子向け第1回受講後アンケート<保護者向け>結果

※自由記述については回答を割愛。

- 今日のイベントの参加満足度を教えてください。

1	満足出来なかった	0%
2	↑ ↓	0%
3		0%
4		67%
5	満足した	33%

- 自然遊学館客員講師児嶋先生の講演内容はどうでしたか？

1	分からなかった	0%
2	↑ ↓	0%
3		0%
4		33%
5	よく分かった	67%

- 海岸のひょう着物からアマモの種や貝がらをさがそう！について教えてください。

1	楽しくなかった	0%
2	↑ ↓	0%
3		0%
4		50%
5	楽しかった	50%

- アマモの種や貝がらなどを観察して、貝がら標本壁かべ飾りをつくろう！について教えてください。

1	楽しくなかった	0%
2	↑ ↓	0%
3		0%
4		33%
5	楽しかった	67%

- 大阪海さくら那須先生の講演内容はどうでしたか？

1	分からなかった	0%
2	↑ ↓	0%
3		0%
4		17%
5	よく分かった	83%

- アマモをおうちで育てる実験をしてみよう！について教えてください。

1	楽しくなかった	0%
2	↑ ↓	0%
3		0%
4		33%
5	楽しかった	67%

- 今日のイベントを受けて、アマモ・藻場について理解が深まりましたか？（自由記述）

- 今日のイベントのどんなところが良かったですか？（自由記述）

- 今日のイベントに改善すべき点はありましたか？（自由記述）

- 実施場所の設定はいかがでしたか？

1.	遠い	67%
2.	近い	0%
3.	ちょうどよい	33%
4.	その他	0%

- 友人などに今日の活動の思い出話をしてみたいですか？

1	いいえ	0%
2		33%
3	はい	67%

- 最後にアマモ育成の意気込みをひとこと！（自由記述）

●親子向け第1回受講後アンケート〈お子さま向け〉結果

※自由記述については回答を割愛。

- 今日のイベントはどういったところがたのしかったですか？たのしくなかったですか？（自由記述）

- 生きものをたいせつにしていこうとおもいましたか？

1	おもわなかった	0%
2	↑ ↓	0%
3		0%
4		17%
5	おもった	83%

- おともだちに今日のおもいでをはなしてみたいですか？

1	はなしたくない	0%
2		17%
3	はなしたい	83%

- アマモを育てるやる気をひとこと！（自由記述）

● 学生向け&親子向け合同第2回受講後アンケート〈学生・保護者向け〉結果

※自由記述については回答を割愛。

- 今日のイベントの参加満足度を教えてください。

1	満足出来なかった	10%
2	↑ ↓	5%
3		14%
4		14%
5	満足した	57%

- 大阪市立自然史博物館友の会鍋島先生の講演内容はどうでしたか？

1	分からなかった	5%
2	↑ ↓	5%
3		5%
4		5%
5	よく分かった	80%

- 大阪海さくら那須先生の講演内容はどうでしたか？

1	分からなかった	5%
2	↑ ↓	10%
3		5%
4		10%
5	よく分かった	70%

- 実施場所の設定はいかがでしたか？

1.	遠い	19%
2.	近い	10%
3.	ちょうどよい	71%
4.	その他	0%

- 今日のイベントのどんなところが良かったですか？また、改善点はありましたか？感想や思ったことを自由にお書きください。（自由記述）

- 一連のイベントを受けて、大阪湾の藻場・アマモについて理解が深まりましたか？

1	分からなかった	5%
2	↑ ↓	5%
3		5%
4		5%
5	よく分かった	80%

- 一連のイベントを受けて、今の大阪湾のイメージについて、あてはまるもの全てにシ点を付けてください。**開催前後の比較**

	開催後 (学生・保護者) N=21	開催前 (学生) N=22	開催前 (保護者) N=6
1. 海や自然と触れ合える場所がたくさんある	31%	9%	18%
2. 生きものがたくさん生息している	41%	18%	9%
3. 汚れている	7%	38%	37%
4. ごみが多い	17%	32%	27%
5. その他	4%	3%	9%

- イベントに参加する前と後で大阪湾の印象はどう変わりましたか？変わらなかったですか？（自由記述）

- 今後、藻場などの自然環境を保全するイベントなどに積極的に参加しようと思いませんか？

1. 思う	42%
どちらかといえば思う	48%
どちらかといえば思わない	5%
思わない	5%

- 今後どのような大阪湾になってほしいと思いますか？（自由記述）

- 今後、大阪湾で体験してみたいプログラムがあれば教えてください。（自由記述）

- 多くの方にアマモ場再生の取組みに参加してもらうにはどうするべきだと思いますか？考えがあれば教えてください。（自由記述）

●学生向け&親子向け合同第2回受講後アンケート<お子さま向け>結果

※自由記述については回答を割愛。

- 今日のイベントはどういったところがたのしかったですか?たのしくなかったですか? (自由記述)

- アマモをふくむ大阪の海の生きものを、たいせつにしていこうとおもいましたか?

1	おもわなかった	0%
2		0%
3		11%
4		0%
5	おもった	89%

- おともだちに今日のおもいでをはなしてみたいですか?

1	はなしたくない	11%
2		22%
3	はなしたい	67%

- イベントを受けて、かんそうを自由におきかせください。(自由記述)

## 【補助金等情報】

以下は、2024年時点で各所管機関のWebサイトで公開されている情報を元に取りまとめたものです。実際に申請を検討される際には、最新の情報を確認してください。

## ＜環境活動支援＞

名 称	大阪府環境保全活動補助金
所 管	大阪府 環境農林水産部 脱炭素・エネルギー政策課
対 象	地球温暖化防止活動や環境美化活動などの実践活動 環境イベントや学習会などの教育啓発活動 環境保全に関する調査研究活動
補助率	下記①②のうち低い方の額、かつ上限35万円、下限5万円の範囲内 ①補助対象経費の2分の1 ②補助対象経費から事業実施に伴う収入（事業参加者から徴収する参加料、事業に伴う広告料や出展料、事業への協賛金など）を減じた額
URL	<a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/katsudo/hojyokin.html">https://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/katsudo/hojyokin.html</a>

名 称	地球環境基金
所 管	独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金部
対 象	活動分野 ・自然保護・保全・復元／森林保全・緑化／大気・水・土壌環境保全 ／総合環境教育／その他の環境保全活動 他 活動形態 ・実践活動／知識の提供・普及啓発 他 対象となる団体 ・特定非営利活動法人／一般社団法人、一般財団法人、公益社団法人、 公益財団法人／任意団体（条件あり） ・企業・地方公共団体は対象外
助成額	活動内容に応じて、50万円～300万円等
URL	<a href="https://www.erca.go.jp/jfge/">https://www.erca.go.jp/jfge/</a>

名 称	大阪湾広域臨海環境整備センター「環境保全市民活動等助成金」
所 管	大阪湾広域臨海環境整備センター
対 象	水域環境保全（水質保全、水域生物環境の保全等）に関する環境教育、啓発活動 ※大阪湾広域臨海環境整備センター広域処理対象区域内の地方公共団体からの推薦等の条件有
助成額	助成対象経費の1/2以下（10万円を上限）
URL	<a href="http://www.osakawan-center.or.jp/index.php/citizens-activities-grant">http://www.osakawan-center.or.jp/index.php/citizens-activities-grant</a>

名 称	セブン - イレブン記念財団「環境市民活動助成」
所 管	セブン - イレブン記念財団
対 象	自然環境保護や生物多様性の保全、気候変動対策、体験型の環境学習など、市民が主体となって行う環境活動を1年間支援
助成額	1団体あたり30万円～最大400万円
URL	<a href="https://www.7midori.org/josei/">https://www.7midori.org/josei/</a>

名 称	サンライズ財団環境助成金
所 管	公益社団法人 日本フィランソロピー協会
対 象	対象事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域に根付いた環境保全や環境整備</li> <li>・ 子供たちへの環境教育</li> </ul> 対象者 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公益性を有し、利益を追求しない法人</li> <li>・ 公益法人、特定非営利活動法人、一般法人（任意団体は対象外）</li> <li>・ 法人格を取得後3年以上の本助成のテーマに関する活動実績有</li> </ul>
助成額	1法人1事業を対象とし、上限100万円
URL	<a href="https://www.philanthropy.or.jp/sunrise/2024/">https://www.philanthropy.or.jp/sunrise/2024/</a>

<子ども育成支援>

名 称	子どもゆめ基金
所 管	独立行政法人国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金部
対 象	自然体験活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 豊かな自然を活用した屋外活動</li> <li>・ フィールドワークを活用した環境教育活動</li> <li>・ 身近な自然を生かした探究活動 等</li> </ul> 科学体験活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 科学実験・観察実習活動</li> <li>・ ものづくり体験や自然科学のワークショップ 等</li> </ul> 他
助成額	全国規模の活動：1団体あたり最大600万円 都道府県規模の活動：1団体あたり最大200万円 市区町村規模の活動：1団体あたり最大100万円
URL	<a href="https://yumekikin.niye.go.jp/">https://yumekikin.niye.go.jp/</a>

名 称	子供たちの環境学習活動に対する助成事業
所 管	公益財団法人高原環境財団
対 象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申請者が小学生以下の子供を対象に行う、緑化や自然体験などの環境保全に関する体験・学習活動</li> <li>・活動参加者が、おおむね日本国内の都市部またはその周辺地域居住者であること</li> </ul>
助成額	助成対象費用の額、または 50 万円のいずれか少ない額 予算額 500 万円 ※ただし、緑化を伴うヒートアイランド対策に関する助成事業の採択額が 1,700 万円を下回る場合、同事業との合計額 2,200 万円の範囲内で増額することがある。
URL	<a href="https://takahara-env.or.jp/subsidy/">https://takahara-env.or.jp/subsidy/</a>

名 称	公益財団法人ノエビアグリーン財団 助成事業
所 管	公益財団法人ノエビアグリーン財団
対 象	対象事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然体験を通じて、子供たちの自然への理解や興味関心を深めることを目的とした活動</li> <li>・環境保全や改善について子供たちの意識向上を図ることを目的とした活動</li> <li>・地域の子供たちの教育の向上や健全な育成に貢献する体験活動</li> </ul> 対象者 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童、青少年の健全育成の向上を目的とした体験活動、およびスポーツの振興に関する事業を積極的に行い、または奨励している団体</li> </ul>
助成額	1 件あたり上限 300 万円
URL	<a href="https://www.noevirgreen.or.jp/grants/">https://www.noevirgreen.or.jp/grants/</a>

#### <水辺環境づくり>

名 称	公益財団法人日本財団 助成金
所 管	公益財団法人日本財団
対 象	対象事業内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・海や船に関する事業 海の安全・環境をまもる／海と身近にふれあう 他</li> </ul> 対象団体 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国内に所在する、財団法人・社団法人・特定非営利活動法人（NPO 法人）・任意団体（法人格のない団体）など、非営利活動・公益事業を行う団体（株式会社などの営利法人は対象外）</li> </ul>
補助率	助成対象事業費総額の 80%以内
URL	<a href="https://www.nippon-foundation.or.jp/grant_application">https://www.nippon-foundation.or.jp/grant_application</a>

名 称	河川基金
所 管	公益財団法人河川財団
対 象	<p>&lt;川づくり団体部門&gt; (流域川づくり団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 河川や流域への理解を深める活動</li> <li>・ 河川教育を支援する活動</li> <li>・ 人材育成、指導者育成に焦点を当てた活動</li> <li>・ 川づくり団体が行う社会教育的活動</li> <li>・ 河川環境の保全活動</li> <li>・ 防災・減災に関する活動</li> </ul> <p>他</p> <p>&lt;学校部門&gt; (河川教育とりくみ支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育計画の検討 : 河川教育を取り入れたカリキュラム、指導計画、単元・教材等の開発のための資料収集・調査及び検討 等</li> <li>・ 地域等との連携強化 : 地域の関係機関、専門家や市民団体等との連携強化 等</li> <li>・ 体験活動の準備・試行 : 川や水辺の事前調査、安全活動のための準備、体験活動等の試行 等</li> </ul> <p>他</p>
補助額	川づくり団体部門：定額 30 万円～100 万円 学校部門（河川教育とりくみ支援）：定額最大 10 万円
URL	<a href="https://www.kasen.or.jp/kikin/tabid289.html">https://www.kasen.or.jp/kikin/tabid289.html</a>

名 称	一般財団法人みなと総合研究財団「未来のみなとづくり助成」
所 管	一般財団法人みなと総合研究財団
対 象	<p>対象事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境教育等に係る港や海辺の活動</li> <li>・ 港湾の利用促進や港湾・海域環境の保全・再生等に関する調査研究</li> </ul> <p>対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 港や海辺を活動の拠点とする特定非営利活動法人、もしくは、それに準じた実績を有する任意団体等</li> <li>・ 港湾の利用促進や港湾・海域環境の保全・再生等に関する調査研究を行う大学、研究機関、特定非営利活動法人</li> </ul>
助成額	海辺活動：1 活動あたり 20 万円を限度 調査研究：1 研究あたり 40 万円を限度
URL	<a href="https://www.wave.or.jp/doc/zyosei_index.html">https://www.wave.or.jp/doc/zyosei_index.html</a>

<自然とのふれあい>

名 称	公益信託富士フィルム・グリーンファンド(活動助成・研究助成)
所 管	一般財団法人自然環境研究センター
対 象	自然環境保全活動もしくは自然とのふれあい活動 「自然とのふれあい」＝自然と接し楽しむだけではなく、自然環境保全、自然環境教育、自然環境保護思想の普及に資する啓発につながるもの
助成額	8 件程度、総額 850 万円を予定
URL	<a href="http://www.jwrc.or.jp/service/shintaku/fgf_ken.htm">http://www.jwrc.or.jp/service/shintaku/fgf_ken.htm</a>

名 称	生物多様性保全推進交付金（エコツーリズム地域活性化支援事業）
所 管	環境省 自然環境局 国立公園課 国立公園利用推進室
対 象	以下の要件を全て満たした協議会が行う事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会が地域の多様な主体から構成されており、エコツーリズムを推進しようとする地域の市町村が組織していること。</li> <li>・協議会として、意思決定の方法、事務処理及び会計処理の方法及び責任者、財産管理の方法及び責任者、内部監査の方法等を明確にした規約その他の規定が定められていること（設置見込みがある協議会も含む。）。</li> </ul>
助成額	以下のうち最も少ない額に補助率2分の1 を乗じて得た額 <ul style="list-style-type: none"> <li>・総事業費から寄付金その他の収入額を控除した額</li> <li>・事業の実施に係る経費のうち、交付金の対象として環境大臣が認める経費</li> <li>・1,000 万円（限度額）</li> </ul>
URL	<a href="https://www.env.go.jp/nature/ecotourism/try-ecotourism/env/chiiki_shien/koufu/index.html">https://www.env.go.jp/nature/ecotourism/try-ecotourism/env/chiiki_shien/koufu/index.html</a>



5. 今回の（エコツアー名）に参加されて良かったと思いますか。最も近いと思う数字に「○」を付けてください。

（良かった） ←————→ （良くなかった）  
1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ 6 ・ 7 ・ 8 ・ 9 ・ 10

6. 今後、同じようなエコツアーが開催されたら、また、参加したいと思いますか。

- 是非とも参加したい。
- 内容によっては参加したい。
- どちらとも言えない。
- 参加しない。

7. 今後、実施してほしいエコツアーのテーマがありましたら自由にお書きください。

[ ]



6. 今回の（体験型環境学習名）に参加されて良かったと思いますか。最も近いと思う数字に「○」を付けてください。

（良かった） ←————→ （良くなかった）  
1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ 6 ・ 7 ・ 8 ・ 9 ・ 10

7. 今後、同じような体験型環境学習会が開催されたら、また、参加したいと思いますか。

- 是非とも参加したい。
- 内容によっては参加したい。
- どちらとも言えない。
- 参加しない。

8. 今後、実施してほしい体験型環境学習会のテーマがありましたら自由にお書きください。

[ ]



6. 「5.」で「是非とも取り組んでいきたい」、「取り組んでいきたい」と答えられた方にお伺いします。具体的にどんなことに取り組んでみようと思いますか。

(学習内容に合わせて選択肢を変更)

- 海ごみの原因となるプラスチック（PET ボトル、レジ袋等）の使用を減らそうと思う。
- 大阪湾に棲む生物のことを調べようと思う。
- 海辺の清掃に参加しようと思う。
- 海や川の水質を汚すようなことはやめようと思う。
- その他（）

7. 今回の（生物多様性の保全活動名）に参加されて良かったと思いますか。最も近いと思う数字に「○」を付けてください。

(良かった) ←————→ (良くなかった)  
1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ 6 ・ 7 ・ 8 ・ 9 ・ 10

8. 今後、同じような生物多様性の保全活動が開催されたら、また、参加したいと思いますか。

- 是非とも参加したい。
- 内容によっては参加したい。
- どちらとも言えない。
- 参加しない。

9. 今後、実施してほしい生物多様性の保全活動のテーマがありましたら自由にお書きください。





## 【参考文献、情報サイト等】

## 1. 法令・公的計画等

- ・『「豊かな大阪湾」保全・再生・創出プラン」大阪府（令和4年10月）
- ・「今後の大阪湾における環境の保全・再生・創出のあり方について（答申）」（令和4年6月）
- ・「大和川自然再生計画」国土交通省 近畿地方整備局大和川河川事務所（令和3年3月）
- ・「大阪湾再生行動計画（第二期）」大阪湾再生推進会議（令和元年5月）
- ・「第5回自然環境保全基礎調査」環境省
- ・「大阪湾沿岸海岸保全基本計画」大阪府・兵庫県（平成14年8月）
- ・「エコツーリズム推進法」
- ・「生物多様性国家戦略 2023-2030」（令和5年3月）

## 2. 冊子等

- ・「大阪湾魅力ウォークマップ」大阪府環境保全課（令和元年11月）  
[https://www.pref.osaka.lg.jp/o120070/kankyohozen/osaka-wan/osakabay\\_walk\\_map.html](https://www.pref.osaka.lg.jp/o120070/kankyohozen/osaka-wan/osakabay_walk_map.html)
- ・「大阪の生物多様性ホットスポット」大阪府みどり企画課（平成28年1月）  
<https://www.pref.osaka.lg.jp/o120030/midori/tayouseipartner/redlist.html>
- ・「淀川の干潟にいてみよう！」国土交通省 近畿地方整備局淀川河川事務所（平成27年2月）  
<https://www.kkr.mlit.go.jp/yodogawa/activity/environment/nb3uba00000007yw-att/higata.pdf>
- ・「淀川のワンドにいてみよう！」国土交通省 近畿地方整備局淀川河川事務所（平成28年2月）  
<https://www.kkr.mlit.go.jp/yodogawa/activity/environment/nb3uba00000007yw-att/wand2.pdf>
- ・「里海づくりの手引書」環境省（平成23年3月）  
[https://www.env.go.jp/water/heisa/satoumi/common/satoumi\\_manual\\_1\\_2.pdf](https://www.env.go.jp/water/heisa/satoumi/common/satoumi_manual_1_2.pdf)
- ・「我が国のブルーカーボン取組事例集」環境省（令和5年12月）  
[https://www.env.go.jp/earth/ondanka/blue-carbon-jp/pdf/materials/01\\_jp\\_1.pdf](https://www.env.go.jp/earth/ondanka/blue-carbon-jp/pdf/materials/01_jp_1.pdf)
- ・「アマモ類の自然再生ガイドライン」水産庁・マリノフォーラム21  
<https://www.mf21.or.jp/pdf/amamo/guideline.pdf>
- ・「アマモ場再生ハンドブック」三重県（平成23年3月）  
<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000661738.pdf>

### 3. 情報サイト等

- 大阪湾環境データベース  
<http://kouwan.pa.kkr.mlit.go.jp/kankyo-db/amuse/arekore/view.aspx>
- 大阪湾再生推進会議  
<https://www.kkr.mlit.go.jp/plan/suishin/>
- 大阪湾環境保全協議会  
<https://www.osaka-wan.jp/>
- エコツーリズム（環境省）  
<https://www.env.go.jp/nature/ecotourism/try-ecotourism/index.html>
- 自然共生サイト（環境省）  
<https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/kyousei/>
- 「令和の里海づくり」モデル事業（環境省）  
<https://www.env.go.jp/water/heisa/satoumi/story/index.html>
- 大阪湾生き物一斉調査情報公開サイト  
<http://kouwan.pa.kkr.mlit.go.jp/kankyo-db/life/>
- 大阪泉州環境ガイド（KIX 泉州ツーリズムビューロー）  
<https://welcome-to-senshu.jp/>
- 大阪府の漁港（海上保安庁）  
[https://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN5/siryouko/naname/osaka/osaka\\_gyoko.htm](https://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN5/siryouko/naname/osaka/osaka_gyoko.htm)